

(令和3年度決算認定附属資料)

令和3年度
主要施策の成果に関する報告書

目 次

1. 一般会計に関する報告	… 9
一 般 会 計	… 10
2. 特別会計に関する報告	… 329
国民健康保険特別会計	… 330
後期高齢者医療特別会計	… 334
介護保険特別会計	… 336
小規模下水道特別会計	… 353
浄化槽整備事業特別会計	… 356
温泉事業等特別会計	… 360
旅客船特別会計	… 363
公共用地先行取得事業特別会計	… 367

所 属 別 目 次

<ul style="list-style-type: none"> ・ 議会事務局 議会運営事業 …… 12 ・ 総務課 地域振興費交付事業 …… 13 職員福利厚生事務 …… 14 広報あいなん事業 …… 15 ホームページ運用管理事業 …… 16 町有管理地活用管理事業 …… 18 交通安全対策事業 …… 28 交通安全推進協議会補助事業 …… 29 南宇和交通安全協会補助事業 …… 30 カーブミラー等整備事業 …… 31 防犯灯設置等補助事業 …… 33 防犯関係団体各種補助事業 …… 34 防災行政無線管理運営事業 …… 41 コミュニティ助成事業 …… 49 情報電算システム等整備改修事業 …… 50 情報電算システム等運用管理事務 …… 51 コミュニティバス運営事業 …… 52 生活バス路線維持対策事業 …… 53 地域情報通信基盤整備事業 …… 54 地域情報通信基盤設備管理事業 …… 55 ・ 企画財政課 入札執行管理事務 …… 17 移住促進事業 …… 19 地域支援事業 …… 20 行政評価推進事業 …… 21 総合計画策定事業 …… 22 ・ 税務課 住民税賦課収納事務 …… 56 固定資産税賦課収納事務 …… 57 徴収管理事務 …… 58 ・ 町民課 個人番号カード交付事業 …… 59 更生保護事業 …… 61 出産子育て支援金交付事業 …… 100 ひとり親家庭医療給付事業 …… 104 子ども医療給付事業（乳幼児） …… 114 子ども医療給付事業（児童・高校生等） …… 115 後期高齢者保健事業 …… 129 特定健康診査事業 …… 333 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農林課 農業支援センター運営事業 …… 150 青果市場運営事業 …… 151 農業次世代人材投資事業 …… 152 担い手総合支援事業 …… 153 野菜産地化推進補助事業 …… 154 経営所得安定対策直接支払推進補助事業 …… 155 農業経営セーフティネット加入促進補助事業 …… 156 農作物鳥獣害防止対策推進事業 …… 157 中山間地域等直接支払推進事業 …… 158 鳥獣被害防止総合対策事業 …… 159 畜産基盤施設再生支援事業 …… 166 多面的機能支払交付金事業 …… 167 水利組合助成事業 …… 168 農道維持補修事業（単独） …… 169 水路維持修繕事業（単独） …… 170 広域農道維持管理事業 …… 171 農地等工事材料費支給事業 …… 172 大久保山土地改良事業 …… 173 県営土地改良事業負担金 …… 174 林道維持管理事業 …… 175 林道整備事業 …… 176 有害鳥獣駆除補助事業 …… 177 森林整備担い手確保育成対策事業 …… 178 地域材利用木造住宅建築促進事業 …… 179 森林環境整備事業 …… 180 愛南町木育推進事業 …… 181 ・ 水産課 種子島周辺漁業対策事業 …… 182 水産業振興補助事業 …… 183 水産制度資金利子補給事業 …… 184 漁業収入安定化支援事業 …… 185 水産物販売促進事業 …… 186 ぎょしょく普及事業 …… 187 水産業活性化推進事業 …… 188 赤潮・漁場環境調査事業 …… 189 海洋資源開発センター施設管理運営事業 …… 190 優良アコヤガイ作出事業 …… 191 新養殖魚種導入支援事業 …… 192 水産業 I C T 利活用事業 …… 193 新品種養殖試験事業 …… 194 地域産業研究・普及センター施設維持管理事業 …… 195 内海漁港公園維持管理事業 …… 196 西海漁港公園維持管理事業 …… 197 漁港施設維持管理事業 …… 198 水産物供給基盤機能保全事業（国庫） …… 199 海岸堤防等老朽化対策事業（国庫） …… 200 漁港機能増進事業（国庫） …… 201 魚神山漁港海岸保全施設整備事業 …… 202 網代漁港漁村再生交付金事業 …… 203
---	---

所 属 別 目 次

<ul style="list-style-type: none"> ・ 商工観光課 ふるさと寄附金事業 …… 23 消費生活相談事業 …… 204 商工会補助事業 …… 205 商工事業者利子補給事業 …… 206 新型コロナウイルス感染症対策中小企業者経営支援事業 …… 207 新型コロナウイルス感染症対策商工業者補助事業 …… 208 新型コロナウイルス感染症対策プレミアム商品券発行支援事業 …… 209 特産品販売促進事業 …… 210 夏祭り補助事業 …… 211 営業戦略推進事業 …… 212 企業立地・誘致活動事業 …… 213 ぎゅぎゅつと愛南！夏の陣事業 …… 214 ぎゅぎゅつと愛南！冬の陣事業 …… 215 愛南町観光協会活動事業 …… 216 四国の道管理事業 …… 217 旅客船特別会計繰出金 …… 218 温泉事業等特別会計繰出金 …… 219 愛南町観光振興推進事業 …… 220 ご当地キャラクター活用事業 …… 221 石垣の里だんだん館維持管理事業 …… 223 観光施設維持管理事業 …… 224 山出憩いの里温泉維持管理事業 …… 225 ゆらり内海維持管理事業 …… 226 宇和海海域公園サンゴ保護対策事業 …… 227 公園遊具維持管理事業 …… 237 南予レクリエーション都市公園維持管理事業 …… 249 ・ 建設課 交通安全施設整備事業 …… 32 緊急避難道整備事業 …… 44 地域コミュニティ活性化対策事業 …… 48 老朽危険空家等対策補助事業 …… 238 住宅新築・リフォーム補助事業 …… 239 道路維持整備事業（国庫） …… 240 道路維持整備事業（単独） …… 241 道路新設改良事業（国庫） …… 242 道路新設改良事業（単独） …… 243 橋梁新設改良事業（国庫） …… 244 橋梁新設改良事業（単独） …… 245 河川維持整備事業 …… 246 砂防事業（県補助） …… 247 砂防事業（単独） …… 248 住宅改修事業（国庫） …… 250 住宅改修事業（単独） …… 251 公営住宅維持管理事業 …… 252 特定公共賃貸住宅維持管理事業 …… 253 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保健福祉課 ボランティア連絡会活動補助事業 …… 62 社会福祉協議会運営補助事業 …… 63 重層的支援体制整備事業 …… 64 遺族会活動補助事業 …… 65 おれんじくらぶ管理・運営事業 …… 83 児童通所支援給付事業 …… 84 障害者自立支援医療費給付事業 …… 85 障害者自立支援介護等給付事業 …… 86 障害者地域生活支援事業 …… 87 障害者自立支援補装具給付事業 …… 88 人工透析患者交通費助成事業 …… 89 身体障害者福祉協議会補助事業 …… 90 新型コロナウイルス感染症対策障がい者就労支援事業 …… 91 特別支援学校寄宿舎生徒送迎事業 …… 92 放課後児童クラブ事業 …… 95 保育環境改善支援事業 …… 96 病児保育事業 …… 97 放課後図書クラブ事業 …… 98 地域子育て支援拠点事業 …… 99 乳幼児用紙おむつ券交付事業 …… 101 子育て世帯への臨時特別給付金給付事業 …… 102 児童保育委託事業 …… 103 休園保育所維持管理事業 …… 112 御荘夢創造館管理運営事業 …… 113 在宅当番・救急医療委託事業 …… 116 医師確保関連事業 …… 117 城辺保健福祉センター管理運営事業 …… 118 妊婦健診事業 …… 121 乳児健診委託事業 …… 122 乳幼児集団健診事業 …… 123 骨粗しょう症予防事業 …… 124 健康診査事業 …… 125 不妊治療費助成事業 …… 126 がん対策事業 …… 127 新型コロナウイルス感染症検査関連事業 …… 128 子ども定期予防接種事業 …… 130 高齢者定期予防接種事業 …… 131 風しん対策事業 …… 132 任意インフルエンザ予防接種事業 …… 133 新型コロナウイルスワクチン接種事業 …… 134 災害時防疫対策事業 …… 135 病院事業会計補助金 …… 148 ・ 各保育所 柏保育所管理運営事業 …… 105 家串保育所管理運営事業 …… 106 御荘保育所管理運営事業 …… 107 城辺保育所管理運営事業 …… 108 緑保育所管理運営事業 …… 109 一本松保育所管理運営事業 …… 110 緑保育所一時保育事業 …… 111
--	--

所属別 目次

<ul style="list-style-type: none"> ・高年齢者支援課 <ul style="list-style-type: none"> シルバー人材センター補助事業 …… 60 城辺高齢者共同住宅管理運営事業 …… 68 緊急通報システム整備事業 …… 72 福祉タクシー助成事業 …… 73 在宅ねたきり老人等紙おむつ支給事業 …… 74 鍼灸マッサージ等施術費助成事業 …… 75 独居高齢者見守り推進事業 …… 76 介護慰労金支給事業 …… 77 高齢者運転免許証自主返納支援事業 …… 78 介護タクシー助成事業 …… 79 老人クラブ活動助成事業 …… 80 介護予防サービス計画作成事務 …… 81 敬老会助成事業 …… 82 介護認定審査会事務 …… 340 介護サービス給付費 …… 341 介護予防サービス給付費 …… 342 高齢者総合相談事業 …… 343 高齢者共同住宅生活支援事業 …… 344 介護用品支給事業 …… 345 認知症地域支援・ケア向上事業 …… 346 生活支援体制整備事業 …… 347 在宅医療・介護連携支援事業 …… 348 訪問介護相当サービス事業 …… 349 訪問介護基準緩和サービス事業 …… 350 通所介護相当サービス事業 …… 351 総合事業介護予防ケアマネジメント事業 …… 352 ・南楽荘 <ul style="list-style-type: none"> 養護老人ホーム南楽荘管理運営事業 …… 71 ・環境衛生課 <ul style="list-style-type: none"> 生活環境施設等整備補助事業 …… 136 再生可能エネルギー推進事業 …… 137 新エネルギー等導入促進補助事業 …… 138 浄化槽整備事業特別会計繰出金 …… 139 し尿処理補助事業 …… 142 塵芥処理管理事業 …… 143 不法投棄解消事業 …… 144 小規模下水道特別会計繰出金 …… 149 小規模下水道維持管理事業 …… 355 浄化槽整備事業 …… 358 浄化槽維持管理事業 …… 359 ・環境衛生センター <ul style="list-style-type: none"> 御荘霊苑管理運営事業 …… 141 機密書類等回収事業 …… 145 環境衛生センター管理運営事業 …… 146 ・水道課 <ul style="list-style-type: none"> 上水道事業会計補助金 …… 147 	<ul style="list-style-type: none"> ・内海支所 <ul style="list-style-type: none"> 内海支所維持管理事業 …… 24 内海高齢者生活福祉センター管理運営事業 …… 66 須ノ川公園管理事業 …… 230 グリーンパークすのかわ管理運営事業 …… 231 ・御荘支所 <ul style="list-style-type: none"> 御荘支所維持管理事業 …… 25 御荘老人福祉センター管理運営事業 …… 67 僧都川河川敷公園維持管理事業 …… 233 花と緑のピクニック公園維持管理事業 …… 234 御荘文化センター管理運営事業 …… 313 ・一本松支所 <ul style="list-style-type: none"> 一本松支所維持管理事業 …… 26 一本松保健センター維持管理事業 …… 119 一本松ふるさと生活館管理運営事業 …… 161 篠山森林公園管理運営事業 …… 229 一本松地区広場維持管理事業 …… 235 あけぼのリフレッシュゾーン維持管理事業 …… 236 あけぼの荘管理運営事業 …… 362 ・西海支所 <ul style="list-style-type: none"> 西海支所維持管理事業 …… 27 西海高齢者生活福祉センター管理運営事業 …… 69 西海保健福祉センター管理運営事業 …… 120 西海地域公衆便所管理事業 …… 140 石垣の里管理運営事業 …… 222 鹿島・高茂岬自然公園維持管理事業 …… 228 西海ふれあい公園維持管理事業 …… 232 旅客船維持管理事業 …… 364 瀬ノ浜施設維持管理事業 …… 365 旅客船修繕事業 …… 366 ・学校教育課 <ul style="list-style-type: none"> 教育委員会運営事務 …… 262 学校 I C T 管理事業 …… 263 外国人英語指導助手設置事業 …… 264 学校施設防災機能強化事業 …… 265 奨学金返済支援事業 …… 266 閉校施設等管理事業 …… 267 学校活動支援事業 …… 268 南宇和高等学校教育振興協議会補助事業 …… 269 心の教育推進事業 …… 270 教員住宅管理運営事業 …… 271 要保護及び準要保護児童就学援助事業 …… 274 要保護及び準要保護生徒就学援助事業 …… 276 児童生徒教職員健康管理事業 …… 314 学校保健・体育会支援事業 …… 315 要保護及び準要保護児童生徒給食援助事業 …… 327
--	---

所属別 目次

<ul style="list-style-type: none"> ・ あいなん幼稚園 あいなん幼稚園管理運営事業 …… 278 ・ 学校給食センター 学校給食センター管理運営事業 …… 326 ・ 各小・中学校 小学校維持管理事業 …… 272 小学校振興事業 …… 273 中学校維持管理事業 …… 275 中学校振興事業 …… 277 ・ 生涯学習課 一本松郷土資料館管理運営事業 …… 162 一本松交流促進センター管理運営事業 …… 163 一本松プール管理運営事業 …… 164 あけぼのグラウンド管理運営事業 …… 165 花づくり推進事業 …… 279 女性教育推進事業 …… 280 放課後子ども教室事業 …… 281 子どもセンター運営事業 …… 282 成人式開催事業 …… 283 PTA連合会活動支援事業 …… 284 中央公民館生涯学習事業 …… 290 文化財等調査事業 …… 310 御荘文化センター図書室運営事業 …… 311 御荘文化センター夜間等開放事業 …… 312 スポーツ少年団事業 …… 316 スポーツ協会補助事業 …… 317 中学校社会体育等活動事業 …… 318 <small>愛南町いよしの郷トリアスロン大会実行委員会補助事業</small> …… 319 内海運動公園管理運営事業 …… 320 一本松体育館管理運営事業 …… 321 西海体育館管理運営事業 …… 322 学校開放施設管理運営事業 …… 323 ・ 人権啓発室 県人権対策協議会愛南支部補助事業 …… 93 大森文化会館管理運営事業 …… 94 人権啓発作品集作成事業 …… 285 ・ 各公民館 魚神山老人福祉センター管理運営事業 …… 70 菊川農村研修センター管理運営事業 …… 160 平城公民館生涯学習事業 …… 286 城辺公民館生涯学習事業 …… 287 一本松公民館生涯学習事業 …… 288 西海公民館生涯学習事業 …… 289 内海公民館管理運営事業 …… 291 家串公民館管理運営事業 …… 292 魚神山公民館管理運営事業 …… 293 	<ul style="list-style-type: none"> 菊川公民館管理運営事業 …… 294 平城公民館管理運営事業 …… 295 長月公民館管理運営事業 …… 296 赤水公民館管理運営事業 …… 297 中浦公民館管理運営事業 …… 298 城辺公民館管理運営事業 …… 299 僧都公民館管理運営事業 …… 300 東海公民館管理運営事業 …… 301 久良公民館管理運営事業 …… 302 緑公民館管理運営事業 …… 303 深浦公民館管理運営事業 …… 304 一本松公民館管理運営事業 …… 305 上大道公民館管理運営事業 …… 306 西海公民館管理運営事業 …… 307 福浦公民館管理運営事業 …… 308 西浦公民館管理運営事業 …… 309 ・ 御荘B&G海洋センター 水泳・エアロビクス教室運営事業 …… 324 御荘海洋センター管理運営事業 …… 325 ・ 防災対策課 自主防災組織活動支援事業 …… 35 防災士養成事業 …… 36 津波一時避難場所防災倉庫等整備事業 …… 37 防災教育推進事業 …… 38 民間建築物耐震診断・改修補助事業 …… 39 防災情報通信設備維持管理事業 …… 40 災害時備蓄物資整備事業 …… 42 災害時備蓄食糧整備事業 …… 43 地域防災計画改定事業 …… 45 ハザードマップ作成事業 …… 46 B & G財団災害時相互支援体制整備助成事業 …… 47 ・ 消防本部 消防職員教育研修事業 …… 254 通信指令システム運用管理事業 …… 255 救急救命士等教育訓練事業 …… 256 救急業務運用事業 …… 257 消防団運営事業 …… 258 消防団設備維持管理事業 …… 259 消防施設整備事業 …… 260 消防団設備整備事業 …… 261
---	--

一 般 会 計

1 一般会計に関する報告

(1) 総括

令和3年度の一般会計決算収支は、歳入総額 17,399,644 千円、歳出総額 16,529,652 千円で、歳入歳出差引額は 869,992 千円となりました。

交通安全施設整備事業など 27 事業、総額 644,039 千円を令和4年度へ繰越し、繰越事業に充当する一般財源 107,069 千円を控除した実質収支は、前年度比 130,810 千円増の 762,923 千円、財政調整基金への積立額 217,300 千円を考慮した実質単年度収支は、348,110 千円の黒字となりました。

地方債現在高は、前年度比 1,098,885 千円減の 16,914,843 千円、積立基金現在高は、前年度比 339,135 千円増の 11,137,529 千円となっています。

(2) 歳入

令和3年度の歳入決算額 17,399,644 千円の内訳は、次のとおりです。

一般会計（歳入）

(単位：千円、%)

	令和2年度決算額		令和3年度決算額(案)		増減額 C=B-A	増減率 C/A×100
	A	構成比	B	構成比		
1 町税	1,838,778	10.1%	1,787,679	10.2%	△ 51,099	△ 2.8
2 地方譲与税	143,112	0.8%	144,949	0.8%	1,837	1.3
3 利子割交付金	2,643	0.0%	2,384	0.0%	△ 259	△ 9.8
4 配当割交付金	6,921	0.0%	10,779	0.1%	3,858	55.7
5 株式等譲渡所得割交付金	9,338	0.1%	13,405	0.1%	4,067	43.6
6 法人事業税交付金	6,742	0.0%	20,612	0.1%	13,870	205.7
7 地方消費税交付金	444,923	2.5%	476,666	2.7%	31,743	7.1
8 自動車税環境性能割交付金	8,663	0.0%	9,419	0.1%	756	8.7
9 地方特例交付金等	9,462	0.1%	24,977	0.1%	15,515	164.0
10 地方交付税	7,371,265	40.7%	7,794,675	44.8%	423,410	5.7
11 交通安全対策特別交付金	2,118	0.0%	1,966	0.0%	△ 152	△ 7.2
12 分担金及び負担金	150,135	0.8%	149,641	0.9%	△ 494	△ 0.3
13 使用料及び手数料	175,100	1.0%	171,289	1.0%	△ 3,811	△ 2.2
14 国庫支出金	3,919,516	21.6%	2,226,131	12.8%	△ 1,693,385	△ 43.2
15 県支出金	1,068,788	5.9%	1,132,268	6.5%	63,480	5.9
16 財産収入	141,916	0.8%	159,592	0.9%	17,676	12.5
17 寄附金	203,301	1.1%	692,681	4.0%	489,380	240.7
18 繰入金	596,139	3.3%	323,363	1.9%	△ 272,776	△ 45.8
19 繰越金	735,638	4.1%	774,347	4.5%	38,709	5.3
20 諸収入	147,313	0.8%	206,000	1.2%	58,687	39.8
21 町債	1,149,247	6.3%	1,276,821	7.3%	127,574	11.1
計	18,131,058	100.0%	17,399,644	100.0%	△ 731,414	△ 4.0

構成比及び増減率は、四捨五入のため合計と一致しないことがあります。

(3) 歳 出

令和3年度の歳出決算額 16,529,652 千円の目的別及び性質別の内訳は、次のとおりです。

歳出（目的別）

（単位：千円、％）

	令和2年度決算額		令和3年度決算額（案）		増減額 C=B-A	増減率 C/A×100
	A	構成比	B	構成比		
1 議会費	86,086	0.5%	82,254	0.5%	△ 3,832	△ 4.5
2 総務費	4,762,778	27.4%	2,979,962	18.1%	△ 1,782,816	△ 37.4
3 民生費	3,435,982	19.8%	4,067,977	24.6%	631,995	18.4
4 衛生費	1,187,900	6.8%	1,394,206	8.5%	206,306	17.4
6 農林水産業費	1,816,177	10.5%	1,824,887	11.0%	8,710	0.5
7 商工費	694,455	4.0%	636,261	3.8%	△ 58,194	△ 8.4
8 土木費	771,199	4.4%	787,058	4.8%	15,859	2.1
9 消防費	431,471	2.5%	481,029	2.9%	49,558	11.5
10 教育費	1,303,901	7.5%	1,097,239	6.6%	△ 206,662	△ 15.8
11 災害復旧費	126,978	0.7%	156,850	0.9%	29,872	23.5
12 公債費	2,494,481	14.4%	2,445,633	14.8%	△ 48,848	△ 2.0
13 諸支出金	245,303	1.4%	576,296	3.5%	330,993	134.9
計	17,356,711	100.0%	16,529,652	100.0%	△ 827,059	△ 4.8

構成比及び増減率は、四捨五入のため合計と一致しないことがあります。

歳出（性質別）

（単位：千円、％）

	令和2年度決算額		令和3年度決算額（案）		増減額 C=B-A	増減率 C/A×100
	A	構成比	B	構成比		
1 人件費	3,234,904	18.6%	3,313,366	20.1%	78,462	2.4
2 物件費	2,011,502	11.6%	2,274,633	13.8%	263,131	13.1
3 維持補修費	83,098	0.5%	90,127	0.5%	7,029	8.5
4 扶助費	1,394,302	8.0%	1,621,288	9.8%	226,986	16.3
5 補助費等	4,233,094	24.4%	2,341,287	14.2%	△ 1,891,807	△ 44.7
6 公債費	2,494,481	14.4%	2,445,633	14.8%	△ 48,848	△ 2.0
7 積立金	245,303	1.4%	576,296	3.5%	330,993	134.9
8 投資及び出資金	74,085	0.4%	68,678	0.4%	△ 5,407	△ 7.3
9 貸付金	777	0.0%	307	0.0%	△ 470	△ 60.5
10 繰出金	1,546,031	8.9%	1,533,909	9.3%	△ 12,122	△ 0.8
11 普通建設事業費	1,912,156	11.0%	2,107,278	12.7%	195,122	10.2
12 災害復旧事業費	126,978	0.7%	156,850	0.9%	29,872	23.5
計	17,356,711	100.0%	16,529,652	100.0%	△ 827,059	△ 4.8

構成比及び増減率は、四捨五入のため合計と一致しないことがあります。

主要な施策の成果については、次のとおりです。

議会運営事業

議会事務局 議会事務局

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	01 議会費	決算書 ページ	69
施策	05 効果的 効率的な行財政運営の推進	項	01 議会費		
基本 事業	01 効果的 効率的な行政運営	目	01 議会費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

愛南町議会議員選挙が執行され、任期は令和3年4月24日から令和7年4月23日です。議員定数は16名から14名、常任委員会委員定数は8名から7名になりました。
愛南町議会基本条例が令和3年4月1日施行され、条例に則り議会の活性化に取り組みました。
令和3年度は定例会、臨時会、各委員会等を延べ73日開催しました。
(定例会10日、臨時会5日、議員全員協議会21日、議会運営委員会21日、総務文教常任委員会10日、産業厚生常任委員会4日、議会活性化特別委員会2日)

区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績	
活動・ 成果 状況	活動	定例会、臨時会、各常任委員会等の活動日数(日)	68	54	73
	活動				
	成果	議会運営 委員会運営に支障をきたす事務トラブル件数(件)	1	0	1
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	6,308	19,904	18,310
		カ 事業費(ア~オ合計)	6,308	19,904	18,310

成果 実績 評価	成果状況	(状況)残時間表示用ノートパソコンが起動せず、11月15日開催の篠山小中学校組合議会臨時会で残時間表示計が表示されない事象が発生しました。原因はパソコンのバッテリーの不具合によるもので交換により12月定例会では通常どおり使用できました。 (原因)ノートパソコン及び無停電電源装置のバッテリー交換を終えたことからその他の機器の故障等もなく、本会議前の音響テスト、機器点検等を行い、使用手順や操作も正確に行われています。 (余地)上記原因から、成果向上余地は少ないと考えられます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

地域振興費交付事業

町長部局 総務課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	02 総務費	決算書 ページ	71
施策	01 協働によるまちづくりの推進	項	01 総務管理費	計画 年度	開始：平成18年度 終了：令和 年度
基本 事業	01 地域コミュニティ活動の支援	目	01 一般管理費		

手段 (R03年度の取り組み)

行政区ごとに、地区に加入する世帯数に6,000円を乗じた金額を交付しました。
令和3年度の地区に加入する世帯数は7,072世帯、地区加入の割合は72.56% (7,072世帯/9,747世帯) です。

令和3年度地域振興費の地域ごとの交付状況等は、次のとおりです。

- ・内海地域 : 8地区 交付額 3,096千円 地区加入世帯数 516世帯(加入率79.75%)
- ・御荘地域 : 35地区 交付額 13,764千円 地区加入世帯数 2,294世帯(加入率68.36%)
- ・城辺地域 : 60地区 交付額 14,249千円 地区加入世帯数 2,422世帯(加入率72.49%)
- ・一本松地域 : 8地区 交付額 5,898千円 地区加入世帯数 983世帯(加入率69.08%)
- ・西海地域 : 16地区 交付額 5,142千円 地区加入世帯数 857世帯(加入率87.45%)

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動		交付行政区数(区)	127	127
活動		地域振興費交付額(円)	43,944,000	42,466,112	42,149,107
成果		返還行政区割合(%)	0	17.32	10.23
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	43,944	42,466	42,149
		カ 事業費(ア~オ合計)	43,944	42,466	42,149

成果 実績 評価	成果状況	<p>(状況)令和3年度に地域振興費の一部を返還した行政区の割合は10.23%で、令和2年度と比較し7.1%向上しました。 (原因)新型コロナウイルス感染症の影響を受け、各行政区が予定していた行事の多くが中止となった令和2年度と比べ、多くの行政区の決算額が地域振興費の交付限度額を上回ったことが大きな要因であると考えます。 (余地)引き続き、地域活動の活発化を促進できるよう働きかけます。</p>
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

職員福利厚生事務

町長部局 総務課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	02 総務費	決算書 ページ	73
施策	05 効果的 効率的な行財政運営の推進	項	01 総務管理費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度
基本 事業	99 施策の総合推進	目	01 一般管理費		

手段 (R03年度の取り組み)	
<p>職員の健康保持・増進及び生活福祉の向上を図り、安心して充実した仕事に取り組むことが出来るよう、職員の健康管理や職場の労働安全に関する業務及び勤務能率の発揮・増進のために職場（内・外）研修の取り組みを行ったり、職員の健康保険や年金の手続き等、職員の福利厚生の向上に努めました。</p> <p>【事業内容】 職員研修（メンタルヘルスケア・アンガーマネジメント等）の実施、職員ミニドック（定期健診）の実施、甲斐金保険料の支払い、職員研修旅費・負担金の精算（愛媛県派遣研修等）</p> <p>新型コロナの影響により、複数の研修が中止となりました。</p>	

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	活動	研修事業等メニュー実施数（種）	10	6
成果	成果	研修事業等受講延べ人数（人）	1,001	539	729
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	222	433	577
		オ 一般	7,433	8,981	9,029
		カ 事業費(ア～オ合計)	7,655	9,414	9,606

成果実績 評価	成果状況	<p>（状況）職員の健康保持・増進を目的とした職員健診を5日間に分けて実施し、今年度の健診受診率は100%でした。また、業務に関する知識の増進と業務能率の向上を目的とした各種研修に、年間を通して多数の職員に参加してもらうことができました。</p> <p>（原因）健康保持・増進の重要性や、研修を受講することによるメリットなどを説明して、受診や受講を呼びかけることができました。</p> <p>（余地）引き続き、積極的に呼びかけを行います。</p>
	<p>向上 維持・横ばい 低下・悪化</p> <p>成果向上余地 大 中 小 なし</p>	

広報あいなん事業

町長部局 総務課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	02 総務費	決算書 ページ	75
施策	01 協働によるまちづくりの推進	項	01 総務管理費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度
基本 事業	03 広報の充実	目	02 文書広報費		

手段 (R03年度の取り組み)
毎月1回、広報紙を発行（10,800冊、規格等：A4版、右綴じ・ステープラー2か所中綴じ、2穴、全頁4色フルカラー、頁数：32頁×12回）し、町内全世帯（地区加入世帯）、町内外関係機関等へ配布しました。

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動		広報紙発行部数 (冊)	134,400	132,000
活動					
成果		広報紙配布率 (%)	86.9	86.7	86.9
成果					
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	200	0	0
		オ 一般	6,075	5,261	4,949
		カ 事業費 (ア～オ合計)	6,275	5,261	4,949

成果 実績 評価	成果状況	<p>(状況)町内全世帯(地区加入世帯)及び事業所等を含めた配布部数はほぼ横ばいとなっています。</p> <p>(原因)世帯数は減少していますが、町の出来事を多く取り上げるなど、共感を得られる紙面づくりを心掛けたことで、地区加入世帯以外の方にも手に取っていただくことにより配布部数が横ばいになったと思われます。</p> <p>(余地)掲載情報を整理して、読みやすい、伝わりやすい紙面づくりを行うことで、町の魅力や行事の周知することにより、配布数の向上が図れます。</p>
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

ホームページ運用管理事業

町長部局 総務課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	02 総務費	決算書 ページ	75
施策	01 協働によるまちづくりの推進	項	01 総務管理費	計画 年度	開始：平成29年度 終了：令和 年度
基本 事業	03 広報の充実	目	02 文書広報費		

手段 (R03年度の取り組み)
<p>愛南町公式ホームページ運用ガイドラインに基づき、アクセシビリティに配慮された魅力あるページが作成されるよう、情報発信（ページ作成）を行う各所属への支援や、ホームページ全体の運用管理を行いました。また、情報セキュリティの確保に努めました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者や障がい者など、身体に障がいや不自由のある方でも容易に情報を入手できるホームページとなるよう適切な運用管理を行いました。 ・町民をはじめ、本町の情報を得ようとする方に対して周知すべき情報をホームページから積極的に発信するよう促しました。

区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 ホームページの新規情報発信件数 (件)	258	322	354	
	活動				
	成果 ホームページのアクセス件数 (年間) (件)	427,283	503,028	497,857	
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	1,721	1,381	1,381
	カ 事業費 (ア～オ合計)	1,721	1,381	1,381	

成果実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	<p>(状況) サイトへのアクセス数は前年度より1%減ですが概ね現状維持です。 (原因) 前年度に引き続き庁内各課にホームページでの情報発信を呼びかけることで、これまで掲載していなかった情報を発信するようになり、サイトへのアクセス数が現状を維持していると考えられます。また、新型コロナウイルス関連の情報を随時更新していることがアクセス数維持の要因と考えられます。 (余地) 新規情報等をより多く発信することで、サイトへのアクセス数を増加させることが期待できます。</p>
	成果向上余地 大 中 小 なし	

入札執行管理事務

町長部局 企画財政課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	02 総務費	決算書 ページ	75
施策	05 効果的 効率的な行財政運営の推進	項	01 総務管理費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度
基本 事業	01 効果的 効率的な行政運営	目	03 財政管理費		

手段 (R03年度の取り組み)
町が発注する建設工事等(130万円を超える工事、80万円を超える物品、50万円を超える業務委託等)の適正な入札を執行しました。 ・工事：108件 ・物品：34件 ・業務委託等：160件

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動		入札執行件数 (件)	210	235
活動					
成果		談合等、不適切な入札件数の発生割合 (%)	0	0	0
成果					
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	2,385	2,456	2,505
		カ 事業費 (ア～オ合計)	2,385	2,456	2,505

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) 談合等の不適切な入札は発生しておらず、順調に推移しています。 (原因) 独占禁止法及び官製談合防止法等の法令や、愛南町建設工事等入札参加資格停止措置要綱等により、談合等の不正行為に対しては厳しい措置が取られており、このことが、不正行為の抑止につながっていると考えられます。 (余地) 今後もこの状態を維持できるよう、より良い制度づくりに取り組んでいきます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

町有管理地活用管理事業

町長部局 総務課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	02 総務費	決算書 ページ	75
施策	06 公共施設マネジメントの推進	項	01 総務管理費		
基本事業	01 未利用施設の活用	目	05 財産管理費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

- ・ 公有財産（普通財産）について、近隣に迷惑がかからないように、随時、対象の土地を巡回し、必要箇所の草刈等を実施しました。
（実施件数：町有地 5件）
- ・ 借受者が使用できるように、施設設備の保守点検等を実施しました。
（電気保安全管理業務・消防用設備保守点検業務・浄化槽保守点検業務・施設清掃業務）
- ・ 借受者が使用できるように、施設の補修、修繕等を実施しました。
（実施件数：8施設等 10件 城辺商工会総合事務所屋上防水改修工事等）

活動・成果状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	施設	施設の修繕件数 (件)	6	5
活動	施設	保守点検、検査実施回数 (回)	4	3	4
成果	施設	修繕が必要な箇所が原因で施設利用に支障が発生した件数 (件)	0	0	0
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	128	844
		オ 一般	1,720	2,054	7,117
		カ 事業費 (ア～オ合計)	1,720	2,182	7,961

成果実績評価	成果状況	（状況）修繕件数は前年度と比較して5件増加していますが、施設利用に支障はありませんでした。 （原因）施設の老朽化が要因と考えられます。 （余地）今後も経年劣化等による修繕が予想されますが、定期的な点検を行うなど、適正な維持管理に努めます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	
成果実績評価	成果向上余地	
	大	
	中	
	小 なし	

移住促進事業

町長部局 企画財政課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	02 総務費	決算書 ページ	79
施策	01 協働によるまちづくりの推進	項	01 総務管理費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度
基本 事業	01 地域コミュニティ活動の支援	目	06 企画費		

手段 (R03年度の取り組み)

【実施事業】
・県移住者住宅改修支援事業補助金制度の申請が1件ありました。

【中止事業】
・町が移住相談員と契約してワーケーションモニターツアーの実施を計画していましたが、契約期間中に新型コロナウイルス感染が拡大したため、事業を中止しました。

・県主催及び宇和島圏域主催の県外で開催される移住相談フェアについては、前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりました。

【令和3年度実績】
○移住相談件数 / 65件、○移住世帯数 / 60世帯80人、○空き家バンク新規登録件数 / 7件
○同契約成立件数 / 5件、移住者住宅改修支援事業補助金交付件数 / 1件

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動		移住相談件数 (件)	30	43
活動		移住者住宅改修の件数 (件)	0	1	1
成果		移住世帯数 (世帯)	11	6	60
成果		移住者数 (人)	17	13	80
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	2,089	2,100
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	315	2,190	2,911
		カ 事業費 (ア～オ合計)	315	4,279	5,011

成果実績 評価	成果状況	<p>(状況) 移住世帯数は前年度と比べ54世帯、移住者数は67人増加しており、また、相談件数も前年度と比べ22件増加しています。移住者住宅改修補助金の交付件数は1件となっています。</p> <p>(原因) コロナ禍において都市部でのコロナ感染者数の急増から、地方への移住の関心が高まってきたことが少なからず影響していると考えられます。また、移住相談件数が増加傾向にあり、相談から移住に繋がったケースもいくつかありました。</p> <p>(余地) アンケートの配布率の向上を図ることで、移住者数の正確な把握に努めることができます。また、移住相談体制のさらなる強化が必要だと考えます。</p>
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

地域支援事業

町長部局 企画財政課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	02 総務費	決算書 ページ	79
施策	01 協働によるまちづくりの推進	項	01 総務管理費	計画 年度	開始：平成28年度 終了：令和 年度
基本 事業	01 地域コミュニティ活動の支援	目	06 企画費		

手段 (R03年度の取り組み)

コロナ禍の影響で活動に一部制限はありましたが、地域おこし協力隊による地域資源を活かした活動や、地域課題の解決に向けた取り組みに対し支援を行いました。また、任期満了した隊員の定住に対してサポートを行いました。
協力隊の活動記録及び情報発信用の動画撮影用カメラを購入しました。

地域おこし協力隊の活動任期：最大3年間(毎年度更新)
地域おこし協力隊の活動費：隊員1人当たり470万円上限(特別交付税措置)
地域おこし協力隊の主な活動分野(令和3年度)
・農業振興分野：1名 ・観光振興分野：1名

	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
活動・ 成果 状況	活動	地域おこし協力隊員数(人)	3	3	2
	活動				
	成果	地域おこし協力隊員定住人数(人)	0	1	2
	成果	地域おこし協力隊員起業件数(件)	0	1	1
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	500	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	14,452	6,345	3,428
	カ 事業費(ア~オ合計)	14,452	6,845	3,428	

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況)今年度は農業振興で活動していた隊員1名が定住しました。 (原因)退任後も、引き続き農業振興分野での活動を準備できたことが原因です。 (余地)地域おこし協力隊員が取組む地域資源を活かした活動等が円滑に行えるよう、町及び受入地域や関係団体が継続的なサポート体制を充実することで起業・定住に繋がると考えます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

行政評価推進事業

町長部局 企画財政課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	02 総務費	決算書 ページ	81
施策	05 効果的 効率的な行財政運営の推進	項	01 総務管理費		
基本 事業	01 効果的 効率的な行政運営	目	06 企画費	計画 年度	開始：平成18年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

1 内部評価
 (1) 事務事業評価
 目的妥当性、有効性、効率性の観点から事務事業を評価し、P D C Aサイクルによる事業展開を図りました。
 (2) 施策・基本事業評価
 まちづくり住民アンケート並びに課独自アンケート及び業務取得した数値等を分析し、総合計画に掲げられた達成度を測る指標により施策・基本事業を評価しました。評価結果を「まちづくり報告書/愛南町総合計画の進行管理」として公表しました。
 2 外部評価
 評価依頼をした事務事業について、行政評価委員会が担当課へのヒアリング等を行い、客観的な検証を行いました。

活動・成果状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動		内部評価実施の有無 (有1/無0)	1	1
活動		外部評価実施の有無 (有1/無0)	1	1	1
成果		事務事業の成果向上割合 (%)	17.6	17.0	18.8
成果		事務事業の見直し割合 (%)	10.6	12.0	11.0
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	4,276	3,009	4,913
		カ 事業費 (ア~オ合計)	4,276	3,009	4,913

成果実績評価	成果状況	(状況) 事務事業の成果向上割合は、対前年度比較で1.8ポイント向上しましたが、事務事業の見直し割合は1.0ポイント低下しました。 (原因) 少しの成果向上はありましたが、成果を測るものさしである指標が適正に設定されていない事務事業があります。また、事業の見直し割合の低下については、新体制へ向けての事業統合の影響や、成果向上へ向けた改善がなされていない事務事業があることです。 (余地) P D C Aサイクルを回し経験を積むことに加え、既存事業のヒアリング等を実施し事業の必要性を見直すことで、事業成果の向上に繋がると考えます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

総合計画策定事業

町長部局 企画財政課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	02 総務費	決算書 ページ	81
施策	05 効果的 効率的な行財政運営の推進	項	01 総務管理費		
基本 事業	01 効果的 効率的な行政運営	目	06 企画費	計画 年度	開始：平成17年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

町政の基本理念であり、町の最高規範である自治基本条例に基づき、第2次愛南町総合計画(H26年度～R3年度)との継続性と整合性を、また、社会情勢の変化と複雑多様化する行政需要や新たな行政課題への的確な対応を念頭に置き、さらには、行政評価及び予算編成との体系的な連動を踏まえた第3次愛南町総合計画(R4年度～R11年度)の策定が令和4年3月に完了しました。
また、総合計画に国土強靱化地域計画及びまち・ひと・しごと創生総合戦略を一体的に策定をしました。

区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 会議等の開催回数(回)	0	1	4	
	活動 パブリックコメント実施の有無(有1/無0)	0	1	1	
	成果 計画策定進捗率(%)	0	8.1	100	
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	3,637	2,798	9,475
	カ 事業費(ア～オ合計)	3,637	2,798	9,475	

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況)愛南町総合計画の策定作業を行い、予定通り令和4年3月に策定が完了しました。 (原因)年度当初時点でスケジュールに若干の遅れは見られましたが、何とか年度内に完了することができました。 (余地)総合計画の策定が完了したためありません。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

ふるさと寄附金事業

町長部局 商工観光課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	02 総務費	決算書 ページ	81
施策	05 効果的 効率的な行財政運営の推進	項	01 総務管理費		
基本事業	99 施策の総合推進	目	06 企画費	計画 年度	開始：平成20年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

ふるさと納税の申込み受付事務を行い、年間5,000円以上のふるさと寄附金をいただいた方へ、お礼の品として愛南町の特産品を贈呈し、愛南町の魅力をPRしました。なお、事業の必要経費を除いた寄附金は「ふるさとづくり基金」に積立て、寄附者が指定した用途の事業に充当します。

(寄附実績) R02年度 16,336件 203,300,638円
R03年度 90,251件 692,500,700円

活動・成果状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	活動	お礼の特産品数 (品)	152	320
成果	成果	寄附金額 (千円)	112,881	203,300	692,500
成果	成果	寄附件数 (件)	7,147	16,336	90,251
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	370,926
		オ 一般	53,432	104,226	26,474
		カ 事業費 (ア～オ合計)	53,432	104,226	397,400

成果実績評価	成果状況	(状況) 寄附実績は、前年度と比べ約489,200千円(前年比約2.4倍)増加しました。 (原因) 返礼品の増加及び積極的なPRによるものと考えられます。 (余地) 地場産品返礼品の発掘に加え、体験型返礼品や既存返礼品のセット販売といった新規返礼品の開発や、リピーター確保のための方策、効果的なPR手法を行うことで寄附実績の向上を図ります。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	
	成果向上余地	
	大	
	中	
	小	
	なし	

[34]

内海支所維持管理事業

内海支所 内海支所

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	02 総務費	決算書 ページ	83
施策	06 公共施設マネジメントの推進	項	01 総務管理費		
基本事業	02 公共施設の維持管理	目	07 支所費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

庁舎内の各機器（消防設備、空調、エレベーター設備等）について、専門性を有する業者に保守点検業務を委託するとともに、施設機器等の修繕が必要になった場合は早急に修繕を行い、良好な環境を保ちました。

【令和3年度の主な事業】

- ・ 1階ホール吹抜け天井照明工事をを行い、来庁者の利便性を保ちました。
- ・ 1階ホール天井照明更新工事をを行い、来庁者の利便性を保ちました。

活動・成果状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	活動	修繕件数 (件)	11	17
成果	成果	内海支所の維持管理上の不具合により業務に支障をきたした件数 (件)	0	0	0
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	56	115	128
		オ 一般	32,771	12,055	13,202
		カ 事業費 (ア～オ合計)	32,827	12,170	13,330

成果実績評価	成果状況	<p>(状況)内海支所は、内海公民館との合同庁舎となっており、施設内にはエントランスホール・児童コーナー・研修室・多目的ホール等あり、コミュニティーの場としても住民に広く活用されています。そのため、職員や利用者が安全に利用できるよう適切に維持管理していますが、施設設備の老朽化に伴う修繕が多くなっています。</p> <p>(原因)経年劣化によるものが多いです。(平成6年5月竣工)</p> <p>(余地)良好な状態を維持するため、不具合が生じる前に適切な時期に必要な修繕を行います。</p>
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

御荘支所維持管理事業

御荘支所 御荘支所

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	02 総務費	決算書 ページ	85
施策	06 公共施設マネジメントの推進	項	01 総務管理費		
基本 事業	02 公共施設の維持管理	目	07 支所費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)	
<p>支所事務所及び関連周辺建物等の維持管理及び修繕をしました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設の維持管理に伴う光熱水費の支出をしました。 ・業務に係る事務用品・消耗品の管理をしました。 ・公用車および事務機械類の管理をしました。 <p>【6月】印刷機が故障し、修理が不可能なため印刷機を購入しました。(660千円)</p>	

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	活動	修繕件数 (件)	1	3
成果	成果	御荘支所の維持管理上の不具合により業務に支障をきたした件数 (件)	0	0	1
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	1,487	18,030	0
		オ 一般	6,219	1,810	2,411
		カ 事業費 (ア~オ合計)	7,706	19,840	2,411

成果 実績 評価	成果状況	(状況)基本的な事業として、御荘支所の維持管理を継続して行っています。問題の発生に対しては随時対応しています。 (原因)支所機能を維持していく必要があるため、現状を維持していく必要があります。 (余地)現状を維持していく必要があるため成果の向上の余地はあまりありません。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

一本松支所維持管理事業

一本松支所 一本松支所

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	02 総務費	決算書 ページ	85
施策	06 公共施設マネジメントの推進	項	01 総務管理費		
基本 事業	02 公共施設の維持管理	目	07 支所費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)	
<p>施設の維持管理のため、設備を含む支所庁舎及び周辺建物等の修繕・保守点検等を実施しました。</p> <p>・清掃、電気保安、消防設備保守、樹木管理、非常用発電設備保守、宿直業務等の委託を実施。</p> <p>【R3】支所庁舎の整備について、周辺公共施設との複合化等、機能や規模等のあり方について住民目線での検討を行うため、愛南町一本松支所庁舎整備検討懇話会を開催し、意見書が提出されました。</p>	

	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
活動・ 成果 状況	活動	修繕件数 (件)	9	6	8
	活動				
	成果	一本松支所の維持管理上の不具合により業務に支障をきたした件数 (件)	0	0	0
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	132	134	134
		オ 一般	9,533	8,709	5,679
		カ 事業費 (ア～オ合計)	9,665	8,843	5,813

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) 大規模な修繕もなく、順調です。 (原因) 施設の適正管理によるものです。 (余地) 今後、防災拠点施設としての支所庁舎のあり方について、各種の検討が必要な状況となっています。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

西海支所維持管理事業

西海支所 西海支所

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	02 総務費	決算書 ページ	87
施策	06 公共施設マネジメントの推進	項	01 総務管理費		
基本事業	02 公共施設の維持管理	目	07 支所費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

庁舎の維持管理のため、各種点検及び修繕工事等を実施します。

令和3年度においては、光熱水費、各種点検及び1階事務室空調機改修等、合計27,157千円を支出しました。

活動・成果状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	活動	修繕件数 (件)	9	9
成果	成果	西海支所の維持管理上の不具合により業務に支障をきたした件数 (件)	0	0	0
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	1,643	1,882	2,195
		オ 一般	13,551	14,525	24,962
		カ 事業費 (ア～オ合計)	15,194	16,407	27,157

成果実績評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) 修繕件数は前年度から3件増加しています。 (原因) 築30年を超え施設及び設備の経年劣化が要因と考えます。 (余地) 施設を良好な状態で保つため、適切な時期の修繕が必要と考えます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

交通安全対策事業

町長部局 総務課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	02 総務費	決算書 ページ	89
施策	04 暮らしの安全対策の推進	項	01 総務管理費		
基本事業	01 交通安全意識の高揚	目	08 交通安全対策費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)
町交通安全指導員等による交通安全指導を実施しました。 交通災害共済の加入申込受付、申請登録を行いました(加入申込件数2,678件)。 自転車利用者の交通死亡事故防止と交通安全意識の啓発のためヘルメット購入に係る補助 を行いました(補助件数17件)。

区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 交通安全街頭指導実施回数(回)	646	619	715	
	活動 交通災害加入者数(人)	2,975	2,790	2,678	
	成果 交通安全指導事業参加者数(人)	21	20	20	
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	281	279	228
		オ 一般	11,187	1,062	1,222
		カ 事業費(ア~オ合計)	11,468	1,341	1,450

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況)令和3年の町内での交通事故発生件数は前年を大きく下回り、交通死亡事故は発生しませんでした。一方で、高齢者による交通事故の発生件数が全体に占める割合は高い数値となっています。 (原因)警察署や交通安全推進機関等による啓発活動が成果につながったものと考えられます。 (余地)対象を明確にし継続した交通安全意識の啓発が必要です。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

交通安全推進協議会補助事業

町長部局 総務課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	02 総務費	決算書 ページ	89
施策	04 暮らしの安全対策の推進	項	01 総務管理費		
基本事業	01 交通安全意識の高揚	目	08 交通安全対策費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

愛南町交通安全推進協議会が実施する、子どもと高齢者の交通事故防止対策の推進、自転車の安全利用の推進や全ての座席のシートベルトとチャイルドシート着用の徹底の呼びかけ、交差点の交通事故防止対策の推進、夕暮れ時と夜間の交通事故防止対策の推進、飲酒運転の根絶の取り組み等を行う経費について、補助金を交付しました。

区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 補助金額 (千円)	900	900	900	
	活動				
	成果 交通安全推進協議会事業参加者数 (人)	26	8	17	
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	900	900	900
		カ 事業費 (ア~オ合計)	900	900	900

成果実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) 令和3年の町内での交通事故発生件数は前年を大きく下回り、交通死亡事故は発生しませんでした。一方で、高齢者による交通事故の発生件数が全体に占める割合は高い数値となっています。 (原因) 警察署や交通安全推進機関等による啓発活動が成果につながったものと考えられます。 (余地) 対象を明確にし継続した交通安全意識の啓発が必要です。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

南宇和交通安全協会補助事業

町長部局 総務課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	02 総務費	決算書 ページ	89
施策	04 暮らしの安全対策の推進	項	01 総務管理費		
基本 事業	01 交通安全意識の高揚	目	08 交通安全対策費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

南宇和交通安全協会に補助金を交付し、協会により次の事業が実施されました。

(1)交通安全町民総ぐるみ運動を推進し、交通安全運動期間中や交通安全の日において、のぼり旗等の設置、広報車による広報等を実施。

(2)交通安全パレード、交通茶屋等を実施し反射材等啓発グッズを配布。

(3)広報誌「みなみうわ」17,120枚、交通白書400部を作成し配布。

(4)子どもと高齢者の交通事故防止・交差点の交通事故対策の推進のため、登下校時や交通安全運動期間中及び交通安全の日に、各交通要所、交差点を中心に、子どもと高齢者の保護・誘導活動を実施。

(5)運転免許証自主返納に係る運転経歴証明書の交付申請書事務手数料の助成。

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	補助金額 (千円)		3,440	3,440
活動					
成果	南宇和交通安全協会実施事業参加者数 (人)		305	28	87
成果					
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	3,440	3,440	4,040
		カ 事業費 (ア～オ合計)	3,440	3,440	4,040

成果 実績 評価	成果状況	(状況)令和3年の町内での交通事故発生件数は前年を大きく下回り、交通死亡事故は発生しませんでした。一方で、高齢者による交通事故の発生件数が全体に占める割合は高い数値となっています。 (原因)警察署や交通安全推進機関等による啓発活動が成果につながったものと考えられます。 (余地)対象を明確にし継続した交通安全意識の啓発が必要です。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	
	成果向上余地	
	大	
	中	
	小	
	なし	

カーブミラー等整備事業

町長部局 総務課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	02 総務費	決算書 ページ	89
施策	04 暮らしの安全対策の推進	項	01 総務管理費		
基本事業	02 交通安全施設の整備	目	08 交通安全対策費	計画 年度	開始：平成17年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)
<p>地区等から要望のあった見通しの悪い交差点や屈曲部へのカーブミラーの新設、経年劣化や災害による破損や視認性の悪くなった既存カーブミラーの修繕を行いました。</p>

活動・成果状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	整備数 (新設) (基)		19	24
成果	交通安全施設の整備 改修箇所数 (総計開始時からの累計) (箇所)		194	235	275
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	3,191	2,835	2,691
		カ 事業費 (ア～オ合計)	3,191	2,835	2,691

成果実績評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	<p>(状況) 経年劣化や災害による建替え等が増加してきています。 (原因) 設置からかなりの年数が経ち、ミラー部や支柱の腐食が進んだためと思われます。 (余地) 破損する前に緊急性のあるものや需要の高いものから建替え等を行う必要があります。</p>
	成果向上余地 大 中 小 なし	

交通安全施設整備事業

町長部局 建設課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	02 総務費	決算書 ページ	89
施策	04 暮らしの安全対策の推進	項	01 総務管理費		
基本事業	02 交通安全施設の整備	目	08 交通安全対策費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

町道等の安全・安心かつ円滑な交通確保のため、地区要望等により整備箇所を把握し、維持管理及び修繕を行います。

令和3年度の事業については、次のとおり実施しました。

- ・令和2年度繰越分 4件
- ・令和3年度分 3件

区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 交通安全施設設置数(単年度)(件)	8	8	7	
	活動				
	成果 交通安全施設設置数(総計開始時からの累計)(件)	47	55	62	
	成果 交通安全施設維持管理不具合が原因の交通事故件数(損害賠償件数)(件)	0	0	0	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	6,514	5,596	3,089
		カ 事業費(ア~オ合計)	6,514	5,596	3,089

成果実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況)地区要望等により通行に危険のある箇所を把握し、計画的に工事を行っているため現状を維持しています。 (原因)経年劣化によるものと考えられます。 (余地)関係各課及び地域と連携することで、通行に危険のある箇所が把握でき、必要に応じ新たに交通安全対策を講ずることができると考えます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

防犯灯設置等補助事業

町長部局 総務課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	02 総務費	決算書 ページ	91
施策	04 暮らしの安全対策の推進	項	01 総務管理費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度
基本 事業	03 防犯対策の推進	目	09 防犯対策費		

手段 (R03年度の取り組み)

地区が行う防犯灯の設置及び修繕事業に対し、補助申請の受理、交付決定、完了届の受理、完了確認を行い、補助金を支出しました。

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動		補助件数 (件)	170	179
活動		補助金額 (円)	3,445,600	3,663,500	4,889,200
成果		地区が設置した防犯灯設置基数 (累計) (件)	1,077	1,256	1,490
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	3,446	3,664	4,889
		カ 事業費 (ア～オ合計)	3,446	3,664	4,889

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) 修繕件数はここ数年増加傾向にあり、令和3年度は特に多い数値となっています。 (原因) 経年劣化による修繕に加え、LED照明への更新が増加しているためです。 (余地) LED照明への更新により、長寿命化と電気代の節減が図れます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

防犯関係団体各種補助事業

町長部局 総務課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	02 総務費	決算書 ページ	91
施策	04 暮らしの安全対策の推進	項	01 総務管理費		
基本事業	03 防犯対策の推進	目	09 防犯対策費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

愛南地区防犯協会及び愛南警察署駐在所連絡協議会に補助金を交付し、両会により次の事業が実施されました。

- (1)住民と一体となった防犯活動の推進のため、防犯の日や各種地域安全運動等で犯罪防止の呼びかけを行うとともに、愛南地区青パト子ども見守り隊出発式を実施。
- (2)犯罪抑止対策活動の推進として、ポスターや懸垂幕の掲示、町内のスーパーマーケットの入口において啓発物資を配布し、犯罪被害防止広報活動を実施。
- (3)少年の非行防止と健全育成活動の推進のため、通学時における生徒の見守り活動の実施、犯罪被害防止のための不審者対応防犯教室の開催。
- (4)振り込め詐欺等身近な知能犯罪の被害防止活動の推進のため、声かけ訓練や講話を実施。

活動・成果状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	補助金額 (円)		5,350,000	5,350,000
活動					
成果	防犯関係団体の実施事業数 (件)		2	2	2
成果	防犯カメラの設置数 (台)		8	7	5
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	5,350	5,350	5,350
		カ 事業費 (ア～オ合計)	5,350	5,350	5,350

成果実績評価	成果状況	(状況)殺人、強盗は認知・検挙されていません。 (原因)防犯協会等が行う啓発活動などが成果を上げているためと思われます。 (余地)現状の活動が適切です。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	
	成果向上余地	
	大	
	中	
	小	
	なし	

自主防災組織活動支援事業

消防部局 防災対策課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	02 総務費	決算書 ページ	91
施策	02 防災・減災対策の推進	項	01 総務管理費		
基本 事業	01 自主防災体制の確立	目	10 防災対策費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

自主防災組織の育成、防災訓練の指導及び防災活動のための各種防災資機材を整備しています。

- ・自主防災リーダー育成研修会等を開催します。
- ・地震津波避難訓練、救出・救護訓練、消火訓練、放水訓練、防災講習会等を実施します。
- ・防災資機材格納庫の整備は、地区からの要望があれば、補正予算で対応します。

自主防災会の訓練では、一時避難場所でのテント設営訓練や災害図上訓練(DIG)等を実施しました。
また、自主防災組織活性化支援事業費補助金を活用して、2団体が訓練を実施しました。

活動・ 成果状 況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動		防災訓練の実施回数(回)	24	33
活動		防災資機材格納庫の設置数(基)	0	0	0
成果		自主防災組織活動への参加者数(人)	1,413	1,096	818
成果					
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	304	259
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	306	501	430
		カ 事業費(ア~オ合計)	306	805	689

成果実 績評 価	成果状況	(状況)自主防災組織活動への参加者数が減少しています。 (原因)コロナウイルス感染拡大防止の観点から訓練の規模縮小や中止などにより、参加人数が減少したと考えます。 (余地)全ての自主防災会での訓練等の活動ができていないため、今後も自主防災会長等と協力し、ほうさい出前講座等を通じて、町民の防災意識の向上や防災訓練の必要性を周知していくことで、成果が向上し地域の防災力が強化されます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	
	成果向上余地	
	大	
	中	
	小	
	なし	

防災士養成事業

消防部局 防災対策課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	02 総務費	決算書 ページ	91
施策	02 防災・減災対策の推進	項	01 総務管理費		
基本 事業	01 自主防災体制の確立	目	10 防災対策費	計画 年度	開始：平成23年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

防災士養成講座を受講するための経費を負担します。

- ・ 自主防災組織等から推薦された受講者に対し、旅費、教本代、手数料を支出しました。
- ・ 令和3年度は、22人が新たに防災士として認定されました。
- ・ 防災士数は257人（うち女性59人 割合22.96%）
- ・ 防災士がいる自主防災組織の割合89.15%（77/86組織）

【ふるさとづくり基金充当 1,000千円】

	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
活動・ 成果 状況	活動	防災士養成人数(人)	8	30	22
	活動				
	成果	防災士のいない自主防災組織数(団体)	12	9	9
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	1,000
		オ 一般	134	564	316
		カ 事業費(ア～オ合計)	134	564	1,316

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	<p>(状況) 防災士のいない自主防災組織数に変化はありませんでした。 (原因) 防災士がいない自主防災組織から受講を推薦してもらいましたが、試験が不合格だったため、組織数に変化はありませんでした。 (余地) 今後も防災士のいない自主防災組織に受講者の推薦をもらい防災士を増やしていく必要があります。</p>
	成果向上余地 大 中 小 なし	

津波一時避難場所防災倉庫等整備事業

消防部局 防災対策課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	02 総務費	決算書 ページ	91
施策	02 防災・減災対策の推進	項	01 総務管理費		
基本 事業	01 自主防災体制の確立	目	10 防災対策費	計画 年度	開始：平成25年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

津波からの避難の際、津波警報等が解除されるまでの間、津波一時避難場所での滞在が予想されるため、自主防災組織の避難活動支援及び避難者の生活支援を目的に防災倉庫を設置します。

・現在の設置基数111基

・地区要望のありました防災倉庫3基分（古月1基、福浦2基）の設置及び須ノ川地区の津波一時避難場所の舗装整備に原材料費として、コンクリート代を支給しました。

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動		防災倉庫設置数(基)	108	108
活動					
成果		防災倉庫設置割合(%)	72	72	74
成果					
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	338	206	1,854
		カ 事業費(ア～オ合計)	338	206	1,854

成果実績 評価	成果状況	(状況) 防災倉庫設置割合が増加しました。 (原因) 防災倉庫を3基設置したことによるものです。 (余地) 今後も、未設置地区の自主防災会を通じて、防災倉庫の意味等を説明する 必要があります。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	
	成果向上余地	
	大	
	中	
	小	
	なし	

防災教育推進事業

消防部局 防災対策課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	02 総務費	決算書 ページ	91
施策	02 防災・減災対策の推進	項	01 総務管理費		
基本 事業	02 継続的・普遍的な防災教育・学習の推進	目	10 防災対策費	計画 年度	開始：平成20年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

愛南町・愛南町教育委員会・国立大学法人愛媛大学防災情報研究センター及び国土交通省四国地方整備局大洲河川国道事務所の四者協定に基づき防災教育を推進します。

- ・愛南町防災教育連携協力協議会並びに協議会の目的を具現化するための愛南町防災教育推進懇談会は、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ書面にて開催しました。
- ・防災教育研究指定校の御荘中学校に対して、防災教育活動費65万円を交付し、防災学習の推進を図りました。
- ・町内小中学生を対象に四国防災八十八話及び愛南町の災害体験談感想文コンクールを実施しました。
- ・地震体験車を活用した防災学習会を小学校8校、中学校4校で実施しました。

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動		(協議会)懇談会開催回数(回)	1	1
活動		補助金額(円)	500,000	650,000	650,000
成果		防災教育事業計画(実施)案件数(件)	4	4	4
成果		防災意識が向上したと感じた児童・生徒の割合(%)	93	96	95
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	803	875	788
		カ 事業費(ア～オ合計)	803	875	788

成果 実績 評価	成果状況	<p>(状況)防災教育事業は計画どおり実施することができ、防災意識が向上したと感じた児童生徒の割合は95%であり、昨年度までと同様、児童生徒の防災意識は高い状況です。</p> <p>(原因)防災教育連携協力協議会により、各機関が実施する事業が承認され、適切な事業運営が図られています。</p> <p>(余地)現在行っている事業に工夫を加えることで、成果を向上させることができます。</p>
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

民間建築物耐震診断 改修補助事業

消防部局 防災対策課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	02 総務費	決算書 ページ	91
施策	02 防災 減災対策の推進	項	01 総務管理費		
基本 事業	03 耐震化の促進	目	10 防災対策費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

耐震診断については、住宅の所有者が建築士に依頼し耐震診断を行う補助方式または町が業務委託を行う愛媛県建築士会から派遣された建築士が耐震診断を行う派遣方式により実施します。補助方式については耐震診断費用の3分の2かつ上限2万円を補助します。診断結果により住宅を改修する場合は、次の補助を行います。

- ・耐震改修設計 費用の3分の2かつ上限20万円（段階的耐震改修設計も同様）
- ・耐震改修工事監理 費用の3分の2 上限4万円（段階的耐震改修工事監理も同様）
- ・耐震改修工事 補助対象経費以内の額で上限120万円
- ・段階的耐震改修工事 補助対象経費以内の額で上限50万円
- ・耐震シェルター設置工事 補助対象経費以内の額で上限40万円

ブロック塀安全対策工事について、工事費用の3分の2かつ上限30万円を補助します。令和3年度は、派遣診断5件、改修設計2件、改修工事及び監理2件、ブロック塀等安全対策工事1件の補助事業の活用がありました。

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	啓発人数(戸別訪問件数 + 講座受講人数)(単年度) (人)		196	153
活動					
成果	補助により耐震化された民間建築物数(累計) (戸)		4	11	14
成果	耐震診断申請件数(単年度) (件)		4	5	5
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	1,451	1,276	1,177
		イ 県	503	634	585
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	1	0	0
		オ 一般	948	1,083	1,473
	カ 事業費(ア～オ合計)		2,903	2,993	3,235

成果実績 評価	成果状況	<p>(状況)耐震診断の申請件数は5件あり、改修設計を1件、改修工事を1件行いました。ブロック塀安全対策事業を6件行いました。</p> <p>(原因)耐震診断の申請数は少ない状況です。改修工事については、補助制度の周知によるものと思われます。</p> <p>(余地)制度周知により、申請件数の増加につながる可能性があります。</p>
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

防災情報通信設備維持管理事業

消防部局 防災対策課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	02 総務費	決算書 ページ	93
施策	02 防災・減災対策の推進	項	01 総務管理費		
基本事業	04 防災情報通信網の維持管理	目	10 防災対策費	計画 年度	開始：平成17年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

災害時での多様な通信手段を確保するため、災害時でもつながりやすい衛星携帯電話を防災拠点となる本庁・支所(5台)、孤立する可能性がある地区等(31台)、防災対策課(2台)計38台を配備し、毎月の通信試験による操作・通信訓練、機器の維持管理を行います。災害等の緊急情報を防災行政無線、音声告知端末を通じて住民へ伝達する全国瞬時警報システムの維持管理を行います。
愛媛県防災通信システム(地上系、衛星系)に係る維持管理負担金及び回線通信料の支払いをします。

衛星携帯電話による毎月の通信試験、全国瞬時警報システムの維持管理及び年6回の情報伝達訓練も不具合なく行いました。愛媛県防災通信システムの維持管理負担金及び回線通信料を支出しました。

活動・成果状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	活動	衛星携帯電話通信試験実施回数 + 全国瞬時警報システム保守点検回数 + 愛媛県防災通信システム点検回数(回)	14	15
成果	成果	維持管理上の不具合により災害時に通信できなかった件数(件)	0	0	0
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	900	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	2,775	3,853	3,767
		カ 事業費(ア~オ合計)	2,775	4,753	3,767

成果実績評価	成果状況	(状況) 全国瞬時警報システム、衛星携帯電話、愛媛県防災通信システムにおいて適切な維持管理を行っています。 (原因) 全国瞬時警報システムは委託業者による2回の保守点検、衛星携帯電話は毎月通信試験を行ったこと、愛媛県防災通信システムの適切な維持管理に因ります。 (余地) 継続的な管理を行い、不具合の発生を抑えます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

防災行政無線管理運営事業

町長部局 総務課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	02 総務費	決算書 ページ	93
施策	02 防災・減災対策の推進	項	01 総務管理費		
基本 事業	04 防災情報通信網の維持管理	目	10 防災対策費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

町防災行政無線の親局等無線局の点検や保守を委託し、維持管理を行いました。
町防災行政無線設備に係る電気料、電波使用料等を支払いました。
放送が流れていない等の申し出に対応しました。
放送が聞き取りにくい地域への対応として、スピーカー延伸工事を1件実施しました。

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	活動	修繕件数 (件)	1	3
成果	成果	不具合等の申出件数 (件)	6	3	10
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	2,600	10,999	18,597
		カ 事業費 (ア～オ合計)	2,600	10,999	18,597

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) 機器の故障による修繕が増加しています。 (原因) 平成29年度に防災行政無線設備を更改し、機器更新から時間が経過したためです。 (余地) 緊急時に放送設備が機能しないことがないように、適切な維持管理が必要です。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

災害時備蓄物資整備事業

消防部局 防災対策課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	02 総務費	決算書 ページ	93
施策	02 防災・減災対策の推進	項	01 総務管理費		
基本事業	05 災害時支援体制の確立	目	10 防災対策費	計画 年度	開始：平成18年度 終了：令和03年度

手段 (R03年度の取り組み)	
大規模な災害時における避難生活を早期に安定させることを目的に災害発生当初に必要な毛布等を備蓄します。 ・愛南町緊急物資備蓄五箇年計画（令和2年度から令和6年度）に基づいて物資を購入しました。	
毛布	600枚
携帯ブランケット	900枚（毛布代替品）
乳児用おむつ（S.M.L）	492枚（9袋）
大人用おむつ（S.M.L）	234枚（12袋）
非常用排便収納袋（100回分）	30箱
生理用品	120袋
使い捨て哺乳瓶（5個入）	46組
【ふるさとづくり基金充当 2,732千円】	

活動・成果状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	活動	備蓄物資の購入数（枚）	1,500	1,500
成果	成果	災害時の物資の充足割合（備蓄数/目標数）（%）	62.0	81.1	87.6
事業費 （千円）	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	2,732
		オ 一般	2,500	2,484	30
		カ 事業費（ア～オ合計）	2,500	2,484	2,762

成果実績評価	成果状況	（状況）愛南町備蓄五箇年計画に基づき、物資を購入、整備し、順調に成果向上しています。令和3年度は新五箇年計画の2年目になります。 （原因）愛南町備蓄五箇年計画により、その年度に購入する備蓄物資とその数量を定めているため、計画的に整備できています。 （余地）令和6年度まで愛南町備蓄五箇年計画に基づいて物資を購入することで、目標値の物資を確実に備蓄することができます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

災害時備蓄食糧整備事業

消防部局 防災対策課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	02 総務費	決算書 ページ	93
施策	02 防災・減災対策の推進	項	01 総務管理費	計画 年度	
基本 事業	05 災害時支援体制の確立	目	10 防災対策費		開始：平成18年度 終了：令和03年度

手段 (R03年度の取り組み)

大規模な災害発生時におけるライフライン等の寸断による食糧や水不足の安定供給を目的に食糧等を備蓄します。

- ・愛南町備蓄五箇年計画（令和2年度から令和6年度）に基づいて購入しました。
 アルファ米 1,300食 / 乾パン 1,320缶 / 保存パン 1,320缶
 保存水（1.5L） 1,280本 / 缶詰 2,160缶 / 粉ミルク（800g） 24缶
 液体ミルク 216缶
- 災害対応職員用備蓄食糧については、5年計画で購入しました。（4年目）
 アルファ米 500食 / ライスクッキー 240食 / 保存水（500ml） 720本

【ふるさとづくり基金充当 2,621千円】

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動		備蓄食糧の購入数（食）	4,452	3,940
活動					
成果		災害時の食糧の充足割合（備蓄数/目標数）（%）	115.7	20.6	41.1
成果					
事業費 （千円）	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	2,621
		オ 一般	2,581	2,551	31
		カ 事業費（ア～オ合計）	2,581	2,551	2,652

成果 実績 評価	成果状況	（状況）愛南町備蓄五箇年計画に基づき、備蓄食糧を購入、整備し、順調に成果は向上しています。令和3年度は新五箇年計画の2年目になります。 （原因）愛南町備蓄五箇年計画により、その年度に購入する備蓄食糧とその数量を定めているため、計画的に整備できています。 （余地）令和6年度まで愛南町備蓄五箇年計画に基づいて食糧を購入することで、目標値の食糧を確実に備蓄することができます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

緊急避難道整備事業

町長部局 建設課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	02 総務費	決算書 ページ	93
施策	02 防災・減災対策の推進	項	01 総務管理費		
基本事業	06 防災・減災ハート対策の推進	目	10 防災対策費	計画 年度	開始：平成24年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

大地震による津波から沿岸部住民の生命を守るため、地区要望等により整備箇所を把握し、避難場所への避難道の整備（路面舗装及び手摺の設置等）を行います。

令和3年度の事業については、次のとおり実施しました。

- ・令和2年度繰越分 1件
- ・令和3年度分 4件

	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
活動・ 成果 状況	活動	高台等への避難路の整備延長(単年度)(m)	247	99	189
	活動				
	成果	高台等への避難路の整備延長(総計開始時からの累計)(m)	1,011	1,110	1,299
	成果	高台への避難路整備全体計画進捗率(%)	100	100	100
事業費 (千円)	財源内訳				
		ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	5,734	5,028	3,691
	カ 事業費(ア～オ合計)		5,734	5,028	3,691

成果実績 評価	成果状況	(状況) 地区要望により一時避難場所への避難路の整備を実施しています。 (原因) 南海トラフ地震の発生で大津波が予想されており、地域住民の避難路整備 が必要です。 (余地) 防災対策課及び地域との連携を強化することで、効果的に避難路の整備を 図ることができると考えます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

地域防災計画改定事業

消防部局 防災対策課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	02 総務費	決算書 ページ	93
施策	02 防災・減災対策の推進	項	01 総務管理費		
基本事業	99 施策の総合推進	目	10 防災対策費	計画 年度	開始：平成17年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

災害対策基本法第42条の規定に基づき愛南町防災会議を開催し、国の防災基本計画や愛媛県地域防災計画との整合性を図りつつ、大規模災害への防災対策をより一層充実、強化するため、愛南町地域防災計画の改定を行います。

愛南町地域防災計画（各対策編、資料編）の改定を行いました。

区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 防災会議(改定会議)の開催数(回)	2		2	
	活動 パブリックコメント実施の回数(回)	1		1	
	成果 計画改定進捗率(%)	100		100	
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	3,785	0	2,888
	カ 事業費(ア~オ合計)	3,785	0	2,888	

成果実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況)愛南町地域防災計画の必要な改定を行いました。 (原因)前回改定からの法改正や国・県の各種計画の変更等を踏まえて見直しを行いました。 (余地)今後も、法改正や国・県の各種計画の変更等により、随時見直しをしていきます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

ハザードマップ作成事業

消防部局 防災対策課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	02 総務費	決算書 ページ	93
施策	02 防災・減災対策の推進	項	01 総務管理費	計画 年度	
基本 事業	99 施策の総合推進	目	10 防災対策費		

手段 (R03年度の取り組み)
<p>南海トラフ地震による津波浸水想定区域や土砂災害（特別）警戒区域等の災害リスク、住民の災害時の避難行動に資する指定緊急避難場所・指定避難所等の防災情報について、住民に分かりやすく提供し、防災意識の向上を図り、被害の軽減を図ることをめざし、各種ハザードマップの作成、改定を行います。</p> <p>総合防災マップの改定を行いました。各世帯へは冊子版を配布し、併せて町のホームページにも掲載し広く周知しました。</p>

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	事業進捗率 (%)		100	
活動					
成果	ハザードマップ配布数 (部)		10,500		9,000
成果					
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	1,625	0	3,000
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	2,104	0	3,089
		カ 事業費 (ア～オ合計)	3,729	0	6,089

成果実績 評価	成果状況	<p>(状況) 総合防災マップを改訂し、住民等に周知しました。</p> <p>(原因) 計画どおりに事業を実施することができ、防災マップは各世帯、学校等の施設に配布し、さらに、本庁や公民館等の窓口にも設置しました。</p> <p>(余地) 防災学習会等で活用し、住民一人ひとりの防災意識の向上を図っていきます。</p>
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

1070)

B & G財団災害時相互支援体制整備助成事業

消防部局 防災対策課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	02 総務費	決算書 ページ	93
施策	02 防災・減災対策の推進	項	01 総務管理費	計画 年度	開始：令和03年度 終了：令和05年度
基本 事業	99 施策の総合推進	目	10 防災対策費		

手段 (R03年度の取り組み)

B & G財団助成による、防災対応資機材の整備と、自治体や消防と連携した支援事業を推進するためのもので、防災資機材の整備・人材育成・災害時相互支援体制の構築を行います。

令和3年度は、防災倉庫の設置、油圧ショベル、スライドダンプ、救助艇、フォークリフト、移動かまど、簡易トイレ、トイレ付属品、トイレ用上屋の資機材整備を行いました。また、小型車両系建設機械特別教育を4回開催し、職員40人がバックホウの免許を取得しました。

区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 資格講習実施回数(回)			4	
	活動 資機材整備進捗率(%)			100	
	成果 資格取得者数(人)			40	
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	19,899
		オ 一般	0	0	58
	カ 事業費(ア～オ合計)	0	0	19,957	

成果実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) 防災資機材の整備は進捗率100%、人材育成については職員40人がバックホウの免許を取得しました。 (原因) B & G財団と連絡、調整をしながら各事業を進めることができました。 (余地) 継続的に研修会や資格取得の支援を行うことで、整備した各種機材を活用することのできる人材を確保することができます
	成果向上余地 大 中 小 なし	

地域コミュニティ活性化対策事業

町長部局 建設課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	02 総務費	決算書 ページ	95
施策	01 協働によるまちづくりの推進	項	01 総務管理費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度
基本 事業	01 地域コミュニティ活動の支援	目	12 地域活性化対策費		

手段 (R03年度の取り組み)

愛南町集会施設条例に基づき、管理委託先である地区から修繕、増改築及び新築の要望があれば現場確認のうえ実施します。
また、地区が集会所の活動に必要な備品の購入に対し、予算の範囲内で補助金を交付しています。

令和3年度の事業については、修繕13件、維持補修2件及び備品補助11件を実施しました。

	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
活動・ 成果 状況	活動	集会所の修繕及び備品整備補助件数(件)	15	31	24
	活動	集会所の改修件数(件)	8	5	0
	成果	機能改善した箇所数(箇所)	23	36	24
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	20,200	0	0
		エ その他	3,279	576	229
		オ 一般	19,651	10,374	2,300
	カ 事業費(ア~オ合計)		43,130	10,950	2,529

成果実績 評価	成果状況	(状況)機能改善箇所数が前年度から33.3%減少していますが、これは前年度の改善箇所が例年より多いことによるもので例年どおりの機能改善を実施しています。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	(原因)前年度までに要望のあった集会所の機能改善を実施したため令和3年度の事業費は77.8%削減しましたが、地区からの要望に全て対処できました。
	成果向上余地 大 中 小 なし	(余地)耐用年数が経過した施設が半数以上占め、修繕と改修件数は増加傾向にあります。今後、経年劣化が顕著な施設は耐震性が懸念されることから建替えとともに、町財政負担に配慮し統廃合が望ましいと考えます。

コミュニティ助成事業

町長部局 総務課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	02 総務費	決算書 ページ	95
施策	01 協働によるまちづくりの推進	項	01 総務管理費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度
基本 事業	01 地域コミュニティ活動の支援	目	12 地域活性化対策費		

手段 (R03年度の取り組み)

地域コミュニティ組織(行政区等)の活性化を支援するため、コミュニティ活動に必要な備品購入に対し、申請内容に応じて費用を助成しました。

1. 一般コミュニティ助成事業

1件あたり2,500千円を上限に自治総合センターが決定した団体に対して交付しました。

2. 町単独コミュニティ助成事業

1件あたり1,000千円を上限に審査会で意見を聞き決定した団体へ交付しました。

【令和3年度実績】

1. 一般コミュニティ助成事業は、清水区を採択し2,300千円の助成しました。

2. 町単独コミュニティ助成事業は、6月に審査会を開き5件に助成するように決定しました。助成金総額は1,600千円です。

	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
活動・ 成果 状況	活動	一般コミュニティ助成金額(円)	2,500,000	4,200,000	2,300,000
	活動	町単コミュニティ助成金額(円)	7,580,000	5,840,000	1,600,000
	成果	一般コミュニティ助成件数(件)	1	2	1
	成果	町単コミュニティ助成件数(件)	11	8	5
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	10,080	10,040	3,900
		オ 一般	0	0	0
	カ 事業費(ア~オ合計)	10,080	10,040	3,900	

成果 実績 評価	成果状況	(状況)一般については、1件の助成申請を行い、1件採択されました。町単独については、5団体へ助成金を交付し、1件に助成する金額が少なかったため成果は低下・悪化しました。 (原因)町単独について、2年間秋祭りがコロナの影響で中止になった。そのため秋祭りで使用する用具の新規購入や修繕をしなくてもよかったため。 (余地)一般の採択は、(一財)自治総合センターが行うため、向上の余地はありません。町単独は、コロナウイルスの関係で中止となっている伝統行事が今後再開することで、申請希望が増えることが予想されます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

情報電算システム等整備改修事業

町長部局 総務課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	02 総務費	決算書 ページ	95
施策	05 効果的 効率的な行財政運営の推進	項	01 総務管理費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度
基本 事業	04 地域情報化の推進	目	14 電算管理費		

手段 (R03年度の取り組み)

社会保障・税番号制度対応をはじめ、各種法制度改正等に対応するためのシステム改修やシステムの更新・整備を行いました。
令和3年度は、社会保障・税番号制度対応(データ標準レイアウト改版)に伴うシステム改修(対象事務：健康管理)を行いました。

【12月補正】

法改正に伴う健康管理システム改修に係る委託料を増額計上(2,222千円)しました。

【3月補正】

法改正に伴う住民記録システム改修に係る委託料を増額計上(2,354千円)しました。

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動		新規業務システム整備件数 (件)	0	0
活動		既存業務システム改修件数 (件)	8	11	13
成果		改修されず不具合・利便性が悪い業務システム数 (件)	0	0	0
成果					
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	794	1,717	2,159
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	12,596	879	940
		カ 事業費(ア～オ合計)	13,390	2,596	3,099

成果 実績 評価	成果状況	(状況)国が示すスケジュールに遅れることなくシステム改修を行うことができました。 (原因)システム保守ベンダーや業務システム担当者、近隣市町と連携を図ったことが要因と考えられます。 (余地)国の制度設計・仕様提示等の遅れもあり、短期間での対応を余儀なくされている状況であり、今後も国の動向に注意する必要があります。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	
	成果向上余地	
	大	
	中	
	小	
	なし	

情報電算システム等運用管理事務

町長部局 総務課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	02 総務費	決算書 ページ	95
施策	05 効果的 効率的な行財政運営の推進	項	01 総務管理費		
基本事業	04 地域情報化の推進	目	14 電算管理費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

行政事務の情報化により行政サービスの高度化、効率化、経費削減等を推進しました。各種業務システム及び各種情報機器の維持管理や効率的な運用を図り、正確で安定した住民サービス基盤を提供しました。

不正アクセス、ウィルス感染、盗難などによる情報資産の漏えい、破壊、改ざん、消去などの脅威から、行政サービスの基盤となる情報資産を守るため、情報セキュリティ対策を実施しました。

令和3年度は、平成25年度に整備したインターネット系サーバ機器等の保守期限を迎えることから、サーバ機器等を更改しました。

【12月補正】
入札減により諸手数料を減額計上(1,030千円)しました。

【3月補正】
入札減により委託料等を減額計上(1,272千円)しました。

区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 修繕 改修件数 (件)	35	40	44	
	活動 システムの稼働日数 (日)	365	365	365	
	成果 システム障害件数 (件)	5	2	0	
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	1,000	0	1,000
		オ 一般	132,155	127,695	140,116
	カ 事業費 (ア~オ合計)	133,155	127,695	141,116	

成果実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) システム障害件数は0件となっています。 (原因) システムの保守管理が適正にできていたため。 (余地) 今後、保守期限を迎える機器もあることから、計画的に機器更新を実施し、また、システムのバージョンアップ、設定手順の確認等、運用管理体制を強化し、システムの安定稼働に努めるとともに、機器の集約化等により運用コスト削減を図る必要があります。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

コミュニティバス運営事業

町長部局 総務課

政策	02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり	款	02 総務費	決算書 ページ	97
施策	04 公共交通の確保	項	01 総務管理費	計画 年度	開始：平成18年度 終了：令和 年度
基本 事業	01 町による生活交通の確保	目	15 地域交通対策費		

手段 (R03年度の取り組み)
<p>コミュニティバス運行業務を委託し、6路線を運行しました。 定期検査をはじめ車両の適正管理を行いました。 令和4年度から運行を開始した3路線の調整及び車両購入を行いました。</p>

	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
活動・ 成果 状況	活動	運行回数(回)	7,809	7,734	7,578
	活動				
	成果	コミュニティバス年間利用者数(人)	44,499	36,725	32,830
	成果	コミュニティバス運行上の事故・トラブル件数(件)	0	0	0
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	583
		イ 県	5,902	1,926	1,961
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	4,259	3,357	2,956
		オ 一般	41,593	38,917	56,412
		カ 事業費(ア～オ合計)	51,754	44,200	61,912

成果 実績 評価	成果状況	<p>(状況)令和3年度は6路線を運行しましたが、1路線当たりの利用者は年々減少しています。 (原因)自家用車の保有率が高く公共交通への利用意識が低く、また、人口減少により潜在的な利用者も減少しています。新型コロナウイルス感染拡大の影響も大きいと考えられます。 (余地)既存の公共交通の利用者数を増加させることは困難ですが、利用状況に応じた時刻表の改定、利用しやすい環境づくりにより利便性の向上を図り、路線の維持を図ります。</p>
	<p>向上 維持・横ばい 低下・悪化</p> <p>成果向上余地 大 中 小 なし</p>	

生活バス路線維持対策事業

町長部局 総務課

政策	02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり	款	02 総務費	決算書 ページ	97
施策	04 公共交通の確保	項	01 総務管理費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度
基本 事業	01 町による生活交通の確保	目	15 地域交通対策費		

手段 (R03年度の取り組み)
生活バス路線維持のため、乗合バス事業者に補助金を支出しました。

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動		補助対象路線数 (路線)	5	5
活動					
成果		民間バス年間利用者数 (人)	249,954	209,447	185,288
成果					
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	51,954	54,044	63,040
		カ 事業費 (ア～オ合計)	51,954	54,044	63,040

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) 利用者は年々減少傾向にあります。 (原因) 自家用車の保有率が高く公共交通への利用意識が低い状況です。また、人口減少により潜在的な利用者も減少しています。新型コロナウイルス感染拡大の影響も大きいと考えられます。 (余地) 既存の公共交通の利用者数を増加させることは困難ですが、利用状況に応じた時刻表の改定、利用しやすい環境づくりにより利便性の向上を図り、路線の維持を図ります。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

875]

地域情報通信基盤整備事業

町長部局 総務課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	02 総務費	決算書 ページ	97
施策	05 効果的 効率的な行財政運営の推進	項	01 総務管理費		
基本 事業	04 地域情報化の推進	目	23 地域情報通信基盤整備事業費	計画 年度	開始：平成22年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

工事申込みによる一般世帯及び事業所等への機器等設備設置工事、及び死亡や転出等により不要となった機器等設備の撤去工事等を実施しました。

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	活動	工事件数 (件)	92	117
成果	成果	光ファイバー利用世帯割合 (%)	91.4	91.1	91.4
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	1,230	1,141	1,213
		オ 一般	14,290	18,113	17,582
		カ 事業費 (ア～オ合計)	15,520	19,254	18,795

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) 昨年度に比べ光ファイバー利用世帯割合が若干増加しました。 (原因) 死亡や転出等によるサービス解約が少なかったことなどが増加した要因と考えられます。 (余地) 引き続き工事申込受付を実施することで向上の余地はあると思われます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

地域情報通信基盤設備管理事業

町長部局 総務課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	02 総務費	決算書 ページ	99
施策	05 効果的 効率的な行財政運営の推進	項	01 総務管理費		
基本 事業	04 地域情報化の推進	目	23 地域情報通信基盤整備事業費	計画 年度	開始：平成22年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)	
<p>安定した「告知サービス」「電話サービス」「インターネットサービス」「CATVサービス」が提供できるよう適正な情報通信基盤設備の運用・維持管理を実施しました。</p>	

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動		設備故障対応件数 (件)	814	912
活動					
成果		設備等の平均不具合期間 (日)	0	0	0
成果					
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	94,750	95,138	83,384
		オ 一般	58,823	55,468	63,170
		カ 事業費 (ア～オ合計)	153,573	150,606	146,554

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	<p>(状況) 設備等の不具合発生時にも迅速に対応できています。 (原因) 故障・不具合発生時に通信専門業者との保守・連携体制が構築・確立されています。 (余地) 今後も保守体制を継続することにより、安定したサービスの提供に努めます。</p>
	成果向上余地 大 中 小 なし	

住民税賦課収納事務

町長部局 税務課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	02 総務費	決算書 ページ	101
施策	05 効果的 効率的な行財政運営の推進	項	02 徴税费		
基本 事業	03 健全な財政運営	目	02 賦課徴収費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

・申告書等の課税資料を基に、住民税の賦課徴収事務を行いました。
 (5月・7月・10月)未申告者への呼出しを行いました。
 (5月中旬)特別徴収税額決定通知書を発送しました。以後、随時更正処理を行いました。
 (6月中旬)普通徴収納税通知書(第1期)を発送しました。以後、随時更正処理を行いました。
 (8月・10月・1月)期別納付書(第2期~第4期)を発送しました。
 (1月~2月上旬)給与支払報告書を收受し、システム入力を行いました。
 (2月~3月)住民税の申告受付を行いました。
 (毎月)納期到来未納者へ督促状を発送しました。

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動		納税通知書発送数(件)	4,445	4,368
活動		未納者への督促状発送数(件)	795	611	562
成果		行政に責のある住民税課税誤り件数(件)	0	0	0
成果		個人住民税収納率(現年度)(%)	99.50	99.64	99.64
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	6,975	10,539	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	0	0	7,228
	カ 事業費(ア~オ合計)	6,975	10,539	7,228	

成果 実績 評価	成果状況	(状況)課税誤りの件数は、ここ数年0件で、個人住民税の収納率(現年度)は、 昨年度と同様の99.64%となっており、成果としては順調でした。 (原因)課税誤り件数0件維持の要因としては、事務処理チェックの強化や税務署 との連携・情報共有等が挙げられます。また、収納率の上昇については滞納処分を 含めた徴収強化の実施が考えられます。 (余地)引き続き滞納処分を含めた収納対策等の実施や納税者の利便性の向上を図 ることで、向上の余地はあると考えられます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

[100]

固定資産税賦課収納事務

町長部局 税務課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	02 総務費	決算書 ページ	101
施策	05 効果的 効率的な行財政運営の推進	項	02 徴税費		
基本 事業	03 健全な財政運営	目	02 賦課徴収費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

・法務局からの登記異動通知書を收受し、異動処理を行いました。
 ・土地、家屋の現況調査及び新增築家屋の調査を行いました。
 ・賦課期日における土地所有者及び地目等を地籍情報システムに反映させる異動更新業務を行いました。
 ・償却資産の所有者に申告書を送付し、それを受領の上、課税客体を把握しました。
 以上の作業による算定基礎資料をもとに税額を決定し、納税通知書及び納付書を送付しました。また、未納者に対し、督促状を送付しました。
 ・国有資産等所在市町村交付金法に規定する国及び地方公共団体が所有する固定資産に係る交付金を請求し、収納しました。

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動		納税通知書発送数 (件)	10,876	10,788
活動		未納者への督促状発送数 (件)	2,847	2,499	2,253
成果		行政に責のある固定資産税課税誤り件数 (件)	4	3	1
成果		固定資産税収納率 (現年度) (%)	98.68	98.66	98.74
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	19,403	5,576	5,898
		カ 事業費 (ア～オ合計)	19,403	5,576	5,898

成果 実績 評価	成果状況	(状況) 収納率 (現年度) は、98.74% となっており、前年度と比較して0.08ポイント上昇し、同水準を維持しています。また、課税誤り件数は、前年度から2件減少の1件であり、成果としては横ばいです。 (原因) 課税誤りの内容については、資産異動による登録誤りであり、事務処理におけるチェック不足に起因するものです。また、収納率が微増した要因は、納期内納付の慫慂、滞納処分を含めた徴収業務の強化等が挙げられます。 (余地) 更なる事務処理チェックの強化及び納税者の利便性の向上を図ることで成果向上の余地はあります。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

[01]

徴収管理事務

町長部局 税務課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	02 総務費	決算書 ページ	101
施策	05 効果的 効率的な行財政運営の推進	項	02 徴税费		
基本 事業	03 健全な財政運営	目	02 賦課徴収費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)	
滞納者に対し、財産調査を実施し差押を行いました。 ・財産調査件数 3,218件 ・差押の種類及び実施件数 69件 【内訳】 保険 12件 預貯金 45件 給与 4件 年金 4件 その他 4件	

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	活動	催告書発送数 (件)	821	694
活動	活動	滞納処分実施数 (件)	94	121	69
成果	成果	年度末時点滞納者数 (件)	385	329	335
成果	成果	収納率 (%)	97.16	97.58	97.70
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	27	0	0
		オ 一般	0	37	1,735
		カ 事業費 (ア～オ合計)	27	37	1,735

成果 実績 評価	成果状況	(状況)滞納者数は前年度実績に比べ6人増加しましたが、収納率は0.12ポイント向上しました。 (原因)滞納者数は微増しましたが、収納率は向上しました。要因としては、滞納処分を含めた各収納対策等を強化していることが影響していると考えます。 (余地)引き続き滞納処分を含めた各収納対策等の実施や納税者の利便性の向上を図ることで、向上の余地はあると考えられます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

[103]

個人番号カード交付事業

町長部局 町民課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	02 総務費	決算書 ページ	103
施策	05 効果的 効率的な行財政運営の推進	項	03 戸籍住民基本台帳費		
基本 事業	99 施策の総合推進	目	01 戸籍住民基本台帳費	計画 年度	開始：平成27年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

個人番号カードの作成をしました。(全自治体が地方公共団体情報システム機構(J-LIS)へ一括委任)窓口において個人番号カードの交付をしました。個人番号カードと個人番号カード内に格納する電子証明書の普及を図るため、積極的な周知・広報を実施しました。個人番号カードの交付方式の追加(従来の交付時来庁方式に加え申請時来庁方式)や公民館臨時申請窓口の開設、休日のマイナンバーカード申請・交付窓口の開設も行いました。

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動		通知カード送付件数(件)	104	11
活動		個人番号カード発行件数(件)	1,162	2,248	2,463
成果		個人番号カード交付率(%)	13.93	24.99	38.47
成果					
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	3,002	9,251	7,007
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	16	5	2
		オ 一般	259	4	1,176
		カ 事業費(ア~オ合計)	3,277	9,260	8,185

成果 実績 評価	成果状況	(状況)前年度と比べ、個人番号カード発行件数が215件増加しています。 (原因)J-LISからの未取得者に対する交付申請書の送付、消費活性化策マイナポイント事業などにより申請件数が増加しました。また、窓口で無料で写真撮影を行い、申請が簡単に完了することが住民に浸透してきたことも影響していると考えられます。 (余地)個人番号カードの交付申請については、取得者を対象に交付する地元商店で使用できる「プレミアム商品券」事業により、発行件数の増加が見込まれます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

[108]

シルバー人材センター補助事業

町長部局 高齢者支援課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	107
施策	02 高齢者福祉の充実	項	01 社会福祉費		
基本 事業	03 生きがい活動の推進	目	01 社会福祉総務費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

シルバー人材センターの適正な運営と事業の促進を目的として、運営費補助金を交付します。シルバー人材センターでは、退職者（60才以上）など高齢者の就業に関する情報の収集及び提供、相談、就業機会の提供を組織的に実施しています。

【令和3年度】

会員数 R3年4月1日現在66名、会費1人年2,000円
町から事業を支援するために運営費1,200千円を補助しました。

	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
活動・ 成果 状況	活動	補助金額 (円)	1,200,000	1,200,000	1,200,000
	活動				
	成果	60歳以上のシルバー人材センター会員加入率 (%)	0.4	0.5	0.6
	成果	事業収入額 (円)	33,290,899	31,718,335	39,198,911
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	1,220	1,220	1,220
		カ 事業費 (ア～オ合計)	1,220	1,220	1,220

成果実績 評価	成果状況	(状況) 会員数が、微増しています。 (原因) シルバー人材センターへの作業依頼が年々増加しています。 (余地) 会員募集をし会員を増やすことにより、さらに事業実績を上げることが できます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	
	成果向上余地	
	大	
	中	
	小	
	なし	

更生保護事業

町長部局 町民課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	107
施策	05 地域福祉の推進	項	01 社会福祉費		
基本 事業	01 地域福祉活動の推進	目	01 社会福祉総務費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

更生保護活動を展開する団体に対して、負担金・補助金を交付しました。
 保護司の活動では、罪を犯した者の改善及び更生を助けるため、保護司相互の連絡調整及び資質の向上と犯罪予防のための世論の啓発並びに地域社会の浄化に努めました。
 更生保護女性会の活動では、保護司会と連携して、青少年の健全なる育成・向上を図るとともに、問題少年の保護更生を助け、広く犯罪の予防を行い、明るい地域社会づくりを目指しました。

	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
活動・ 成果 状況	活動	会議 研修会出席数(人)	244	195	175
	活動	負担金及び補助金額(円)	1,373,296	720,000	665,300
	成果	保護司会等活動参加人数(人)	926	692	531
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	1,373	720	665
		カ 事業費(ア～オ合計)	1,373	720	665

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) 学校訪問や社会を明るくする運動等の縮小・中止により、例年通りの活動ができませんでした。サポートセンターの活動は可能な範囲で実施しました。 (原因) 新型コロナウイルス感染拡大防止のため事業の中止・縮小があったことから、参加人数は減少しました。 (余地) 更生事業の継続のため、引き続き活動補助を行います。向上の余地は少ないです。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

130

ボランティア連絡会活動補助事業

町長部局 保健福祉課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	109
施策	05 地域福祉の推進	項	01 社会福祉費		
基本事業	01 地域福祉活動の推進	目	01 社会福祉総務費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

愛南町ボランティア連絡会の運営を支援するため、会の運営についての助言、指導を行うとともに、地域交流センター「プラザじょうへん」を拠点としたボランティア連絡会の活動に対して補助金を交付しました。

活動・成果状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	補助金額 (円)		1,800,000	1,800,000
活動	所属団体数 (件)		14	13	13
成果	ボランティア連絡会による事業数 (支援事業含む) (件)		15	9	12
成果	団体行事への参加者数 (人)		886	617	548
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	1,800	1,800	1,800
		カ 事業費 (ア～オ合計)	1,800	1,800	1,800

成果実績評価	成果状況	<p>(状況) 団体行事の参加者数が令和3年度は548人で、令和2年度より69人減少しています。</p> <p>(原因) コロナウイルス感染拡大懸念の影響を受けて、ボランティア団体が事業活動を縮小し、プラザじょうへんが年間を通して時間短縮による利用制限を行ったことが要因と考えます。</p> <p>(余地) 地域交流センターを軸とした、地域福祉交流事業を実施するとともに、ボランティア団体の支援や活動ネットワークの拡充を図ることで今後は参加人数の増加が見込めると考えます。</p>
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

社会福祉協議会運営補助事業

町長部局 保健福祉課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	109
施策	05 地域福祉の推進	項	01 社会福祉費		
基本事業	01 地域福祉活動の推進	目	01 社会福祉総務費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

愛南町社会福祉協議会の運営を支援するため、会の運営についての助言、指導を行うとともに、地域社会の福祉活動に対して補助金を交付しました。
令和3年度は生活福祉資金貸付事業(相談事業)受託金の増額があったため、700,000円の減額となりました。

活動・成果状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動		補助金額 (円)	23,000,000	23,000,000
活動		補助対象事業数 (件)	14	14	14
成果		社会福祉協議会実施サービスの年間利用者数 (人)	7,906	7,077	7,750
成果					
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	23,000	23,000	22,300
		カ 事業費 (ア~オ合計)	23,000	23,000	22,300

成果実績評価	成果状況	<p>(状況)利用者数は673人増加しています。 (原因)地域福祉活性化事業の利用者は、新型コロナウイルス感染症による事業の縮小に伴い減少傾向ではありますが、総合相談支援事業では生活困窮者相談支援強化、就労支援、緊急小口資金の貸付等、各種相談に対応し、在宅福祉事業では、個別の状況に応じた良質のサービスを提供したことから、利用者の増加に繋がりました。困窮者の支援、介護者の負担軽減を図る等、町民が住み慣れた地域で安心して暮らせるための支援を行ったことから、一定の成果を挙げています。 (余地)多様化する地域の課題解決に向けて、住民・社会福祉協議会・行政が今後も連携して共に考えていくことで利用者の増加が見込めると考えます。</p>
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

重層的支援体制整備事業

町長部局 保健福祉課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	109
施策	05 地域福祉の推進	項	01 社会福祉費		
基本事業	01 地域福祉活動の推進	目	01 社会福祉総務費	計画 年度	開始：令和03年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

重層的支援体制構築に向けて次の事業に取り組みました。

- ・多機関の協働による包括的支援体制構築事業
- ・地域づくり・アウトリーチ等を通じた継続的支援の取組
- ・参加支援事業

上記事業の一部を愛南町社会福祉協議会に委託して実施しました。

(財源) 国3/4 町1/4

区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 複合的な相談件数 (件)			47	
	活動 地域での活動件数 (件)			0	
	成果 終結した相談割合 (%)			93	
	成果 地域づくり事業で整備された地域資源の件数 (件)			0	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	7,508
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	0	0	1,772
	カ 事業費 (ア~オ合計)	0	0	9,280	

成果実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況)福祉の総合相談窓口への47件の相談がありました。そのうち複雑化・複合化したケースは3件であり関係機関と連携し継続して支援を行っています。 (原因)既存の制度につなぐことで終結となるケースが多く、終結した相談割合が高くなっています。 (余地)相談に行くことができないケースや、相談・支援につながっていないケースについて掘り起こせるように、総合相談窓口の周知や地域福祉活動を通じて相談や支援につながる体制づくりが必要であると考えます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

遺族会活動補助事業

町長部局 保健福祉課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	109
施策	05 地域福祉の推進	項	01 社会福祉費		
基本事業	02 社会福祉制度の円滑運営	目	01 社会福祉総務費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

愛南町遺族会の運営を支援するため、会の運営についての助言、指導を行い、補助金を交付しました。

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	補助金額 (円)		1,500,000	1,500,000
活動	会員数 (人)		382	356	336
成果	催しへの参加者数 (人)		235	59	61
成果					
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	1,500	1,500	1,500
		カ 事業費 (ア～オ合計)	1,500	1,500	1,500

成果実績 評価	成果状況	<p>(状況) 催しへの参加者数が令和3年度は61人で、隔年開催の戦没者追悼式を実施した令和元年度より174人減少しています。</p> <p>(原因) 令和3年度は町主催の戦没者追悼式をコロナのため実施していません。また新型コロナウイルス感染拡大懸念のため、遺族会の活動を中止しています。</p> <p>(余地) 遺族会主催行事への参加者数の減少に歯止めをかけるため、次世代の孫や甥姪に参加を呼びかけるなど、今後の活動内容を検討することで歯止めをかけることができると考えられます。</p>
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

内海高齢者生活福祉センター管理運営事業

内海支所 内海支所

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	109
施策	02 高齢者福祉の充実	項	01 社会福祉費		
基本事業	01 日常生活の支援	目	02 社会福祉施設費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)
<ul style="list-style-type: none"> ・設備を含む施設の不良箇所修繕・施設内の保守点検等を実施しました。 ・入浴業務については、町内在住の65歳以上の方が利用できます。 (休館日は、土日、祝祭日、年末年始です) ・居住業務については、町内に住所を有する65歳以上の方が一人又は夫婦で生活することが不安な方が安心して生活できる居室を提供し、高齢者が安心して生活を送れるよう支援しました。 ・休館日、夜間も入居者が安心して過ごせるよう宿日直者を配置しました。

	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
活動・ 成果 状況	活動	保守点検、検査実施回数(回)	54	30	30
	活動	修繕件数(件)	6	6	8
	成果	内海高齢者生活福祉センター維持管理上の不具合により業務に支障をきたした件数(件)	0	0	0
	成果	内海高齢者生活福祉センター年間利用者数(人)	1,006	765	699
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	136	104	120
		オ 一般	9,124	5,251	4,630
	カ 事業費(ア~オ合計)	9,260	5,355	4,750	

成果実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	<p>(状況) 現在2名の入居者が自立した生活環境の中で豊かで安心できる生活をしています。</p> <p>(原因) 施設の機能は、自立して生活できる高齢者を対象としており、施設からの生活支援が限られていることが要因として考えられます。</p> <p>(余地) 今後も施設及び設備を良好な状態で維持し、入居利用しやすい施設の維持管理に努めます。</p>
	成果向上余地 大 中 小 なし	

御荘老人福祉センター管理運営事業

御荘支所 御荘支所

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	111
施策	02 高齢者福祉の充実	項	01 社会福祉費		
基本事業	01 日常生活の支援	目	02 社会福祉施設費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

施設の管理及び使用に関する業務を行いました。
 ・施設の維持管理に伴う、燃料費・光熱水費の支出しました。
 ・各種保守点検を実施しました。
 ・清掃・樹木管理を委託しました。
 ・必要な小修繕等しました。
 令和3年度に経常経費以外の特筆すべき事業はありません。

	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
活動・ 成果 状況	活動	修繕件数 (件)	6	2	1
	活動	保守点検回数 (回)	33	33	33
	成果	御荘老人福祉センター施設 設備の不具合件数 (件)	0	0	0
	成果	御荘老人福祉センター年間利用者数 (名)	843	824	927
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	2,723	2,519	2,514
	カ 事業費 (ア～オ合計)	2,723	2,519	2,514	

成果実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	<p>(状況) 以前は指定管理制度により愛南町社旗福祉協議会に委託していましたが、令和元年度から、施設の維持管理及び施設の使用に関する業務を直接町が行っています。 (原因) 施設が建設後30年以上経過しているため、施設の経年劣化により修繕が必要になってきています。 (余地) 利用・管理に支障の発生しないように施設の状態の把握と事前の対応も必要となって来るとは思われますが、現在の状況であれば随時の対処で足りると思われ ますので、継続としています。</p>
	成果向上余地 大 中 小 なし	

[45]

城辺高齢者共同住宅管理運営事業

町長部局 高齢者支援課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	111
施策	02 高齢者福祉の充実	項	01 社会福祉費		
基本事業	01 日常生活の支援	目	02 社会福祉施設費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)
<p>町の管理用務は、入退所、使用料と電気料の徴収、食費・共益費の管理、施設の維持管理を行いました。</p> <p>支援員により入所者の食材の買い物・調理、住宅共有部分の清掃支援や入居者の健康及び悩みごと等の相談を行い、円滑に施設管理を行うことができました。</p> <p>【令和3年度】 開設後18年が経過し、タイルの浴室をユニットバスへ、給湯器をエコキュートへ変更する浴室改修工事を行いました。また、古くなった居室のエアコンを3台買い換えました。</p>

	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
活動・ 成果 状況	活動	保守点検 検査実施回数 (回)	12	12	12
	活動	修繕件数 (件)	4	2	2
	成果	入居者の相談件数 (件)	0	0	0
	成果	城辺高齢者共同住宅稼働率 (%)	66.8	84.7	100
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	756	1,132	1,221
		オ 一般	1,033	404	5,421
	カ 事業費 (ア～オ合計)	1,789	1,536	6,642	

成果実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	<p>(状況) 高齢者住宅の稼働率は100%で、自立した生活のなかで、生活支援を受けながら生活ができました。</p> <p>(原因) 退所者や入院される方もなく、入居者は、生活支援を受けることで、安心して生活を送ることができました。</p> <p>(余地) 退居者が出た場合は、速やかに公募により入居者を決定し、より多くの入居希望者に利用してもらうようにします。</p>
	成果向上余地 大 中 小 なし	

西海高齢者生活福祉センター管理運営事業

西海支所 西海支所

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	111
施策	02 高齢者福祉の充実	項	01 社会福祉費		
基本事業	01 日常生活の支援	目	02 社会福祉施設費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

入居者の食事提供及び体調管理のため業務を委託します。

令和3年度においては、運営委託料8,000千円及び生活支援員委託料4,819千円、合計12,819千円を支出しました。

	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
活動・ 成果 状況	活動	保守点検、検査実施回数(回)	44	44	44
	活動	修繕件数(件)	5	8	15
	成果	西海高齢者生活福祉センター維持管理上の不具合により業務に支障をきたした件数(件)	0	0	0
	成果	西海高齢者生活福祉センター年間利用者数(人)	8,170	7,843	7,706
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	3,579	4,000	4,478
		オ 一般	9,685	7,623	8,341
	カ 事業費(ア~オ合計)	13,264	11,623	12,819	

成果実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況)年間利用者数は前年度から137名減少しています。 (原因)新型コロナウイルス感染拡大の影響により入居者訪問数の減少が要因と考えます。 (余地)高齢者入居施設であることから引続き新型コロナウイルス感染対策は必要と考えます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

魚神山老人福祉センター管理運営事業

内海支所 内海支所

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	111
施策	02 高齢者福祉の充実	項	01 社会福祉費		
基本事業	03 生きがい活動の推進	目	02 社会福祉施設費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

- 1 管理 (1)保守点検委託等により、適正な施設管理に努めました。
 2 運営 (1)毎週月、木曜日に勤務しました。
 3 共通 (1)年末年始を除く日を閉館しました。
 (2)新型コロナウイルス感染症拡大防止策として、計104日間、貸館を中止しました。

	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
活動・ 成果 状況	活動	内海公民館管理運営関係者数(人)	7	7	7
	活動	内海公民館運営審議会開催回数(回)	2	2	2
	成果	魚神山老人福祉センター管理上の不具合・トラブル件数(件)	0	0	0
	成果	魚神山老人福祉センター運営上の満足度(%)	66.1	96.4	96.4
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	783	657	580
	カ 事業費(ア~オ合計)	783	657	580	

成果実績 評価	成果状況	(状況)施設管理上の不具合・トラブルはありませんでした。 (原因)週2回(月、木)の勤務により対応しました。 保守点検や利用時に発見された不具合カ所は修繕により対応しました。 (余地)施設自体が老朽化していますが、修繕等により対応しています。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	
	成果向上余地	
	大	
	中	
	小	
	なし	

養護老人ホーム南楽荘管理運営事業

町長部局 南楽荘

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	113
施策	02 高齢者福祉の充実	項	01 社会福祉費		
基本事業	01 日常生活の支援	目	03 養護老人ホーム南楽荘費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

65歳以上の者であって環境上の理由及び経済的理由（政令で定めるものに限る。）により居宅において養護を受けることが困難なものを入所させ、養護します。入所者の処遇計画に基づき社会復帰の促進及び自立のために必要な指導及び訓練その他の援助を行います。入所者の意思及び人格を尊重し、常にその者の立場に立って処遇を行います。施設は明るく家庭的な雰囲気や安らげる環境を作るとともに地域や家庭との結び付きを重視した運営や各種行事の開催、レクリエーション等を行います。入所者の健康管理を行います。教養娯楽設備の提供を行います。施設の維持管理を行います。

【コロナ対策】新型コロナウイルス感染症予防対策を行いながら、施設運営を行いました。新築移転から10年が経過し、施設の修繕箇所が多くなりましたが、補正予算で迅速に対応し、経費削減に努めました。

	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
活動・ 成果 状況	活動	年間入所者数(月初め入所者延べ人数)(人)	937	960	960
	活動				
	成果	養護老人ホーム南楽荘施設の稼働率(年間入所者数÷年間定員数×100)(%)	97.7	98.3	94.6
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	2,960	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	31,342	34,819	37,387
		オ 一般	66,240	23,513	20,281
		カ 事業費(ア～オ合計)	97,582	61,292	57,668

成果実績 評価	成果状況	<p>(状況) 令和3年度の施設稼働率は94.6%となり前年度比3.7%となりましたが、引き続き高い稼働率を維持しました。</p> <p>(原因) 令和3年度は死亡退所者等の退所者が13名に増えたのに対し、新規入所者が8名であったためと考えられます。</p> <p>(余地) 今後も死亡等により南楽荘を退所となった場合においては、高齢者支援課の担当者との連絡を取り、入所待機者の置かれている環境等にも配慮しながら面接等を行い、速やかに入所に繋げていきます。</p>
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

[152]

緊急通報システム整備事業

町長部局 高齢者支援課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	117
施策	02 高齢者福祉の充実	項	01 社会福祉費		
基本事業	01 日常生活の支援	目	04 老人福祉費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

おおむね65歳以上のひとり暮らしの高齢者等に緊急通報装置を貸与し、緊急事態発生時における迅速かつ正確な救援体制をとることにより、独居高齢者等の日常生活の不安の解消を図ることを目的とします。

・愛媛総合警備保障と令和2年4月1日～5年3月31日までの長期継続契約締結しています。
・緊急通報時に警備員が自宅へ連絡又は現場へ駆けつけ、状況処理や救急車の出動要請等を行います。

・申請により高齢者の実態把握調査後、サービス調整会議において設置決定された高齢者に緊急通報装置を設置します。

【令和3年度】新規設置者4名

電波法改正により、令和4年12月から使用中の機器が使えなくなるため、82セットの機器を購入し、取替作業を完了しました。

	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
活動・ 成果 状況	活動	新規緊急通報システム設置数(基)	12	5	4
	活動				
	成果	緊急情報システムで見守られている高齢者数(人)	94	83	65
	成果	緊急情報システムを活用した高齢者ご自身による通報件数(件)	48	27	24
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	3,200	2,700	2,000
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	153	171	5,715
	カ 事業費(ア～オ合計)	3,353	2,871	7,715	

成果実績 評価	成果状況	<p>(状況)設置希望者の体調、住環境等によりサービス会議を開き設置を検討しています。新規設置者は4名でした。 (原因)施設入所や入院等により解約をした方がおられ、設置者数が減少しました。設置許可後、体調の変化により取消しをされた方が2名おられました。電波法の改正により、令和4年12月から現在の機器が使用不可となるため、令和3年度に機器の購入を行い、取替作業を完了しました。 (余地)緊急事態に対応できる事で、日常生活の不安解消を図ることができるため、申請は継続的に出てくると考えられます。より多くの方が設置できるように令和4年度から要綱の利用対象者を一部改正します。</p>
	<p>向上 維持・横ばい 低下・悪化</p> <p>成果向上余地 大 中 小 なし</p>	

福祉タクシー助成事業

町長部局 高齢者支援課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	117
施策	02 高齢者福祉の充実	項	01 社会福祉費		
基本事業	01 日常生活の支援	目	04 老人福祉費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

公共交通機関乗降地点から300m以上自宅が離れている70歳以上の高齢者、又は満65歳以上で身体障害者手帳2級以上若しくは療育手帳の交付を受けている方を対象に、タクシー補助券を交付しました。

<申請・交付>

申請書(縦横2cmの写真添付)の受理・審査後、登録証と補助券50枚を交付。

(1)1,500円券(脇本、中玉) (2)1,000円券(猿鳴)

(3)800円券(左右水、大浜、長月4) (4)500円券(その他の地区)

・補助券は毎年度更新が必要。

・補助券相当額を超えるタクシー料金は利用者が負担。

【R3年度】使用枚数の制限を撤廃し、他タクシー券との同時申請も可能としました。

500円券432人、800円券14人、1,000円券5人、1,500円券5人

活動・成果状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動		タクシー券交付者数(人)	386	389
活動					
成果		タクシー券使用率(%)	56.3	53.9	70.7
成果					
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	5,800	5,400	7,300
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	151	327	1,331
		カ 事業費(ア~オ合計)	5,951	5,727	8,631

成果実績評価	成果状況	(状況)昨年度比べると利用実績は増加しています。 (原因)R3年度から使用枚数の制限を撤廃し、他タクシー券との重複申請を可能としたことで、利用者の使用率が上がったことが要因と考えます。 (余地)今後も交通の不便な地域の高齢者の移動支援として継続的に申請者は増加すると考えます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	
	成果向上余地	
	大	
	中	
	小	
	なし	

在宅ねたきり老人等紙おむつ支給事業

町長部局 高齢者支援課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	117
施策	02 高齢者福祉の充実	項	01 社会福祉費		
基本 事業	01 日常生活の支援	目	04 老人福祉費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)
<p>申請書を提出してもらい、審査をして決定（却下）通知を交付します。 決定者を業者へ報告し、業者が受注から配布までを行います。 業者から毎月の実績を報告してもらい、支払いをします。</p> <p>【令和3年度】年間支給件数は1,034件でした。 希望する紙おむつ（フラット、尿とりパッド、簡単テープ止め、はくパンツ）を月3,000円以内で現物支給しました。</p>

区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 紙おむつ支給申請者数（人）	119	163	161	
	活動				
	成果 年間紙おむつ支給件数（件）	1,244	1,263	1,034	
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	2,747	2,994	2,998
	カ 事業費 (ア～オ合計)	2,747	2,994	2,998	

成果実績 評価	成果状況	<p>（状況）支給件数は例年に比べると減少していますが、全体のおむつの配布枚数はほぼ横ばいです。 （原因）高齢者人口の増加に伴い寝たきり状態の方は微増していますが、施設入所や死亡により不支給になる方がいるためです。 （余地）制度のより一層の浸透を図るため、広報を通じての周知活動が必要と考えます。</p>
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

鍼灸マッサージ等施術費助成事業

町長部局 高齢者支援課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	117
施策	02 高齢者福祉の充実	項	01 社会福祉費		
基本事業	01 日常生活の支援	目	04 老人福祉費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

町民の健康保持増進と福祉の向上のため、はり、きゅう、マッサージなどの施術を受ける場合において、診療券を交付し、施術後の請求により1回の利用につき、1,000円を助成しました。

【助成方法】

対象者が規則で定める施術機関（愛南町、宇和島市、宿毛市）において、はり、きゅう、マッサージ等の施術を受けた場合に、1回につき、利用費用の一部1,000円を助成。ただし、1人につき1日1回とし、1箇月に2回を超えないものとする。なお、手続きに関しては毎年度更新が必要。

活動・成果状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	活動	はり きゅう マッサージ券の交付者数(人)	294	276
成果	成果	はり きゅう マッサージ券の使用率(%)	47.9	43.4	44
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	517	354	384
		オ 一般	1,448	1,183	1,415
		カ 事業費(ア～オ合計)	1,965	1,537	1,799

成果実績評価	成果状況	<p>(状況)昨年度と比べると申請者はやや増加しましたが、使用率は横ばいです。 (原因)昨年同様、新型コロナウイルスの影響等により施術に行く回数が減っているためと予想されますが、高齢者の健康保持増進への関心は高く、自己管理のため本事業を活用しているものと思われます。 (余地)今後も広報等で制度を周知していくことで、申請者の増加が見込まれます。</p>
	<p>向上 維持・横ばい 低下・悪化</p> <p>成果向上余地 大 中 小 なし</p>	

独居高齢者見守り推進事業

町長部局 高齢者支援課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	117
施策	02 高齢者福祉の充実	項	01 社会福祉費		
基本事業	01 日常生活の支援	目	04 老人福祉費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)	
<p>愛南町、協力事業所及び見守り協力が連携し、高齢者のみの世帯を訪問又は見守りし、徘徊、安否確認、不測の事態の早期発見及び孤独感の不安の解消を図ることを目的とします。</p> <p>高齢者地域見守りネットワークへ登録届のあった者及び緊急通報システムを設置している高齢者世帯等への見守りを、民生委員及び老人クラブ会員へ依頼しました。 ・この事業活動に対し、一人1か月1,000円(限度額)の謝礼を支払いました。</p>	

活動・成果状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	活動	見守り対象高齢者宅数(件)	126	110
成果	成果	独居高齢者見守り訪問地区数(地区)	53	51	50
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	1,000	911	844
		カ 事業費(ア~オ合計)	1,000	911	844

成果実績評価	成果状況	<p>(状況)見守り訪問地区数に大きな変動はありませんでした。見守り世帯数はやや減少しました。 (原因)緊急通報システムの設置数が減少しました。独居高齢者等は、体調の急変時の連絡等に不安があり、離れて暮らす親族等も見守りの希望がある状況です。 (余地)今後も見守りを依頼する高齢者は継続的に出てくる見込みです。</p>
	<p>向上 維持・横ばい 低下・悪化</p> <p>成果向上余地 大 中 小 なし</p>	

介護慰労金支給事業

町長部局 高齢者支援課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	117
施策	02 高齢者福祉の充実	項	01 社会福祉費		
基本 事業	01 日常生活の支援	目	04 老人福祉費	計画 年度	開始：平成29年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

ねたきり老人及び認知症の老人等と要介護老人を抱える介護者の労をねぎらうとともに、積極的に支援することを目的として支給します。
在宅で3か月以上継続して介護をしている同居者で、生計を同じくする者の申請により、申請月の翌月から支給します。

- ・慰労金 月額7,500円（住民税非課税世帯で、介護サービス利用なし）
月額5,000円（住民税非課税世帯で、介護保険適用の通所介護及び訪問介護等の利用者）
月額3,000円（住民税課税世帯）
- ・申請により実態調査を行い可否を決定し、介護者に介護慰労金を支払います。支払月は3半期(8月、12月、4月)に分けて支払います。

【令和3年度】新規申請者14名（受給者数42名）

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	申請者数 (件)		48	44
活動					
成果	(代替)受給者数 (件)		47	44	42
成果					
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	1,962	1,756	1,372
		カ 事業費 (ア～オ合計)	1,962	1,756	1,372

成果 実績 評価	成果状況	<p>(状況)令和3年度の新規申請14件で、受給者数は42件でした。 年度途中で施設入所や死亡等で減少はありましたが、非課税世帯25件、課税世帯17件に支給しました。 (原因)実際同居していても生計を同じくする者という支給条件なので、世帯分離している世帯は非該当となります。 (余地)担当ケアマネや、町の広報等で周知し、該当者の申請を促します。</p>
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

高齢者運転免許証自主返納支援事業

町長部局 高齢者支援課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	117
施策	02 高齢者福祉の充実	項	01 社会福祉費		
基本事業	01 日常生活の支援	目	04 老人福祉費	計画 年度	開始：平成29年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

高齢者の運転による交通事故の防止を図るために、高齢者の運転免許証の自主返納を支援します。

- ・運転経歴証明書の写し又は、せん孔処理した運転免許証の写しを添えて申請します。
- ・補助券は交付した日の属する年度から3か年申請できます。
- ・申請により、タクシー利用補助券を対象者1人につき500円券50枚を限度として交付します。

【令和3年度】補助券交付件数 239件
令和3年度から、1日1往復の利用制限を撤廃し、他のタクシー券との同時申請も可能となりました。

	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
活動・成果状況	活動	補助券交付件数 (50枚1綴) (件)	232	245	239
	活動				
	成果	タクシー補助券使用率 (%)	39.5	37.9	65.1
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	2,290	2,372	3,940
	カ 事業費 (ア~オ合計)	2,290	2,372	3,940	

成果実績評価	成果状況	(状況)平成29年度7月から実施、令和3年度は239件の交付がありました。補助券使用率は増加しました。 (原因)高齢者自身の免許返納の意識が高まっている状況です。交付件数は、変動はありませんでしたが、令和3年度から、1日1往復の利用制限を撤廃したため、使用率が増加しました。 (余地)申請できる期間は3年間です。今後も継続的に申請があると考えられます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

介護タクシー助成事業

町長部局 高齢者支援課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	119
施策	02 高齢者福祉の充実	項	01 社会福祉費		
基本事業	01 日常生活の支援	目	04 老人福祉費	計画 年度	開始：平成30年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

公共交通機関を利用することが困難な高齢者又は身体障がい者が、通院又は入退院若しくは転院の為に利用する介護タクシーに要する料金の一部を助成する事により、経済的な負担の軽減及び健康状態の安定に寄与することを目的とします。

申請・交付
・申請書(常時車いす使用又は寝たきり等これらと同等の状態であることが確認できる書類の写し添付)を受理・審査後、対象者に介護タクシー助成券を交付します。
・愛南町内の医療機関の通院又は入退院をする場合、48枚綴りタクシー券が利用できます。
【令和3年度】
・令和3年度から町外医療機関についても利用制限を設け、請求により助成金を支払いました。町内の月4回という利用制限も撤廃しました。
町外利用回数14名(25回)

	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
活動・ 成果 状況	活動	介護タクシー助成券交付者数(人)	74	99	119
	活動	うち、町外医療機関利用者数(人)		0	14
	成果	介護タクシー助成券利用率(%)	88	79	82
	成果	延利用件数(枚数)(件)	850	990	1,039
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	1,100	1,200	1,200
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	96	138	251
	カ 事業費(ア~オ合計)	1,196	1,338	1,451	

成果実績 評価	成果状況	(状況)平成31年4月高齢者福祉移送事業の廃止により、本事業開始。 令和3年度は、119件の交付がありました。 (原因)病院への移動が困難な高齢者の申請が微増しています。令和3年度から利用制限を設け町外医療機関への利用を拡充、町内月4回の利用制限を撤廃したことから、利用率が増加しました。 (余地)介護タクシー料金の一部を助成する事で、経済的な負担の軽減と健康状態の安定を図りました。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	
	成果向上余地	
	大	
	中	
	小	
	なし	

1047

老人クラブ活動助成事業

町長部局 高齢者支援課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	119
施策	02 高齢者福祉の充実	項	01 社会福祉費		
基本事業	03 生きがい活動の推進	目	04 老人福祉費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

55クラブ、会員3,004名の社会奉仕活動、社会参加活動、健康増進活動、スポーツ振興事業等の活動を通じて、地域社会の発展と福祉の増進を図ることを目的に、活動事業に要する費用のうち、運営費と事業費に対して助成します。
令和3年度より助成金配分方法を、町老連は定額、各支部は均等割額100,000円+クラブ数×2,000円、残りを会員数割にして配分し、各支部から各単位クラブへ配分することとします。また、各支部内で活動実績に応じた対応ができるようにしています。
【令和3年度】町老連及び各支部に5,200千円の補助金を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響による実施事業の減少により町老連の補助金を400千円減額しました。

	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
活動・ 成果 状況	活動	老人クラブ活動助成金(円)	5,200,000	48,000,00	4,800,000
	活動				
	成果	老人クラブ加入率(高齢者の社会参加促進率)(%)	29.1	28.6	27.9
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	823	821	818
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	4,377	3,979	3,982
		カ 事業費(ア~オ合計)	5,200	4,800	4,800

成果実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況)加入率は、減少傾向です。 (原因)老人クラブ加入対象年齢になっても新規加入する人ばかりではない現状です。 (余地)新規加入を増やすために、入っていて楽しい、やりがいのある会となるよう支援する必要があります。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

介護予防サービス計画作成事務

町長部局 高齢者支援課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	119
施策	02 高齢者福祉の充実	項	01 社会福祉費		
基本事業	05 介護予防サービスの充実	目	04 老人福祉費	計画 年度	開始：平成18年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

介護支援専門員更新研修などを定期的に受講し、質の向上を図りながら適切なケアマネジメント業務を行いました。町内4事業所に介護予防マネジメント業務を委託し、1件当たり4,380円、初回加算3,000円、委託連携加算3,000円を支払いました。委託の可否については、運営協議会の承認を経て、委託契約を行いました。介護予防サービス計画作成するにあたり必要な研修を受講しました。事業所の感染防止対策用の衛生用品(手袋ほか)を県補助金10千円を利用して購入しました。

介護予防支援：実施件数 2,638件 初回加算 56件 委託連携加算 15件
 (うち委託分 実施件数 898件 初回加算 16件 委託連携加算 15件)
 更新研修等受講：介護支援専門員更新(専門)研修【研修課程】 1名

活動・成果状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	委託料(円)		4,073,450	3,877,350
成果	作成された介護予防計画に対する目標達成率(%)		77.0	76.0	81.0
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	348	10
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	4,359	4,127	4,108
		オ 一般	0	0	0
		カ 事業費(ア~オ合計)	4,359	4,475	4,118

成果実績評価	成果状況	(状況)目標達成率は今年度は約81%であり、昨年度の約76%から約5%増えて、目標値を達成しました。作成件数は昨年度の2,460件から178件増え、2,638件に増えています。計画作成担当者の1人当たりの受け持ち件数が増えています。 (原因)高齢者の自立支援に向けたアセスメントや計画作成ができたと思われます。 (余地)アセスメント等ケアマネジメントの質の向上のため、担当者の指導や教育を行うことにより、成果向上の余地はあると思われます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

敬老会助成事業

町長部局 高齢者支援課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	119
施策	05 地域福祉の推進	項	01 社会福祉費		
基本 事業	01 地域福祉活動の推進	目	04 老人福祉費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

1. 行政区が実施する敬老会事業に対して、1人1,500円を限度に補助します。
事業実施計画書を提出してもらい、交付の適否を判断します。実施後は事業実績報告書と領収書を提出してもらい、補助金を助成します。
敬老会開催地区はジュースを開催箇所ごとに2箱（6,000円以内）配布します。
弁当、記念品配布のみの地区は補助金のみ助成します。

2. 特養4か所と南楽荘、ケアハウスへジュースを配布します。
【令和3年度】新型コロナウイルスの影響により、敬老会の開催地区は1地区のみでしたが、89地区が記念品等の配布を行いました。また、町内の5施設、6グループホームにジュースを配布しました。
【ふるさとづくり基金充当 5,000千円】

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動		補助対象人数(人)	6,745	6,908
活動		補助金額(千円)	10,504	9,874	9,880
成果		敬老会事業を行った地区数(地区)	91	91	90
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	5,000
		オ 一般	10,504	9,874	4,911
		カ 事業費(ア~オ合計)	10,504	9,874	9,911

成果 実績 評価	成果状況	(状況)町内全地区で、敬老会又は記念品配布が行われました。 (原因)行政協力員や地区の役員の活動として、各地区の実施方法で、できる範囲の実施に対し、補助金を出すという形が定着しています。 (余地)継続実施できるよう、引き続き補助を行い、地域の繋がりも深めてもらいます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	
	成果向上余地	
	大	
	中	
	小	
	なし	

おれんじくらぶ管理・運営事業

町長部局 保健福祉課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	119
施策	03 障がい者(児)福祉の充実	項	01 社会福祉費		
基本事業	01 早期療育支援体制の充実	目	05 障害者福祉費	計画 年度	開始：平成24年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

障がい児が日常生活における基本的動作を習得し集団生活に適応することができるよう、当該障がい児の身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて適切な指導及び訓練等を提供するために通園事業の委託料を支払い、利用者負担の請求事務を行いました。

- ・事業所の名称：通園（デイサービス）事業おれんじくらぶ ・実施主体：愛南町
- ・業務委託先：（社）御荘福祉施設協会 ・開所日：週5日（午前9時～午後5時）
- ・提供サービス：児童発達支援、放課後等デイサービス
- ・利用定員：各10名 ・職員数：常勤4名 ・利用料：応能負担

活動・成果状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	活動	開所日数(年間)(日)	243	244
活動	活動	利用申請受付件数(年間)(件)	51	52	64
成果	成果	おれんじくらぶ利用者数(年間実人員)(人)	51	52	64
成果	成果	おれんじくらぶの施設年間稼働率(%)	100.0	100.0	100
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	580	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	10,691	10,682	12,575
		オ 一般	6,549	7,118	5,425
		カ 事業費(ア～オ合計)	17,240	18,380	18,000

成果実績評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況)利用者数は12人増加し、向上しております。 (原因)要支援者の早期発見のための支援体制の確立や相談支援体制の充実により新規の利用希望者は増加傾向にあります。
	成果向上余地 大 中 小 なし	(余地)事業の拡大という手段も考えられますが、事業費の増大や民間事業者の経営圧迫等の問題が懸念されるため慎重に検討すべきだと考えます。

児童通所支援給付事業

町長部局 保健福祉課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	119
施策	03 障がい者(児)福祉の充実	項	01 社会福祉費		
基本 事業	01 早期療育支援体制の充実	目	05 障害者福祉費	計画 年度	開始：平成24年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

利用希望者から相談・申請を受けて、必要なサービス費を支給しました。
障がい児の日常生活の自立を促すために、障害児通所支援給付（児童発達支援、放課後等
デイサービス）を実施しました。
障がい児の自立した生活を支え、障がい児の抱える課題の解決や適切なサービス利用に向
けて、障害児相談支援給付を実施しました。
・財源：障害児施設措置費（給付費等）負担金 ... 国1/2、県1/4
・利用料：応能負担
【12月補正】児童発達支援事業及び放課後等デイサービス事業の利用者数及び利用日数が
増加しているため、給付費を8,555千円増額しました。

活動・ 成果状 況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	申請件数 (件)		73	89
活動	給付金額 (円)		44,176,572	49,413,034	56,869,518
成果	児童通所支援施設年間延べ利用者数 (人)		874	898	1,043
成果					
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	21,868	24,648	28,629
		イ 県	11,044	12,353	14,210
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	11,344	12,412	14,031
		カ 事業費 (ア～オ合計)	44,256	49,413	56,870

成果実績 評価	成果状況	（状況）申請件数は3件減少していますが、年間延べ利用者数は145人増えていま す。 （原因）要支援者の早期発見のための支援体制の確立や相談支援体制の充実により 新規の利用希望者は増加傾向にあります。一方で、利用定員等の問題により一人当 たりの利用回数等の調整が必要な状況もあり、また、家庭の事情により利用を終了 する方もいます。 （余地）利用者数を増加させる方策としては、事業所の利用定員を増やすなど受け 入れ態勢を強化することが考えられますが、各事業所における資金調達や人材確保 等の課題があります。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	
	成果向上余地	
	大	
	中	
	小	
	なし	

障害者自立支援医療費給付事業

町長部局 保健福祉課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	119
施策	03 障がい者(児)福祉の充実	項	01 社会福祉費		
基本事業	02 地域生活支援の推進	目	05 障害者福祉費	計画 年度	開始：平成18年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)	
<p>身体に障がいをもたらしている一定の症状（放置すればその身体障がいの状態が永続する）に対し医学的処置を行うことによって、日常生活活動を回復又は向上する可能性の認められる場合に、その医療費の一部を公費で負担しました。</p> <p>利用者負担：原則として応能負担（最大で医療費の1割）とします。</p> <p>対象となる医療：人工透析、心臓バイパス術、人工関節置換術、肝臓移植など</p> <p>障害者自立支援事業費負担金 国1/2 県1/4</p>	

活動・成果状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	申請者数 (件)		92	113
活動	給付金額 (円)		13,655,807	16,367,298	19,230,437
成果	適格者で障害者自立支援医療費給付を受けている割合 (%)		100	100	100
成果					
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	8,829	8,183	9,615
		イ 県	3,413	4,091	4,807
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	1,480	4,184	4,878
		カ 事業費 (ア～オ合計)	13,722	16,458	19,300

成果実績評価	成果状況	<p>(状況) 令和3年度は申請件数102件で、適格者全てに医療給付することができました。医療費の給付により適格者が積極的に治療を受けたことにより職業能力を増進し、または日常生活を安易にすることができました。</p> <p>(原因) 制度の周知を図り、適格者の申請漏れがなく適正に行いました。</p> <p>(余地) 現状の制度を今まで通り適格者に周知をおこない、適正に運用することが求められます。</p>
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

[174]

障害者自立支援介護等給付事業

町長部局 保健福祉課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	119
施策	03 障がい者(児)福祉の充実	項	01 社会福祉費		
基本事業	02 地域生活支援の推進	目	05 障害者福祉費	計画 年度	開始：平成18年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

利用希望者から相談・申請を受けて、必要なサービス費を支給しました。
 ・日常生活の負担の軽減、自立した日常生活等を送れるように介護給付費及び訓練等給付費を支給しました。
 ・障がい者(児)の自立した生活を支え、障がい者(児)の抱える課題の解決や適切なサービス利用に向けて計画相談支援給付費を支給しました。
 ・財源：障害者自立支援給付費負担金 … 国1/2、県1/4
 ・利用料：応能負担
 【12月補正】介護給付サービス及び訓練等給付サービス利用者が増加しているため、給付費を57,441千円増額しました。

活動・成果状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	申請件数(件)		488	477
活動	給付金額(円)		674,099,171	674,443,429	713,067,453
成果	障害者自立支援介護等給付利用のべ人数(人)		4,862	4,605	5,065
成果					
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	339,247	328,563	364,137
		イ 県	168,032	167,003	177,218
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	169,749	183,196	173,578
		カ 事業費(ア~オ合計)	677,028	678,762	714,933

成果実績評価	成果状況	(状況)申請件数は昨年度と比較して13人減少していますが、年間延べ利用者数は460人増加しています。 (原因)計画相談の普及により、利用者の置かれた環境やニーズに応じたサービスを計画的に提供することができるようになりました。これにより、障がい者の地域移行や就労支援が図られ、生活介護や就労継続支援事業の利用者数が増加しました。また、共同生活援助の利用者が増加したことも大きな要因となっています。 (余地)相談支援制度の普及により事業の認知度は高まっており、今後も利用者数、利用量ともに増加していくものと考えます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

[75]

障害者地域生活支援事業

町長部局 保健福祉課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	121
施策	03 障がい者(児)福祉の充実	項	01 社会福祉費		
基本 事業	02 地域生活支援の推進	目	05 障害者福祉費	計画 年度	開始：平成18年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)	
<p>国が示す一定の事業メニューの中から、障がい者(児)が地域の中で自立した生活や社会参加できるように主に次の事業を実施しました。</p> <p><必須事業> 相談支援事業・成年後見制度利用支援事業・意思疎通支援事業・日常生活用具給付等事業・手話奉仕員養成研修事業・移動支援事業・地域活動支援センター機能強化事業</p> <p><任意事業> 訪問入浴サービス事業・日中一時支援事業・重度障害者自動車改造費用助成・障害者自動車運転免許取得助成</p> <p><地域生活支援促進事業> 発達障がい児者及び家族等支援事業</p> <p>【3月補正】 実績見込みにより減額しました。 713千円</p>	

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	事業委託料・補助金額(円)		36,651,749	33,424,465
活動	申請者数(人)		494	519	354
成果	障害者地域生活支援事業年間利用回数(回)		2,333	2,382	3,526
成果	障害者地域生活支援事業利用実人数(人)		494	519	354
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	6,036	6,318	6,084
		イ 県	3,017	3,159	3,021
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	43	40	0
		オ 一般	27,556	23,907	28,224
		カ 事業費(ア~オ合計)	36,652	33,424	37,329

成果実績 評価	成果状況	<p>(状況) 利用実人数は減少していますが、利用回数は増加しています。</p> <p>(原因) 障害者総合支援法により、相談支援の充実が図られ、障がい者(児)又はその家族や介護者等の様々なニーズや相談に応じ、それぞれに対応した障がい福祉サービスへつなげていける体制が整っています。</p> <p>(余地) 制度の周知を行い、障がい者(児)が地域で自立した生活及び社会生活が送れるように支援していきます。</p>
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

障害者自立支援補装具給付事業

町長部局 保健福祉課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	121
施策	03 障がい者(児)福祉の充実	項	01 社会福祉費		
基本 事業	02 地域生活支援の推進	目	05 障害者福祉費	計画 年度	開始：平成18年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

身体上の障がいを補うための補装具の交付、修理に係る費用を支給しました。

【補装具の主な種類】

視覚障がい...盲人安全杖、義眼、眼鏡

聴覚障がい...補聴器

肢体不自由...義肢、装具、車椅子など

【自己負担】原則1割負担（非課税世帯は負担なし）

【負担割合】国1/2 県1/4 町1/4

活動・ 成果状 況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	申請者数 (件)		40	25
活動	補装具購入・修理件数 (件)		40	25	32
成果	適格者で障害者自立支援補装具給付を受けている割合 (%)		100	100	100
成果					
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	2,175	1,312	1,749
		イ 県	1,087	1,346	874
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	1,088	2,814	874
		カ 事業費 (ア～オ合計)	4,350	5,472	3,497

成果実 績評 価	成果状況	<p>(状況)補装具の給付及び修理件数はR2年度と比較すると減少していますが、必要な方への給付は100%できています。</p> <p>(原因)相談・申請に対し、適正な事務処理を行えたことで、受給者は自立した生活及び社会生活を送ることができていると考えます。</p> <p>(余地)補装具制作業者及び県の判定機関との連携を密にし、受給者に不利益とならないよう、更なる迅速な事務の実施に努めます。</p>
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

人工透析患者交通費助成事業

町長部局 保健福祉課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	121
施策	03 障がい者(児)福祉の充実	項	01 社会福祉費		
基本 事業	02 地域生活支援の推進	目	05 障害者福祉費	計画 年度	開始：平成24年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

人工透析療法を受けるため医療機関への通院に要したタクシーの利用料金の一部を助成しました。

医療機関までの片道の移動距離に応じて次に定める金額を助成しました。
 4キロメートル未満：対象距離に基づいて算定したタクシー料金の5分の1の額
 4キロメートル以上：対象距離に基づいて算定したタクシー料金の2分の1の額
 当該年度において利用者の自己負担額が30万円を超えたときは、それ以後の末日まで全額補助

【9月補正】
 当初は、4キロメートル未満の利用者が多かったが、利用者の増減によりR3年1月以降は4キロメートル以上の利用者登録が増えたため、増額補正しました。778千円

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	登録者数 (件)		20	17
活動	給付金額 (円)		802,540	832,360	1,608,250
成果	適格者で人工透析患者交通費助成を受けている割合 (%)		100	100	100
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	803	832	1,608
		カ 事業費 (ア~オ合計)	803	832	1,608

成果実績 評価	成果状況	(状況)登録者数、利用回数ともに大きな増減はありませんが、事業の成果としては100%で推移しています。 (原因)対象者に対して、制度の周知を行っていることが要因であると考えます。 (余地)今度も対象者に対して、制度の周知を行います。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	
	成果向上余地	
	大	
	中	
	小	
	なし	

身体障害者福祉協議会補助事業

町長部局 保健福祉課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	121
施策	03 障がい者(児)福祉の充実	項	01 社会福祉費		
基本 事業	03 社会参加の促進	目	05 障害者福祉費	計画 年度	開始：平成17年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)
<p>活動方針に基づく活動に対して補助金を交付しました。 主な活動：障がい者スポーツ大会への参加、福祉イベントへの参加、交流事業、 地域見守り相談員事業、研修会等の開催及び参加 また、R3年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、活動を縮小したため補助金を減額いたしました。</p>

	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
活動・ 成果 状況	活動	補助金額 (円)	910,000	500,000	500,000
	活動	活動回数 (回)	20	13	14
	成果	身体障害者福祉協議会会員数 (人)	184	175	161
	成果	身体障害者福祉協議会事業参加者数 (人)	167	62	56
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	910	500	500
		カ 事業費 (ア～オ合計)	910	500	500

成果実績 評価	成果状況	<p>(状況)会員数は令和3年度で161名となっており、毎年、減少しています。活動内容の見直しを行い、魅力ある事業の立案・実施を目指していますが、新規会員の獲得には至っていない状況です。 (原因)会員の高齢化により、積極的な活動を行う意欲が減退してきているため、事業運営が一部会員に集中しています。また、諸事情で脱会する会員も増えてきています。 (余地)見直しを行った活動内容を維持・継続することで、協議会の魅力と社会貢献度が向上し、補助金のより適正な執行が図ります。</p>
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

新型コロナウイルス感染症対策障がい者就労支援事業

町長部局 保健福祉課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	121
施策	03 障がい者(児)福祉の充実	項	01 社会福祉費		
基本 事業	99 施策の総合推進	目	05 障害者福祉費	計画 年度	開始：令和02年度 終了：令和03年度

手段 (R03年度の取り組み)
<p>新型コロナウイルス感染症対策として次の繰越事業に対する補助金を交付しました。 障がい者就労支援事業新ビジネス展開事業に対する補助事業(4,215千円)</p> <p>【令和2年度新型コロナ臨時交付金：3,765千円】</p>

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	申請件数(件)			4
活動					-
成果	事業完了割合(%)			100	100
成果					-
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	9,852	3,765
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	0	1,298	450
		カ 事業費(ア~オ合計)	0	11,150	4,215

成果実績 評価	成果状況	(状況)令和2年度から繰越していた1事業所に対して補助金を交付しました。 (原因)新型コロナウイルスの感染拡大に伴い令和2年度は備品の製造ラインが休止していたことにより繰越事業となりました。 (余地)令和3年度で補助事業は終了しました。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	
	成果向上余地	
	大	
	中	
	小	
	なし	

〔103〕

特別支援学校寄宿生徒送迎事業

町長部局 保健福祉課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	121
施策	03 障がい者(児)福祉の充実	項	01 社会福祉費		
基本事業	99 施策の総合推進	目	05 障害者福祉費	計画 年度	開始：令和03年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)
<p>事業に係る以下の経費を支出しました。</p> <p>事業謝礼（運転手、付添） 394,800円 需用費（燃料費） 112,032円 需用費（修繕料） 94,380円 備品購（ドラレコ）40,000円</p> <p>事業期間（令和3年10月～令和4年3月） 利用生徒 3人 送迎回数 47回 送迎人数 127人</p>

活動・成果状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	活動	利用生徒数（人）		
成果	成果	身体的、精神的負担が軽減された保護者の割合（%）			100
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	0	0	641
		カ 事業費(ア～オ合計)	0	0	641

成果実績評価	成果状況	<p>（状況）3人の生徒が事業を利用して保護者の身体的、精神的な負担の軽減を図ることができました。</p> <p>（原因）事業を利用することで週末等の保護者の不安がなくなったことによるものです。</p> <p>（余地）年度毎に保護者への周知を行います。</p>
	<p>向上</p> <p>維持・横ばい</p> <p>低下・悪化</p> <p>成果向上余地</p> <p>大</p> <p>中</p> <p>小</p> <p>なし</p>	

県人権対策協議会愛南支部補助事業

教育委員会部局 人権啓発室

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	123
施策	04 人権尊重・男女共同参画の実現	項	01 社会福祉費		
基本 事業	01 人権・同和教育の推進	目	08 人権・同和对策費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

同和問題をはじめとする、あらゆる人権課題解決のため、愛媛県人権対策協議会愛南支部の活動を支援しました。

- ・愛媛県人権対策協議会事業（各種研修会、大会等）への参加 【多数中止】
- ・関連事業
 - 南予地区人権・同和教育研究協議会
 - 愛媛県人権・同和教育研究大会
 - 四国地区人権教育研究大会
 - 全国人権・同和教育研究大会 【中止】
 - 愛南町人権ふぉーらむ 【中止】
 - 解放未来塾研修 【中止】

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	補助金額 (円)		1,190,000	700,000
活動					
成果	県人権対策協議会愛南支部各種行事及び大会等への参加者数 (人)		165	34	21
成果					
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	1,190	700	520
		カ 事業費 (ア～オ合計)	1,190	700	520

成果実績 評価	成果状況	(状況)参加者数は150人を見込んでいましたが、21人と大幅に低下しました。 (原因)新型コロナウイルス感染症の影響により、大会及び研修会が中止になったためです。 (余地)町と団体が更に連携し、参加しやすい研修やイベントを企画する必要があります。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	
	成果向上余地	
	大	
	中	
	小	
	なし	

大森文化会館管理運営事業

教育委員会部局 人権啓発室

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	125
施策	04 人権尊重・男女共同参画の実現	項	01 社会福祉費		
基本 事業	03 社会的弱者の人権の保護	目	09 隣保館費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

地域に密着したコミュニティーセンターとして、人権・同和問題を解決する隣保館としての役割りを果たすための管理運営を行いました。

- ・相談事業.....生活上の相談、人権に関する相談、職業相談等
- ・啓発・広報活動...人権に関する理解を深めるための広報・啓発活動
- ・各種研修会、研究大会への参加
- ・施設の維持管理

令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、利用・参加人数を制限しました。

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	活動	修繕件数(件)	2	2
活動	活動	開館日数(日)	245	246	242
成果	成果	大森文化会館年間利用者数(人)	797	300	229
成果	成果	大森文化会館年間事業参加者数(人)	641	272	210
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	1,842	1,429	2,020
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	0	0	0
		カ 事業費(ア~オ合計)	1,842	1,429	2,020

成果 実績 評価	成果状況	(状況)利用者数850人、参加者数700人を見込んでいましたが、利用者数229人、参加者数210人と大幅に低下しました。 (原因)新型コロナウイルス感染症の影響により、利用及び参加を制限したためです。 (余地)より多くの人に利用していただけるよう、館だよりによるPRや、事業の充実を図る必要があります。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	
	成果向上余地	
	大	
	中	
	小	
	なし	

放課後児童クラブ事業

町長部局 保健福祉課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	125
施策	01 子育て環境の充実	項	02 児童福祉費		
基本 事業	01 保育サービス等の充実	目	01 児童福祉総務費	計画 年度	開始：平成19年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

一本松小学校、平城小学校、城辺小学校のそれぞれの学校の余裕教室1室を放課後児童クラブの教室として使用し、支援員の監督のもとで保育を行いました。

【利用児童数】令和4年3月末時点

平城小学校42名、城辺小学校35名、一本松小学校20名

【支援員数】

平城小学校6名、城辺小学校4名、一本松小学校4名

定員を超える申し込みがありましたが、弾力的な受け入れを行うことにより、年度当初より待機児童は0名となりました。

【子ども・子育て支援交付金事業 国・県・町 1/3】

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動		放課後児童クラブの設置数(箇所)	3	3
活動					
成果		放課後児童クラブ待機者数(人)	15	7	0
成果		放課後児童クラブ入会決定児童数(人)	128	126	119
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	7,622	6,440	7,636
		イ 県	5,581	6,740	7,438
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	6,259	5,752	5,679
		オ 一般	4,175	13,546	11,911
		カ 事業費(ア~オ合計)	23,637	32,478	32,664

成果実績 評価	成果状況	(状況)年度当初から待機児童は0名となりました。 (原因)年度当初申込者数は令和2年度に比べ、6名減り115名でした。定員を超える申込はありましたが、受入できる範囲内であったことが原因を考えます。 (余地)必要に応じて状況を確認し関係各課と連携して事業などの検討を行います。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	
	成果向上余地	
	大	
	中	
	小	
	なし	

877]

保育環境改善支援事業

町長部局 保健福祉課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	127
施策	01 子育て環境の充実	項	02 児童福祉費		
基本 事業	01 保育サービス等の充実	目	01 児童福祉総務費	計画 年度	開始：平成28年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)	
<p>私立保育施設の施設・設備の改修・導入、その他、保育環境の改善事業に対して町補助を行います。補助の要望に対して発生するため毎年発生するものではありません。令和3年度は保育士等処遇改善臨時特例給付金事業として、町内の私立保育所2施設に補助金を交付しました。</p> <p>H28 船越保育園 防水改修、保育業務支援システム H29～R1 補助要望なし R2 はまゆう、船越 コロナ対策用品購入 R3 保育士等処遇改善臨時特例交付金事業（国10/10） ・はまゆう乳幼児保育所 409,900円 ・船越保育園 139,340円</p>	

活動・ 成果状 況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	補助件数 (件)		0	2
成果	補助執行率 (%)		0	100.0	100.0
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	1,000	549
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	0	0	0
	カ 事業費 (ア～オ合計)		0	1,000	549

成果実績 評価	成果状況	(状況) 令和3年度は町内の私立保育所2施設に補助金を交付しました。 (原因) 低水準にある保育士等の所得向上に向けた保育士等処遇改善事業(国庫補助)ができ、私立保育施設が費用負担をすることなく、保育士の処遇改善を行うことが可能になりました。 (余地) 保育士等処遇改善臨時特例給付金事業は令和4年9月までの継続事業となっていますが、毎年度行う事業ではありません。保育環境改善については、事案ごとに協議が必要なため、改善の余地は少ない状態です。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

病児保育事業

町長部局 保健福祉課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	127
施策	01 子育て環境の充実	項	02 児童福祉費		
基本 事業	01 保育サービス等の充実	目	01 児童福祉総務費	計画 年度	開始：平成29年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

病児保育を実施している医療機関と委託契約を結び、病児の受け入れを行いました。

【実施内容】

- ・実施施設 岡沢クリニック テレサルーム（平成29年5月1日事業開始）
- ・対象児童 生後3ヶ月から小学6年生までの病気の急性期でない児童
- ・実施日 月～土曜日（第1・3土曜日、日祝日、お盆、年末年始は休み）
- ・時間 8：30～17：30
- ・利用料金 一日 2,000円 半日 1,000円
（生活保護世帯は無料、非課税世帯は半額）

本事業は子ども・子育て支援交付金事業（国・県・町 1/3）

令和3年度は、交付金額改定により464,000円の増額補正を行いました。

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動		病児保育実施日数（日）	267	269
活動		委託料（千円）	11,667	11,627	12,131
成果		病児保育利用登録人数（人）	244	256	226
成果		病児保育利用延べ人数（人）	476	293	392
事業費 （千円）	財源内訳	ア 国	3,889	4,388	4,043
		イ 県	3,889	3,854	3,686
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	3,892	3,888	4,403
		カ 事業費（ア～オ合計）	11,670	12,130	12,132

成果実績 評価	成果状況	（状況）登録児童数は30人減少し、延べ利用人数は99人増加しています。 （原因）今年度は、コロナ感染症予防対策の影響などにより、登録者数は減少しています。利用者数は昨年度よりは増加したものの、例年に比べると少なくなっています。 （余地）病気の流行等により、利用人数の増減は考えられません。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	
	成果向上余地	
	大	
	中	
	小	
	なし	

031]

放課後図書クラブ事業

町長部局 保健福祉課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	127
施策	01 子育て環境の充実	項	02 児童福祉費		
基本 事業	01 保育サービス等の充実	目	01 児童福祉総務費	計画 年度	開始：令和03年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)
<p>平城小学校の図書室等に放課後図書クラブを設置し、支援員の監督のもとで保育を行いました。</p> <p>【開所時間】 学校登校日の放課後から午後5時00まで</p> <p>【利用児童数】令和4年3月末現在 2名</p> <p>【支援員数】令和4年3月末現在 3名</p> <p>令和3年度はモデル事業として、町単独事業として実施しました。</p>

	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
活動・ 成果 状況	活動	開所日数(日)			106
	活動				
	成果	放課後図書クラブ待機者数(人)			0
	成果	放課後図書クラブ入会決定児童数(人)			3
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	22
		オ 一般	0	0	681
	カ 事業費(ア~オ合計)		0	0	703

成果実績 評価	成果状況	(状況)定員は10名ですが、利用児童は3名と定員を大きく割れています。 (原因)事業開始初年度であったことから、周知不足が原因と考えられます。 (余地)放課後の児童の居場所づくりへのニーズは高いことから、学校と連携して周知を図り事業の検討を行います。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

〔109〕

地域子育て支援拠点事業

町長部局 保健福祉課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	127
施策	01 子育て環境の充実	項	02 児童福祉費		
基本 事業	02 地域における子育て支援	目	01 児童福祉総務費	計画 年度	開始：平成29年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

地域子育て支援拠点事業を実施する保育所、任意団体に事業を委託し委託料を支出しました。常設の地域子育て支援拠点を開設し、下記事業を実施しました。
 ・子育て親子の交流の場の提供と交流の促進 ・子育て等に関する相談、援助の実施
 ・地域の子育て関連情報の提供 ・子育て及び子育て支援に関する講習等の実施等
 委託事業者
 1. はまゆう乳幼児保育所(月～金曜日の8:00～17:00 祝日、年末年始は休み)
 2. こぶたたんぼポケットとんぼ(月～金曜日10:00～16:00、第1土曜日の10:00～12:00 祝日、お盆、年末年始は休み)
 【子ども・子育て支援交付金事業 国・県・町 1/3】
 交付金基準額改定により、はまゆう乳幼児保育所とこぶたたんぼポケットとんぼに子育て支援拠点事業委託料を256,000円増額補正しました。(128,000円×2か所)

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動		地域子育て支援事業実施箇所数(箇所)	2	2
活動		地域子育て支援拠点事業実施日数(日)	220	210	174
成果		登録親子数(人)	202	333	200
成果		地域子育て支援拠点事業利用延べ人数(人)	5,540	3,306	2,686
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	5,434	6,013	5,598
		イ 県	5,434	5,513	5,598
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	5,436	5,514	5,600
		カ 事業費(ア～オ合計)	16,304	17,040	16,796

成果実績 評価	成果状況	(状況)登録親子数、利用延人数ともに減少しました。 (原因)新型コロナウイルス感染症対策のため事業を中止した等の影響が大きいと考えます。 (余地)事業が予定通り実施できれば、利用延人数の若干の増加は見込めます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	
	成果向上余地	
	大	
	中	
	小	
	なし	

出産子育て支援金交付事業

町長部局 町民課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	127
施策	01 子育て環境の充実	項	02 児童福祉費		
基本事業	04 子育て世代への経済的支援	目	01 児童福祉総務費	計画 年度	開始：平成29年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)	
<ul style="list-style-type: none"> ・新生児の出生から1年後、交付対象予定者に申請書等を送付しました。 ・交付対象者は、申請書に必要書類を添えて期限内に申請しました。 ・町民課にて申請内容を審査後、交付の適否を通知し、支援金の交付を行いました。 <p>第1子 100,000円 第2子 200,000円 第3子以降 300,000円</p>	

活動・成果状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	活動	交付金額(千円)	11,800	11,800
成果	成果	交付率(%)	100	100	96.4
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	11,800	11,800	10,100
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	0	0	500
		カ 事業費(ア~オ合計)	11,800	11,800	10,600

成果実績評価	成果状況	(状況) 対象件数56件に対して54件に交付し、交付率は96.4%でした。 (原因) その理由としては、制度について十分周知されていること、対象者へ申請書を送付しても申請がない場合は、申請期限前での再通知を実施したことが考えられます。 (余地) 今後も制度の周知の徹底に努めます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

乳幼児用紙おむつ券交付事業

町長部局 保健福祉課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	127
施策	01 子育て環境の充実	項	02 児童福祉費		
基本 事業	04 子育て世代への経済的支援	目	01 児童福祉総務費	計画 年度	開始：平成29年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)	
<p>申請及び審査により、1,000円券×50枚綴りの紙おむつ券を第1子出生分に対して27件、第2子以降出生分に対しては48件交付しました。また、紙おむつ券の利用のあった町内登録店舗に対して、第1子以降分1,240,000円、第2子以降分1,930,000円の支払いを行いました。</p> <p>第1子分は町単独事業、第2子以降分は県補助金対象（登録店舗支払い実績等に対し、2分の1補助）</p>	

	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
活動・ 成果 状況	活動	紙おむつ券交付人数(人)	74	60	75
	活動				
	成果	町内登録店舗への支払額(千円)	3,755	3,540	3,170
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	1,258	1,240	1,083
		ウ 地方債	2,100	1,800	1,400
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	476	580	764
	カ 事業費(ア~オ合計)		3,834	3,620	3,247

成果実績 評価	成果状況	<p>(状況)申請による交付人数が75人と見込みよりは少なくなっています。また、合わせて登録店舗への支払額についても3,170千円と見込みより少なくなっています。</p> <p>(原因)出生数が減少していること、また登録店舗での使用量の見込みが難しく見込みを過大に積算していたためです。</p> <p>(余地)令和3年度交付分については、次年度も使用期限内にあるため引き続き利用が見込まれます。見込みの精査を行い、また、併せて県と連携した当事業のPRを行い、保護者への周知を推進し、更なる子育て支援につなげます。</p>
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

子育て世帯への臨時特別給付金給付事業

町長部局 保健福祉課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	129
施策	01 子育て環境の充実	項	02 児童福祉費		
基本 事業	04 子育て世代への経済的支援	目	01 児童福祉総務費	計画 年度	開始：令和02年度 終了：令和03年度

手段 (R03年度の取り組み)

新型コロナウイルス感染症の影響を受けている子育て世帯を支援する観点から、対象児童一人あたり10万円の臨時特別給付金を支給しました。
また、国の基準対象外となる所得制限オーバーにより給付を受けられない保護者に対して、対象児童一人あたり10万円を支給しました。
令和3年度新型コロナ臨時交付金充当 2,000千円
令和3年度子育て世帯等臨時特別支援事業費補助金 208,949千円

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動		受給する世帯数(件)		1,067
活動		受給する世帯数(国の基準対象外世帯)(件)			33
成果					
成果					
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	18,768	210,949
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	0	0	3,907
		カ 事業費(ア~オ合計)	0	18,768	214,856

成果 実績 評価	成果状況	新型コロナウイルス感染症の影響を受けている子育て世帯を支援する観点から、対象児童2,082名に一人あたり10万円の臨時特別給付金を支給しました。 また、国の基準対象外となる所得制限オーバーにより給付を受けられない保護者に対して、対象児童59名に一人あたり10万円を支給しました。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	
	成果向上余地	
	大	
	中	
	小	
	なし	

[1088]

児童保育委託事業

町長部局 保健福祉課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	129
施策	01 子育て環境の充実	項	02 児童福祉費		
基本 事業	01 保育サービス等の充実	目	02 児童措置費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

私立保育所に対し公定価格（保育単価）、入所人数に基づいた委託料を支払いました。
船越保育園に対し3歳以上の完全給食を実施するための主食（米）代を支払いました。
保育の広域利用については、他市町への委託が5人（公立2名、私立3名）、他市町からの
受託が7人（公立7人、私立0人）あり、円滑な利用ができるように市町間で調整を行いま
した。
（補助率）
3歳以上：国1/2、県1/4
3歳未満：国57.72/100、県21.14/100

活動・ 成果状 況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動		委託児童数（人）	71	69
活動		委託金額（円）	128,105,080	127,131,302	124,478,462
成果		保育サービス満足度（%）	89.02	91.49	91.80
成果		苦情件数（件）	0	0	0
事業費 （千円）	財源内訳	ア 国	60,086	61,888	61,873
		イ 県	24,754	24,073	23,772
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	10,724	10,712	8,341
		オ 一般	32,541	30,458	30,492
		カ 事業費（ア～オ合計）	128,105	127,131	124,478

成果実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	（状況）入所者アンケートからは前年度91.49%から0.31%向上し、91.80%と高い満足度を維持しています。 （原因）質の高い保育サービスが提供され満足度に現れたと考えられます。 （余地）毎年の指導監査等によって、よりよい保育環境が提供できるよう継続して取り組んでいきます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

ひとり親家庭医療給付事業

町長部局 町民課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	131
施策	04 健康・医療体制の充実	項	02 児童福祉費		
基本事業	03 福祉医療費助成制度の充実	目	03 母子父子福祉費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

- ・対象者からの申請に基づき、ひとり親家庭医療費受給者証を交付しました。
- ・通院及び入院の健康保険適用の一部負担金を、現物給付又は役場窓口での申請による償還払いで助成しました。
- ・毎年6月に更新案内通知を受給者に送付し、更新手続後、新しい受給者証を交付しました。

活動・成果状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	活動	受給者数(人)	498	464
活動	活動	医療費助成額(千円)	14,883	13,310	13,184
成果	成果	受給者1人当たり助成額(円)	40,886	28,685	31,540
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	6,985	7,525	7,131
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	8,173	5,981	6,250
		カ 事業費(ア～オ合計)	15,158	13,506	13,381

成果実績評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) 前年度と比べ、受給者1人当たりの助成額が2,855円増加しています。 (原因) 医療の高度化や昨年度の新型コロナウイルス感染症拡大防止対策による受診控えからの回復が原因として考えられます。 (余地) 今後もひとり親家庭の負担を軽減し、安定した事業を継続していく必要があります。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

[209]

柏保育所管理運営事業

町長部局 柏保育所

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	133
施策	01 子育て環境の充実	項	02 児童福祉費		
基本 事業	01 保育サービス等の充実	目	04 保育所費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

令和3年度は児童22人を預かり、保育サービスを提供しました。保育サービス及び施設管理に必要な業務の実施並びに複合遊具の新規購入を行いました。

- ・複合遊具2,659千円

保育対策総合支援事業費補助金及び新型コロナ臨時特例交付金を活用し、新型コロナウイルス対策を実施しました。

【令和3年度保育対策総合支援事業費補助金】

- ・保育環境改善事業等67千円

【令和3年度新型コロナ臨時特例交付金】

- ・トイレ洋式化工事908千円
- ・手洗い自動水栓化工事387千円

	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
活動・ 成果 状況	活動	開園日数 (日)	291	294	294
	活動	利用延べ児童数 (人)	8,730	8,232	6,468
	成果	柏保育所の保護者アンケートによる保育サービス満足度 (%)	75.96	70.78	81.25
	成果	施設管理上の不具合で保育に支障をきたした件数 (件)	0	0	0
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	265	1,362
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	2,550	1,430	1,130
		オ 一般	10,839	4,848	7,997
	カ 事業費 (ア～オ合計)	13,389	6,543	10,489	

成果実績 評価	成果状況	(状況)令和3年度は22人の児童の利用があり、保護者アンケートでは前年度70.78%から10.47ポイント向上し、81.25%の満足度を得ています。 (原因)保育サービス内容の変更は無いため、統計誤差の範囲と考えます。 (余地)毎年の指導監査等により、よりよい保育環境が提供できるよう継続して取り組んでいきます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	
	成果向上余地	
	大	
	中	
	小	
	なし	

Q20]

家串保育所管理運営事業

町長部局 家串保育所

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	133
施策	01 子育て環境の充実	項	02 児童福祉費		
基本 事業	01 保育サービス等の充実	目	04 保育所費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)	
<p>令和3年度は児童16人を預かり、保育サービスを提供しました。保育サービス及び施設管理に必要な業務を行いました。 保育対策総合支援事業費補助金及び新型コロナ臨時特例交付金を活用し、新型コロナウイルス対策を実施しました。</p> <p>【令和3年度保育対策総合支援事業費補助金】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育環境改善事業等31千円 <p>【令和3年度新型コロナ臨時特例交付金】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トイレ洋式化工事637千円 	

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	活動	開園日数 (日)	291	294
活動	活動	利用延べ児童数 (人)	5,820	5,586	4,704
成果	成果	家串保育所の保護者アンケートによる保育サービス満足度 (%)	78.39	76.94	84.28
成果	成果	施設管理上の不具合で保育に支障をきたした件数 (件)	0	0	0
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	244	668
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	901	790	582
		オ 一般	14,298	3,792	5,138
		カ 事業費 (ア～オ合計)	15,199	4,826	6,388

成果実績 評価	成果状況	<p>(状況) 令和3年度は16人の児童の利用があり、保護者アンケートでは前年度76.94%から7.34ポイント向上し、84.28%の満足度を得ています。 (原因) 保育サービス内容の変更は無いため、統計誤差の範囲と考えます。 (余地) 毎年の指導監査等により、よりよい保育環境が提供できるよう継続して取り組んでいきます。</p>
	<p>向上 維持・横ばい 低下・悪化</p> <p>成果向上余地 大 中 小 なし</p>	

Q21]

御荘保育所管理運営事業

町長部局 御荘保育所

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	135
施策	01 子育て環境の充実	項	02 児童福祉費		
基本事業	01 保育サービス等の充実	目	04 保育所費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

令和3年度は児童110人を預かり、保育サービスを提供しました。保育サービス及び施設管理に必要な業務を行いました。
保育対策総合支援事業費補助金及び新型コロナ臨時特例交付金を活用し、新型コロナウイルス対策を実施しました。
【令和3年度保育対策総合支援事業費補助金】
・保育環境改善事業等250千円
【令和3年度新型コロナ臨時特例交付金】
・手洗い自動水栓化工事725千円

	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
活動・ 成果 状況	活動	開園日数 (日)	291	293	293
	活動	利用述延べ児童数 (人)	34,629	32,523	32,230
	成果	御荘保育所の保護者アンケートによる保育サービス満足度 (%)	76.76	77.71	81.63
	成果	御荘保育所 施設管理上の不具合で保育に支障をきたした件数 (件)	0	0	0
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	500	975
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	12,824	5,103	4,710
		オ 一般	48,628	18,623	15,844
	カ 事業費 (ア～オ合計)	61,452	24,226	21,529	

成果実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況)令和3年度は110人の児童の利用があり、保護者アンケートでは前年度77.71%から3.92ポイント向上し、81.63%の満足度を得ています。 (原因)保育サービス内容の変更は無いため、統計誤差の範囲と考えます。 (余地)毎年の指導監査等により、よりよい保育環境が提供できるよう継続して取り組んでいきます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

Q22]

城辺保育所管理運営事業

町長部局 城辺保育所

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	137
施策	01 子育て環境の充実	項	02 児童福祉費		
基本事業	01 保育サービス等の充実	目	04 保育所費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)
<p>令和3年度は児童108人を預かり、保育サービスを提供しました。保育サービス及び施設管理に必要な業務を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスによる休園...3/28～3/31 4日間 <p>保育対策総合支援事業費補助金及び新型コロナウイルス臨時特例交付金を活用し、新型コロナウイルス対策を実施しました。</p> <p>【令和3年度保育対策総合支援事業費補助金】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育環境改善事業等110千円 <p>【令和3年度新型コロナウイルス臨時特例交付金】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手洗い自動水栓化工事934千円

活動・成果状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	活動	開園日数 (日)	294	293
活動	活動	利用延べ児童数 (人)	38,808	35,453	31,212
成果	成果	城辺保育所の保護者アンケートによる保育サービス満足度 (%)	81.82	81.42	85.41
成果	成果	城辺保育所 施設管理上の不具合で保育に支障をきたした件数 (件)	0	0	0
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	500	1,044
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	13,641	6,354	5,359
		オ 一般	46,435	16,058	17,813
		カ 事業費 (ア～オ合計)	60,076	22,912	24,216

成果実績評価	成果状況	<p>(状況)令和3年度は108人の児童の利用があり、保護者アンケートでは前年度81.42%から3.99ポイント向上し、85.41%の満足度を得ています。</p> <p>(原因)保育サービス内容の変更は無いため、統計誤差の範囲と考えます。</p> <p>(余地)毎年の指導監査等により、よりよい保育環境が提供できるよう継続して取り組んでいきます。</p>
	<p>向上</p> <p>維持・横ばい</p> <p>低下・悪化</p> <p>成果向上余地</p> <p>大</p> <p>中</p> <p>小</p> <p>なし</p>	

Q25]

緑保育所管理運営事業

町長部局 緑保育所

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	139
施策	01 子育て環境の充実	項	02 児童福祉費		
基本 事業	01 保育サービス等の充実	目	04 保育所費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

令和3年度は児童17人を預かり、保育サービスを提供しました。保育サービス及び施設管理に必要な業務を行いました。
保育対策総合支援事業費補助金及び新型コロナ臨時特例交付金を活用し、新型コロナウイルス対策を実施しました。
【令和3年度保育対策総合支援事業費補助金】
・保育環境改善事業等42千円
【令和3年度新型コロナ臨時特例交付金】
・トイレ洋式化工事956千円
・手洗い自動水栓化工事1,044千円

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	開園日数(日)		291	293
活動	利用延べ児童数(人)		3,783	4,688	4,981
成果	緑保育所の保護者アンケートによる保育サービス満足度(%)		75.72	75.57	82.07
成果	緑保育所 施設管理上の不具合で保育に支障をきたした件数(件)		0	0	0
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	300	2,042
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	1,922	777	1,315
		オ 一般	12,271	3,425	3,770
		カ 事業費(ア~オ合計)	14,193	4,502	7,127

成果実績 評価	成果状況	(状況)令和3年度は17人の児童の利用があり、保護者アンケートでは前年度75.57%から6.5ポイント向上し、82.07%の満足度を得ています。 (原因)保育サービス内容の変更は無いため、統計誤差の範囲と考えます。 (余地)毎年の指導監査等により、よりよい保育環境が提供できるよう継続して取り組んでいきます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	
	成果向上余地	
	大 中 小 なし	

[26]

一本松保育所管理運営事業

町長部局 一本松保育所

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	139
施策	01 子育て環境の充実	項	02 児童福祉費		
基本 事業	01 保育サービス等の充実	目	04 保育所費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

令和3年度は児童62人を預かり、保育サービスを提供しました。保育サービス及び施設管理に必要な業務を行いました。
保育対策総合支援事業費補助金及び新型コロナ臨時特例交付金を活用し、新型コロナウイルス対策を実施しました。
【令和3年度保育対策総合支援事業費補助金】
・保育環境改善事業等35千円
【令和3年度新型コロナ臨時特例交付金】
・トイレ洋式化工事537千円
・手洗い自動水栓化工事460千円

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	活動	開園日数(日)	291	293
活動	活動	利用延べ児童数(人)	20,952	19,045	18,166
成果	成果	一本松保育所の保護者アンケートによる保育サービス満足度(%)	80.05	77.98	82.77
成果	成果	一本松保育所 施設管理上の不具合で保育に支障をきたした件数(件)	0	0	0
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	500	1,032
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	13,641	2,522	4,134
		オ 一般	26,905	11,564	8,354
		カ 事業費(ア~オ合計)	40,546	14,586	13,520

成果実績 評価	成果状況	(状況)令和3年度は62人の児童の利用があり、保護者アンケートでは前年度77.98%から4.79ポイント低下し、82.77%の満足度を得ています。 (原因)保育サービス内容の変更は無いため、統計誤差の範囲と考えます。 (余地)毎年の指導監査等により、よりよい保育環境が提供できるよう継続して取り組んでいきます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	
	成果向上余地	
	大	
	中	
	小	
	なし	

Q27]

緑保育所一時保育事業

町長部局 緑保育所

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	141
施策	01 子育て環境の充実	項	02 児童福祉費		
基本 事業	01 保育サービス等の充実	目	04 保育所費	計画 年度	開始：平成20年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

保護者の就労、疾病、冠婚葬祭等により一時的に保育が必要な場合や保護者のリフレッシュに必要な場合に保育所で保育サービスを提供しました。

- ・登録者数 20名 (R3)
- ・実施日 保育所の開所日
- ・実施時間 8:30~16:30
- ・利用可能日数 1か月につき15日まで
- ・利用料金 半日利用 900円 一日利用 1,500円
延長追加料金 1時間につき 100円
ただし、給食を食べなかった場合は、250円減額

【子ども・子育て支援交付金事業 国・県・町1/3】 総務課人件費に充当

活動・ 成果状 況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	活動	開園日数 (日)	290	295
活動	活動	利用延べ児童数 (人)	614	781	565
成果	成果	一時保育を受けられなかった件数 (件)	0	0	0
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	429	428	501
		オ 一般	0	0	0
		カ 事業費 (ア~オ合計)	429	428	501

成果実績 評価	成果状況	(状況)登録人数、利用者数ともに減少しています。 (原因)全体の児童数の減少や保育所への入所、また、新型コロナウイルス感染症の影響による利用自粛などが原因として考えられます。 (余地)児童数の減少等により成果向上の余地は少ないと考えられます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

休園保育所維持管理事業

町長部局 保健福祉課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	141
施策	06 公共施設マネジメントの推進	項	02 児童福祉費		
基本 事業	02 公共施設の維持管理	目	04 保育所費	計画 年度	開始：平成21年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

休園保育所を保守点検や業務委託等により維持管理を行いました。
 正木保育所（愛南町正木1223番地）
 ・浄化槽清掃委託、浄化槽保守点検、消防設備保守点検 等
 久良保育所（愛南町久良824番地）・草刈委託
 長月保育所（愛南町御荘長月645番地）
 ・浄化槽清掃委託、浄化槽保守点検、消防設備保守点検、
 樹木管理 等
 長崎保育所（愛南町御荘平城360番地）
 ・浄化槽清掃委託、浄化槽保守点検、消防設備保守点検、
 草刈委託 等

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動		保守点検回数 (回)	8	16
活動		委託業務件数 (件)	3	6	9
成果		休園保育所の維持管理上の苦情・事故・トラブル件数 (件)	0	0	0
成果					
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	231	507	1,182
		カ 事業費 (ア～オ合計)	231	507	1,182

成果 実績 評価	成果状況	(状況)維持管理について順調に実施できています。 (原因)大きな改修等が必要な個所が特にないためと考えられます。 (余地)引き続き適切な維持管理が必要だと考えます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

Q31]

御荘夢創造館管理運営事業

町長部局 保健福祉課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	03 民生費	決算書 ページ	143
施策	01 子育て環境の充実	項	02 児童福祉費		
基本事業	02 地域における子育て支援	目	05 児童館費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

開館時間：9時～17時
 休館日：毎週火曜日、祝日、12月29日～1月3日
 （コロナ感染拡大防止による臨時休館日数：63日間）
 ○小学生を対象とした活動教室として、パソコン・将棋・油絵・工作・百人一首・合唱団・版画の7教室を行いました。保護者を対象としてヨガ教室を行いました。
 毎月の行事としておはなし会・作って遊ぼう・子供映画会を行いました。季節のイベント等として、夏休み子ども集会・クリスマス会を行いました。
 コロナ感染拡大防止による臨時休館となった際、テイクアウト児童館として、幼児・小学生を対象に自宅で楽しめる工作キットや遊びのレシピを配布しました。
 ○広場に設置されていた石オブジェの移設工事を行いました。事業費469,700円
 ○非常放送屋外スピーカー及び自動火災報知設備改修工事を行いました。事業費155,100円

活動・成果状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	活動	利用人数(人)	8,795	5,310
活動	活動	参加人数(人)	1,767	1,686	1,563
成果	成果	御荘夢創造館年間延べ利用者数(人)	10,562	6,996	6,822
成果	成果	御荘夢創造館施設管理上の不具合で利用に支障をきたした件数(件)	0	0	0
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	9,300	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	5,715	4,512	3,677
		カ 事業費(ア～オ合計)	5,715	13,812	3,677

成果実績評価	成果状況	(状況)年間延べ利用人数は6,822人と令和2年度と比べ、174人減少しています。 (原因)出生数、乳幼児・児童・生徒数の減による来館者の減少とコロナ禍による臨時休館日の増加が要因と考えられます。 (余地)利用者の増加・満足度向上のために、活動内容の充実、施設設備の充実、環境美化、安全管理が必要だと考えられます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	
	成果向上余地	
	大	
	中	
	小	
	なし	

子ども医療給付事業（乳幼児）

町長部局 町民課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	04 衛生費	決算書 ページ	145
施策	04 健康・医療体制の充実	項	01 保健衛生費		
基本 事業	03 福祉医療費助成制度の充実	目	01 保健衛生総務費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段（R03年度の取り組み）

- ・就学前の乳幼児の保護者からの申請に基づき、子ども医療費受給資格証を交付しました。
- ・通院及び入院の健康保険適用の一部負担金を、現物給付又は役場窓口での申請による償還払いで助成しました。

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	活動	受給者数（人）	616	570
活動	活動	医療費助成額（千円）	27,824	21,679	18,071
成果	成果	受給者1人当たり助成額（円）	47,300	38,033	33,279
成果	成果				0
事業費 （千円）	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	11,042	8,802	7,127
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	17,277	13,212	11,271
		カ 事業費（ア～オ合計）	28,319	22,014	18,398

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	（状況）前年度と比べ、助成額が3,608千円減少しています。 （原因）少子化による受給者数の減少が原因として考えられます。 （余地）今後も子育て家庭の負担を軽減し、安定した事業を継続していく必要があります。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

[244]

子ども医療給付事業（児童・高校生等）

町長部局 町民課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	04 衛生費	決算書 ページ	145
施策	04 健康・医療体制の充実	項	01 保健衛生費		
基本 事業	03 福祉医療費助成制度の充実	目	01 保健衛生総務費	計画 年度	開始：平成22年度 終了：令和 年度

手段（R03年度の取り組み）

・令和4年1月診療分から助成対象年齢の上限を18歳到達年度末まで拡充し、高校生等への助成を開始しました。
 ・小中学生、高校生等の保護者からの申請に基づき、子ども医療費受給資格証を交付しました。
 ・通院及び入院の健康保険適用の一部負担金を現物給付又は役場窓口での申請による償還払いで助成しました。

	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
活動・ 成果 状況	活動	受給者数（人）	1,017	972	1,352
	活動	医療費助成額（千円）	27,542	23,069	25,879
	成果	受給者1人当たり助成額（円）	27,576	23,733	19,141
	成果				0
事業費 （千円）	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	27,900	23,400	26,100
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	143	13	847
		カ 事業費（ア～オ合計）	28,043	23,413	26,947

成果実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	（状況）前年度と比べ、受給者1人当たり助成額は8,063円の減となっています。 （原因）昨年度は1月診療分から高校生等への助成を開始し、対象者の平均年齢が上がったため、1人当たりの助成額が減少したことが原因として考えられます。 （余地）今後も子育て家庭の負担を軽減し、安定した事業を継続していく必要があります。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

[245]

在宅当番・救急医療委託事業

町長部局 保健福祉課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	04 衛生費	決算書 ページ	145
施策	04 健康・医療体制の充実	項	01 保健衛生費		
基本 事業	04 安心して医療を受けられる体制の確保	目	01 保健衛生総務費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)
<p>町民のニーズに応えるため、日曜、祝祭日に当番医による診療業務を委託しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主に内科系診療（外科については県立南宇和病院） ・委託医療機関数9カ所 ・年間合計70日間 ・診療時間9：00～16：00 ・1日60,000円の報償費 ・事務費等 <p>【ふるさとづくり基金充当 4,000千円】</p>

	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
活動・ 成果 状況	活動	委託料(円)	5,200,000	5,200,000	5,200,000
	活動	(日)			
	成果	開設日数(人)	72	70	70
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	4,000
		オ 一般	5,200	5,200	1,200
		カ 事業費(ア～オ合計)	5,200	5,200	5,200

成果実績 評価	成果状況	(状況) 開設日数は横ばいです。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	(原因) 日・祝祭日に診療を行える体制が整っていることが考えられます。
	成果向上余地	(余地) 受診者数の変動はありますが、日・祝祭日においても安心して医療が受けられる体制を常に整えておくことが必要だと考えます。
	大 中 小 なし	

医師確保関連事業

町長部局 保健福祉課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	04 衛生費	決算書 ページ	145
施策	04 健康・医療体制の充実	項	01 保健衛生費		
基本 事業	04 安心して医療を受けられる体制の確保	目	01 保健衛生総務費	計画 年度	開始：平成24年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

愛媛大学医学部関連
 ・愛媛大学医学部の学生とのつながりを深めるための取組を行いました。
 内容：愛南町の医療にふれる会（1回 オンラインで開催）
 県立南宇和病院での地域医療学講座学生の受入れ(21回)
 医学祭、社会医学実習の受入れは新型コロナウイルス感染症の影響で中止
 医師確保・医療提供体制整備
 ・愛南町の医療のPR動画制作や、赴任した医師の定着を図るための取組を行いました。
 内容：プロモーション動画制作 247,500円
 赴任医師応援事業 3年以上(5人)：571,060円、3年未満(7人)：1,509,240円
 医師確保奨学金事業
 ・令和3年度は新規申請者はありませんでした。
 【ふるさとづくり基金充当 1,250千円】

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	事業の実施回数(回)		17	14
活動	奨学金申請者数(人)			0	0
成果	事業に参加した学生の人数(人)		82	87	117
成果	研修先、勤務先として町内医療機関を選択した医師の数(人)		8	11	15
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	1,250
		オ 一般	527	79	1,176
		カ 事業費(ア～オ合計)	527	79	2,426

成果実績 評価	成果状況	(状況) 事業に参加した学生は117名で増加しています。研修先、勤務先として町内医療機関を選択した医師の数は15名で増加しています。 (原因) 事業に参加した学生の増加は、医療にふれる会の学生の参加の増加によるものです。研修先や勤務先として町内医療機関を選択した医師の増加は、自治医大より派遣されている医師の交代や、研修先として県立南宇和病院を選択した研修医の増加によるものです。 (余地) 医療にふれる会については大学との打ち合わせを行い、早い時期から学生へPRをすることが考えられます。医師に対しては、招聘のためのPR活動を継続することが考えられます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

城辺保健福祉センター管理運営事業

町長部局 保健福祉課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	04 衛生費	決算書 ページ	147
施策	04 健康・医療体制の充実	項	01 保健衛生費		
基本事業	99 施策の総合推進	目	02 保健衛生施設費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

愛南町保健福祉センター条例に基づき、町民に対して健康相談、保健指導及び健康診査その他、地域保健に関する必要な事業を行うことを目的として、利用者が快適に施設を利用できるように施設の管理を行い、35件の設備保守点検及び15件の施設修繕を実施しました。

- ・施設における消耗品費、燃料、光熱水費の支出。
- ・施設を維持するための、清掃、電気保安業務、消防設備点検、浄化槽点検、ボイラー点検、植木管理、警備等の業務を委託し、施設及び設備・備品の小破修理、修繕及び保守点検を実施しました。

	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
活動・ 成果 状況	活動	修理・修繕件数 (件)	18	10	15
	活動	保守点検件数 (件)	35	36	35
	成果	城辺保健福祉センター管理運営上の不具合により業務に支障をきたした件数 (件)	0	0	0
	成果	城辺保健福祉センター年間利用者数 (人)	19,355	14,803	15,233
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	1	17	102
		オ 一般	11,468	7,811	10,543
	カ 事業費 (ア～オ合計)	11,469	7,828	10,645	

成果実績 評価	成果状況	<p>(状況)施設の利用者数は15,233人と前年度に比べ430人増加しています。施設に係る修繕は15件と前年度に比べ5件増加しています。不具合による支障は0件でした。業務に支障をきたすことなく施設を管理できたことから、成果としては維持・横ばいと考えます。</p> <p>(原因)施設経年のため、不測の修繕料が必要となりコストが増加しました。</p> <p>(余地)今後は施設設備が老朽化していくことを考えて、コストがかかりますが事前に補修を検討すべきと考えます。</p>
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

一本松保健センター維持管理事業

一本松支所 一本松支所

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	04 衛生費	決算書 ページ	147
施策	04 健康・医療体制の充実	項	01 保健衛生費		
基本 事業	99 施策の総合推進	目	02 保健衛生施設費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

主に施設利用者が快適に使用できるよう適正な維持管理に努め、設備を含む保健センター等の修繕・保守点検等を実施しました。

- ・清掃、消防設備保守業務等の委託
- ・南宇和地区保護司会による更生保護サポートセンターの開設
(平成30年11月から毎週火、金曜日利用)
- ・南愛媛療育センターによる重症心身障害児通所事業「巡回型」の開設
(平成15年12月から毎週木曜日利用)
- ・保健福祉関係団体及び機関による利用

活動・ 成果状 況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	活動	修繕件数 (件)	4	4
成果	成果	一本松保健センター維持管理上の不具合により業務に支障をきたした件数 (件)	0	0	0
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	26	27	29
		オ 一般	961	1,185	919
		カ 事業費 (ア～オ合計)	987	1,212	948

成果実績 評価	成果状況	(状況)大規模な修繕もなく、順調です。 (原因)施設の適正管理によるものです。 (余地)今後、保健センターへの支所機能の移転の方針が示されたため、改修内容及び費用の算定を行う必要があります。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	
	成果向上余地	
	大	
	中	
	小	
	なし	

西海保健福祉センター管理運営事業

西海支所 西海支所

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	04 衛生費	決算書 ページ	149
施策	04 健康・医療体制の充実	項	01 保健衛生費		
基本 事業	99 施策の総合推進	目	02 保健衛生施設費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)
<p>施設の維持管理のため、各種点検、各種業務委託及び修繕工事等を実施します。</p> <p>令和3年度においては、消耗品、光熱水費、修繕、各種点検及び各種業務委託等、合計1,004千円を支出しました。</p>

	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
活動・ 成果 状況	活動	修繕件数 (件)	12	15	11
	活動				
	成果	西海保健福祉センター維持管理上の不具合により業務に支障をきたした件数 (件)	0	0	0
	成果	西海保健福祉センター年間利用者数 (人)	4,664	4,805	4,560
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	800	572	600
		オ 一般	19,077	9,037	10,404
		カ 事業費 (ア～オ合計)	19,877	9,609	11,004

成果実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) 年間利用者は前年度から245名減少しています。 (原因) 新型コロナウイルス感染拡大防止のためトレーニングルーム利用中止が要因と考えます。 (余地) トレーニングルームは、高齢者入居施設と併設であり使用中止は妥当と考えます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

Q51]

妊婦健診事業

町長部局 保健福祉課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	04 衛生費	決算書 ページ	149
施策	04 健康・医療体制の充実	項	01 保健衛生費		
基本事業	01 心と体の健康づくり	目	03 保健衛生普及費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和03年度

手段 (R03年度の取り組み)	
<ul style="list-style-type: none"> ・妊娠届出があった妊婦に対し、一般健康診査受診票（14回分）と歯科検診受診票（1回分）産婦健康診査受診票（2回分）を交付し、委託医療機関で健診を行いました。（産婦健診実施数：129件） ・委託外の医療機関で受診した場合は、償還払いを行いました。（歯科健診を除く） ・妊産婦健診について、1回1,500円（1人16回まで）の通院費の助成を行いました。（842回） ・産後4か月未満の母親や乳児の心身のケアや育児サポートのため、委託医療機関で宿泊型や日帰りの産後ケア事業を行いました。（利用件数：宿泊型2件5回、日帰り1件1回） <p>母子保健衛生費国庫補助金 （妊娠・出産包括支援事業：81,000円、産婦健康診査事業：325,000円）</p>	

活動・成果状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	妊婦健診受診票交付数 (枚)		896	938
成果	受診票利用率 (%)		82.0	71.8	83.9
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	481	406
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	5,431	6,000	7,431
		カ 事業費 (ア～オ合計)	5,431	6,481	7,837

成果実績評価	成果状況	(状況) 妊婦健診受診票利用率が12.1ポイント向上しています。 (原因) 受診票交付者と利用者が異なることが変動の要因と考えます。妊婦健診の受診状況をみると、適切な時期に受診ができています。 (余地) 医療機関と連携し、適切な時期に健診が受けられるよう支援していきます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

乳児健診委託事業

町長部局 保健福祉課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	04 衛生費	決算書 ページ	151
施策	04 健康・医療体制の充実	項	01 保健衛生費		
基本事業	01 心と体の健康づくり	目	03 保健衛生普及費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和03年度

手段 (R03年度の取り組み)	
<p>・乳児一般健康診査 方法：赤ちゃん訪問時に乳児一般健康診査受診票を交付し、委託医療機関で健診を受診しました。 回数：2回</p> <p>・新生児聴覚検査 方法：妊娠届出時に新生児聴覚検査受診票を交付し、出生後に委託医療機関で聴覚検査を受診しました。委託外医療機関で受診した場合は、償還払いを行いました。 対象：1か月児未満の乳児 回数：初回検査1回、確認検査1回（要経過観察児のみ）</p>	

活動・成果状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	活動	乳児健診受診票交付数(枚)	160	100
成果	成果	乳児健診受診率(%)	85.0	107	92.8
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	938	773	862
		カ 事業費(ア～オ合計)	938	773	862

成果実績評価	成果状況	<p>(状況)乳児健診受診率が14.2ポイント低下しています。 (原因)受診票交付者と受診者が異なることが変動の要因と考えられます。前期健診より後期健診の受診率が低い状況があり、健診の必要性についての周知が必要です。 (余地)訪問や集団での乳児健診時に受診勧奨を行ったり、医療機関と連携し、適切な時期に健診が受けられるよう支援していきます。</p>
	<p>向上 維持・横ばい 低下・悪化</p> <p>成果向上余地 大 中 小 なし</p>	

乳幼児集団健診事業

町長部局 保健福祉課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	04 衛生費	決算書 ページ	151
施策	04 健康・医療体制の充実	項	01 保健衛生費		
基本 事業	01 心と体の健康づくり	目	03 保健衛生普及費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和03年度

手段 (R03年度の取り組み)

- ・乳児（5～9か月児）・1歳6か月児・3歳児健診、5歳児健診を年4回実施しました。
- ・健診を通じて、疾病の早期発見、発達支援、歯科指導を行いました。
内容：問診、身体計測、内科診察、歯科診察、歯科指導、心理相談、生活栄養相談
周知方法：対象月齢の子どもに対して個人通知
乳児健診・1歳6か月児健診・3歳児健診・5歳児健診
- ・3歳児視聴覚精密検査については、健診後受診票を発行し、委託医療機関で精密検査を行いました。
- ・5歳児健診でむし歯が0本の児には、歯科表彰を行いました
- ・乳幼児健診事後検討会では、WEB研修を行い、継続した支援について学習を行いました。

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	活動	実施回数(回)	16	18
活動	活動	受診者数(人)	319	348	275
成果	成果	乳幼児健診平均受診率(%)	97.0	98.9	97.5
成果	成果	フォローが必要な児の人数(人)	93	111	103
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	1,720	1,993	1,791
		カ 事業費(ア～オ合計)	1,720	1,993	1,791

成果実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況)乳幼児健診の受診率及びフォローが必要な児の数は横ばいです。 (原因)受診動機により、適切な時期に健診を受けることができていることが要因と考えられます。 (余地)適切な時期に健診を受診でき、要フォロー児に対して早期に対応できるよう支援していきます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

[254]

骨粗しょう症予防事業

町長部局 保健福祉課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	04 衛生費	決算書 ページ	151
施策	04 健康・医療体制の充実	項	01 保健衛生費		
基本 事業	01 心と体の健康づくり	目	03 保健衛生普及費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)
<p>・骨粗しょう症の早期発見・早期治療のため、骨粗しょう症検診・健康教室を実施しました。</p> <p>会場：公民館、集会所、城辺保健福祉センター等</p> <p>内容：骨粗しょう症検診は年25回実施 骨粗しょう症予防教室は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止</p> <p>周知方法：健康カレンダー、広報、回覧、防災無線、生活カレンダー（新聞折込広告）で周知</p> <p>健康増進事業費補助金（県）</p>

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	活動	実施回数(回)	27	24
成果	成果	骨粗しょう症検診受診率(%)	16.6	14.7	20.2
成果	成果	骨粗しょう症と診断された数(人)	47	31	36
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	360	304	292
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	2,744	2,427	2,635
		カ 事業費(ア～オ合計)	3,104	2,731	2,927

成果 実績 評価	成果状況	<p>(状況)骨粗しょう症検診受診率は20.2%で増加しました。骨粗しょう症と診断された人は36人で増加しました。</p> <p>(原因)骨粗しょう症検診受診率の増加は、新型コロナウイルス感染症の影響により、昨年度受診を控えた受診者が受診したことが要因と考えられます。</p> <p>(余地)検診会場での感染症対策を徹底し、安心して受診してもらうことにより受診率が向上すると考えられます。</p>
	<p>向上</p> <p>維持・横ばい</p> <p>低下・悪化</p> <p>成果向上余地</p> <p>大</p> <p>中</p> <p>小</p> <p>なし</p>	

健康診査事業

町長部局 保健福祉課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	04 衛生費	決算書 ページ	151
施策	04 健康・医療体制の充実	項	01 保健衛生費		
基本 事業	01 心と体の健康づくり	目	03 保健衛生普及費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

・ 疾病疑いのある者や危険因子を持つ者の早期発見と早期治療のため、健康診査を実施しました。
 会場：公民館・集会所・城辺保健福祉センター等で実施
 回数：集団は年50回実施
 内容：身体計測、問診、血圧測定、尿検査、血液検査、眼底検査、心電図、医師による診察
 周知方法：健康カレンダー、広報、回覧、防災無線、生活カレンダー
 （新聞折込広告）で周知

健康増進事業費補助金（県）

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	活動	実施回数(回)	53	46
成果	成果	健康診査受診者数(人)	109	77	97
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	201	147	207
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	797	601	764
		カ 事業費(ア～オ合計)	998	748	971

成果 実績 評価	成果状況	(状況) 受診者数は97人で増加しました。30歳代の受診者は昨年度に比べて若干増加しました。 (原因) 受診者数の増加は、新型コロナウイルス感染症の影響により、昨年度受診を控えた受診者が受診を再開したことが要因と考えられます。 (余地) 健診会場での感染症対策を徹底し、安心して受診してもらうことにより受診率が向上すると考えられます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

不妊治療費助成事業

町長部局 保健福祉課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	04 衛生費	決算書 ページ	153
施策	04 健康・医療体制の充実	項	01 保健衛生費		
基本 事業	01 心と体の健康づくり	目	03 保健衛生普及費	計画 年度	開始：令和元年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

医師が認めた、不妊検査及び不妊治療に要した費用に対して、一般・特定それぞれ10万円（特定初回のみ20万円）を限度に助成しました。

交付要件 ・夫婦のいずれかが愛南町に住所を有している法律上の夫婦であること。

・医療保険に加入していること。

・治療開始時の妻の年齢が43歳未満

助成回数 一般：年度内1回、通算2回

特定：愛媛県特定不妊治療費助成の回数に準ずる

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	活動	交付申請件数 (件)	14	16
成果	成果	不妊治療により妊娠した人 (人)	2	3	6
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	1,528	1,725	1,398
		カ 事業費 (ア～オ合計)	1,528	1,725	1,398

成果 実績 評価	成果状況	<p>(状況) 不妊治療費助成の申請は13件で横ばいです。不妊治療により妊娠、出産した人は6人です。</p> <p>(原因) 継続して不妊治療を行う人も増えていきます。不妊治療によって妊娠につながっており、少子化対策として有効だと考えます。</p> <p>(余地) 不妊治療費助成について周知を行い、治療費の経済的負担を軽減していきます。</p>
	<p>向上</p> <p>維持・横ばい</p> <p>低下・悪化</p> <p>成果向上余地</p> <p>大</p> <p>中</p> <p>小</p> <p>なし</p>	

1061

がん対策事業

町長部局 保健福祉課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	04 衛生費	決算書 ページ	153
施策	04 健康・医療体制の充実	項	01 保健衛生費		
基本 事業	01 心と体の健康づくり	目	03 保健衛生普及費	計画 年度	開始：令和03年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

がんを予防・早期発見するために、検診や健康教育を実施しました。申請により若年がん患者が在宅療養の居宅サービスや福祉用具貸与等の費用の一部を助成します。

<がん検診>

内容：胃・肺・大腸・前立腺・乳・子宮頸、会場：公民館・集会所・保健センター等

<健康教育>

乳がん・子宮頸がん検診の啓発のため、5歳児健診時に保護者に説明、成人式等でチラシを配布しました。

<若年がん患者在宅療養支援事業>

対象サービス：訪問介護、訪問入浴介護、福祉用具貸与、福祉用具購入

助成の上限額：一人当たり54,000円/月

【ふるさとづくり基金充当 28,236千円】

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動		がん検診実施回数(回)		
活動		若年がん患者在宅療養支援事業申請件数(件)			0
成果		がん検診受診率(%)			28.0
成果		がん発見数(人)			15
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	28,236
		オ 一般	0	0	10,039
		カ 事業費(ア~オ合計)	0	0	38,275

成果実績 評価	成果状況	(状況)すべてのがん検診で受診者は昨年度より増加しました。 (原因)6月からWEB申し込みを開始し、利便性を高めたことが考えられます。 (余地)検診会場での感染対策を徹底し、安心して受診してもらうことにより受診率が向上すると考えられます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	
	成果向上余地	
	大	
	中	
	小	
	なし	

[108]

新型コロナウイルス感染症検査関連事業

町長部局 保健福祉課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	04 衛生費	決算書 ページ	155
施策	04 健康・医療体制の充実	項	01 保健衛生費		
基本 事業	01 心と体の健康づくり	目	03 保健衛生普及費	計画 年度	開始：令和03年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

【障がい】
法人が補助対象者に対して実施したPCR検査費用に対し（1件あたり上限20,000円）を法人に対して助成予定でしたが、申請がありませんでした。

【高齢者】
町が指定する検査機関又は高齢者施設により行うPCR検査費用に対し、対象者の区分ごとに定める上限額の範囲内で検査費用を助成しました。

【令和3年度実績】助成件数/金額
高齢者：284件 / 1,553,500円
職員：816件 / 5,161,090円

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	(障)補助金の交付者数(人)			
活動	(高齢)補助金の交付者数(人)				1,100
成果	(障)障がい者施設でのクラスターの発生数(件)				0
成果	(高齢)高齢者施設でのクラスターの発生数(件)				0
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	86
		イ 県	0	0	4,170
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	0	0	2,459
		カ 事業費(ア~オ合計)	0	0	6,715

成果実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	<p>(状況)補助金の交付者数は「障がい」では0人、「高齢者」では1100人と多くの利用がありました。しかし、特定の事業所に偏る傾向がみられました。</p> <p>(原因)施設の状況によりPCR検査の必要性の認識に偏りがあったためと思われます。</p> <p>(余地)高齢者施設等でのクラスターの発生を防止するために現状の方法が適切であると考えます。施設において適切に利用できるよう周知に努めます。</p>
	成果向上余地 大 中 小 なし	

[116]

後期高齢者保健事業

町長部局 町民課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	04 衛生費	決算書 ページ	155
施策	04 健康・医療体制の充実	項	01 保健衛生費		
基本 事業	01 心と体の健康づくり	目	04 後期高齢者保健事業費	計画 年度	開始：平成20年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

疾病疑いのある者や危険因子を持つ者の早期発見と早期治療のため、特定健診を実施しました。また、フレイル等の心身の多様な課題に対したきめ細やかな保健事業を行うため、保健事業と介護予防を一体的に実施しました。

< 特定健診 >

集団健診は公民館、集会所、保健センター等で実施、個別健診は委託医療機関で実施しました。

内容：身体計測、問診、血圧測定、尿検査、血液検査、医師による診察を行いました。

< 保健事業と介護予防の一体的実施 >

個別支援：低栄養防止、糖尿病性腎症重症化予防に取り組みました。

通いの場等への積極的な関与：フレイル予防の普及啓発や健康教育、健康相談を行いました。

	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
活動・ 成果 状況	活動	健診実施回数(回)	53	46	50
	活動	重症化予防指導人数(人)		0	6
	成果	後期高齢者特定健診受診率(%)	20.4	18.5	18.9
	成果	重症化予防該当者の割合(%)		0	7.3
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	8,074	7,661	7,914
		オ 一般	64	118	83
	カ 事業費(ア~オ合計)	8,138	7,779	7,997	

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) 受診率は、18.9%と前年度に比べて0.4ポイント増加しています。 (原因) 前年度よりは微増しているものの、新型コロナウイルス感染症の影響による、被保険者の受診控え等が考えられ、平年並みには達していません。 (余地) 広域連合からの勧奨ハガキに加え、ポスターの掲示やCATVを活用し、住民に周知します。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

Q85]

子ども定期予防接種事業

町長部局 保健福祉課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	04 衛生費	決算書 ページ	155
施策	04 健康・医療体制の充実	項	01 保健衛生費		
基本事業	01 心と体の健康づくり	目	05 予防費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

疾病の流行及び重症化を予防するため、予防接種法に基づく定期予防接種対象者に対し予防接種を実施しました。

内容：

- ・出生時または転入時に予防接種手帳を発行
- ・児童・生徒の定期予防接種は個別通知
- ・委託医療機関において、個別接種を実施
- ・里帰りや療養等で委託外医療機関で接種した場合は、償還払を実施

種類：BCG、B型肝炎、Hib感染症、肺炎球菌感染症、ジフテリア、破傷風、ポリオ、百日咳、麻しん、風しん、水痘、日本脳炎、子宮頸がん、ロタウイルス

活動・成果状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	接種者数(人)		2,295	2,078
成果	麻しん風しん予防接種(1期)接種率(%)		89.6	96.2	105.7
成果	麻しん風しん予防接種(2期)接種率(%)		93.1	92.1	98.0
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	21,493	19,932	19,910
		カ 事業費(ア～オ合計)	21,493	19,932	19,910

成果実績評価	成果状況	(状況)麻しん・風しん予防接種の接種率は1期、2期とも増加しています。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	(原因)麻しん・風しん予防接種の接種率は国の報告に準じて算出してあります。 他のワクチン接種の接種率も9割で維持しています。
	成果向上余地 大 中 小 なし	(余地)乳幼児健診での接種勧奨と時期毎の個別通知を実施していくことで、接種率の維持につながると考えられます。

[287]

高齢者定期予防接種事業

町長部局 保健福祉課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	04 衛生費	決算書 ページ	155
施策	04 健康・医療体制の充実	項	01 保健衛生費		
基本事業	01 心と体の健康づくり	目	05 予防費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

疾病の流行及び重症化を予防するため、高齢者に対して予防接種を実施しました。

内容：

- ・65歳以上の者全員に対して、高齢者インフルエンザ接種券及び予診票を発行
- ・高齢者肺炎球菌ワクチンの接種希望者に接種券及び予診票を発行
- ・県内委託医療機関において、高齢者インフルエンザ及び高齢者肺炎球菌感染症の予防接種を個別に実施
- ・療養等の理由で委託外医療機関で接種した場合は、償還払いを実施

自己負担：インフルエンザ 無料 肺炎球菌 4,000円
実施期間：インフルエンザ 10/15～1/31 肺炎球菌 通年

活動・成果状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	高齢者インフルエンザ予防接種接種者数(人)		5,606	6,557
活動	高齢者の肺炎球菌感染症予防接種接種者数(人)		270	207	88
成果	高齢者インフルエンザ予防接種接種率(%)		60.9	71.2	70.2
成果	高齢者の肺炎球菌感染症予防接種接種率(%)		18.5	15.8	7.4
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	26,300	31,200	29,800
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	1,363	1,659	2,212
		カ 事業費(ア～オ合計)	27,663	32,859	32,012

成果実績評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) インフルエンザの接種率は横ばいです。高齢者肺炎球菌の接種率は7.4%と低下しています。
	成果向上余地 大 中 小 なし	(原因) 新型コロナウイルス感染予防のため、昨年度と同様にインフルエンザの接種率が維持しています。高齢者肺炎球菌の接種率が低下している要因は、5歳刻みの対象者が一巡したことと考えられます。 (余地) 疾病の流行及び重症化の予防のため、継続した周知を行っていきます。

風しん対策事業

町長部局 保健福祉課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	04 衛生費	決算書 ページ	155
施策	04 健康・医療体制の充実	項	01 保健衛生費		
基本事業	01 心と体の健康づくり	目	05 予防費	計画 年度	開始：令和元年度 終了：令和04年度

手段 (R03年度の取り組み)
<ul style="list-style-type: none"> ・対象者に対して特定健診や事業所健診、又は医療機関において風しん抗体検査を実施しました。 ・風しん抗体検査で抗体が低い人に対してMR(麻しん・風しん)予防接種を実施しました。 ・令和3年度積極的勧奨対象者：令和元年度・令和2年度の未実施者 1,518名 <p>感染症予防事業費国庫補助金1/2：風しん抗体検査に係る費用</p>

活動・成果状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動		抗体検査の対象者数(人)	871	1,814
活動		予防接種の対象者数(人)	261	110	94
成果		風しん抗体検査率(%)	26	22.7	9.0
成果		MR(麻しん・風しん)予防接種率(%)	67	80.9	33.0
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	1,045	1,247	508
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	1,520	2,411	856
		カ 事業費(ア～オ合計)	2,565	3,658	1,364

成果実績評価	成果状況	(状況)抗体検査率9.0%、予防接種率33.0%と低下しています。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	(原因)令和元年度から2年度までの未実施者を対象としたため、実施希望が少なく、実施率が下がったと考えられます。
成果向上余地	大 中 小 なし	(余地)風しん抗体検査の必要性について継続して周知し、実施率の向上を目指します。風しんの抗体価が低く予防接種対象となった者については、個別通知で接種勧奨を行い、接種率の向上を目指します。

[1064]

任意インフルエンザ予防接種事業

町長部局 保健福祉課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	04 衛生費	決算書 ページ	155
施策	04 健康・医療体制の充実	項	01 保健衛生費		
基本 事業	01 心と体の健康づくり	目	05 予防費	計画 年度	開始：令和03年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

インフルエンザの予防のため、予防接種の無償化及び補助を行いました。

<子ども無償化>

- ・町が指定する予診票を本人、学校、町内委託医療機関等に配布
- ・町内に住所を有する者がやむを得ず委託外医療機関で接種した場合は償還払いを実施

実施期間：10月1日～1月31日
 接種回数：6か月～12歳 2回 13歳～18歳 1回
 委託金額：4,100円（償還払：上限は委託料に準ずる）
 <1,000円補助>

対象：6か月～64歳のうち、無料接種に該当しなかった者
 補助金額：1回 1,000円（6か月～12歳は2回補助）

区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 無償化接種者数(人)			1,141	
	活動 1,000円補助金額(円)			1,008,000	
	成果 無償化接種率(%)			54.7	
	成果 集団感染件数(件)			0	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	6,800
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	0	0	1,630
		カ 事業費(ア～オ合計)	0	0	8,430

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) こどもの無償化接種率は、54.8%で、昨年度より減少しています。 集団感染件数は、0件です。
	成果向上余地 大 中 小 なし	(原因) インフルエンザワクチン不足があり、接種期間内に接種ができなかったことが一因と考えられます。 (余地) 個別通知と保育所や学校を通じた周知により、接種率が向上すると考えます。

新型コロナウイルスワクチン接種事業

町長部局 保健福祉課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	04 衛生費	決算書 ページ	155
施策	04 健康・医療体制の充実	項	01 保健衛生費		
基本 事業	01 心と体の健康づくり	目	05 予防費	計画 年度	開始：令和02年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

- ・対象者に対して、接種券と予診票を発行しワクチンを接種しました。
- ・接種回数：12歳以上 3回
5～11歳 2回
- ・委託料：国の統一単価 2,070円（税抜）
ワクチン、注射用シリンジ、注射針等は国から無償で支給されました。
- ・新型コロナウイルスワクチン接種対策費国庫負担金10/10
- ・新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費国庫補助金10/10

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	接種者数(人)			291
活動				0	
成果	接種率(%)			1.54	83.5
成果				0	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	857	147,126
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	50
		オ 一般	0	0	1,610
		カ 事業費(ア～オ合計)	0	857	148,786

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) ワクチン接種は延べ40,539件、接種率は1回目が91.4%、2回目が90.0%、3回目が67.4%です。全体の平均は83.5%です。
	成果向上余地 大 中 小 なし	(原因) 1, 2回目の接種率は9割を超えています。3回目接種が12月から開始されたため、3回目の接種率が低い状況です。 (余地) 個別通知、広報、ホームページ、ケーブルテレビ等でワクチン接種の情報を周知し、接種率向上を目指します。

[107]

災害時防疫対策事業

町長部局 保健福祉課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	04 衛生費	決算書 ページ	157
施策	04 健康・医療体制の充実	項	01 保健衛生費		
基本事業	99 施策の総合推進	目	05 予防費	計画 年度	開始：平成30年度 終了：令和03年度

手段 (R03年度の取り組み)

- ・災害時の町民への感染症予防を図るため、住居等の消毒を行いました。また、町民へ薬剤の配布を行いました。
- ・災害発生時の防疫対応のため、消毒液を購入し備蓄しました。
- ・新型コロナウイルス感染症予防のため、マスク、消毒液、防護衣等を購入しました。

令和3年度新型コロナ臨時交付金：700千円

	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
活動・ 成果 状況	活動	消毒家屋棟数 (棟)	0	0	25
	活動	避難所の衛生指導件数 (件)	0	0	0
	成果	災害時の感染症発症人数 (人)	0	0	0
	成果	避難所の感染症発症率 (%)	0	0	0
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	5,040	700
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	28	634	619
	カ 事業費 (ア～オ合計)	28	5,674	1,319	

成果実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) 大雨による浸水被害があり、25棟の消毒を実施しました。災害時の感染症の発生はありません。
	成果向上余地 大 中 小 なし	(原因) 大雨による家屋や納屋の床下、床上浸水がありましたが、備蓄消毒液で防疫の対応をしています。 (余地) 早期に庁内関係課で消毒体制を整備することが必要です。また、新型コロナウイルス感染症対策のための継続した備蓄が必要です。

[1032]

生活環境施設等整備補助事業

町長部局 環境衛生課

政策	02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり	款	04 衛生費	決算書ページ	157
施策	01 環境の保全	項	01 保健衛生費	計画年度	開始：平成27年度 終了：令和 年度
基本事業	01 生活・自然環境の保全	目	06 環境衛生総務費		

手段 (R03年度の取り組み)

町内各地区より提出された補助金交付申請書により、補助対象となる設備に対し補助率1/2、限度額(2万円～7万円)の範囲内で補助金を交付しました。また、申請が多くあったため7月に予備費を378,000円充用、9月補正予算で350,000円を計上して、対応しました。

【令和3年度実績】

補助金額 1,000,000円 (ふるさとづくり基金充当1,000,000円)
 スtockハウス購入1件 62,000円 ごみ集積箱購入17件 860,000円
 ごみ集積箱修繕19件 428,000円 草刈機購入1件 36,000円
 啓発用看板3件 24,000円 チェーンソー購入2件 58,000円
 衛生ホース購入1件 80,000円 その他(ブロワ)4件 111,000円 合計 1,659,000円

活動・成果状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	補助申請件数(件)		74	33
成果	ごみ集積箱、Stockハウスを設置、運営している自治会割合(%)		100	100	100
成果	苦情件数(件)		14	7	8
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	1,000
		オ 一般	1,846	823	659
		カ 事業費(ア～オ合計)	1,846	823	1,659

成果実績評価	成果状況	(状況)令和3年度の補助申請件数は48件で、令和2年度と比較して15ポイント増加しています。 (原因)行政協力員の交代による申請の増や、チェーンソーやブロワーの購入が増加しているためと考えられます。 (余地)行政協力員が短い期間で交代するため、適宜補助制度の周知を図り、生活環境設備の設置・購入を促します。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	
	成果向上余地	
	大	
	中	
	小	
	なし	

再生可能エネルギー推進事業

町長部局 環境衛生課

政策	02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり	款	04 衛生費	決算書ページ	159
施策	01 環境の保全	項	01 保健衛生費	計画年度	
基本事業	02 環境意識の醸成	目	06 環境衛生総務費		開始：平成26年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

農山漁村再生可能エネルギー協議会において、事業者から提出のあった風力発電事業に係る設備整備計画の変更協議を行いました。また、環境啓発活動として、小学生を対象に再生可能エネルギー発電の学習会を開催していますが、令和2年度に続き新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止しました。

再生可能エネルギー発電事業届出が19件あり、審査を行いました。

風力発電建設訴訟事件については12月に一審判決が言い渡されましたが、原告側が控訴したため、控訴審に向けての準備を行いました。太陽光発電損害賠償事件については任意での補償交渉後、民事調停での解決を目指しましたが、不調となりました。

【令和3年度事業費】
環境審議会委員謝礼 49千円 実費弁償 232千円 訴訟等事務委託料 1,100千円

	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
活動・成果状況	活動	再生可能エネルギー発電施設整備に関する問い合わせ件数 (件)	21	28	28
	活動				
	成果	再生可能エネルギー発電事業届出件数 (件)	2	16	19
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	362	0	1,381
	カ 事業費 (ア~オ合計)	362	0	1,381	

成果実績評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況)届出件数は19件で、前年度より3件増加しました。 (原因)正木地区で営農型による太陽光発電事業が実施されることになり、届出件数が微増しました。 (余地)売電価格の低下、固定価格買取制度の改正により小規模の産業用発電設備の新規設置数は減少するものと思われませんが、電気料金が上昇する中、事業所や店舗に対して自家消費型発電設備の導入を推進する必要があります。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

新エネルギー等導入促進補助事業

町長部局 環境衛生課

政策	02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり	款	04 衛生費	決算書ページ	159
施策	01 環境の保全	項	01 保健衛生費	計画年度	
基本事業	02 環境意識の醸成	目	06 環境衛生総務費		開始：平成27年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

新エネルギー等導入促進補助の実施については「愛南町新エネルギー等導入促進補助金交付要綱」に沿って事務処理を行いました。
 交付申請書(書類審査) 交付決定通知書(額確定) 設置工事開始 設置工事完了
 実績報告書 書類審査、補助金交付

・R3年度実績 31件 3,630,000円

【内訳】

太陽光発電システム 12件 1,597,000円
 ホームエネルギーマネジメントシステム 1件 22,000円
 リチウムイオン蓄電池 16件 1,600,000円
 プラグインハイブリット車 2件 411,000円
 ・新エネルギー等導入住宅数は累計で158件となりました。

活動・成果状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動		補助件数(件)	24	13
活動		補助金額(円)	3,251,000	1,818,000	3,630,000
成果		新エネルギー等導入住宅数(補助事業開始からの累計)(件)	114	127	158
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	500	200	299
		ウ 地方債	2,700	1,500	3,300
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	51	118	31
		カ 事業費(ア~オ合計)	3,251	1,818	3,630

成果実績評価	成果状況	<p>(状況)補助件数は31件で、前年度に比べ申請件数が18件増加しました。特に太陽光発電システム、蓄電池の導入が増えました。 (原因)化石燃料の価格高騰に併せ、電気料金が上昇していることから電力を自給自足する世帯が増え、太陽光発電システムだけでなく、太陽光発電システムを導入している世帯での蓄電池導入が進んだものと考えられます。 (余地)今後も電気料金の上昇は続くと思われ、太陽光等の自然エネルギー発電設備の導入が進むと考えられます。また、国が実質的なガソリン車禁止の方針を固めたことにより電動車への転換が加速すると予想されるため、本事業の支援により更なる新エネルギー設備導入が期待できます。</p>
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

浄化槽整備事業特別会計繰出金

町長部局 環境衛生課

政策	02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり	款	04 衛生費	決算書 ページ	159
施策	01 環境の保全	項	01 保健衛生費		
基本事業	04 生活排水の適正処理	目	06 環境衛生総務費	計画 年度	開始：平成22年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

町営浄化槽の維持管理を使用料のみで賄うことができないため、浄化槽整備事業特別会計における地方債償還金、施設管理費、また、排水設備設置工事費補助金及び単独処理浄化槽撤去費補助金などに対する財源として一般会計から繰出金を支出しました。

【繰出金】
 令和元年度実績 43,400千円
 令和2年度実績 52,600千円
 令和3年度実績 51,900千円

区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績	
活動・成果状況	活動 繰出金額 (円)	43,400,000	52,600,000	51,900,000	
	活動				
	成果 管理している浄化槽数 (槽)	902	954	1,017	
	成果 浄化槽特別会計の歳入における繰出金割合 (%)	32.4	34.0	32.9	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	43,400	52,600	51,900
		カ 事業費 (ア～オ合計)	43,400	52,600	51,900

成果実績評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) 令和3年度の町営浄化槽数は1,017基で、令和2年度の954基から63基増となりました。 (原因) 新規浄化槽設置数が増加したのは、前年度に比べ新築住宅建設の際、町の補助制度を使って、合併浄化槽を設置する件数が増えたためと考えられます。 (余地) 合併浄化槽への転換数は伸び悩んでいるため、令和4年度より汲み取り槽から転換する場合の排水設備工事費や撤去費に対する補助金拡充を機に、合併浄化槽への転換を推進します。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

西海地域公衆便所管理事業

西海支所 西海支所

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	04 衛生費	決算書 ページ	159
施策	04 観光 物産の振興	項	01 保健衛生費		
基本 事業	03 観光資源の充実	目	06 環境衛生総務費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)
<p>公衆トイレ（小成川、福浦、武者泊及び中泊）の適切な維持管理を行います。</p> <p>令和3年度においては、浄化槽法定検査、浄化槽保守点検、浄化槽清掃、光熱水費及び修繕、合計784千円を支出しています。</p>

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動		修繕件数 (件)	2	1
活動		浄化槽法定点検件数・浄化槽保守点検委託件数 浄化槽清掃件数 (件)	10	10	10
成果		西海地域公衆トイレの維持管理上の不具合により業務に支障をきたした 件数 (件)	0	0	0
成果					
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	748	1,277	784
		カ 事業費 (ア～オ合計)	748	1,277	784

成果 実績 評価	成果状況	(状況) 修繕件数は1件と指標値は横ばいです。 (原因) 地区及び渡船組合による適切な管理が要因と考えます。 (余地) 公衆トイレを引続き地区及び渡船組合へ管理委託することが適切な管理に 繋がると考えます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

御荘霊苑管理運営事業

町長部局 環境衛生センター

政策	02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり	款	04 衛生費	決算書 ページ	159
施策	01 環境の保全	項	01 保健衛生費		
基本事業	99 施策の総合推進	目	07 環境衛生施設費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

火葬業務、施設清掃、火葬設備の保守管理等を業務委託し良好な状態で維持し、施設に不具合があるときは、業務に支障をきたすことがないように速やかに修繕を実施しました。火葬業務等委託者、葬儀業者等と連携し適切な施設管理運営を行いました。

【令和3年度実績】
・修繕料4,427千円(5件)、施設清掃770千円(1回/月)、各設備保守点検1,394千円、火葬業務等委託料13,596千円、植木管理委託料ほか853千円、備品購入費393千円(非接触型検温器2式)

区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績	
活動・成果状況	活動 維持修繕件数(件)	8	7	5	
	活動				
	成果 御荘霊苑の維持管理上の不具合により業務に支障をきたした件数(件)	0	0	0	
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	21,480	17,521	17,136
		オ 一般	6,041	9,362	11,142
		カ 事業費(ア~オ合計)	27,521	26,883	28,278

成果実績評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況)令和3年度の修繕件数は5件で、令和2年度より2件の減少で、ほぼ横ばい状態で業務に支障をきたした件数は0件と順調です。 (原因)火葬炉設備保守点検委託、施設管理委託等により常に施設の状況を把握することにより突発的な故障が防げたためと考えられます。 (余地)定期的に点検等を実施し、可能な限り維持管理費の縮減や予防保全の対策を行うことにより、計画的に施設の長寿命化を図ります。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

し尿処理補助事業

町長部局 環境衛生課

政策	02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり	款	04 衛生費	決算書 ページ	161
施策	02 廃棄物抑制とリサイクルの推進	項	02 清掃費		
基本事業	03 廃棄物の適正処理	目	01 清掃総務費	計画 年度	開始：平成26年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)	
町内で発生する、し尿及び浄化槽汚泥については宇和島市の汚泥再生処理センターにて処理しており、同施設への運搬に係る経費について事業者に補助を行いました。	
【令和3年度実績】 補助金額：32,027千円(ふるさとづくり基金充当22,961千円) 年間搬入日数：306日 年間搬入台数：1,629台 年間し尿搬入量：8,177kl、年間汚泥搬入量：6,983kl、合計：15,160kl	

活動・成果状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動		し尿及び浄化槽汚泥収集運搬回数(回)	1,501	1,562
活動		補助金額(円)	30,360,406	29,406,864	32,026,874
成果		浄化槽汚泥及びし尿の汲み取り単価(税抜・18リットル当たり)(円)	150	150	150
成果		し尿及び浄化槽汚泥収集運搬量(t)	15,042	15,237	15,160
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	22,961
		オ 一般	30,360	29,407	9,066
		カ 事業費(ア～オ合計)	30,360	29,407	32,027

成果実績評価	成果状況	(状況)令和3年度の補助金額は32,027千円であり、令和2年度と比較して2,620千円増加しています。 (原因)搬入が集中した際の休日出勤等の給与手当の増加及び原油価格・物価高騰に伴う経費増加によるものです。 (余地)今後は、ほぼ横ばい状態が続きますが、施設や設備の経年劣化や耐用年数等により、運搬車輛購入時や貯留槽設備改修時に補助金が増加すると考えられます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

塵芥処理管理事業

町長部局 環境衛生課

政策	02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり	款	04 衛生費	決算書 ページ	161
施策	02 廃棄物抑制とリサイクルの推進	項	02 清掃費		
基本 事業	03 廃棄物の適正処理	目	01 清掃総務費	計画 年度	開始：平成29年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

各家庭から町が指定するごみステーションに排出された一般廃棄物を分別状況の確認を行いながら、収集及び宇和島広域環境センターまでの運搬を行いました。

【令和3年度実績】

ごみ収集等委託料：99,000千円(ふるさとづくり基金充当35,000千円)

年間収集運搬回数：可燃ごみ1,801回、びん・缶182回、ペットボトル142回、不燃物85回、
合計2,210回

年間収集運搬日数：310日

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	年間ごみ収集日数(日)		310	307
成果	年間ごみ収集量(t)		4,704	4,611	4,582
成果	ごみ収集ができなかった日数(日)		0	3	0
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	32	44	35,032
		オ 一般	98,473	106,956	64,127
		カ 事業費(ア～オ合計)	98,505	107,000	99,159

成果実績 評価	成果状況	(状況)令和3年度の年間ごみ収集日は310日、年間ごみ収集量は4,582tで、ごみ収集量は令和2年度と比較して29t減少しています。 (原因)人口減少に伴い、可燃ごみは年々減少傾向にありますが、資源ごみは令和2年度から微増傾向にあります。コロナ禍による生活環境の変化やマイバック利用等に見られる住民の意識変化によるものと考えられます。 (余地)ごみ減量化及び再資源化の推進により、循環型ライフスタイルへの展開が図られます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	
	成果向上余地	
	大	
	中	
	小	
	なし	

不法投棄解消事業

町長部局 環境衛生課

政策	02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり	款	04 衛生費	決算書 ページ	161
施策	02 廃棄物抑制とリサイクルの推進	項	02 清掃費		
基本事業	04 不法投棄の防止	目	01 清掃総務費	計画 年度	開始：平成17年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

年間を通じて不法投棄防止に向けた啓発活動や監視活動を行い、環境の保全を図りました。また、県事業である不法投棄監視カメラの設置にあたり支柱設置工事を行い、不法投棄の監視・抑制に努めました。

【令和3年度実績】

補助金額 1,600,000円 (ふるさとづくり基金充当員謝礼1,600,000円)
 不法投監視員謝礼 828,000円 消耗品費 139,291円 燃料費 3,620円
 修繕費(監視カメラ) 19,800円 不法投棄ごみ処理手数料 422,400円
 不法投棄監視カメラメンテナンス・不法投棄回収廃家電リサイクル手数料 309,960円
 車両借上料 16,896円 重機借上料 13,728円
 不法投棄監視カメラ支柱設置工事 154,000円
 合計 1,907,695円

活動・成果状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動		巡視パトロール回数 (回)	118	120
活動		不法投棄を撤去した現場数 (箇所)	4	4	7
成果		パトロールによる新規の不法投棄現場の発見数 (箇所)	8	9	6
成果					
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	1,600	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	1,600
		オ 一般	2,438	2,891	308
		カ 事業費 (ア～オ合計)	4,038	2,891	1,908

成果実績評価	成果状況	(状況)令和3年度のパトロールによる新規の不法投棄現場の発見数は6箇所、令和2年度の9箇所と比べ、3ポイント減少しています。 (原因)巡視員による巡視活動と監視カメラによる体制強化が不法投棄の抑止となっていると考えます。 (余地)防災行政無線やかんきょうかわら版等で町民に啓発するほか、移動式監視カメラによる監視体制の強化が考えられます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	
	成果向上余地	
	大	
	中	
	小	
	なし	

[807]

機密書類等回収事業

町長部局 環境衛生センター

政策	02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり	款	04 衛生費	決算書 ページ	163
施策	02 廃棄物抑制とリサイクルの推進	項	02 清掃費		
基本事業	02 リサイクルの推進	目	02 塵芥処理費	計画 年度	開始：平成19年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)	
<p>町事業所（役場等）及び町内民間事業所からの個人情報を含む機密情報漏洩防止をはじめ、有害物質が混在する廃乾電池や廃蛍光灯の適正な処理、併せて資源リサイクル（新聞雑誌等）を図り、町民の安全及び環境保全を図りました。</p> <p>（令和3年度実績）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・機密書類溶解処理委託料220千円（年2回） ・廃乾電池・廃蛍光灯運搬処理委託料599千円（年1回） 	

活動・成果状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動		機密書類搬出数量 (t)	22	32
活動		乾電池、蛍光灯、再生紙等予定回収日数 (日)	120	120	120
成果		機密書類漏えい事故件数 (件)	0	0	0
成果		乾電池、蛍光灯、新聞、雑誌等回収 (t)	258	256	247
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	846	1,517	819
		カ 事業費 (ア～オ合計)	846	1,517	819

成果実績評価	成果状況	<p>（状況）廃乾電池・廃蛍光灯・新聞雑誌運搬処理について合計247tで問題無く実施してます。</p> <p>（原因）環境衛生センターへの持込後、有害物質が飛散しないように保管し、運搬処理時での事故の無いよう事業所と契約しています。</p> <p>（余地）現状が適切だと考えられます。</p>
	<p>向上 維持・横ばい 低下・悪化</p> <p>成果向上余地 大 中 小 なし</p>	

環境衛生センター管理運営事業

町長部局 環境衛生センター

政策	02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり	款	04 衛生費	決算書 ページ	163
施策	02 廃棄物抑制とリサイクルの推進	項	02 清掃費		
基本事業	03 廃棄物の適正処理	目	02 塵芥処理費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

環境衛生センターの健全な運営及び維持管理を図るため、施設の修繕をはじめ、各設備の保守点検、粗大ごみ等の宇和島地区広域事務組合環境センターへの運搬処理を実施することにより、町民の生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図りました。

【令和3年度実績】

・修繕料9,762千円(29件)、広域搬出ごみ処理手数料4,047千円(560台)、浸出水処理施設維持管理業務委託料9,900千円、一般廃棄物最終処分場整備業務委託料209千円、ふるさとづくり基金充当4,236千円(3月補正分) など

	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
活動・ 成果 状況	活動	水質検査地点(地点)	3	3	3
	活動	運搬ごみ量(t)	381	409	405
	成果	法定基準を超えた項目数(全75項目)(項目)	0	0	0
	成果	施設運搬車両の不具合件数(件)	1	1	0
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	49,400	0	0
		エ その他	20,123	18,108	23,850
		オ 一般	35,934	24,898	27,916
	カ 事業費(ア~オ合計)	105,457	43,006	51,766	

成果実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況)令和3年度の運搬ごみ量は405トンであり、令和2年度より4トン、1%減少しておりますが、ほぼ横ばい状態です。 (原因)人口は減少しておりますが、空家片付け等、粗大ごみ持込量が増加傾向にあり、横ばい状態になったと考えられます。 (余地)リサイクル法による、ごみ減量化の啓発や推進活動を積極的に取り組んでいく必要があります。令和4年度作成のごみ分別詳細パンフレットを全戸に配布することにより、リサイクル化が推進されと考えられます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

上水道事業会計補助金

町長部局 水道課

政策	02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり	款	04 衛生費	決算書 ページ	165
施策	05 安定的な水道水の供給	項	03 上水道費		
基本事業	02 経営の安定化	目	01 上水道費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

「地方公営企業繰出金」の基本的な考え方（繰出基準）に沿った繰出のほか、収益的収支不足補填財源としても繰出を行いました。
また、内海地域(柏、柏崎地区を除く)住民の水道料金と愛南町上水道事業水道料金の差額に対し、愛南町水道料金差額補助金を交付しました。
【R03年度実績】【ふるさとづくり基金充当 13,400千円】
(繰出基準内の繰出金 20,968千円)
・消火栓等に要する経費として10,964千円、簡易水道事業統合前の簡易水道の建設改良費にかかる企業債の償還利息に対して9,144千円、児童手当に要する経費として860千円の繰出を行いました。
(繰出基準外の繰出金 160,951千円及び上水道事業会計外の繰出金 3,816千円)
・上水道事業にかかる収益的収支予算の財源にかかる収支不足補填として160,951千円、及び愛南町水道料金差額補助金として3,816千円を繰出しました。

活動・成果状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	補助金額(千円)		170,160	154,788
成果	上水道事業の総収益における基準外繰出金割合(%)		21.3	20.1	23.2
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	13,400
		オ 一般	170,160	154,788	172,335
		カ 事業費(ア～オ合計)	170,160	154,788	185,735

成果実績評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況)基準外繰出金割合は23.2%であり、前年度20.1%に比べ、3.1ポイント増加しました。 (原因)水道料金収入が前年度と比較して11,493千円減少したことが及び総費用が前年度と比較して12,016千円増加したことが原因です。 (余地)料金改定はお客様の負担を考慮し、5年に1回実施する方向で考えています。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

病院事業会計補助金

町長部局 保健福祉課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	04 衛生費	決算書 ページ	165
施策	04 健康・医療体制の充実	項	04 病院費		
基本事業	04 安心して医療を受けられる体制の確保	目	01 病院費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

病院事業会計の運営費（収益的収支）及び建設改良費（資本的収支）の収支不足に対して補助金（繰出金）を支出しました。

1 国保一本松病院	191,000,000円	
2 内海診療所	36,000,000円	
3 建設改良繰出	30,400,000円	計257,400,000円

【ふるさとづくり基金充当 13,400千円】

活動・成果状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	補助金額 (千円)		240,271	245,519
成果	病院事業会計事業収益対事業費用率 (%)		100.8	101.8	103.5
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	1,296	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	13,400
		オ 一般	240,271	244,223	244,000
		カ 事業費 (ア～オ合計)	240,271	245,519	257,400

成果実績評価	成果状況	<p>(状況) 病院事業会計に対する繰出額は令和2年度245,519千円から令和3年度257,400千円へと11,881千円の増額となりました。</p> <p>(原因) 増加原因は屋上防水工事の実施に伴い資本的収支への繰出が増加したためです。収益的収支に対する繰出は13,000千円減少しています。</p> <p>(余地) 病床利用率の向上に努めることによって、医療収益の増収が見込まれます。(令和3年度病床利用率82.5%、1日平均入院患者数49.5人)</p>
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

B21]

小規模下水道特別会計繰出金

町長部局 環境衛生課

政策	02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	167
施策	01 環境の保全	項	01 農業費		
基本事業	04 生活排水の適正処理	目	02 農業総務費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

小規模下水道特別会計における地方債償還金及び小規模下水道管理費に対する運営費用の不足を補う財源として、一般会計から繰出金を支出しました。

区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 繰出金額 (円)	106,500,000	120,700,000	107,620,000	
	活動				
	成果 集落排水接続率 (%)	81.0	82.7	82.7	
	成果 下水道特別会計の歳入における繰出金割合 (%)	59.4	78.5	54.8	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	106,500	120,700	107,620
		カ 事業費 (ア~オ合計)	106,500	120,700	107,620

成果実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) 集落排水処理施設への接続世帯数は921戸中762戸となり、接続率は82.7% で前年度と変わりません。 (原因) 住宅新築数の減少や少子高齢化が進み、接続率は頭打ち状態となっ ています。 (余地) 人口減少や高齢化が進んでいることから、大幅な向上は見込めません。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

農業支援センター運営事業

町長部局 農林課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	167
施策	02 農林業の振興	項	01 農業費	計画 年度	開始：平成17年度 終了：令和 年度
基本 事業	01 担い手の育成と確保	目	02 農業総務費		

手段 (R03年度の取り組み)

持続可能な本町農業の維持発展のため、経営資金や農業簿記等の相談会及び講習会、産地化に向けた栽培技術等の研修会、農家所得の向上を目指した販路の確保等、農業者に対する総合的な支援を行うため、農業支援センター運営に係る負担金を支出しました。令和3年度の活動としては、「柑橘加工場」の建設を視野に入れた愛南ゴールドのPR活動と販路拡大、高付加価値商品の開発や新たな商流網の構築について地方創生推進交付金事業を活用した取組に注力しました。さらに、「柑橘加工場」の稼働を見据え、委託搾汁による販路展開を実施しました。

【令和3年度実績】負担金額 18,700,000円

(当初：25,485,000円 新型コロナウイルスの影響による一部事業の中止(国内外の販売促進事業等)や河内晩柑果汁等テスト販売事業の実績による3月補正での減額(5,485,000円)による。)

【ふるさとづくり基金充当 6,000,000円】

活動・ 成果状 況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動		愛南ゴールド等サンプル提供数(回)	7	20
活動		資金相談件数(件)	8	18	7
成果		愛南ゴールド等販売額(農業支援センター仲介)(円)	1,147,944	1,525,953	4,051,303
成果		新規就農者数(人)	2	4	2
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	814	2,618	2,938
		イ 県	1,335	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	6,000
		オ 一般	3,729	5,682	9,762
		カ 事業費(ア~オ合計)	5,878	8,300	18,700

成果実績 評価	成果状況	(状況) 河内晩柑生果に加えて果汁も販促用アイテムとして保有して認知度向上・消費拡大活動を展開したところ、相乗効果で生果及び果汁ともに売上げが前年対比で増加しました。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	(原因) 河内晩柑の認知度向上や消費拡大を目的として、積極的にサンプル配布を行ったことが奏功し、少しずつ成果として表れていると考えます。
成果向上余地	大 中 小 なし	(余地) 愛南ゴールドという柑橘を知らなかったという声をいまだに耳にするため販促イベント等を積極的かつ地道に行い、認知度を向上させることで販売量拡大に繋げる余地は大いにあると考えます。

627]

青果市場運営事業

町長部局 農林課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	167
施策	02 農林業の振興	項	01 農業費		
基本 事業	05 地域資源の有効活用	目	02 農業総務費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)	
<p>愛南町とえひめ南農業協同組合が出資した組合として、市場運営のための事業費を負担しました。 地域住民に新鮮で良質な地元の農産物を提供します。本町の農産物の市場取引や生産加工、貯蔵販売の指導、斡旋を促します。</p> <p>【令和3年度・実績】 負担金額 1,158,767円</p>	

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	活動	負担金額 (千円)	1,536	1,817
成果	活動				
	成果	作物の取扱量 (t)	137	122	125
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	1,536	1,817	1,159
		カ 事業費 (ア~オ合計)	1,536	1,817	1,159

成果 実績 評価	成果状況	(状況) 果実の取扱量が91t、野菜の取扱量が34tと総取扱数量は、前年比2.5%向上しました。それに伴い取扱手数料収入も6.6%向上しました。 (原因) 4、5月に出荷のあった果実の隔年結果によるものです。 (余地) 関係者(生産者・仲買人・従業員)が一丸となり経営改善に向け取り組みを開始することとしています。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

農業次世代人材投資事業

町長部局 農林課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	169
施策	02 農林業の振興	項	01 農業費		
基本事業	01 担い手の育成と確保	目	03 農業振興費	計画 年度	開始：平成17年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

農業を始めた新規就農者に対し、最長5年間、年間最大150万円（国庫補助10/10）の交付を行い、経営当初の不安定な期間の営農支援を行います。事業推進のためHP等を利用したPR活動や就農希望者に個別説明を通し就農を促します。また、新規採択者には県農業指導班等と連携し経営農地の確認や青年就農計画の作成補助を行い、新規就農の課題をともに考え、個別の面談を行い本人の営農意欲や交付要件の確認を行った上で、担い手の適正確認も行います。継続交付者に対しては、県、町（農業委員会を含む）、JA等で構成するサポートチームで就農状況確認を行い、「経営・技術」、「営農資金」、「農地」の指導等を通して地域農業に貢献する担い手の育成や定着を図りました。

【R3年度実績】

事業費：6,750千円(継続就農者3名、新規就農者2名)

活動・成果状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	補助件数(件)		14	8
活動	補助金額(円)		18,375,000	10,642,360	6,750,000
成果	補助を受け営農している成年就農者数(単年度)(人)		15	8	8
成果	補助後も就農している割合(%)		89	93	87
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	18,375	10,642	6,750
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	0	0	0
	カ 事業費(ア～オ合計)		18,375	10,642	6,750

成果実績評価	成果状況	<p>(状況)令和3年度は2名の新規採択者がいました。これまで36名(うち夫婦2件)が交付金を受けており、4名が離農しましたが、順調に成果を維持しています。</p> <p>(原因)H29年度に事業名が青年就農給付金事業から農業次世代人材投資事業に変更となり、事業要件も年々厳しくなっています。そのため、新規就農の本格化を保留している者も数名おり、新規採択者の増加が限定的でした。</p> <p>(余地)継続的に新規就農を促すとともに、令和元年度からJAえひめ南による研修制度が実施されたため計画的な新規採択者の増加が期待できます。また、高齢化による遊休、リタイア農地の継承にも貢献できます。</p>
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

⑬36

担い手総合支援事業

町長部局 農林課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	169
施策	02 農林業の振興	項	01 農業費		
基本事業	01 担い手の育成と確保	目	03 農業振興費	計画 年度	開始：令和03年度 終了：令和07年度

手段 (R03年度の取り組み)

愛南町の農業は従業者の高齢化と減少が急速に進んでおり、農業生産の確保と集落における農地の維持が困難になりつつあります。このため、多様な担い手を確保・育成していくため、支援事業を 募集、 研修、 経営定着、 経営発展、 経営継承に区分化した上で、事業の一元化を図りました。

また、これら担い手関係の課題を一貫した支援事業として統括することで、事業効果の見える化を図り、意欲ある担い手の確保や愛南農業の維持発展に貢献しました。

【R3年度実績】

募集 220千円
 研修 1,066千円
 経営定着 2,742千円

区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 就農予定者(研修生)数【、 事業関係】(人)			3	
	活動 補助件数【、 、 事業関係】(件)			1	
	成果 研修後の就農率(%)			100	
	成果 補助対象農家等の経営規模拡大面積(累計)④			196	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	2,014
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	0	0	2,014
	カ 事業費(ア~オ合計)	0	0	4,028	

成果実績 評価	成果状況	(状況)支援事業に関しては、就農候補者3名(新規2名)を受け入れ、就農候補者技術研修や定着実践研修を行いました。また、機械施設整備事業に関しては、認定農業者1名が農業機械を導入しました。 (原因)農業次世代人材投資事業との連携により研修への支援体制が確立していること及び認定農業者等へ機械等の導入意向の調査を行ったことが原因として挙げられます。 (余地)募集体制の構築を始め、研修後の就農に不可欠な圃地情報のリスト化など研修から就農まで一貫した支援ができるよう、更なる研修体制の充実化が必要です。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

野菜産地化推進補助事業

町長部局 農林課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	169
施策	02 農林業の振興	項	01 農業費		
基本事業	02 経営安定と高付加価値化の推進	目	03 農業振興費	計画 年度	開始：平成27年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)	
<p>野菜の産地化を推進するため、JAえひめ南が振興している4品目（ブロッコリー、ナス、スイートコーン、サトイモ）の出荷を前提として、町内在住農家（町内農地に限る）が購入した種苗代に対し助成を行い、野菜の産地化を推進しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・助成要件 原則農協で購入した種苗であること。 農協等に出荷をしていること。 ・補助率 1/2以内 <p>【ふるさとづくり基金充当 6,252千円】</p>	

活動・成果状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	補助件数 (件)		111	94
活動	補助金額 (千円)		6,683	6,837	7,696
成果	振興作物作付面積 (a)		3,508	3,626	4,155
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	6,252
		オ 一般	6,683	6,837	1,444
		カ 事業費 (ア~オ合計)	6,683	6,837	7,696

成果実績評価	成果状況	<p>(状況) 振興作物の作付面積は前年度から529a増加しました。 (原因) 令和2年度にコロナ対策事業として農水省が打ち出した「高収益作物次期作支援交付金」に申請した農家について、野菜部門の申請の要件として作付面積の拡大があったため、申請した多くの農業者は作付面積の拡大を図りました。その結果として、一人当たりの作付面積が拡大したと考えられます。 (余地) 引き続き当事業の周知をえひめ南農協と協働で行い、振興作物の作付面積拡大に努めたいと考えます。</p>
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

経営所得安定対策直接支払推進補助事業

町長部局 農林課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	169
施策	02 農林業の振興	項	01 農業費		
基本事業	02 経営安定と高付加価値化の推進	目	03 農業振興費	計画 年度	開始：平成23年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

経営所得安定対策及び水田活用の直接支払交付金を円滑に推進するために必要なシステム開発等の経費を確保するとともに、現場における事業推進や作付確認等を行う必要経費に使用しました。

【令和3年度・事業内容】

- ・経営所得安定対策の普及・推進活動
- ・対象作物の農業者別生産数量目標の設定ルール等の検討
- ・農業者に対する説明、交付申請書や営農計画書等申請書類の配布・回収
- ・対象作物の作付面積等の確認・産地交付金の要件の検討

【令和3年度・実績】 2,900,000円（財源：国2,900,000円）

活動・成果状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動		経営所得安定対策申請者数（人）	69	67
活動					
成果		経営所得安定対策受給者数（人）	69	67	68
成果					
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	2,850	4,218	2,900
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	0	0	0
		カ 事業費(ア～オ合計)	2,850	4,218	2,900

成果実績評価	成果状況	<p>(状況) 令和3年度を受給者数は68人と前年度から1人増加しました。 令和3年度の水田活用の直接支払交付金は23,858,004円で前年度から3,712,495円増加しました。</p> <p>(原因) 交付金総額の増額の要因は主食用米から飼料用米への転換によるものです。また、平成29年度実績から受給者数が大幅に減少している要因は米の直接支払交付金が平成29年度末で終了となったためです。</p> <p>(余地) 地域振興作物の作付面積は順調に増加をしています。 今後、稲作から高収益作物への作目転換が図られる可能性があります。</p>
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

農業経営セーフティネット加入促進補助事業

町長部局 農林課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	169
施策	02 農林業の振興	項	01 農業費		
基本事業	02 経営安定と高付加価値化の推進	目	03 農業振興費	計画 年度	開始：令和03年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

新型コロナウイルス感染症拡大の影響や今後起こり得る自然災害による農業収入の減少等に備えるため、農業共済組合が実施する農業保険法（昭和22年法律第185号）97条に規定する農業共済事業（農作物共済・家畜共済・果樹共済・畑作物共済・園芸施設共済等）及び175条第2項に規定する農業経営収入保険事業（農業経営収入保険事業のみ）に加入する農業者に対して保険料の一部を補助しました。

【令和3年度・実績】

交付申請者数 90名
 交付決定額 3,620千円（内訳：共済事業983千円、収入保険2,637千円）
 { 補助率：保険料及び共済掛金（掛け捨て部分のみ）の1/2（上限20万円） }

活動・成果状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	活動	セーフティネット加入者数（人）		
事業費 （千円）	財源内訳	ア 国	0	0	2,722
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	0	0	898
		カ 事業費（ア～オ合計）	0	0	3,620

成果実績評価	成果状況	（状況）収入保険事業は、新規加入者が8名増え、農業共済事業は加入者数が33名減少をしました。 （原因）農業共済事業から収入保険事業に移行をしたことと、令和3年度から農業共済事業の内、水稲共済の加入条件に下限作付面積が付されたことにより総加入数が減少をしました。 （余地）継続的に支援を行うことで、セーフティネットへの加入促進が図られます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

0114

農作物鳥獣害防止対策推進事業

町長部局 農林課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	169
施策	02 農林業の振興	項	01 農業費		
基本事業	03 農地の保全・農村環境の整備	目	03 農業振興費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

野生鳥獣類による農作物被害防止施設(電気柵、ワイヤーメッシュ柵等)の整備に補助を行いました。(個人等事業主体) 上限50,000円、1/2以内補助(町単独事業)
本人申請 審査 交付決定 事業実施 実績報告 請求書提出 補助金支払
また、サルによる農業被害、人的被害及び生活環境被害を防ぐため設置した大型の囲いワナの監理を南宇和猟友会に委託しました。また、地区貸出し用の追い払いエアガンを購入しました。

【令和3年度実績】
・電気柵3件 補助額 133,300円 ・金網柵6件 補助額 131,300円
・囲いワナ監理委託料 528,000円 ・サル追い払い用エアガン購入 759,351円

活動・成果状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	補助件数 (件)		28	15
活動	補助金額 (千円)		785	534	265
成果	被害面積 (ha)		12.05	11.97	11.53
成果	被害金額 (千円)		19,268	19,179	19,258
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	1,665	924	1,552
		カ 事業費(ア~オ合計)	1,665	924	1,552

成果実績評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況)今年度の被害面積は11.53haで昨年度から0.44ha減少、被害金額は19,258千円で昨年度から79千円増加しており、昨年比の成果状況はほぼ横ばいとなっております。 (原因)継続的に事業を行うことによる効果発現であると考えられます。 (余地)有害鳥獣が増加傾向にあるため、本事業を積極的に活用するよう周知します。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

中山間地域等直接支払推進事業

町長部局 農林課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	169
施策	02 農林業の振興	項	01 農業費		
基本 事業	03 農地の保全・農村環境の整備	目	03 農業振興費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)	
<p>生産条件が不利な中山間地域の集落に対し、協定を結び交付金を交付することにより、中山間地域の有する水源かん養機能等の多面的機能の発揮の維持・促進を図りました。</p> <p>協定集落 40集落(10割：27集落、8割：13集落、急傾斜加算：6集落) 対象面積 田：1,037,378㎡畑：2,215,283㎡合計3,252,661㎡加算面積：346,096㎡ 補助率 本体交付金(国1/2、県1/4、町1/4)、推進交付金(国100/100以内) 補助金額 47,225千円</p>	

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	活動	集落数(集落)	40	40
活動	活動	交付金額(千円)	48,228	46,561	47,225
成果	成果	農業生産活動等の実施面積(㎡)	3,363,225	3,201,637	3,252,661
成果	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	36,300	35,089	35,609
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	12,185	11,724	11,871
		カ 事業費(ア～オ合計)	48,485	46,813	47,480

成果実績 評価	成果状況	(状況) 農業生産活動等の実施面積は約5ha増加しています。 (原因) 協定参加者数に大きな変動はないため、農地の集積等を行うことで、協定面積が増加していると考えられます。 (余地) 協定参加者を増加させる、農地の集積を行うことなどで、対象農地を増やすことが考えられます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	
	成果向上余地	
	大	
	中	
	小	
	なし	

[37]

鳥獣被害防止総合対策事業

町長部局 農林課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	169
施策	02 農林業の振興	項	01 農業費		
基本事業	03 農地の保全・農村環境の整備	目	03 農業振興費	計画 年度	開始：平成19年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)	
<p>農作物被害の軽減を図るため、愛南町鳥獣被害防止対策協議会に対して補助金を交付しました。また、同協議会において野生鳥獣類の侵入防止柵の資材を購入し、地元施工による設置、住民向け追払い講習会の開催、ニホンザル生息状況調査及び南宇和猟友会及び愛南わなの会による有害鳥獣の駆除を行いました。</p> <p>【令和3年度実績】 駆除頭数 イノシシ(成獣) 745頭 (幼獣) 111頭 シカ (成獣)1,916頭 (幼獣) 91頭 サル (成獣) 68頭 (幼獣) 4頭 侵入防止柵 4地区 11,054m サル追払い講習会及び生息状況調査 1式</p>	

活動・成果状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	補助金額 (千円)		57,984	45,491
成果	農作物被害面積 (ha)		12.05	11.97	11.53
成果	農作物被害金額 (千円)		19,268	19,179	19,258
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	27,760	34,762	26,853
		ウ 地方債	0	0	1,000
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	30,224	10,729	12,146
		カ 事業費 (ア～オ合計)	57,984	45,491	39,999

成果実績評価	成果状況	(状況) 侵入防止柵を設置した区域の被害は減少していますが周辺の未設置区域に被害が出ています。 (原因) 猟友会、わなの会による捕獲頭数は増加していますが、侵入防止柵の設置していない場所に鳥獣が移動していると思われます。 (余地) 電気柵や鉄柵で囲っていない場所には捕獲檻を設置するなどの対策を取ることによって被害の軽減を図ることができると考えられます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

菊川農村研修センター管理運営事業

教育委員会部局 平城公民館

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	171
施策	02 農林業の振興	項	01 農業費		
基本事業	03 農地の保全・農村環境の整備	目	04 農業振興施設費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)	
管理	防火対象物点検業務、消防用設備保守点検業務、浄化槽法定検査業務、浄化槽保守点検業務、浄化槽清掃業務、施設清掃業務を行いました。

活動・成果状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動		菊川公民館管理運営関係者数 (人)	9	9
活動		菊川公民館運営審議会開催回数 (回)	1	2	2
成果		菊川農村研修センター管理上の不具合・トラブル件数 (件)	0	0	0
成果		菊川農村研修センター運営上の満足度 (%)	94.5	100	97.1
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	1,044	970	956
		カ 事業費 (ア～オ合計)	1,044	970	956

成果実績評価	成果状況	(状況) 施設管理上のトラブルもなく運営できています。満足度は97.1%で2.9ポイント低下しましたが、高い数値を維持しています。 (原因) 定められた頻度での保守点検及び業者による清掃と普段からの管理が適切であったと思われます。 (余地) 住民が安全で快適に利用できるよう、長期的観点での維持管理が必要です。経費削減を考慮した施設の改修等の検討も必要と思われます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

一本松ふるさと生活館管理運営事業

一本松支所 一本松支所

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	171
施策	02 農林業の振興	項	01 農業費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度
基本 事業	99 施策の総合推進	目	04 農業振興施設費		

手段 (R03年度の取り組み)

一本松ふるさと生活館の運営及び施設の維持管理を行いました。

- ・施設及び設備の維持管理
- ・ボイラー保守点検委託業務
- ・食品営業賠償保険
- ・使用料 1回5時間まで 農産加工室 1,300円 その他 400円

【R3】加工室に空調設備設置工事(1,287千円)を実施しました。

活動・ 成果状 況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	活動	開館日数(件)	74	32
活動	活動	修繕件数(件)	2	1	1
成果	成果	一本松ふるさと生活館利用者数(人)	350	93	194
成果	成果	農産加工品の商品化率(%)	0	0	0
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	40	26	25
		オ 一般	559	469	1,674
	カ 事業費(ア~オ合計)	599	495	1,699	

成果実績 評価	成果状況	【状況】修繕件数は、当初予算内で対応できた軽微なものでした。昨年度と比較して、利用日数は3日多く、利用者数は101名増加しました。 【原因】施設の維持管理については、適正な管理によるものです。また、利用日数・利用人数の増加については、コロナウイルス感染症防止のため閉館した期間が減少したことや、参加者が再活動したことが要因と思われます。 【余地】本施設の機能維持のため、計画的な設備の修繕が必要と考えられます。また、食品衛生法に係る営業許可(飲食店営業、惣菜製造業、みそ製造業、菓子製造業)を公共施設では唯一取得していることから、利用者数等の増加が考えられます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	
	成果向上余地	
	大	
	中	
	小	
	なし	

B47]

一本松郷土資料館管理運営事業

教育委員会部局 生涯学習課

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	171
施策	02 生涯学習の充実	項	01 農業費		
基本 事業	04 文化活動の活性化及び地域文化の保護・ 継承	目	04 農業振興施設費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)	
<p>・郷土資料の適切な維持管理に努め、展示公開することで、町の歴史と文化を町内外そして後世に伝えるとともに、文化財の保護の必要性の周知、町内在住者への学びの機会と場の提供及び町の文化の向上に寄与します。</p> <p>【R03年度実績】</p> <p>・小学校第3学年の社会科学習(城辺小学校32名)に際し、展示解説を行いました。</p>	

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動		郷土資料の収集件数(件)	0	0
活動		収蔵資料件数(件)	4,195	4,195	4,195
成果		一本松郷土資料館年間来館者集(人)	206	102	55
成果		一本松郷土資料館の維持管理上の不具合・トラブル件数(件)	0	1	0
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	502	500	529
		カ 事業費(ア~オ合計)	502	500	529

成果実績 評価	成果状況	(状況)前年度実績から年間来館者数が53.9%低下しました。 (原因)新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う施設の利用中止や移動制限等が原因と思 われます。 (余地)新型コロナウイルス感染症が収束すれば、例年並みの水準に戻ると考えられます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	
	成果向上余地	
	大	
	中	
	小	
	なし	

一本松交流促進センター管理運営事業

教育委員会部局 生涯学習課

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	171
施策	03 スポーツの充実	項	01 農業費		
基本 事業	03 スポーツ施設の利用促進	目	04 農業振興施設費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

施設を利用する一本松中学校生徒及び一般利用者の利便性向上や安全性確保のために適切な維持管理を行いました。

- ・開館時間 8時30分から22時まで
- ・休館日 なし
- ・予約 一本松公民館

【R03年度実績】

- ・年間利用人数 1,737人
- ・修繕5件(トイレ自動水栓2件、外灯、器具庫扉、鉄格子)
- ・照明設備改修(LED化)のために概算設計を実施しました。

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	活動	修繕件数(件)	2	4
成果	成果	一本松交流促進センター年間利用者数(人)	3,675	2,299	1,737
	成果	一本松交流促進センターの維持管理上の不具合・トラブル件数(件)	0	0	0
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	207	73	99
		オ 一般	4,617	3,942	4,034
		カ 事業費(ア～オ合計)	4,824	4,015	4,133

成果実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況)前年度と比較して年間利用者数が24.4%減少しています。 (原因)新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う施設の利用休止と各団体による利用自粛が要因だと考えます。 (余地)今後の利用については、コロナ収束により通常に施設が使用できれば利用者の増加が見込めます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

一本松プール管理運営事業

教育委員会部局 生涯学習課

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	173
施策	03 スポーツの充実	項	01 農業費		
基本事業	03 スポーツ施設の利用促進	目	04 農業振興施設費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)	
施設を利用する一本松小学校児童の利便性向上や安全性確保のために適切な維持管理を行いました。	
【R03年度実績】	
・開放期間：6月から7月下旬	
・開放内容：授業（水泳）	
・委託業者によるプールの過機の保守点検を実施しました。	

活動・成果状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	活動	修繕件数 (件)	0	0
活動	活動	一本松プール年間利用者数(全児童数) (人)	107	104	117
成果	成果	一本松プールの維持管理上の不具合・トラブル件数 (件)	0	0	0
成果	成果				0
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	980	837	853
		カ 事業費 (ア～オ合計)	980	837	853

成果実績評価	成果状況	(状況)利用者からの不具合やトラブルの申し出がなく、事業の成果としては順調でした。 (原因)適切な施設管理及び点検等を実施していることが要因であると考えます。 (余地)現在夏休みまでの学校利用のみとなっており、開放日を増やしたとしても成果向上の余地は少ないと考えます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

あけぼのグラウンド管理運営事業

教育委員会部局 生涯学習課

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	173
施策	03 スポーツの充実	項	01 農業費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度
基本 事業	03 スポーツ施設の利用促進	目	04 農業振興施設費		

手段 (R03年度の取り組み)

必要な維持管理を行い、利用者の利便性向上と安全性確保に努めました。
 スポーツ合宿等町外者の利用を推進するために誘致活動を行いました。
 ・利用時間 7時から22時
 ・休業日 なし
 ・予約 生涯学習課
 【R03年度実績】
 ・年間利用人数 8,803人(合宿利用3件)
 ・修繕4件(テニスコート照明、安定器、スポーツトラクターバッテリー、柱時計)
 ・JFA人工芝ピッチ公認制度に基づくフィールドテストを実施し、人工芝ピッチ公認を継続しました。(フィールドテスト 660千円、公認料 66千円)

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	活動	修繕件数(件)	4	2
成果	成果	あけぼのグラウンド年間利用者数(人)	14,935	7,225	8,803
	成果	あけぼのグラウンドの維持管理上の不具合・トラブル件数(件)	0	0	0
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	433	222	240
		オ 一般	3,756	2,967	3,476
		カ 事業費(ア~オ合計)	4,189	3,189	3,716

成果 実績 評価	成果状況	(状況)前年度から年間利用者数が21.8%増加しました。 (原因)新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う施設の使用休止がありましたが、使用団体による各種大会、リーグ戦等の開催が増加の要因であると考えます。 (余地)今後のグラウンド利用については、コロナ収束により通常に施設が利用できれば更に利用者の増加が見込めます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

畜産基盤施設再生支援事業

町長部局 農林課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	173
施策	02 農林業の振興	項	01 農業費		
基本 事業	02 経営安定と高付加価値化の推進	目	05 畜産業費	計画 年度	開始：令和03年度 終了：令和03年度

手段 (R03年度の取り組み)

畜産農家及びその関係者が実施する既存施設の再生整備の取組に対し補助金を交付しました。

【R3年度実績】

事業実施主体：えひめ南クラスター協議会
 事業内容：南宇和堆肥センター屋根及び堆肥攪拌機改修
 総事業費：9,537,000円
 財源内訳：県補助2,889,000円
 町補助2,889,000円
 協議会3,759,000円 合計9,537,000円

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	補助金額 (千円)			
活動					
成果	飼養頭数 (頭)				160
成果					
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	2,889
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	0	0	2,889
		カ 事業費 (ア～オ合計)	0	0	5,778

成果実績 評価	成果状況	(状況)肉用牛の飼養頭数は現在ほぼ横ばいとなっています。 (原因)本事業で令和3年度に施設改修を行ったため今後家畜排泄処理の効率化が 図られ負担軽減に繋がると思われます。 (余地)町内農家、農協及び南予家畜保健所と情報共有し状況に応じ必要な事業を 検討していくことが重要です。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	
	成果向上余地	
	大	
	中	
	小	
	なし	

0111)

多面的機能支払交付金事業

町長部局 農林課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	173
施策	02 農林業の振興	項	01 農業費	計画 年度	
基本 事業	03 農地の保全・農村環境の整備	目	06 農地費		開始：平成19年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

多面的機能支払交付金事業を実施する活動組織及び推進組織へ地域資源（田・畑等）の多面的機能の増進を図るため、農村環境保全向上活動支援事業補助金を交付し、組織による活動を支援しました。

【令和3年度】

○活動組織 13組織

【農地維持支払	9,805千円】
【資源向上支払（共同活動）	3,634千円】
【資源向上支払（長寿命化等）	8,015千円】
【推進組織推進事業	640千円】
【市町推進事業	355千円】
【国庫支出金精算返還金	2千円】

活動・ 成果状 況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	活動	交付金額（千円）	22,291	23,799
成果	成果	多面的機能を維持管理している面積（a）	38,686	38,680	38,649
事業費 （千円）	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	16,581	17,713	16,690
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	3	0
		オ 一般	5,710	6,083	5,761
		カ 事業費（ア～オ合計）	22,291	23,799	22,451

成果実 績評 価	成果状況	（状況）令和3年度は前年度と比べ対象農用地面積が減少しました。 （原因）2活動組織内における転用等の影響により、事業対象地除外が発生したためです。 （余地）補助金制度の周知や事務説明等を行うことにより、対象農用地の拡大を検討する組織の増加が考えられます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	
	成果向上余地	
	大	
	中	
	小	
	なし	

058]

水利組合助成事業

町長部局 農林課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	175
施策	02 農林業の振興	項	01 農業費		
基本 事業	03 農地の保全・農村環境の整備	目	06 農地費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)	
<p>農業用揚水ポンプを管理している水利組合等へ揚水機・可動堰の年間電気料の1/2以内の助成金を支出しました。</p> <p>【令和3年度】 水利組合補助金（19件） 2,177千円</p>	

活動・ 成果状 況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動		助成金額 (千円)	2,063	2,207
活動					
成果		水利組合管理施設の機能不全件数 (件)	0	0	0
成果					
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	2,063	2,207	2,177
		カ 事業費 (ア～オ合計)	2,063	2,207	2,177

成果実 績評 価	成果状況	(状況) 令和3年度は前年度同様、0件を維持しており順調となっています。 (原因) 各水利組合が適正に施設の維持管理を実施していると考えられます。 (余地) 現況の維持管理状態の取り組みを継続することが考えられます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	
	成果向上余地	
	大	
	中	
	小	
	なし	

農道維持補修事業(単独)

町長部局 農林課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	175
施策	02 農林業の振興	項	01 農業費		
基本事業	03 農地の保全・農村環境の整備	目	06 農地費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

農道の健全な利用促進のため、地区からの要望により農道新設、路側改修、農道舗装等が必要な個所に対して、工事の実施、併せて土地の買収を実施しました。

【令和2年度繰越】

町単独工事（御荘平山地区農道新設工事外2件） 34,793千円

【令和3年度】

町単独工事（農道奈呂線道路新設工事） 29,455千円

町単独工事（地区要望等対応20件） 11,724千円

用地買収費（5筆） 385千円

支障物件補償費（2件） 275千円

活動・成果状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動		維持補修件数(件)	15	13
活動					
成果		農道施設における維持管理上の不具合・トラブル件数(件)	15	13	20
成果					
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	12,000	14,733	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	8	9	9
		オ 一般	59,426	47,443	76,623
		カ 事業費(ア～オ合計)	71,434	62,185	76,632

成果実績評価	成果状況	<p>(状況)令和3年度は前年度に対し、維持補修件数及び事業費は増加傾向となっています。</p> <p>(原因)事業費の増加については、地区要望における農道新設事業を地元地権者等との協議により、令和3年度に繰越したためと考えられます。</p> <p>(余地)今後も継続事業の実施及び施設の老朽化(舗装、路側)をはじめ、支障木等の突発的な案件が生じると考えられます。</p>
	<p>向上</p> <p>維持・横ばい</p> <p>低下・悪化</p> <p>成果向上余地</p> <p>大</p> <p>中</p> <p>小</p> <p>なし</p>	

水路維持修繕事業(単独)

町長部局 農林課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	175
施策	02 農林業の振興	項	01 農業費		
基本 事業	03 農地の保全・農村環境の整備	目	06 農地費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

老朽化等が原因による水利施設の機能を維持・改善するため、地区要望等で維持補修が必要な水路等の施設について、測量設計や修繕・補修工事等を実施しました。

【令和3年度】

修繕料	207千円
登記業務委託料(2件)	615千円
測量設計委託料(1件)	6,675千円
愛南町ため池ハザードマップ作成業務(N=19箇所)	12,900千円
町単独工事(地区要望等対応50件)	26,779千円

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動		維持修繕の件数(件)	25	37
活動					
成果		農業排水路における持管理上の不具合・トラブル件数(件)	25	37	50
成果					
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	4,980	13,400	0
		ウ 地方債	0	0	12,200
		エ その他	0	1	1
		オ 一般	28,657	49,626	34,975
		カ 事業費(ア~オ合計)	33,637	63,027	47,176

成果実績 評価	成果状況	(状況)令和3年度は前年度に対し、維持修繕件数は増加しました。 (原因)定期的な見回りや地区要望により、維持補修等が必要な箇所の対応ができたためと考えられます。 (余地)今後も施設の老朽化による修繕等、突発的な案件が生じると考えられます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	
	成果向上余地	
	大	
	中	
	小	
	なし	

[57]

広域農道維持管理事業

町長部局 農林課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	175
施策	02 農林業の振興	項	01 農業費		
基本 事業	03 農地の保全・農村環境の整備	目	06 農地費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

広域農道にある道路照明灯、平城トンネル照明灯の電気料について支払します。平城トンネル照明灯の点灯不良個所の修繕を実施します。広域農道の草刈等（御荘～城辺地域）（城辺～一本松地域）を実施しました。

【令和3年度】

電気料 281千円
修繕料 913千円
農道維持管理委託料（4件） 2,837千円

	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
活動・ 成果 状況	活動	修繕件数 (件)	0	1	1
	活動	作業回数 (回)	4	4	4
	成果	広域農道利用者からの要望・苦情件数 (年間) (件)	0	0	0
	成果	広域農道での事故件数 (年間) (件)	1	0	0
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	3,025	3,339	4,031
	カ 事業費 (ア～オ合計)	3,025	3,339	4,031	

成果実績 評価	成果状況	（状況）令和3年度は前年度に比べ、ほぼ横ばい状態です。 （原因）適切な維持管理の実施により、利用者の安全性・利便性が確保できたものと考えられます。 （余地）こまめな道路排水路等の維持管理や法面の立木の枝打ち、また、今後、既存照明灯の廃盤による平城トンネルにおけるLED化等が考えられます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	
	成果向上余地	
	大	
	中	
	小	
	なし	

農地等工事材料費支給事業

町長部局 農林課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	177
施策	02 農林業の振興	項	01 農業費		
基本事業	03 農地の保全・農村環境の整備	目	06 農地費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

原材料支給の地区要望等があった農業用施設について、砕石や生コン、防草シート等の工事材料を支給しました。支給を受けた工事材料は、地元受益者等の自主施工により実施しました。

【令和3年度】

原材料支給（13件） 5,185千円

活動・成果状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	活動	支払金額 (千円)	4,048	4,941
成果	成果	農家による環境整備件数 (件)	10	8	13
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	4,048	4,941	5,185
		カ 事業費 (ア～オ合計)	4,048	4,941	5,185

成果実績評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	<p>(状況) 令和3年度は前年度と比べ、要望件数及び事業費については、やや増加傾向となっております。</p> <p>(原因) 令和3年度は、支給対象の施工延長等が大きかったため、事業費が増加したと考えられます。</p> <p>(余地) 多面的事業の新規活動組織の検討や認定及び今後の対応完了による要望件数の減少等により、原材料支給の減額が考えられます。</p>
	成果向上余地 大 中 小 なし	

[662]

大久保山土地改良事業

町長部局 農林課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	177
施策	02 農林業の振興	項	01 農業費		
基本事業	03 農地の保全・農村環境の整備	目	06 農地費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)	
<p>大久保山土地改良区の健全な運営等のため、運営費や償還金に関する負担金及び補助金を交付し、組織による施設の維持管理活動等を支援しました。</p> <p>【令和3年度】 運営費負担金 1,025千円 償還金負担金 1,299千円</p>	

活動・成果状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	活動	負担金額 (千円)	4,299	4,299
成果	成果	施設維持管理上の不具合・トラブル件数 (件)	1	3	9
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	4,299	4,299	2,324
		カ 事業費 (ア～オ合計)	4,299	4,299	2,324

成果実績評価	成果状況	<p>(状況)令和3年度は前年度と比べトラブル対応件数は増加しました。トラブルについても早期に復旧しており、概ね適切な維持管理ができています。</p> <p>(原因)定期的な見回り等により補修等が必要な箇所の対応ができたためと考えられます。また、小水力発電施設の基盤故障により、収益が一定期間中断しましたが、既に復旧しており、影響も限定的であったと考えられます。</p> <p>(余地)今後も事業を実施している小水力発電事業が軌道に乗れば、その収益を維持管理費に充当できるため補助金の減額が考えられます。</p>
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

県営土地改良事業負担金

町長部局 農林課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	177
施策	02 農林業の振興	項	01 農業費		
基本 事業	03 農地の保全・農村環境の整備	目	06 農地費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

地域の特性に応じた農業振興を推進するために、基盤整備事業を実施する愛媛県に対して負担金を負担しました。

【令和3年度】

県営土地改良事業負担金 39,500千円

・水利施設整備事業(ストマネ) 4,475千円

(水管橋補修一式、バルブ・空気弁更新一式)

・農業水路等長寿命化・防災減災事業 18,000千円

(委託調査業務一式、ダム取水施設ゲート製作一式、仮廻水路設置一式)

・地域ため池総合整備事業 14,525千円

(【山の神池】測量設計業務一式、用地買収・補償一式、堤体工・取水施設工一式)

・水利施設等保全高度化事業(担い手支援型) 2,500千円(実施計画策定一式)

活動・ 成果状 況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	活動	負担金額(千円)	29,295	42,340
成果	成果	事業進捗率(%)	76.4	93.5	100
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	29,295	42,340	39,500
		カ 事業費(ア~オ合計)	29,295	42,340	39,500

成果実 績評 価	成果状況	(状況)令和3年度は前年度と比べ向上しており、近年の財政の厳しい中、事業完了に向けて順調に進んでいます。 (原因)地方財政法第27条及び土地改良法第91条第6項の規定により納入しています。 (余地)事業負担金の支出のみならず、県と地元の地域間調整を行うことにより、事業が円滑に施行でき、事業の進捗率が向上します。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	
	成果向上余地	
	大	
	中	
	小	
	なし	

林道維持管理事業

町長部局 農林課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	177
施策	02 農林業の振興	項	02 林業費		
基本事業	04 低コストで生産性の高い林業システムの確立	目	01 林業総務費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

森林施業を目的として、既存林道の機能維持、向上を図るため安全に利用できるよう維持管理委託料や修繕及び水路修繕工事等を実施しました。

- ・林道視線誘導標設置（修繕料）242,000円
- ・林道維持管理委託料（2路線）766,150円
- ・久良地区（西真浦）水路修繕工事（地区要望） 1,012,000円

活動・成果状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	活動	作業回数(回)	6	6
成果	成果	林道維持管理上の不具合・トラブル件数(件)	2	2	1
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	695	0	0
		ウ 地方債	0	3,000	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	2,816	3,225	2,020
		カ 事業費(ア～オ合計)	3,511	6,225	2,020

成果実績評価	成果状況	<p>(状況)地区要望等に対応し、清掃作業箇所2路線、修繕、水路修繕工事を実施し、適切に維持管理を遂行しました。</p> <p>(原因)地区要望や職員の見回り及び利用者に情報提供していただき、林道の状況を把握しました。</p> <p>(余地)南宇和森林組合等の林道使用者と積極的に協力しながら維持管理をすることが考えられます。</p>
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

667]

林道整備事業

町長部局 農林課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	177
施策	02 農林業の振興	項	02 林業費		
基本事業	04 低コストで生産性の高い林業システムの確立	目	01 林業総務費	計画 年度	開始：平成29年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

愛媛県森林土木工事関係規程に基づき、森林整備を効率的に実施することを目的に林道工事を実施しました。

農山村地域整備交付金事業（国庫補助事業・継続）林道松尾光野線道路舗装工事
 計画期間：令和2年度～令和5年度
 全体計画：事業費55,800千円、事業量 舗装工L=4,000m
 令和2年度からの繰越事業費20,152千円、舗装工L=1,111.7m
 令和3年度の事業費（前払5,000千円のみ）13,178千円、舗装工L=579m

県単独林道整備事業（県費補助事業・新規）林道太田八人組線道路開設工事
 計画期間：令和3年度～令和4年度
 全体計画：事業費40,000千円、事業量 道路開設L=400m
 令和3年度の事業費22,500千円、道路開設L=212.3m

活動・成果状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	活動	開設、改修における林道延長 (m)	480	0
成果	成果	間伐実施面積 (ha)	0	0	5
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	19,000	0	0
		イ 県	0	2,750	25,083
		ウ 地方債	19,000	0	20,200
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	0	2,250	2,369
		カ 事業費 (ア～オ合計)	38,000	5,000	47,652

成果実績評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) 両事業ともに、長期計画に基づいて適正に工事を実施しています。 (原因) 事業完了途中につき、現在のところ森林整備面積の向上には繋がっておりません。 (余地) 工事を延伸し事業が完了することにより、森林整備の成果向上に繋がるものと考えられます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

有害鳥獣駆除補助事業

町長部局 農林課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	179
施策	02 農林業の振興	項	02 林業費		
基本事業	03 農地の保全・農村環境の整備	目	02 林業振興費	計画 年度	開始：平成19年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

南宇和猟友会、愛南わなの会による有害駆除事業に対して奨励金を交付しました。
 イノシシ 猟期外、猟期10,000円/頭
 シカ 猟期外15,000円/頭、猟期10,000円/頭
 サル 猟期外、猟期15,000円/頭
 うち県補助金で基準額10,000円/頭×1/2以内で補われました。

【令和3年度実績】
 南宇和猟友会
 イノシシ(猟期外)247頭(猟期)312頭、シカ(猟期外)857頭(猟期)627頭、サル69頭
 愛南わなの会
 イノシシ(猟期外)152頭(猟期)145頭、シカ(猟期外)324頭(猟期)199頭、サル 3頭

活動・成果状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	補助金額 (千円)		25,704	27,060
活動					
成果	被害面積 (ha)		12.05	11.97	11.53
成果	被害金額 (千円)		19,268	19,179	19,258
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	7,280	7,541	10,049
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	54	14	14
		オ 一般	18,370	19,505	25,721
		カ 事業費 (ア～オ合計)	25,704	27,060	35,784

成果実績評価	成果状況	(状況) 捕獲頭数が前年度比6.4%の増、被害面積の微減、被害額の微増となり、 昨年比の成果はほぼ横ばいですが、成果の向上した昨年度と同等の数値であるため、 事業目的としての成果は出ています。 (原因) 猟友会、わなの会による捕獲頭数の増及び侵入防止柵の設置等によるもの と思われます。 (余地) 有害鳥獣数が増加しているため更なる成果向上を目指し、南宇和猟友会、 愛南わなの会と連携し入会者の獲得を図ります。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

森林整備担い手確保育成対策事業

町長部局 農林課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	179
施策	02 農林業の振興	項	02 林業費		
基本 事業	04 低コストで生産性の高い林業システムの確立	目	02 林業振興費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)	
<p>林業従事者の労働安全衛生の充実・技術及び技能の向上・福利厚生の実施等を図るとともに高性能機械の導入により労働安全の確保と事業の効率化を図りました。 県1/3以内補助、町1/3補助、森林組合1/3 森林組合申請 審査 交付決定 事業実施 実績報告 請求書提出 補助金支払 【令和3年度実績】3,303,266円</p>	

活動・成果状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	補助金額 (千円)		3,574	3,196
活動					
成果	労働災害数 (件)		0	0	0
成果	林業従事者数 (人)		58	52	47
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	939	606	674
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	2,635	2,590	2,629
		カ 事業費 (ア~オ合計)	3,574	3,196	3,303

成果実績評価	成果状況	(状況) 森林組合への補助により労働安全の確保と事業の効率化を図ることができました。 (原因) 本事業により労働安全衛生の充実・技術及び技能の向上・福利厚生の実施等を図ることができたためと思われます。 (余地) 森林組合が行っている事業に対し、補助金を交付しています。森林組合と連携を図ることで迅速に事業を進めることができると考えられます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

地域材利用木造住宅建築促進事業

町長部局 農林課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	179
施策	02 農林業の振興	項	02 林業費		
基本 事業	04 低コストで生産性の高い林業システムの確立	目	02 林業振興費	計画 年度	開始：平成22年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

定住及び木造住宅の建築を促進し、南予地域材の需要を喚起するとともに、関連する木材産業、建築産業等の振興、林業の活性化及び森の健全化を図りました。

本人申請 審査 交付決定 事業実施 実績報告 請求書提出 補助金支払

補助対象：地域材を主要部材の60%以上使用かつ住宅部分の床面積が66㎡以上の住宅で、町内に事務所を有する工務店により建築された住宅

補助内容：使用地域材の体積1立法メートル当たり25,000円を乗じた額(上限50,000円)

【令和3年度実績】

令和2年度繰越分 3件 1,418,000円

令和3年度 15件 6,797,000円(うち繰越明許 3件 1,500,000円)

活動・成果 状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	補助件数(件)		10	9
活動					
成果	建築件数(件)		10	9	15
成果					
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	4,195	3,409	6,715
		カ 事業費(ア~オ合計)	4,195	3,409	6,715

成果実績 評価	成果状況	(状況)申請件数は昨年度と比較し6件増加しました。年度によって増減はありませんが地域材消費促進に繋がっています。 (原因)本補助金事業により南予地域産材を使用した木造住宅の建築促進に繋がっています。 (余地)事業についての周知を行い補助申請者の増加を図ります。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	
	成果向上余地	
	大	
	中	
	小	
	なし	

879]

森林環境整備事業

町長部局 農林課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	179
施策	02 農林業の振興	項	02 林業費		
基本 事業	04 低コストで生産性の高い林業システムの確立	目	02 林業振興費	計画 年度	開始：令和02年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)
<p>町内人工林の所有者に対し林業経営に関する意向調査を行い、所有者の意向に応じて経営管理の委託契約を結び、林業経営に適さない人工林について町が管理を行います。</p> <p>広見地区をモデル地区として森林経営計画を行っているところですが、昨年度森林所有者意向調査を実施した箇所につきまして、今後の集積計画立案等森林整備のための現地調査等森林計測業務委託を実施しました。 森林計測業務委託料 1,848,000円</p>

	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
活動・ 成果 状況	活動	契約面積 (ha)		0	126
	活動				
	成果	間伐実施割合 (%)		0	60
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	25	1,848
		オ 一般	0	0	0
		カ 事業費 (ア～オ合計)	0	25	1,848

成果実績 評価	成果状況	<p>(状況) 令和2年度は、意向調査まで実施しました。令和3年度～令和4年度にかけて今後の集積計画立案等森林整備のための現地調査等森林計測業務委託を実施します。</p> <p>(原因) 経営管理業務のより良い方法について、現在模索中であります。</p> <p>(余地) 昨年度実施の意向調査の結果をもとに、現地調査を行い集積計画を立案していきたいと考えます。</p>
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

[075]

愛南町木育推進事業

町長部局 農林課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	179
施策	02 農林業の振興	項	02 林業費		
基本事業	99 施策の総合推進	目	02 林業振興費	計画 年度	開始：令和02年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)	
<p>町が実施する乳児健康診査を受診した者に対し、県内等の地域材により製作した木製玩具を誕生祝品として贈呈しました。また、町内の保育所等の子どもが利用する施設への贈呈も行いました。</p> <p>【令和3年度贈呈実績】 木製玩具（積み木）：乳幼児61名、保育所等48施設</p>	

活動・成果状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動		木製玩具贈呈回数 (回)		4
活動		木製玩具贈呈人数 (人)		66	61
成果		贈呈した玩具を活用している1歳6か月乳幼児割合 (%)		-	97
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	4,372	1,206
		オ 一般	0	0	0
		カ 事業費 (ア～オ合計)	0	4,372	1,206

成果実績評価	成果状況	<p>(状況) 令和3年度の成果は97%が活用しているとのアンケート回答となりました。木製玩具(積み木)を対象乳児61名に、保育所等の子どもが利用する施設48施設に贈呈しました。</p> <p>(原因) 対象となる乳児に適切な木製玩具を贈呈できていることが要因と考えられます。</p> <p>(余地) より木製玩具に親しめるように、木製玩具を使用した方の意見等を参考にします。</p>
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

[1076]

種子島周辺漁業対策事業

町長部局 水産課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	181
施策	01 水産業の振興	項	03 水産業費		
基本 事業	01 水産基盤の整備	目	02 水産業振興費	計画 年度	開始：平成29年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

愛南漁協が行う西海地区荷捌所新設事業における業務を支援しました。

愛南漁協西海地区荷捌所新設工事

事務所・荷捌所棟鉄骨造1階建延べ床面積382.00m²

総事業費 58,900,000円

県補助金 41,230,000円

町補助金 5,890,000円

漁協負担 11,780,000円

活動・ 成果状 況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	事業区分数 (設計・監理・工事)(件)		2	0
活動					
成果	事業進捗率 (%)		100	0	100
成果					
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	140,840	0	41,230
		ウ 地方債	20,120	0	5,800
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	0	0	90
		カ 事業費 (ア～オ合計)	160,960	0	47,120

成果実 績評 価	成果状況	(状況)令和3年度は、荷捌所新設工事に対する支援を行いました。 (原因)工事は、当初工程表のとおり完成しました。 (余地)令和4年度は、荷捌所新設第二期工事として、水槽やシャッターの設備設置を行います。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	
	成果向上余地	
	大	
	中	
	小	
	なし	

水産業振興補助事業

町長部局 水産課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	181
施策	01 水産業の振興	項	03 水産業費		
基本事業	02 漁業の安定経営	目	02 水産業振興費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

愛南漁協及び久良漁協が実施する水産業の振興を目的とした事業に対して、愛南町補助金交付規則により、事業費を補助し、水産業の振興を支援しました。

主な事業は次のとおりです。

優良真珠貝生産事業 資源管理・環境保全事業 販売促進事業 浮魚礁管理事業
貝毒検査事業 海浜清掃フロート減容事業

このほかに、愛南漁協が新たに採択となった国のジャパンブランド育成支援等事業補助金の漁協負担額及びHACCP対応施設管理に係る有害生物防除管理費へ補助を行いました（1/2、1,696千円）。

新規漁業就業者育成強化事業(県・町補助1/3づつ、3,187千円)

活動・成果状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動		補助金額(千円)	15,988	27,286
活動					
成果		愛南・久良漁協の漁獲量(t)	12,016	20,816	15,003
成果		愛南・久良漁協の生産額(千円)	1,790,076	1,646,809	1,647,303
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	5,089	4,098	3,187
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	10,899	23,188	11,382
		カ 事業費(ア～オ合計)	15,988	27,286	14,569

成果実績評価	成果状況	<p>(状況)両漁協の漁獲量は前年度から約5,000t減っていますが、生産額はほぼ横ばいの状態です。また、補助金については主に新規漁業就業者育成強化事業分で減少しています。</p> <p>(原因)漁獲量が約5,000t減少しているにもかかわらず、生産額が横ばいであるのは、コロナ禍で低迷していた魚価が回復傾向にあるものと考えられます。補助金の減少については、補助対象者減によるものが原因と考えられます。</p> <p>(余地)コロナ終息後向けたの販売促進及び新規漁業者確保の取り組みを行うことで漁獲量、生産額の向上が考えられます。</p>
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

[88]

水産制度資金利子補給事業

町長部局 水産課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	181
施策	01 水産業の振興	項	03 水産業費		
基本事業	02 漁業の安定経営	目	02 水産業振興費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

町内の漁業経営者が経営のために借入している水産制度資金において、償還時に掛かる利子について県とともに補助を行いました。

	令和3年度	令和2年度	増減額
漁業近代化資金	3,527千円	3,553千円	26千円
漁業共同化資金	1千円	4千円	3千円
漁業者緊急支援資金	1,169千円	1,506千円	337千円
母貝養殖緊急対策資金	390千円	9千円	381千円
令和3年度新型コロナ臨時交付金：母貝養殖緊急対策資金に対し	300千円		

活動・成果状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動		補助事業者件数 (件)	123	120
活動		補助金額 (千円)	5,252	5,070	5,087
成果					
成果					
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	300
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	5,251	5,070	4,787
		カ 事業費 (ア～オ合計)	5,251	5,070	5,087

成果実績評価	成果状況	(状況) 母貝養殖緊急対策資金利子補給事業について、順調に利子の補給を行っています。 (原因) 県と連携し貝類養殖業者の経営安定のため利子補給を行っています。 (余地) 今後も引き続き利子の補給を行います。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	
	成果向上余地	
	大	
	中	
	小	
	なし	

[892]

漁業収入安定化支援事業

町長部局 水産課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	181
施策	01 水産業の振興	項	03 水産業費		
基本 事業	02 漁業の安定経営	目	02 水産業振興費	計画 年度	開始：令和02年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)
<p>漁協が実施する漁業共済制度のうち養殖共済及び漁獲共済を対象とし、保証契約割合が30%以上で、共済掛金の10%の額を上限150万で支援しました。 令和3年度新型コロナ臨時交付金 4,000千円</p>

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	補助金額 (千円)			16,397
活動					
成果					
成果					
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	17,640	4,000
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	0	2,283	14,670
		カ 事業費 (ア～オ合計)	0	19,923	18,670

成果実績 評価	成果状況	<p>(状況)新型コロナウイルス感染症の拡大により、影響の受けた漁業経営者の経営安定化を図ることができました。 (原因)共済掛金の10%を補助することで、漁業経営者の負担を軽減できました。 (余地)令和4年度からは保証契約割合を60%以上に設定し、漁業共済への加入促進に取り組みます。</p>
	<p>向上 維持・横ばい 低下・悪化</p> <p>成果向上余地 大 中 小 なし</p>	

[1090]

水産物販売促進事業

町長部局 水産課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	183
施策	01 水産業の振興	項	03 水産業費		
基本 事業	03 ぎょしょく教育と消費拡大	目	02 水産業振興費	計画 年度	開始：平成27年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)
<p>愛南町の水産物の知名度向上を図りながら販売促進を推進するため、首都圏の百貨店や居酒屋等での営業活動とコロナ禍における輸出及び国内キャンペーンを実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・首都圏居酒屋やデパート及びモスフードサービス等への営業活動を実施しました。 ・首都圏百貨店、居酒屋等において水産物と農産物を併せた愛南町フェアを開催しました。 ・輸出に係る国内関係各社への営業活動と国内キャンペーンを実施しました。 ・漁協の創意工夫による有効なプロモーションや直売所やスーパーマーケットなどでの販促キャンペーンの際の食材費を支援しました。

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	活動	商談会出展回数 (回)	1	1
成果	成果	漁協の直接販売額 (千円)	501,999	1,385,792	1,157,418
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	2,964	96,729	2,879
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	3,392	16,715	3,211
		カ 事業費 (ア～オ合計)	6,356	113,444	6,090

成果 実績 評価	成果状況	<p>(状況) 令和3年度の漁協の直接販売額については、昨年より16.5ポイント減少しました。</p> <p>(原因) コロナ禍の状況が若干落ち着いた感がありますが、引き続き販路拡大の取り組みとして、両漁協がオンラインショップのほか、大手百貨店やチェーン店での販売を行ってきました。</p> <p>(余地) コロナ終息後に向けた、販売先との関係強化などを実施することにより更なる成果向上の余地は大いにあると考えます。今後も両漁協と連携し販売につながる取り組みを実施します。</p>
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

687]

ぎょしょく普及事業

町長部局 水産課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	183
施策	01 水産業の振興	項	03 水産業費		
基本 事業	03 ぎょしょく教育と消費拡大	目	02 水産業振興費	計画 年度	開始：平成17年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

園児、児童生徒、一般を対象に、愛南町で水揚げされる水産物や水産業への理解を深めるため、施設見学、座学、調理実習等を実施しました。
 新型コロナの影響により例年実施していた町外向けの普及事業がほとんど実施できませんでした。
 外食需要の減退による愛南町産の水産物流通の停滞に伴う在池量削減のため、学校給食材として提供し、消費拡大を図りました。また、愛媛大学に委託して対戦カードゲームを制作していただき、このカードゲームの印刷製本及び配布を行いました。

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	普及事業の実施回数 (回)		99	35
成果	町内の普及事業の参加者数 (人)		1,792	688	723
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	2,520	0
		イ 県	0	0	1,838
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	11	0	1
		オ 一般	643	785	3,744
	カ 事業費 (ア～オ合計)		654	3,305	5,583

成果実績 評価	成果状況	(状況)令和3年度の本事業への参加者数は723人となり、前年度に比べ35人の増加となりました。 (原因)新型コロナウイルス感染予防対策からの事業中止によって、令和2年度から実施回数が減少し、令和3年度も前年度とほぼ同様に実施回数と参加者数となりました。 (余地)人口が減少している状況ですが、新型コロナウイルスの感染予防対策の必要性からも、事業内容や実施方法の見直しにより、参加者の拡大が図られると考えられます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

水産業活性化推進事業

町長部局 水産課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	183
施策	01 水産業の振興	項	03 水産業費		
基本 事業	99 施策の総合推進	目	02 水産業振興費	計画 年度	開始：平成21年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)
<p>水産業の活性化を図るために、漁業者や水産業関係者に水産業関連の支援策や補助事業について、情報提供の機会を設け水産業の活性化を図りました。</p> <p>水産フォーラム 水産業振興懇話会 水産イノベーションスキル修得講座 大学祭 eスポーツ「撃鯛杯」(令和3年度新型コロナウイルス臨時交付金 3,300千円) 水産漁業者移住促進</p>

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	活動	実施回数(イベント会議)(回)	6	8
成果	成果	水産フォーラム 懇話会及び現地イベント参加者数(人)	731	850	5,481
	成果	SNS情報発信 閲覧数(回)		7,396	180,375
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	1,872	3,300
		イ 県	0	0	579
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	443	822	2,004
	カ 事業費(ア~オ合計)	443	2,694	5,883	

成果実績 評価	成果状況	<p>(状況)水産振興懇話会を7月に水産フォーラムを2月に開催しましたが、水産セミナーと3月の水産振興懇話会は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となりました。また、昨年度に続いてeスポーツを活用した販売促進イベントを行い、本町特産品のPRを行いました。</p> <p>(原因)新型コロナウイルス感染症の影響により、コロナ禍以前と同様の事業実施はできませんでしたが、オンライン等を活用することで、昨年度以上の成果を上げることができました。</p> <p>(余地)フォーラムやセミナーは回を重ねるごとに内容(テーマ)の重複等が起こると想定されるため、隔年開催も考えられます。</p>
	<p>向上 維持・横ばい 低下・悪化</p> <p>成果向上余地 大 中 小 なし</p>	

赤潮・漁場環境調査事業

町長部局 水産課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	185
施策	01 水産業の振興	項	03 水産業費		
基本事業	02 漁業の安定経営	目	04 水産研究普及費	計画 年度	開始：平成18年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

- ・町内で赤潮が発生した際は現場に赴き採水をし、増殖したプランクトンの同定と養殖業者への結果の通知を行いました。
- ・3カ月おき(年に4回)に町内漁場の環境調査をして動向を把握し、さらに町内の養殖業場が良好に保たれているかを調べました。また、海水だけでなく底泥についても調査を実施しました。
- ・定期的に海水中の有害プランクトン及び病原体の濃度をリアルタイムPCR法で測定することで、遺伝子レベルでの動向を把握し、今後の予測に役立てました。

12月補正予算時には、水質計の買い替えのため196千円とマダイ脊椎骨の重金属の蓄積を検査するため62千円を計上しました。

活動・成果状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	活動	環境調査実施回数(回)	4	4
活動	活動	赤潮調査の実施回数(回)	47	52	74
成果	成果	赤潮等発生件数(件)	0	0	2
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	1,638	2,227	2,736
		カ 事業費(ア~オ合計)	1,638	2,227	2,736

成果実績評価	成果状況	(状況) 2件の赤潮が発生しましたが、赤潮による漁業被害は発生しませんでした。 (原因) 大規模な赤潮が発生しなかったためです。 (余地) 赤潮が発生した際は調査を行い養殖業者に注意喚起して早期対応を促すことで、漁業被害の発生を未然に防ぐことが可能となります。さらに詳細な遺伝子モニタリングを継続して行いデータを集めることで赤潮予測につながり、赤潮被害の低減が期待できます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

海洋資源開発センター施設管理運営事業

町長部局 水産課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	185
施策	01 水産業の振興	項	03 水産業費	計画 年度	
基本 事業	02 漁業の安定経営	目	04 水産研究普及費		開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)
<p>施設の維持管理や機器類の保守点検、修繕や工事を適時行いました。</p> <p>修繕料：8/8箇所実施、2,050千円 工事費：4/4事業実施、3,871千円 保守点検：5/5業務実施、873千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設清掃業務 ・消防用設備保守点検業務 ・電気工作物保安管理業務 ・設備機器保守点検業務 ・精密ろ過装置保守点検業務 <p>施設メンテナンス：8月、12月</p>

区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 設備修繕件数 (件)	3	6	5	
	活動 保守点検委託件数 (件)	5	4	5	
	成果 海洋資源開発センター施設機能不全、不具合数 (件)	0	0	0	
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	9,080	0
		ウ 地方債	0	10,500	0
		エ その他	1,888	3,702	3,909
		オ 一般	9,512	7,698	10,467
		カ 事業費 (ア～オ合計)	11,400	30,980	14,376

成果実績 評価	成果状況	(状況)設備も問題なく稼働し種苗生産や試験研究は計画通り実施できています。 (原因)修繕は、保守の結果や過去の履歴から予測し、計画的に実施できています。 (余地)アコヤガイの種苗生産周年化に対応する施設として、新たな運用方法についても検討します。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

[04]

優良アコヤガイ作出事業

町長部局 水産課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	185
施策	01 水産業の振興	項	03 水産業費		
基本事業	02 漁業の安定経営	目	04 水産研究普及費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

愛南町の基幹産業の一つである真珠母貝養殖業の安定経営に向けて、優良アコヤガイの開発により真珠母貝の品質を高めるとともに、「耐性貝」「耐性交雑貝」の安定供給のため、愛南漁協への技術支援を行いました。

- 【実績】
- ・優良アコヤガイの開発
種貝種苗生産：26種類生産、31班(102件)に配布
 - ・「耐性貝」「耐性交雑貝」の安定供給
漁協大量生産：2066万貝、注文数に対し10割生産達成
3月ふ化：1283万貝、夏ふ化：261万貝、1月ふ化：522万貝
別途余剰生産分を無償配布
 - ・真珠母貝養殖継続支援事業補助金：母貝業者102件、21,632千円

活動・成果状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動		種苗生産回数(回)	5	5
成果		種苗生産割合(割)	10	9.7	10
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	251	245
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	1,240	22,474	23,367
		カ 事業費(ア~オ合計)	1,240	22,725	23,612

成果実績評価	成果状況	<p>(状況)令和3年度も稚貝の大量死が発生したことにより、愛南漁協が夏の緊急生産(夏ふ化)を実施し、9月に261万貝の稚貝を生産者に無償配布しました。春の生産も合わせると漁協の大量生産で2066万貝の稚貝を生産者に配布することができました。</p> <p>(原因)令和2年度の施設改修により、夏のふ化への対応と生産力の向上が果たされたため、夏ふ化成功に繋がりました。</p> <p>(余地)令和4年2月に稚貝大量死の病原体が判明したため、優良品種の生産で、稚貝のへい死が納まれば夏ふ化の需要も無くなり、正常な状態に戻ります。</p>
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

[02]

新養殖魚種導入支援事業

町長部局 水産課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	185
施策	01 水産業の振興	項	03 水産業費		
基本事業	04 生産者、漁協、行政及び大学の共同連携強化	目	04 水産研究普及費	計画 年度	開始：平成27年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

愛南町の新養殖品種として期待されるスマやサツキマス、マサバ等の養殖技術を確立させるための支援を行いました。

- ・伊予の媛貴海養殖実証試験に協力する生産者等に対して、餌代の補助を実施しました。(県及び町がそれぞれ、1年魚に対して15%、2年魚に対して25%を補助)
- ・新養殖魚種生産の早期実用化に向け、研究開発委託事業を実施しました。
- ・サツキマス養殖の早期実用化に向け試験用消耗品を支援しました。

活動・成果状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	活動	新養殖魚種の導入数(種)	2	1
成果	成果	新養殖魚導入数(尾)	32,000	26,000	36,800
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	4,451	6,892	4,038
		イ 県	13,569	11,658	5,967
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	11,236	6,979	4,061
		カ 事業費(ア~オ合計)	29,256	25,529	14,066

成果実績評価	成果状況	(状況) 成果指標である種苗導入尾数は増加しました。 (原因) 新たな養殖魚種としてマサバを導入したためです。 (余地) 生残率の低さなどの問題があることから、海面導入時での生残率や疾病対策などの課題を克服することにより、さらなる普及が図られるものと考えます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	
	成果向上余地	
	大	
	中	
	小	
	なし	

[01]

水産業ICT利活用事業

町長部局 水産課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	187
施策	01 水産業の振興	項	03 水産業費		
基本 事業	04 生産者、漁協、行政及び大学の共同連携 強化	目	04 水産研究普及費	計画 年度	開始：平成22年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

水産業の現場にICT技術を導入し、作業の効率化及びデータを活用した戦略的な漁業を実現しました。

【当初】
「愛南町次世代型水産業振興ネットワークシステム」を活用し、環境情報の可視化、赤潮情報の発信、魚病情報の早期検出及び魚病データの収集を行いました。

活動・ 成果状 況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動		魚病診断情報登録数 (件)	1,069	1,137
活動		赤潮情報発信数 (件)	47	52	74
成果		ICT技術を活用している (登録している) 漁業経営体(従事者) 数 (人)	292	311	323
成果					
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	5,373	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	7,727	809	789
		カ 事業費 (ア～オ合計)	13,100	809	789

成果実績 評価	成果状況	(状況) ICT活用漁業経営体数が12人増加しました。 (原因) システムがより周知され登録希望者が増加したためです。 (余地) 漁業関係者に定期的に周知をしてシステム登録を促すことで、さらにシステム利用者を増加させることができます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	
	成果向上余地	
	大	
	中	
	小	
	なし	

[400]

新品種養殖試験事業

町長部局 水産課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	187
施策	01 水産業の振興	項	03 水産業費		
基本事業	04 生産者、漁協、行政及び大学の共同連携強化	目	04 水産研究普及費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和03年度

手段 (R03年度の取り組み)

- ・ 漁業者の所得安定のため、新養殖品種導入に向けた試験を実施しました。
 - ・ 持続可能な漁業を営むため、町内沿岸域にて藻場造成試験を実施しました。
 - ・ 情報共有、早期の現場普及のため、漁業者や漁協等との意見交換会を実施しました。
 - ・ 付加価値向上、販売促進のため、商標登録や成分分析を実施しました。
- 海藻類：人工種苗生産技術の開発に向けた試験の実施。
町内複数海域にて海面養殖試験の実施。
- ウニ：地元産のウニ類を用いた試験の実施。
成分分析、商標登録を実施。
餌料保存用の冷凍庫の購入。
- 藻場造成：藻食性生物の除去、海藻基盤の設置を実施。

活動・成果状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	活動	採卵回数 (回)	3	4
成果	成果	試験養殖実施件数 (件)	10	10	7
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	199	306	199
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	438	510	550
		カ 事業費 (ア～オ合計)	637	816	749

成果実績評価	成果状況	<p>(状況) 試験養殖実施件数は、7件とやや減少しています。</p> <p>(原因) 海況の変化により、近年養殖ヒジキの不良が続いたため、令和3年度はヒジキ養殖を中止したためと思われます。</p> <p>(余地) 養殖規模の拡大策としては収穫、出荷体制の構築、販路開拓の実施等、産業化へ向けた取り組みを実施します。また、新型コロナの影響やアコヤガイへい死等で真珠産業が衰退する可能性が考えられるため、漁業者への説明、意見交換を通じて広く周知させていくことが考えられます。また、CO2固定や漁場改善の観点から、海藻類養殖やウニ畜養等を推進していきます。</p>
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

[03]

地域産業研究・普及センター施設維持管理事業

町長部局 水産課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	187
施策	01 水産業の振興	項	03 水産業費		
基本事業	99 施策の総合推進	目	04 水産研究普及費	計画 年度	開始：平成25年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

愛媛大学南予水産研究センターや漁協、地域の企業の協力のもと、技術革新の創出、環境重視型産業の構築、ぎょしょく教育・人材育成を推進しました。
 ・水産振興、ぎょしょく普及、各種研究などのための施設の維持管理を行いました。
 ・施設の修繕や保守点検等の実施しました。
 ・臨時用務員雇用による、日常的な清掃、施設備品の維持管理を行いました。
 なお、愛媛大学、滞在者等が使用する光熱水費、浄化槽管理委託料、滞在室使用料等は、使用者が負担しました。

活動・成果状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動		設備修繕件数 (件)	11	11
活動		保守点検委託件数 (件)	5	4	4
成果		地域産業研究・普及センター施設機能不全、不具合数 (件)	0	0	0
成果					0
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	4,228	4,919	5,464
		オ 一般	3,464	1,724	2,231
		カ 事業費 (ア～オ合計)	7,692	6,643	7,695

成果実績評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) 修繕数については、昨年度より9件減少しました。 (原因) 施設の老朽化等の緊急修繕がありましたが、日常管理と定期的な保守点検の結果と考えます。 (余地) 保守委託件数、修繕件数とも、施設の老朽化に伴い、増加する可能性はあるものの、適切な管理・使用方法などにより減らすように努めます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

[05]

内海漁港公園維持管理事業

町長部局 水産課

政策	02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	187
施策	01 環境の保全	項	03 水産業費		
基本事業	01 生活・自然環境の保全	目	05 漁港管理費	計画 年度	開始：平成28年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

背後集落に潤いのある生活環境の場を形成することを目的として、地域住民の憩い、生活活動の場となる漁港公園の維持管理を行いました。また、漁港施設用地に設置してある照明の電気料及び水道料の支払いを行いました。
内海漁港公園：5地区8箇所、年12回（1回/月）の職員による遊具点検を行いました。

【令和3年度実績】
電気料 206,626円、水道料 207,504円、剪定等業務委託料 660,000円

活動・成果状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動		保守点検回数 (回)	12	12
活動		修繕件数 (件)	3	0	0
成果		内海漁港公園維持管理上の不具合により業務に支障をきたした件数 (件)	0	0	0
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	407	1,995	1,074
		カ 事業費 (ア～オ合計)	407	1,995	1,074

成果実績評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) 令和3年度に支障をきたした件数は0件で、順調となっています。 (原因) 毎月公園の器具等点検業務を行うなか、常に現状を把握しているのが原因 と思われます。 (余地) 地域住民の憩いの場として、地域と連携しながら維持管理を継続する必要があります。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

西海漁港公園維持管理事業

町長部局 水産課

政策	02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	187
施策	01 環境の保全	項	03 水産業費		
基本事業	01 生活・自然環境の保全	目	05 漁港管理費	計画 年度	開始：平成28年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

背後集落に潤いのある生活環境の場を形成することを目的として、地域住民の憩い、生活活動の場となる漁港公園の維持管理を行いました。また年12回(1回/月)の職員による遊具点検を行いました。光熱費及び水道料の支出を行いました。福浦漁港公園公衆トイレの浄化槽清掃、保守点検を行いました。

【令和3年度実績】

電気料 60,732円、水道料 32,440円、浄化槽検査料 9,500円、浄化槽手数料 101,385円、浄化槽保守点検 41,800円、剪定等業務委託料 396,000円

活動・成果状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動		保守点検回数(回)	12	12
活動		修繕件数(件)	0	0	0
成果		西海漁港公園の維持管理上の不具合により業務に支障をきたした件数(件)	0	0	0
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	251	631	642
		カ 事業費(ア~オ合計)	251	631	642

成果実績評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況)令和3年度に支障をきたした件数は0件で、順調となっています。 (原因)毎月公園の器具等点検業務を行うなか、常に現状を把握しているのが原因と思われます。 (余地)地域住民の憩いの場として、地域と連携しながら維持管理を継続する必要があります。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

漁港施設維持管理事業

町長部局 水産課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	189
施策	01 水産業の振興	項	03 水産業費		
基本事業	01 水産基盤の整備	目	05 漁港管理費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

漁港施設、漁港海岸施設の維持補修工事をはじめ、費用対効果業務の算定や事業計画書の策定、新規事業等における外郭施設及び漁港海岸の測量設計業務、また、修繕補修や台帳補正等を行い漁港・漁港海岸業務の適正な維持管理を実施しました。

・愛南町漁港管理条例
【令和3年度実績】
消耗品531,014円 修繕料1,662,170円 産業廃棄物処理132,000円 測量設計21,582,000円、事業計画作成業務10,010,000円（うち繰越分7,480,000円）、漁港整備費用対効果分析業務1,152,800円、漁港台帳補正業務330,000円、分筆業務593,000円、漁港・海岸保全区域内業務3,120,000円、維持補修工事費100,489,521円（うち繰越分33,520,000円）、原材料費266,850円

活動・成果状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動		維持補修工事件数 (件)	38	35
活動		機能改善箇所数 (箇所)	38	35	45
成果		漁港施設の不具合・破損件数のうち機能を改善した施設の割合 (%)	100	100	100
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	22,700	59,600	86,900
		エ その他	0	261	261
		オ 一般	27,603	54,714	52,708
		カ 事業費 (ア~オ合計)	50,303	114,575	139,869

成果実績評価	成果状況	(状況)令和3年度に行いました各施設における機能改善の割合は100%で、順調となっています。 (原因)定期的に点検を実施し状況を把握するとともに、計画や設計等を行い事業を順次執行したことで、適切に改善できたことが要因です。 (余地)定期的に点検を実施し、可能な限り維持管理費の縮減や予防保全の対策を行うことで、随時計画的に施設の長寿命化を図ります。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

水産物供給基盤機能保全事業 (国庫)

町長部局 水産課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	191
施策	01 水産業の振興	項	03 水産業費		
基本事業	01 水産基盤の整備	目	05 漁港管理費	計画 年度	開始：平成27年度 終了：令和05年度

手段 (R03年度の取り組み)

漁港施設の長寿命化を図るため計画書の作成及び機能保全工事を実施しました。(対象漁港：深浦・中浦・赤水・油袋・船越・柏崎・西浦・福浦・高畑・網代・家串・平瀬・御荘)

【全体事業 13漁港 事業費697,236,000円 水産物供給基盤機能保全事業費補助金 県1/2】

【令和3年度実績】

歳入 38,204,000円(うち令和2年度からの繰越分 21,569,000円)

歳出 76,408,000円(うち令和2年度からの繰越分 43,138,000円)機能保全工事 4漁港

活動・成果状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動		機能保全計画書作成漁港数(漁港)	6	5
活動		保全工事実施漁港施設数(施設)	13	13	6
成果		水産物供給基盤機能保全事業進捗率(国庫)(対策済施設数/対策予定施設数)(%)	71.4	85.7	92.3
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	22,105	0	0
		イ 県	23,164	57,506	38,204
		ウ 地方債	45,200	57,400	38,200
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	69	106	4
		カ 事業費(ア~オ合計)	90,538	115,012	76,408

成果実績評価	成果状況	(状況)令和3年度の事業進捗率は92.3%で、令和2年度より6.6%増加し、事業計画どおり順調となっています。 (原因)今後の経費縮減のため、積極的に施設の長寿命化を推進するため、事業費の確保に努めたことが考えられます。 (余地)国からの補助金額の増加により、事業進捗の向上が期待できます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	
	成果向上余地	
	大	
	中	
	小	
	なし	

[415]

海岸堤防等老朽化対策事業 (国庫)

町長部局 水産課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	191
施策	01 水産業の振興	項	03 水産業費		
基本 事業	01 水産基盤の整備	目	05 漁港管理費	計画 年度	開始：令和02年度 終了：令和06年度

手段 (R03年度の取り組み)
<p>海岸保全施設の長寿命化を図るため計画的に施設の維持補修対策を行い、測量設計及び、対策工事を遂行します。</p> <p>【全体計画 6漁港 19施設、全体事業費 C = 305,200千円、農山漁村地域整備交付金 (海岸保全施設整備事業) 国1/2、県1.5/10】</p> <p>【令和3年度実績】 令和2年度からの事業繰越により対策工事を実施しました。 対策工事 護岸 3 漁港 3 施設 (測量設計委託料57,950千円、工事費62,050千円) 歳入 78,000,000円 歳出 120,000,000円</p>

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動		老朽化対策事業実施海岸施設数 (箇所)		0
成果		老朽化対策事業実施海岸施設割合 (%)		0	15.8
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	60,000
		イ 県	0	0	18,000
		ウ 地方債	0	0	37,800
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	0	0	4,200
		カ 事業費 (ア~オ合計)	0	0	120,000

成果実績 評価	成果状況	(状況) 令和3年度の事業進捗率は15.8%で事業計画どおり順調となっています。 (原因) 積極的に長寿命化を推進し事業費確保に努めたことが考えられます。 (余地) 国からの補助金額の増額より、事業進捗の向上が期待できる。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

[1097]

漁港機能増進事業(国庫)

町長部局 水産課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	191
施策	01 水産業の振興	項	03 水産業費		
基本 事業	01 水産基盤の整備	目	05 漁港管理費	計画 年度	開始：令和03年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

漁港施設の強靱化を図るため機能保全計画の見直し及び保全に伴う測量設計や工事を実施しました。(対象漁港：町内全19漁港)

【R3全体事業 対象漁港数：9漁港、事業費：89,458千円(うち当初29,990千円・補正59,468千円) 漁港機能増進事業費補助金 県1/2 事業実施期間 原則1年】

【令和3年度実績】

歳入 12,250,000円

歳出 29,990,000円 漁港機能増進事業 4漁港

【令和4年への未契約繰越分】

歳入 29,734,000円

歳出 59,468,000円 水産業競争力強化漁港機能増進事業 5漁港

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	活動	年度実施漁港数(漁港)		
成果	成果	年度事業進捗率(%)			44.4
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	12,250
		ウ 地方債	0	0	17,700
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	0	0	40
		カ 事業費(ア~オ合計)	0	0	29,990

成果 実績 評価	成果状況	(状況)令和3年度の成果指標における事業進捗率は100%を予定していましたが、44.4%となりました。 (原因)国からの追加補正予算を確保したことで対象漁港数が増加となったことが原因と考えます。 (余地)今後も積極的に追加補正予算を取得することで必要事業の前倒しが可能となります。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

魚神山漁港海岸保全施設整備事業

町長部局 水産課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	193
施策	01 水産業の振興	項	03 水産業費		
基本 事業	01 水産基盤の整備	目	05 漁港管理費	計画 年度	開始：平成29年度 終了：令和06年度

手段 (R03年度の取り組み)

既存の離岸堤の天端高の不足により、近年の台風の大型化に伴う高波浪より背後地への浸水被害等が頻繁に生じていることから、本事業により高潮による被害から防護並びに国土の保全を図るため、離岸堤の高上げ工事を実施しました。【全体事業費1,560,000千円、全体事業量 離岸堤(高上) L=244.5m 農山漁村地域整備交付金事業L=138.5m(高潮対策)国1/2、県1.5/10 海岸保全施設整備連携事業L=106m(連携)国1/2、県1.5/10】

【令和3年度実績】

歳入 263,269,000円(うち繰越分 213,219,000円)

歳出 405,030,000円(うち繰越分 328,030,000円) 離岸堤 L=100m

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	活動	工事延長(m)	0	31.5
成果	成果	新規海岸保全施設整備事業進捗率(%)	14.9	40.0	66.0
	成果	豊後水道東沿岸海岸保全計画進捗率(%)	31.7	31.7	33.2
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	64,000	230,513	202,515
		イ 県	19,200	69,153	60,754
		ウ 地方債	25,200	123,100	127,500
		エ その他	15,100	28,600	0
		オ 一般	4,500	9,660	14,261
		カ 事業費(ア~オ合計)	128,000	461,026	405,030

成果実績 評価	成果状況	(状況)令和3年度の事業進捗率は66.0%で、令和2年度より増加しました。 (原因)国からの補助金が計画以上につき、事業が進捗しました。 (余地)国からの補助金の増額により事業の進捗、向上が期待されます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

[421]

網代漁港漁村再生交付金事業

町長部局 水産課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	06 農林水産業費	決算書 ページ	193
施策	01 水産業の振興	項	03 水産業費		
基本事業	01 水産基盤の整備	目	06 漁港建設費	計画 年度	開始：平成28年度 終了：令和03年度

手段 (R03年度の取り組み)

波浪や高潮の影響を受け、陸揚げ作業等の漁業活動に支障をきたしていることから、防波堤を延伸し、港内の静穏を確保するため防波堤の設置工事を実施します。【全体計画 L = 61.0m、全体事業費 C = 582,550千円 漁港再生交付金（漁港漁村環境整備事業 国県6.67/10）】

【令和3年度実績】
令和2年度からの事業繰越により防波堤が完成しました。
防波堤L=25.0m（R2製作完了・R3設置完了）、令和2年度全体事業費181,500千円（うち令和3年度への繰越事業費109,500千円）
歳入 73,036,000円
歳出 109,500,000円

活動・成果状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	活動	工事延長 (m)	0	25
成果	成果	事業進捗率 (%)	63.7	78.0	100
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	34,400	0	0
		イ 県	65,250	55,607	73,036
		ウ 地方債	82,400	27,600	36,400
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	130	163	64
		カ 事業費 (ア～オ合計)	182,180	83,370	109,500

成果実績評価	成果状況	(状況)平成29年度から本工事に着手し、令和3年度に完成しました。 (原因)国及び県から要望どおりの補助金交付がなされ、計画通り防波堤の全延長L=61mに係る工事が完成しました。 (余地)事業完成により、今後、漁業活動の安定性や効率化が図られます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

消費生活相談事業

町長部局 商工観光課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	07 商工費	決算書 ページ	195
施策	04 暮らしの安全対策の推進	項	01 商工費		
基本 事業	04 消費生活の安定	目	01 商工総務費	計画 年度	開始：平成21年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)	
消費生活相談窓口を設置し、消費生活トラブルに関する相談及び解決へのあっせんと被害防止に向けた活動を行いました。 <消費生活相談員の設置> 1か月に4日程度、年間49日間の消費生活相談員（消費生活相談員資格認定取得者）による相談日を設けました。 【事業費内訳】 ・会計年度任用職員（相談員）報酬 412千円 ・費用弁償 111千円	

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動		専門相談員の設置日数 (日)	46	47
活動		相談受付件数 (件)	80	69	75
成果		消費者相談斡旋件数 (件)	11	12	13
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	366	250	131
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	277	315	391
		カ 事業費 (ア～オ合計)	643	565	522

成果実績 評価	成果状況	(状況) 斡旋解決が若干減少しました。 (原因) 相談内容が、直接斡旋まで行わず助言等により解決が図れるものが多かったことが考えられます。 (余地) 相談窓口の周知と被害の事前防止に向けた啓発活動を行う必要があります。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	
	成果向上余地	
	大	
	中	
	小	
	なし	

[25]

商工会補助事業

町長部局 商工観光課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	07 商工費	決算書 ページ	195
施策	03 商工業の振興	項	01 商工費		
基本 事業	02 経営面の支援強化	目	02 商工業振興費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

愛南町商工会が行う中小企業に対する指導事業、商工業振興事業に対して助成しました。

事業内容
 ・経営指導員による相談及び指導
 ・講習会等の開催による経営指導
 ・金融指導 等

【令和3年度の事業費】

・商工業振興事業補助金：13,000千円 【ふるさとづくり基金充当】

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	補助金額 (千円)		12,000	13,000
活動					
成果	本補助による商工会での経営指導実施件数 (件)		849	1,749	1,675
成果	商工会会員数 (件)		680	698	690
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	13,000
		オ 一般	12,000	13,000	0
		カ 事業費 (ア～オ合計)	12,000	13,000	13,000

成果実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) 商工会会員数、経営指導実施件数ともにほぼ変わりませんでした。 (原因) 新型コロナウイルス感染症拡大による事業者の経営状況が依然として悪化しているため、昨年度同様の指導件数になったと思われます。 (余地) 事業者の積極的な相談も増えており、会員数及び経営指導実施件数の増加の余地が認められます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

[429]

商工事業者利子補給事業

町長部局 商工観光課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	07 商工費	決算書 ページ	195
施策	03 商工業の振興	項	01 商工費		
基本 事業	02 経営面の支援強化	目	02 商工業振興費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

融資を受ける商工業者に対し資金の融通を円滑に進め、経営の安定を図るため借入利息の一部を助成しました。

< 中小企業制度資金利子補給 >

・ 融資限度額500万円 対象期間3年 利子補給率1%

< 中小企業振興特別資金保証料・利子補給 >

・ 融資限度額300万円 対象期間5年 利子補給率2%

< 県新型コロナウイルス感染症対策資金利子補給 >

・ 融資限度額5,000万円(全国統一枠と合わせて) 対象期間3年 利子補給率0.5%

【令和3年度の利子補給等金額】

・ 中小企業制度資金利子補給：602千円

・ 中小企業振興特別資金保証料・利子補給：2,358千円

・ 県新型コロナウイルス感染症対策資金利子補給：641千円

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動		中小企業制度資金利子補給金額(円)	1,820,960	1,130,335
活動		中小企業特別融資利子補給金額(円)	2,292,228	1,739,585	2,358,099
成果					
成果					
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	288	600
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	4,147	2,979	3,032
		カ 事業費(ア~オ合計)	4,147	3,267	3,632

成果実績 評価	成果状況	事業者に対し、事業の運転資金及び設備資金の借入利息の一部を助成することにより、その経営の安定化を図りました。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

新型コロナウイルス感染症対策中小企業者経営支援事業

町長部局 商工観光課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	07 商工費	決算書 ページ	195
施策	03 商工業の振興	項	01 商工費		
基本 事業	02 経営面の支援強化	目	02 商工業振興費	計画 年度	開始：令和02年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

新型コロナウイルス感染症の拡大の影響を受けた事業者に対し、その影響による負担を軽減し経営の安定化を図るため、各種給付金・補助金を交付しました。

【令和3年度の事業費】

- ・中小企業者等経営強化補助金：3,263千円
- ・持続化給付追加金：14,710千円
- ・営業時間短縮等協力金：92,280千円
- ・時短営業・外出自粛影響緩和一時金事業：6,919千円
- ・えひめ版応援金（第2弾）：40,500千円
- ・消耗品費：450千円

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	活動	申請件数(件)		809
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	210,807	103,809
		イ 県	0	0	36,228
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	0	25,623	18,085
		カ 事業費(ア～オ合計)	0	236,430	158,122

成果 実績 評価	成果状況	新型コロナウイルス感染症の拡大状況により売上げが減少した事業者に対して、手段欄に記載した給付金等をその都度交付し、事業者の経営の安定化及び事業継続を図りました。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

[1094]

新型コロナウイルス感染症対策商工業者補助事業

町長部局 商工観光課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	07 商工費	決算書 ページ	195
施策	03 商工業の振興	項	01 商工費		
基本 事業	02 経営面の支援強化	目	02 商工業振興費	計画 年度	開始：令和02年度 終了：令和03年度

手段 (R03年度の取り組み)

【新型コロナウイルス感染症感染防止対策事業】

- 1 新型コロナウイルス感染防止用品補助金
マスク、消毒剤等の購入費用の1/2を助成しました（上限1万円）。
- 2 新型コロナウイルス感染防止対策物品補助金
仕切り用のアクリル板、非接触型体温計等購入費用の1/2を助成しました（上限2万円）。
- 3 新型コロナウイルス感染防止対策店舗等改装費補助金
町内工業者施工の建物改装工事費（換気システムの導入等）の3/4を助成しました（上限30万円）。

【令和3年度の事業費】

- ・新型コロナウイルス感染症感染防止対策事業補助金：6,139千円

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	申請件数 (件)			380
活動					
成果					
成果					
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	1,008	1,671
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	0	108	4,468
		カ 事業費 (ア～オ合計)	0	1,116	6,139

成果 実績 評価	成果状況	新型コロナウイルス感染症の感染防止に取り組む事業者に対し、その経費を助成することにより、事業者の負担軽減及び新型コロナ感染防止の意識の醸成を図りました。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

[1095]

新型コロナウイルス感染症対策プレミアム商品券発行支援事業

町長部局 商工観光課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	07 商工費	決算書 ページ	195
施策	03 商工業の振興	項	01 商工費		
基本 事業	02 経営面の支援強化	目	02 商工業振興費	計画 年度	開始：令和02年度 終了：令和03年度

手段 (R03年度の取り組み)

新型コロナウイルス感染症の急激な拡大に伴い、外出自粛や営業自粛の動きが強まる中、愛南町商工会及び郵便局と連携し、地域における消費を喚起・下支えするためにプレミアム商品券を販売する事業（プレミアム商品券...（1冊）500円×15枚綴を5,000円で販売）を実施しました。（1人3冊まで）

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動		商品券利用セット数 (セット)		26,549
活動		補助金額 委託料 (千円)		74,526	128,598
成果					
成果					
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	66,711	127,500
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	0	7,815	1,737
		カ 事業費 (ア～オ合計)	0	74,526	129,237

成果 実績 評価	成果状況	<p>（状況）令和2年度に実施した事業と比較して、商品券利用セット数が1.8倍に伸びました。 （原因）二度目の実施により、プレミアム商品券が町民に浸透していたことと、申込手続きを簡略化して、利用者の利便性を向上させたことが考えられます。 （余地）商品券の電子化を行うことにより、コストダウンが期待できると思われま</p>
	<p>向上 維持・横ばい 低下・悪化</p> <p>成果向上余地 大 中 小 なし</p>	

①104

特産品販売促進事業

町長部局 商工観光課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	07 商工費	決算書 ページ	195
施策	04 観光 物産の振興	項	01 商工費		
基本事業	01 地域資源の有効活用	目	02 商工業振興費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)
<p>県内外で開催する特産品等販売イベントに参加しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市町や民間主催イベントにおける販売ブースでの特産品等PR：8回 ・特産品販売事業者出店の支援：1回

活動・成果状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	活動	イベント開催回数(回)	19	2
成果	成果	イベント売上金額(千円)	18,263	165	597
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	1,296	617	2,354
		カ 事業費(ア～オ合計)	1,296	617	2,354

成果実績評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	<p>(状況)新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、各種イベント開催ができない状況にあります。</p> <p>(原因)新型コロナウイルス感染症拡大の影響によります。</p> <p>(余地)コロナ禍によりイベント出展ができない状況にありますが、コロナ終息後を見据えて、今後も新規出展及び精査を行います。</p>
	成果向上余地 大 中 小 なし	

[27]

夏祭り補助事業

町長部局 商工観光課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	07 商工費	決算書 ページ	197
施策	04 観光 物産の振興	項	01 商工費		
基本 事業	01 地域資源の有効活用	目	02 商工業振興費	計画 年度	開始：平成17年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)
<p>城辺夏まつり実行委員会及び御荘夏まつり実行委員会から申請された補助金額を審査・確定し交付します。</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、夏祭りは中止となりましたが、各実行委員会の有志による「あいなん花火プロジェクト」を実施しました。</p> <p>補助金 500千円 (1/2 補助)</p>

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	補助金額 (千円)		4,481	0
活動					
成果	イベント参加者数 (人)		11,500	0	0
成果					
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	4,481	0	500
		カ 事業費 (ア~オ合計)	4,481	0	500

成果 実績 評価	成果状況	<p>(状況) 城辺、御荘ともに夏祭り実行委員会独自での資金調達が困難となっており、町が交付する補助金によって祭りの開催が可能となっています。令和3年度は中止となりました。</p> <p>(原因) 景気の低迷により、祭り開催にかかる寄付金などの資金調達が困難となっていることが原因です。</p> <p>(余地) 内容を見直し経費を抑制しても住民が参加したいと思える祭りとなるような企画立案を図る必要があると思われます。</p>
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

[31]

営業戦略推進事業

町長部局 商工観光課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	07 商工費	決算書 ページ	197
施策	04 観光 物産の振興	項	01 商工費		
基本事業	01 地域資源の有効活用	目	02 商工業振興費	計画 年度	開始：令和02年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)	
<p>愛南町の地域資源である特産品等のブランド力を向上させ、それらを愛南町の魅力として発信するために、以下の事業を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・愛南町営業戦略推進懇話会開催 2回実施 ・商談会出展支援事業業務委託 オンライン講習会2回、オンライン模擬商談会2回、オンライン個別相談会1回実施 ・ロゴマーク等活用支援事業業務委託 13件 1,622千円 	

区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績	
活動・ 成果状 況	活動	イベントスペースでの物産観光 PRイベント回数 (回)		0	8
	活動				
	成果	物産観光 PRイベントにおける売上額 (円)		0	547,260
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	2,131	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	0	10,862	14,926
	カ 事業費 (ア~オ合計)	0	12,993	14,926	

成果実績 評価	成果状況	<p>(状況)作成した統一的なロゴマーク等を活用することにより、本町の特産品のブランド力が向上され、それらを本町の魅力として、町民、行政および各種関係団体が一丸となって積極的にプロモーションを図っていくことができます。 (原因)ワークショップ開催により統一的なロゴマーク等を作成したことにより、これらに多くの町民が共感し、愛南町への誇りや愛着を育てていくとともに、これらを活用した情報発信する等、愛南町が一丸となってプロモーションが可能です。 (余地)今後、もゴマーク等活用推進をしていくため、町内事業者向けの補助金を継続することにより、愛南町の統一的なブランドイメージの構築と知名度向上が図ることができます。</p>
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

企業立地 誘致活動事業

町長部局 商工観光課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	07 商工費	決算書 ページ	197
施策	05 雇用対策の推進	項	01 商工費		
基本 事業	03 企業誘致の推進	目	03 雇用対策費	計画 年度	開始：平成18年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

企業立地の促進を図り、雇用促進奨励措置を講ずることにより、雇用の推進及び産業の活性化を図りました。

- ・愛媛県地域活性化協議会に参加し県内での情報共有を図りました。
 - ・立地企業への留置活動を充実させることで雇用の拡大と地域経済の安定を図りました。
 - ・立地企業に対して、雇用促進奨励措置を実施しました。
- (新規雇用の1年継続雇用者1名につき50万円 但し、短時間雇用者については2名で1名分)

【令和3年度の主な事業費】

- ・愛媛県地域産業活性化協議会負担金：49千円
- ・雇用促進奨励措置助成金：3,000千円

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動		雇用促進奨励措置金額(千円)	1,918	4,448
活動					
成果		新規雇用者数(人)	3	10	8
成果					
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	1,500	4,000	3,000
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	728	589	201
		カ 事業費(ア~オ合計)	2,228	4,589	3,201

成果実績 評価	成果状況	(状況)新規の企業立地はありませんでしたが、8人の新規雇用がありました。 (原因)愛南町の立地から企業立地に繋がりにくいためと考えられます。 (余地)情報通信関連事業等の輸送コストの影響を受けにくい企業の誘致を中心に、地道な活動を行う必要があると考えられます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	
	成果向上余地	
	大	
	中	
	小	
	なし	

[433]

ぎゅぎゅっと愛南！夏の陣事業

町長部局 商工観光課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	07 商工費	決算書 ページ	197
施策	04 観光 物産の振興	項	01 商工費		
基本 事業	01 地域資源の有効活用	目	04 観光総務費	計画 年度	開始：平成29年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

カツオや愛南ゴールドをはじめとする魅力ある初夏の水産物、農産物を県内外に広くPRすることを目的に開催する「ぎゅぎゅっと愛南！夏の陣」の主催団体である「食のイベント実行委員会」に対して負担金を負担しました。
新型コロナウイルス感染症拡大の影響によりイベントの中止が決定したため、代替事業として、愛南食材の広報番組「あいなんレストラン」の制作・放映を実施しました。

【事業概要】

企画運営業務委託費 3,487千円

委託先 (株)テレビ愛媛

制作番組

「愛南産かつおのたたき」、「愛南産河内晩柑茶巾ゼリー」

「真鯛おかき揚げ河内晩柑南蛮ソース」、「ヒオウギ貝とエビのXO醬炒め」

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	活動	負担金額 (円)	5,400,000	0
活動	活動	情報発信に係る金額 (円)	1,496,007	0	3,487,000
成果	成果	イベント参加者数 (人)	24,000	0	0
成果	成果	イベント売上 (円)	5,159,790	0	0
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	5,400	0	3,487
		カ 事業費 (ア～オ合計)	5,400	0	3,487

成果 実績 評価	成果状況	<p>(状況)カツオの販売をメインとする本事業は愛南町を代表するイベントであり、例年大勢の来場者がありますが、令和3年度は中止となりました。 (原因)新鮮なカツオが味わえるなど、愛南町を代表する食のイベントとしての認知度が向上してきました。しかし、本年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴い中止となりました。 (余地)来場者増による駐車場の混雑や会場周辺道路(国道56号)の渋滞の緩和策を講じることで、リピーターを増やすことができます。</p>
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

[36]

ぎゅぎゅつと愛南！冬の陣事業

町長部局 商工観光課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	07 商工費	決算書 ページ	197
施策	04 観光 物産の振興	項	01 商工費		
基本 事業	01 地域資源の有効活用	目	04 観光総務費	計画 年度	開始：平成29年度 終了：令和03年度

手段 (R03年度の取り組み)

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から「ぎゅぎゅつと愛南！冬の陣～」を中止とし、代替事業として、オンライン送料無料キャンペーンを実施しました。
食のイベント実行委員会の構成団体：愛南漁協、久良漁協、JAえひめ南等
開催時期：令和4年1月中旬～令和4年2月下旬
【事業費】839千円

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	活動	負担金額 (円)	3,500,000	3,500,000
活動	活動	情報発信に係る金額 (円)	891,699	1,360,260	500,000
成果	成果	イベント来場者数 (人)	10,000	232	0
成果	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	1,490	0
		オ 一般	3,500	2,010	839
		カ 事業費 (ア～オ合計)	3,500	3,500	839

成果実績 評価	成果状況	(状況)新型コロナウイルス感染症の影響により、従来のイベント等は中止となり、オンライン送料無料キャンペーンを実施しました。 (原因)例年とは異なる初めてのイベントであったため、参加者への周知が必要だったと考えます。 (余地)コロナ禍でも実施できる新しい企画を提案し、効率よくPRすることで更なる集客が見込めるのではないかと考えられます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	
	成果向上余地	
	大	
	中	
	小	
	なし	

890]

愛南町観光協会活動事業

町長部局 商工観光課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	07 商工費	決算書 ページ	197
施策	04 観光 物産の振興	項	01 商工費		
基本事業	02 観光 PRの推進	目	04 観光総務費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

愛南町観光協会が実施する観光振興及び観光客誘致に向けた取組を支援するため、補助金を交付しました。
 【観光協会の活動内容】観光客誘致活動、観光情報の発信等
 具体的には、各イベントや道の駅での出店販売、サイクリングイベント、釣り大会、観自在寺でのお接待、観光パンフレットの制作、ホームページやSNSでの情報発信、窓口環境の整備、県・町・近隣観光協会や町観光施設との連携等を実施しました。
 令和3年度は、町の観光情報や特産品のPRのため、県内や高知県のイベントや道の駅での出店販売を積極的に行いました。
 【事業費内訳】
 ・愛南町観光協会活動事業補助金 6,660千円

活動・成果状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	補助金額 (円)		3,380,000	4,040,000
活動					
成果	観光協会主体イベント実施件数 (件)		15	10	24
成果	イベントの参加人数 (人)			595	2,192
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	3,380	4,040	6,660
		カ 事業費 (ア~オ合計)	3,380	4,040	6,660

成果実績評価	成果状況	(状況) 会員と連携し、町内外のイベント等で特産品やなーしくんグッズの販売を行いながら町のPRを行いました。イベント等の参加人数が595人から2,192人に増加しました。 (原因) コロナ禍により従来のイベントは減少していますが、屋外イベントの実施や新たに近隣の道の駅へ出店するなどして町のPRの機会を増やしたことによるものです。 (余地) 法人化することで、旅行商品の開発・販売など独自に収益事業を展開できる体制を整え、観光客の増加につながる仕組みづくりを行います。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

四国の道管理事業

町長部局 商工観光課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	07 商工費	決算書 ページ	197
施策	04 観光 物産の振興	項	01 商工費		
基本事業	03 観光資源の充実	目	04 観光総務費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

愛媛県から委託された四国のみちの維持管理を商工観光課と3支所で行いました。

- ・一本松支所 松尾峠～上大道までの維持管理を行いました。松尾峠等の一部を「小友会」に委託しました。
- ・商工観光課 上大道～平城大橋付近までを町内業者に依頼し管理しました。
- ・御荘支所 平城大橋付近～八幡神社付近までを維持管理しました。
- ・内海支所 坂口～つわな奥展望台までを「柏を育てる会」に委託し管理しました。

【事業費総額】622千円

活動・成果状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	活動	パトロール回数 (回)	46	45
活動	活動	清掃作業回数 (回)	36	37	39
成果	成果	四国の道維持管理上の不具合・トラブル件数 (件)	0	0	0
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	53	55	105
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	557	524	517
		カ 事業費 (ア～オ合計)	610	579	622

成果実績評価	成果状況	(状況)各地区月に1～2度パトロールし、維持管理に努めました。 (原因)自然歩道であるため定期的に草刈りや倒木の撤去の必要があります。 (余地)これまで通り維持管理し利用者にとって安全、快適な歩道となるよう心掛けていきます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	
	成果向上余地	
	大	
	中	
	小	
	なし	

[46]

旅客船特別会計繰出金

町長部局 商工観光課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	07 商工費	決算書 ページ	199
施策	04 観光 物産の振興	項	01 商工費		
基本事業	03 観光資源の充実	目	04 観光総務費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)	
愛南町の優れた観光資源である西海地域鹿島周辺の海域を町内外に広く発信するため、一般会計から愛南町旅客船事業に繰出金を拠出することで同事業の安定的運営を図りました。	
【事業費内訳】 ・繰出金 30,697千円（休業補償3,125千円含む）	
【ふるさとづくり基金充当 5,998千円】	

活動・成果状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	活動	総繰出金額 (円)	19,028,000	27,233,000
成果	成果	旅客船特別会計の歳入における一般会計繰入金割合 (%)	66.6	72.9	70.7
成果	成果	年間旅客船利用者数 (人)	5,373	2,604	2,928
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	5,998
		オ 一般	19,028	27,233	24,699
		カ 事業費 (ア～オ合計)	19,028	27,233	30,697

成果実績評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	（状況）昨年度と比較して、利用者数が324人増加しました。 （原因）昨年度との比較では微増となっています。これについては新型コロナウイルスの影響によるものが大きいと考えます。 （余地）メディアを活用した周知やリピーター獲得を目指すことにより、利用者増が見込まれ、繰出金の減額に繋がりますので、成果向上余地は中くらいと考えます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

温泉事業等特別会計繰出金

町長部局 商工観光課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	07 商工費	決算書 ページ	199
施策	04 観光 物産の振興	項	01 商工費		
基本事業	03 観光資源の充実	目	04 観光総務費	計画 年度	開始：平成25年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)	
<p>愛南町の有する観光資源「一本松温泉あけぼの荘」を有効的に利用して集客につなげるため、一般会計から温泉事業特別会計に繰出金を拠出することで同事業の安定的運営を図りました。</p> <p>令和3年度繰出金 41,767千円</p>	

活動・成果状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	活動	総繰出金額 (円)	37,800,000	80,020,000
成果	成果	温泉事業等特別会計の歳入における一般会計繰入金割合 (%)	41.3	70.9	44.9
	成果	年間あけぼの荘利用者数 (人)	77,256	44,631	42,166
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	37,800	80,020	41,767
		カ 事業費 (ア～オ合計)	37,800	80,020	41,767

成果実績評価	成果状況	<p>(状況) 昨年度と比較して、利用者数が約32,600人減少しました。 (原因) 新型コロナの影響による休業や来客者数の減少が原因です。 (余地) 新型コロナの終息は見通しがたちませんが、感染防止対策や施設の適正な維持管理に努めることで、利用者の増加につなげていければと考えます。</p>
	<p>向上 維持・横ばい 低下・悪化</p> <p>成果向上余地 大 中 小 なし</p>	

愛南町観光振興推進事業

町長部局 商工観光課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	07 商工費	決算書 ページ	199
施策	04 観光 物産の振興	項	01 商工費		
基本 事業	99 施策の総合推進	目	04 観光総務費	計画 年度	開始：平成29年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

町の観光振興を推進するため、戦略的な観光施策の展開を図り、交流人口の拡大や地域の活性化をめざした事業を行いました。
令和3年度は、観光の担い手の発掘と育成のために「担い手育成あいなんエコツアー業務」、観光資源として郷土料理をPRするために「郷土料理PR動画制作業務」、観光や特産品PRのために「ストリートビジョン放映業務」、「PR漫画制作業務」、「オリジナルグッズデザイン制作業務」、「観光素材データ制作業務」を実施しました。
【事業費内訳】
・報償費36千円（講師料・運転手謝礼） ・需用費29千円（食糧費・実習材料費）
・役務費9千円（手数料・保険料）・事業委託料1,875千円（業務委託料）

活動・ 成果状 況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動		観光振興計画推進事業個別事業実施数(累計)(事業)	7	5
活動					
成果		観光振興計画推進事業個別事業進捗率(%)	75	100	100
成果					
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	2,376	1,339	1,949
		カ 事業費(ア～オ合計)	2,376	1,339	1,949

成果実績 評価	成果状況	（状況）計画された事業は全て終わりました。 （原因）コロナ禍においても実施できるよう内容を見直して事業を実施したことによるものです。 （余地）効果的な事業については、時代や状況に沿った内容で今後も継続して実施し、観光振興を促進します。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

[1000]

ご当地キャラクター活用事業

町長部局 商工観光課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	07 商工費	決算書 ページ	201
施策	04 観光 物産の振興	項	01 商工費		
基本 事業	02 観光 PRの推進	目	05 観光振興費	計画 年度	開始：平成25年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

愛南町ご当地キャラクター「なーしくん」の様々な活動を通して愛南町のPRを行い、愛南町の知名度向上を図りました。

- ・イベント参加回数：年32回
- ・参加場所：町内外の各種イベント
- ・活動日時：通年

【事業費内訳】

普通旅費 47千円/消耗品費 464千円 /クリーニング手数料 132千円

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	活動	情報発信件数 (件)	16	5
成果	成果	ご当地キャラクターイベント参加回数 (回)	67	13	32
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	10	0	0
		オ 一般	1,017	1,166	644
		カ 事業費 (ア~オ合計)	1,027	1,166	644

成果 実績 評価	成果状況	<p>(状況) 出演依頼があったイベントへの参加が主な活動で、イベントに参加した状況を「なーしくんニュース」として町ホームページで発信しています。新型コロナウイルス感染症の影響により、イベント出演依頼が減少したため、活動数が減少しました。</p> <p>(原因) 新型コロナウイルス感染症の影響により、イベント参加回数は減少しました。</p> <p>(余地) 県内外を問わず積極的にイベント等に参加することで、愛南町の観光PRにつながると考えます。</p>
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

石垣の里管理運営事業

西海支所 西海支所

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	07 商工費	決算書 ページ	201
施策	04 観光 物産の振興	項	01 商工費		
基本事業	03 観光資源の充実	目	06 観光施設費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)
<p>石垣の里、休憩所しおかぜ及び宇和海自然ふれあい館の適切な維持管理を行います。</p> <p>令和3年度においては、清掃謝礼、消耗品、光熱水費、浄化槽法定検査、浄化槽保守点検、浄化槽清掃、修繕及び土地借上料、合計644千円を支出しました。</p>

	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
活動・ 成果 状況	活動	修繕件数 (件)	2	5	3
	活動	公衆便所法定点検件数・公衆便所保守点検委託件数・公衆便所清掃件数 (件)	5	6	6
	成果	石垣の里における維持管理上の不具合により業務に支障をきたした件数 (件)	0	0	0
	成果	石垣の里利用観光客数 (人)	2,898	1,650	582
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	600	1,000	644
		カ 事業費 (ア～オ合計)	600	1,000	644

成果実績 評価	成果状況	(状況) 観光客数は前年度から1,068人減少しています。 (原因) 新型コロナウイルス感染拡大の影響が要因と考えます。 (余地) 新型コロナウイルス感染拡大防止の規制が徐々に緩和されており、今後、観光客が増加するものと考えます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

石垣の里だんだん館維持管理事業

町長部局 商工観光課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	07 商工費	決算書 ページ	201
施策	04 観光 物産の振興	項	01 商工費		
基本事業	03 観光資源の充実	目	06 観光施設費	計画 年度	開始：平成18年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

愛南町が有する観光施設「石垣の里だんだん館」を安定的に管理・運営するため、指定管理者に業務を委託しました。
施設概要：木造平屋建床面積74.11㎡
令和3年度の来館者：490人
指定管理者：外泊地区

【R3】新型コロナウイルス感染症拡大の影響により町から休業を要請したため、4、5、8、9月にかかる営業補償費を増額しました。
指定管理委託料 2,169千円（営業補償239千円含む）

【ふるさとづくり基金充当 1,500千円】

活動・成果状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	施設維持修繕件数 (件)		2	0
活動	開館日数 (日)		283	264	212
成果	石垣の里だんだん館年間利用者数 (人)		2,120	1,548	490
成果	石垣の里だんだん館の維持管理上の事故・不具合件数 (件)		0	0	2
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	1,500
		オ 一般	1,557	1,849	669
		カ 事業費 (ア～オ合計)	1,557	1,849	2,169

成果実績評価	成果状況	<p>(状況)施設の維持管理や利用者の快適な利用を目的として、指定管理者による営業を行いました。来客数は、前年対比68%の減少となりました。 (原因)各メディアにも取り上げられ、注目度の高い観光地ではありますが、利用者増加に繋がっていません。また、新型コロナウイルスの影響により、来客者数が減少しました。 (余地)注目の高い観光地の一つであるため、安定した利用者数を残しており、メディアを利用したPRを行うことで、より多くの利用者増が見込めると考えます。</p>
	<p>向上 維持・横ばい 低下・悪化</p> <p>成果向上余地 大 中 小 なし</p>	

[457]

観光施設維持管理事業

町長部局 商工観光課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	07 商工費	決算書 ページ	201
施策	04 観光 物産の振興	項	01 商工費		
基本事業	03 観光資源の充実	目	06 観光施設費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

愛南町内の観光施設について、適正に維持管理することで利用者の安全・満足を確保するとともに施設の機能維持を図るため、補修や改修工事を実施しました。

町単独工事として、山出憩いの里温泉高架水槽取替工事ほか6件の補修・改修等工事を実施しました。

主な補修・改修等工事

- ・山出憩いの里温泉やすらぎ交流館等施設改修工事 55,836,000円(繰越)
- ・ゆらり内海2階系統空調機器更新工事 10,120,000円
- ・みしょうM I C特産品販売所トイレ取替工事 1,036,200円

活動・成果状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動		施設維持修繕件数(件)	11	10
活動		施設稼働日数(日)	365	365	365
成果		観光施設年間利用者数(人)	816,963	692,621	740,621
成果		観光施設の維持管理上の事故・不具合件数(件)	66	43	41
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	986	55,585
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	18,900	10,399
		エ その他	0	0	876
		オ 一般	26,011	9,045	20,390
		カ 事業費(ア~オ合計)	26,011	28,931	87,250

成果実績評価	成果状況	(状況)観光施設の利用者数は昨年と比較して約5万人の増となりました。不具合件数は、前年度と比べ2件減っています。 (原因)利用者数の増は、新型コロナの流行の影響が少しやわらいだものと考えられます。また、不具合件数については、休業等により施設の利用が少なかったため、減少したと思われます。 (余地)利用者の満足度向上のため、メンテナンスが重要なので、成果向上の余地はあります。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	
	成果向上余地	
	大	
	中	
	小	
	なし	

山出憩いの里温泉維持管理事業

町長部局 商工観光課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	07 商工費	決算書 ページ	203
施策	04 観光 物産の振興	項	01 商工費		
基本 事業	03 観光資源の充実	目	06 観光施設費	計画 年度	開始：平成19年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)	
<p>愛南町が有する観光施設「山出憩いの里温泉」を安定的に管理・運営するため、指定管理者に業務を委託しました。</p> <p>施設概要：やすらぎ交流館、浴室（大浴場、家族風呂）、体験創造館、ログハウス、キャンプ場、屋外便所</p> <p>令和3年度の利用者：18,755人 指定管理者：特定非営利活動法人 ハートinハートなんぐん市場</p> <p>【R3】新型コロナウイルス感染症拡大の影響により町から休業を要請したため、4、5、8、9、1～3月にかかる営業補償費を増額しました。 指定管理委託料 8,749千円（営業補償分367千円含む） 【ふるさとづくり基金充当 6,000千円】</p>	

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	施設維持修繕件数 (件)		5	5
活動	開館日数 (日)		325	260	199
成果	山出憩いの里温泉年間利用者数 (人)		53,421	25,552	18,755
成果	山出憩いの里温泉の維持管理上の事故・不具合件数 (件)		18	4	3
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	6,000
		オ 一般	8,305	10,317	2,749
		カ 事業費 (ア～オ合計)	8,305	10,317	8,749

成果実績 評価	成果状況	<p>(状況)施設の利用者数は、前年比の73.4%となり大幅な減少となっています。また、施設の修繕が2件、管理上の事故・不具合が4件となっており、施設の不具合等が14件減少しました。</p> <p>(原因)新型コロナウイルスによる影響で、休業や来客数の減少があり、施設の利用が少なかったため不具合、修繕件数が減少したと考えられます。</p> <p>(余地)重要な観光施設の一つであるため、メディア等の活用や独自事業の検討により利用者増が見込めますので、成果向上余地は中くらいと考えます。</p>
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

ゆらり内海維持管理事業

町長部局 商工観光課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	07 商工費	決算書 ページ	203
施策	04 観光 物産の振興	項	01 商工費		
基本事業	03 観光資源の充実	目	06 観光施設費	計画 年度	開始：平成19年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

愛南町が有する観光施設「ゆらり内海」を安定的に管理・運営するため、指定管理者に業務を委託しました。

施設概要：本体建物（レストラン・浴室・休憩室・多目的室）、倉庫等の附属建物

令和2年度の利用者：43,245人

指定管理者：株式会社グリーンエンタープライズ

【R3】新型コロナウイルス感染症拡大の影響により町から休業を要請したため、4、5、8、9、1～3月にかかる営業補償費を増額しました。

指定管理委託料 11,632千円（営業補償分9,535千円含む）

【ふるさとづくり基金充当 2,000千円】

活動・成果状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	施設維持修繕件数 (件)		8	18
活動	開館日数 (日)		314	273	280
成果	ゆらり内海年間利用者数 (人)		75,315	56,515	43,245
成果	ゆらり内海の維持管理上の事故・不具合件数 (件)		29	25	22
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	2,000
		オ 一般	2,077	7,008	9,632
		カ 事業費 (ア～オ合計)	2,077	7,008	11,632

成果実績評価	成果状況	<p>(状況)施設の適正管理や利用者の快適な利用を目的として、指定管理者による営業を行いました。年間利用者数は昨年比較で約13,270人の減、不具合件数は3件の減となっています。</p> <p>(原因)新型コロナウイルスの流行の影響が大きいと考えられます。不具合件数の減については、休業や来客者数の減少があり、施設の利用が少なかったためだと考えます。</p> <p>(余地)重要な観光施設の一つであるため、メディア等の活用や独自事業の検討により利用者増が見込めますので、成果向上余地はあると考えます。</p>
	<p>向上 維持・横ばい 低下・悪化</p> <p>成果向上余地 大 中 小 なし</p>	

460]

宇和海海域公園サンゴ保護対策事業

町長部局 商工観光課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	07 商工費	決算書 ページ	203
施策	04 観光 物産の振興	項	01 商工費		
基本事業	03 観光資源の充実	目	07 自然公園費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)	
<p>宇和海海域公園及び周辺海域のサンゴ類に害を与える食害生物を駆除しサンゴの保全を図るため、町観光協会、町県職員、自然保護関係団体、ダイバーで構成される宇和海海中資源保護対策協議会が1年に10回、宇和海海域公園内の塩子島周辺海域を中心とした駆除活動を実施しました。</p> <p>【R3実績】 期間 R3.8月2日～R3.10月12日 作業人数 ダイバー 55人 作業回数 10回 駆除数 シロレイシガイダマシ 43個 オニヒトデ 334個</p> <p>【事業費内訳】 町補助金 700,000円</p>	

活動・成果状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	活動	駆除作業実施回数(回)	10	10
成果	成果	サンゴ食巻貝駆除数(個)	161	46	43
	成果	オニヒトデ駆除数(匹)	929	534	334
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	700	700	700
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	0	0	0
		カ 事業費(ア～オ合計)	700	700	700

成果実績評価	成果状況	(状況)サンゴ食巻貝、オニヒトデ共に駆除数は減少傾向にあります。 (原因)サンゴ食巻貝の駆除数が減少した原因は事業継続の成果により、生息数が減少したことによります。オニヒトデの駆除数が減少した原因は、昨年度に多数のオニヒトデが確認された海域でも数が少なかったため、大量発生が収まりつつある可能性があります。 (余地)現在の酢酸注射による駆除方法より、効果的で効率が良い方法が見つければ、駆除数を増やすことができる可能性があります。また、依然としてオニヒトデの数が多いため、場所を絞り、数が多い部分を重点的に行うことでより費用対効果が得られるのではと考えます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

鹿島 高茂岬自然公園維持管理事業

西海支所 西海支所

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	07 商工費	決算書 ページ	203
施策	04 観光 物産の振興	項	01 商工費		
基本事業	03 観光資源の充実	目	07 自然公園費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

鹿島町有施設及び高茂岬自然公園の適切な維持管理を実施します。

令和3年度においては、水運搬賃金、草刈り委託業務、浄化槽法定検査、浄化槽保守点検、浄化槽清掃、光熱水費、修繕及び土地借上げ料等、合計2,928千円を支出しました。

活動・成果状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	活動	修繕件数 (件)	4	5
活動	活動	浄化槽法定点検件数・浄化槽保守点検委託件数 / 浄化槽清掃件数 (件)	9	7	7
成果	成果	鹿島 高茂岬自然公園における維持管理上の不具合により業務に支障をきたした件数 (件)	0	0	0
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	4
		オ 一般	4,215	4,005	2,924
		カ 事業費 (ア~オ合計)	4,215	4,005	2,928

成果実績評価	成果状況	(状況) 修繕件数は前年度から3件減少しています。 (原因) 経年劣化が顕著な建物を除去したことが要因と考えます。 (余地) 鹿島へ週3回程度、施設状態の確認を行っている園地清掃員との情報共有により施設の維持保全が必要と考えます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

篠山森林公園管理運営事業

一本松支所 一本松支所

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	07 商工費	決算書 ページ	203
施策	04 観光 物産の振興	項	01 商工費		
基本事業	03 観光資源の充実	目	07 自然公園費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)	
<p>篠山森林公園の運営及び篠山学習館、篠山荘、各駐車場屋外トイレ等の施設及び設備の維持管理を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アケボノツツジの保全活動 ・森林公園取水ポンプ取替工事 ・篠山学習館屋根修繕及び篠山公衆トイレ給水管修繕 ・篠山荘宿泊者の対応 ・篠山荘宿泊料金 620円 	

活動・成果状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	活動	修繕件数 (件)	3	1
成果	成果	篠山森林公園の各施設の維持管理上の不具合・トラブル件数 (件)	1	1	0
成果	成果	篠山森林公園年間入込客数 (人)	1,929	581	558
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	1,880	1,615	1,904
		カ 事業費 (ア~オ合計)	1,880	1,615	1,904

成果実績評価	成果状況	(状況) 篠山森林公園の年間登山者数は去年度同様低迷しています。 (原因) 新型コロナウイルス感染症の影響により、一時、入山自粛としていたため と思われれます。 (余地) 近隣市町、県との連携を密に行うことで、適切な保全ができると考えられ ます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

須ノ川公園管理事業

内海支所 内海支所

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	07 商工費	決算書 ページ	205
施策	04 観光 物産の振興	項	01 商工費		
基本 事業	03 観光資源の充実	目	09 須ノ川公園・グリーンパークすのかわ 費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)
<p>愛媛県と県有財産の管理委託契約を結んでいます。(須ノ川公園は、県有財産) 須ノ川公園施設の維持管理、キャンプ、マリレンタル受付、売店業務を行いました。 ○管理施設等 ・園地・駐車場・休憩棟(3箇所)・管理棟・シャワー室・炊事棟 須ノ川公園の倒木や危険な樹木の剪定を実施しました。</p>

活動・ 成果状 況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	活動	修繕件数(件)	7	7
活動	活動	保守点検回数(回)	26	26	26
成果	成果	須ノ川公園施設 設備の不具合により施設利用者に支障をきたした件数 (件)	0	0	0
成果	成果	須ノ川公園利用者数(キャンプ、マリレンタル等)(人)	74,902	66,986	65,280
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	4,508	3,730	3,120
		オ 一般	5,784	4,178	5,810
		カ 事業費(ア~オ合計)	10,292	7,908	8,930

成果実 績評 価	成果状況	(状況)須ノ川公園の散策者やキャンプ客、マリレンタル客に安全に利用出来る よう維持管理をします。 (原因)新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、4月・5月と8月・9月に キャンプ場を閉鎖していたため、利用者数は減少しています。 (余地)アウトドア・キャンプブームにより、キャンプ場を開園してからは須ノ川 公園の利用者は増加しているため、安全に安心して公園を利用できるよう施設の維 持管理を実施します。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	
	成果向上余地	
	大	
	中	
	小	
	なし	

[467]

グリーンパークすのかわ管理運営事業

内海支所 内海支所

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	07 商工費	決算書 ページ	207
施策	04 観光 物産の振興	項	01 商工費		
基本事業	03 観光資源の充実	目	09 須川公園・グリーンパークすのかわ費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)
<p>グリーンパークすのかわ内の各施設の施設維持管理、キャンプ利用者の受付業務を行いました。</p> <p>○管理施設等 園地・駐車場・休憩棟(2箇所)・便所棟・オートキャンプ場・炊事棟</p> <p>・期 間：4月1日～10月31日 ・料 金：3,500円(1サイト) ・サイト数：10サイト</p>

	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
活動・ 成果 状況	活動	修繕件数(件)	12	6	6
	活動	保守点検回数(回)	26	26	26
	成果	グリーンパークすのかわ施設 設備の不具合により施設利用者に支障をきたした件数(件)	0	0	0
	成果	グリーンパークすのかわ年間利用者数(オートキャンプ等)(人)	2,304	1,824	1,524
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	846	637	536
		オ 一般	2,538	3,024	2,801
	カ 事業費(ア～オ合計)	3,384	3,661	3,337	

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	<p>(状況)グリーンパークすのかわの散策者やキャンプ客が安全に利用できるよう維持管理をします。</p> <p>(原因)新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、4月・5月と8月・9月にキャンプ場を閉鎖していたため、利用者数は減少しています。</p> <p>(余地)アウトドア・キャンプブームにより、キャンプ場を開園してからはグリーンパークすのかわの利用者は増加しているため、安全に安心して公園を利用できるよう維持管理を実施します。</p>
	成果向上余地 大 中 小 なし	

[468]

西海ふれあい公園維持管理事業

西海支所 西海支所

政策	02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり	款	07 商工費	決算書 ページ	207
施策	01 環境の保全	項	01 商工費	計画 年度	
基本 事業	01 生活・自然環境の保全	目	11 その他公園費		開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)	
西海ふれあい公園の適切な維持管理を行います。	
令和3年度においては、施設管理委託、樹木剪定委託、浄化槽法定検査、浄化槽保守点検、浄化槽清掃及び修繕等、合計1,733千円を支出しました。	

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動		修繕件数 (件)	3	3
活動		浄化槽法定点検件数・浄化槽保守点検委託件数 / 浄化槽清掃件数 (件)	28	28	28
成果		西海ふれあい公園における維持管理上の不具合により業務に支障をきたした件数 (件)	1	0	0
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	80	75	83
		オ 一般	1,551	1,746	1,650
		カ 事業費 (ア～オ合計)	1,631	1,821	1,733

成果実績 評価	成果状況	(状況) 修繕件数は前年度から横ばいです。 (原因) 管理人による適切な維持管理が要因と考えます。 (余地) 施設の定期的な見回りにより、利用者が安全安心及び快適に利用できる環境づくりに努める必要があると考えます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

[470]

僧都川河川敷公園維持管理事業

御荘支所 御荘支所

政策	02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり	款	07 商工費	決算書ページ	207
施策	01 環境の保全	項	01 商工費	計画年度	
基本事業	01 生活・自然環境の保全	目	11 その他公園費		

手段 (R03年度の取り組み)
河川敷公園の維持管理のため、以下の業務を委託しました。 <ul style="list-style-type: none"> ・年4回の芝生蒔込 ・年2回防除消毒 ・年1回施肥 ・年1回親水池土砂取除き

活動・成果状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動		維持管理作業回数(回)	8	8
活動		修繕件数(件)	0	0	0
成果		僧都川河川敷公園利用において補修の必要な不具合等の発生した件数(件)	0	0	0
成果					0
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	3,410	3,410	3,410
		カ 事業費(ア~オ合計)	3,410	3,410	3,410

成果実績評価	成果状況	(状況)利用者からの苦情もなく、整備された状態で利用できているため事業は順調に行われています。 (原因)委託業者が適切に管理をしていると思われるためです。 (余地)現状の業務以上の業務は必要がないと思われます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

[71]

花と緑のピクニック公園維持管理事業

御荘支所 御荘支所

政策	02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり	款	07 商工費	決算書 ページ	207
施策	01 環境の保全	項	01 商工費		
基本事業	01 生活・自然環境の保全	目	11 その他公園費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

公園の維持管理のため、外灯電気代と水道料の支払をしました。
 公園の維持管理のため、以下の業務を委託しました。
 ・年3回芝生刈込
 ・年2回除草
 ・年2回施肥
 ・年2回防除消毒
 ・年1回低木剪定

【12月】
 公園内の樹木の枝が落下、飛散する可能性があり、地区からの要望もあったため、樹木の伐採を実施しました。(484千円)

活動・成果状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動		維持管理作業回数(回)	11	10
活動		修繕件数(件)	0	1	0
成果		花と緑のピクニック公園利用における公園の遊具・景観などの不具合件数(件)	0	1	0
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	786	585	991
		カ 事業費(ア~オ合計)	786	585	991

成果実績評価	成果状況	(状況)利用者からの苦情はありませんが、近隣住民から公園内の木が成長して枝も多く、強風の時に折れて落下したり飛んでこないか不安であるため、枝を切って欲しいという要望がでています。 (原因)芝生刈込や生垣剪定は毎年行っていますが、高木剪定については毎年実施していません。 (余地)令和元年度に高木剪定を実施しましたので、今後枝が伸びた際には再度実施します。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

一本松地区広場維持管理事業

一本松支所 一本松支所

政策	02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり	款	07 商工費	決算書 ページ	209
施策	01 環境の保全	項	01 商工費		
基本事業	01 生活・自然環境の保全	目	11 その他公園費	計画 年度	開始：令和元年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)
<p>一本松地区広場及び周辺の除草等によって適正な維持管理を行いました。</p> <p>(事業内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中川コミュニティ広場樹木管理業務 ・西部住宅敷地内法面等支障木伐採等業務 ・中川ゲートボール場整地等工事 ・浄化槽保守点検業務

活動・成果状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動		維持管理業務委託等件数 (件)	2	3
活動		修繕件数 (件)	0	0	0
成果		一本松地区広場の維持管理上の事故・不具合件数 (件)	0	0	0
成果					
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	512	1,551	2,520
		カ 事業費 (ア～オ合計)	512	1,551	2,520

成果実績評価	成果状況	(状況) 要望に対処し、適切な維持管理を行うことができました。 (原因) 樹木管理業務及びゲートボール場の整地を実施し、施設内の良好な環境整備に努めました。 (余地) 池や竹林に囲まれていることから、今後も樹木管理の継続が必要と考えます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

あけぼのリフレッシュゾーン維持管理事業

一本松支所 一本松支所

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	07 商工費	決算書 ページ	209
施策	04 観光 物産の振興	項	01 商工費		
基本 事業	03 観光資源の充実	目	11 その他公園費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

- あけぼのリフレッシュゾーン・桜公園の運営及び設備等の維持管理を行いました。
- あけぼのリフレッシュゾーン内植栽樹木管理委託業務
一本松温泉公園63,600㎡あけぼの荘入口周辺1,363㎡、郷土資料館189㎡
あけぼの荘池周辺
 - あけぼの公園内支障木伐採業務
 - あけぼの公園内桜補植業務
 - あけぼの公園内園路整備事業
 - あけぼの公園内水路補修業務
 - 浄化槽保守点検業務

	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
活動・ 成果 状況	活動	維持管理業務委託等件数 (件)	5	6	6
	活動	修繕件数 (件)	10	8	10
	成果	あけぼのリフレッシュゾーン年間利用者数 (人)	1,626	388	658
	成果	あけぼのリフレッシュゾーンの維持管理上の不具合トラブル件数 (件)	0	0	0
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	32	13	31
		オ 一般	15,818	6,433	8,948
	カ 事業費 (ア～オ合計)	15,850	6,446	8,979	

成果実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) 芝生広場や遊具広場等の利用者数は去年度同様低迷しています。 (原因) 利用者数の減少については、コロナウイルス感染症の拡大防止のため、遠足等の自粛が影響していると思われます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	(余地) 今後、通常の植栽管理とともに、支障木伐採等の委託業務及び遊具の修繕等を実施することで、利用客の安全性、利便性を確保できると考えます。

公園遊具維持管理事業

町長部局 商工観光課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	07 商工費	決算書 ページ	209
施策	04 観光 物産の振興	項	01 商工費		
基本 事業	03 観光資源の充実	目	11 その他公園費	計画 年度	開始：平成18年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)	
<p>町内の保育所、漁港公園及び団地等に設置されている点検対象の遊具を、毎年5月から12月にかけて、専門業者に委託実施し事故の発生を未然に防ぎ、利用者の安全を図りました。</p> <p>【管理事業費総額】1,287千円</p>	

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	活動	点検遊具件数 (件)	119	112
成果	成果	町内27施設の遊具の維持管理上の事故・不具合件数 (件)	0	0	1
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	1,350	1,705	1,287
		カ 事業費 (ア～オ合計)	1,350	1,705	1,287

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	<p>(状況) 25施設101アイテムの点検業務を行ったところ、ただちに使用不可となる遊具が1件見つかりました。</p> <p>(原因) 使用不可となる遊具も発見されましたが、毎年の点検により、概ね適切な管理ができていると考えられます。</p> <p>(余地) 長年使用している遊具もあるため、専門的知識を有した者による点検を定期的実施することにより重大な事故等の発生件数を減らすことが期待されます。</p>
	成果向上余地 大 中 小 なし	

[78]

老朽危険空家等対策補助事業

町長部局 建設課

政策	02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり	款	08 土木費	決算書ページ	211
施策	01 環境の保全	項	01 土木管理費	計画年度	
基本事業	01 生活・自然環境の保全	目	01 土木総務費		開始：平成27年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)	
<p>管理不全な状態となった不良住宅又は空き建築物で、不良度が100以上と判定され、避難路に支障を来すおそれがある老朽危険空家の除却に係る経費の10分の8以内の額を予算の範囲内で補助を行います。補助金の上限額は、80万円です。</p> <p>令和3年度の事業については、27件実施しました</p>	

活動・成果状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	活動	当初予定件数 (件)	34	26
活動	活動	除去補助金額 (千円)	24,570	18,672	19,351
成果	成果	実施件数 (件)	34	26	27
成果	成果	実施件数割合 (%)	85	100	93
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	12,285	9,335	8,875
		イ 県	6,138	4,666	4,437
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	6,147	4,671	6,039
		カ 事業費 (ア~オ合計)	24,570	18,672	19,351

成果実績評価	成果状況	<p>(状況) 除却件数は前年に比べ増加しましたが、ほぼ横ばい状態です。 (原因) 除却希望者は年々増加しているものの除却を実施する業者の手持ち工事がいっぱいであり、除却件数を増やせないことが原因です。 (余地) 補助金を確保し、申請待ちの不良住宅を減少するため、引き続き国や県に要望を行うとともに工事の実施可能業者への働きかけや年度当初からの申請勧奨により、除却工事の集中を防ぎ、事業の円滑化を図ります。</p>
	<p>向上 維持・横ばい 低下・悪化</p> <p>成果向上余地 大 中 小 なし</p>	

住宅新築・リフォーム補助事業

町長部局 建設課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	08 土木費	決算書 ページ	211
施策	03 商工業の振興	項	01 土木管理費		
基本 事業	02 経営面の支援強化	目	01 土木総務費	計画 年度	開始：平成23年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)
延べ床面積の2分の1以上を居住の用に供し、かつ、居住以外の部分が50㎡を超えない一戸建て住宅又は居住に供する共同住宅を、町内の建築業者等が施工する、50万円以上の工事費用の10分の1に相当する額、上限20万円を助成しています。
令和3年度の事業については、77件実施しました。

	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
活動・ 成果 状況	活動	補助金交付申請件数 (件)	68	64	77
	活動	補助金額 (千円)	11,725	11,509	13,434
	成果	補助金交付件数 (件)	68	64	77
	成果	施工業者数 (件)	24	25	30
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	11,700	11,300	12,000
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	25	209	1,434
	カ 事業費 (ア～オ合計)	11,725	11,509	13,434	

成果実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) 令和3年度の交付件数は77件と、前年度と横ばいですが、町民のニーズは依然として高いと考えます。 (原因) 年度始めに町広報誌及びホームページに掲載し、住民に制度の周知を行うことは、町民のニーズを高めている要因の一つと考えます。 (余地) 交付件数増加の方策は、補助金額の増額が考えられますが、財政負担が課題と考えます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

道路維持整備事業 (国庫)

町長部局 建設課

政策	02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり	款	08 土木費	決算書 ページ	213
施策	03 道路環境の充実	項	02 道路橋梁費		
基本事業	03 町道の整備促進	目	02 道路維持費	計画 年度	開始：平成25年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)
<p>愛南町舗装長寿命化修繕計画に基づき、町道舗装補修工事を行います。</p> <p>令和3年度の事業については、令和2年度繰越分2件を実施しました。</p>

活動・成果状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動		舗装延長 (m)	0	771
活動		補助金額 (千円)	3,000	11,128	8,663
成果		道路維持補修完了割合 (%)	100	100	100
成果		道路欠陥による事故件数 (件)	0	0	0
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	1,725	5,537	4,025
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	1,200	5,500	4,500
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	75	91	138
		カ 事業費 (ア~オ合計)	3,000	11,128	8,663

成果実績評価	成果状況	(状況) 維持補修が必要な箇所については計画的に工事を実施することで、機能の回復を図っています。 (原因) 老朽化に伴う機能不全によるものと考えます。 (余地) 今後も交付金を活用し計画的に町道等の維持管理が必要だと考えます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

道路維持整備事業(単独)

町長部局 建設課

政策	02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり	款	08 土木費	決算書 ページ	213
施策	03 道路環境の充実	項	02 道路橋梁費		
基本事業	03 町道の整備促進	目	02 道路維持費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

安全・安心かつ円滑な交通確保のため、道路パトロール及び地区要望等により維持修繕箇所を早期に把握し、維持管理及び修繕を行います。

令和3年度の事業については、次のとおり実施しました。

- ・令和2年度繰越分 8件
- ・令和3年度分 53件

	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
活動・ 成果 状況	活動	修繕件数(件)	69	69	61
	活動	パトロール回数(回)	104	100	110
	成果	道路維持補修完了割合(%)	100	100	100
	成果	道路欠陥による事故件数(件)	0	0	0
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	1,942	2,002	1,796
		オ 一般	164,128	99,928	115,945
		カ 事業費(ア~オ合計)	166,070	101,930	117,741

成果実績 評価	成果状況	(状況)道路等の破損箇所を修繕することにより機能の回復を図っています。 (原因)老朽化に伴う機能不全と考えます。 (余地)今後も町内パトロール、地区要望などにより危険箇所を把握し、計画的な工事を実施する必要があると考えます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	
	成果向上余地	
	大	
	中	
	小	
	なし	

[487]

道路新設改良事業(国庫)

町長部局 建設課

政策	02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり	款	08 土木費	決算書 ページ	215
施策	03 道路環境の充実	項	02 道路橋梁費		
基本事業	03 町道の整備促進	目	03 道路新設改良費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

中長期計画、過疎計画及び地区要望等で抽出された町道の拡幅や改良工事を行い、地域住民の生活条件の整備を図り、集落間のアクセスの改善を図ります。

令和3年度の事業については、次のとおり実施しました。

- ・令和2年度繰越分 道路改良4件、測量設計委託2件
- ・令和3年度分 道路改良2件

活動・成果状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	活動	工事件数(件)	6	5
活動	活動	工事延長(m)	610	658	482
成果	成果	道路新設改良事業進捗率(国庫)(%)	100	100	100
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	69,653	57,247	49,314
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	83,600	61,200	33,700
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	3,554	2,641	227
		カ 事業費(ア~オ合計)	156,807	121,088	83,241

成果実績評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況)事業を実施することで日常生活の安全性と利便性の向上が図られ、成果は維持されています。 (原因)地区住民への事前の事業説明により、計画的に事業を実施することができていると考えます。 (余地)国からの補助金の内示額により事業の進捗状況が変わるため、随時計画の見直しが必要です。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

道路新設改良事業(単独)

町長部局 建設課

政策	02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり	款	08 土木費	決算書 ページ	217
施策	03 道路環境の充実	項	02 道路橋梁費		
基本事業	03 町道の整備促進	目	03 道路新設改良費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

地区等の要望がある町道について改良を行うために、測量設計、用地買収、分筆登記及び工事に至るまでの事業を行います。

令和3年度の事業については、次のとおり実施しました。

- ・令和2年度繰越分 道路改良5件
- ・令和3年度分 道路改良3件、測量設計5件、分筆測量5件、用地購入13件、支障物件補償11件

活動・成果状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	活動	工事件数(件)	3	4
活動	活動	工事延長(m)	255	238	681.8
成果	成果	道路新設改良事業進捗率(単独)(%)	100	100	100
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	55,500	113,000	135,100
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	12,686	10,952	34,051
		カ 事業費(ア~オ合計)	68,186	123,952	169,151

成果実績評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況)事業を実施することで日常生活の安全性と利便性の向上を図ることができ、成果は維持されています。 (原因)地区住民への事前の事業説明により、計画的に事業を実施することができると考えます。 (余地)用地取得を加速することで、事業の向上ができると考えます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

橋梁新設改良事業 (国庫)

町長部局 建設課

政策	02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり	款	08 土木費	決算書 ページ	219
施策	03 道路環境の充実	項	02 道路橋梁費		
基本事業	03 町道の整備促進	目	05 橋梁新設改良費	計画 年度	開始：平成25年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

地区要望で抽出された町道の拡幅や改良工事を行い、地域住民の生活条件の整備を図り、集落間のアクセスの改善を図ります。

令和3年度の事業については、次のとおり実施しました。

- ・令和2年度繰越分 橋梁修繕測量設計8件(18橋)
- ・令和3年度分 橋梁点検業務1件(62橋)

活動・成果状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	活動	工事件数(件)	2	2
活動	活動	工事延長(m)	92	11.5	0
成果	成果	橋梁新設改良事業進捗率(国庫)(%)	100	100	100
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	27,423	44,143	44,018
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	16,100	24,900	23,300
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	156	2,592	9,850
		カ 事業費(ア~オ合計)	43,679	71,635	77,168

成果実績評価	成果状況	(状況) 橋梁改修工事を実施することで、地域住民の日常生活の安全性・利便性の向上を図ることができています。 (原因) 事前調査を実施し、どのような改修方法で実施するか検討することにより、計画的に実施できている要因として考えます。 (余地) 近接目視の点検が2周期目に入り、成果向上は維持していくことが最善だと考えます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	
	成果向上余地	
	大	
	中	
	小	
	なし	

橋梁新設改良事業 (単独)

町長部局 建設課

政策	02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり	款	08 土木費	決算書 ページ	219
施策	03 道路環境の充実	項	02 道路橋梁費		
基本事業	03 町道の整備促進	目	05 橋梁新設改良費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

現現道の拡幅や改良工事を行い、地域住民の生活環境の向上を図るとともに、集落間のアクセスの改善を図ります。

令和3年度の事業については、橋梁修繕測量設計1件を実施しました。

活動・成果状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	活動	工事件数 (件)	0	1
活動	活動	工事延長 (m)	0	56.0	0
成果	成果	橋梁新設改良事業進捗率 (単独) (%)	-	100	100
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	0	3,905	1,211
		カ 事業費 (ア~オ合計)	0	3,905	1,211

成果実績評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) 橋梁改修工事を実施することで、地域住民の日常生活の安全性・利便性の向上を図ることができています。 (原因) 事前調査を実施し、どのような改修方法で実施するか検討することにより、計画的に実施できている要因として考えます。 (余地) 近接目視の点検が残り1年となっており、成果向上は維持していくことが最善だと考えます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

河川維持整備事業

町長部局 建設課

政策	02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり	款	08 土木費	決算書 ページ	219
施策	01 環境の保全	項	03 河川費		
基本事業	05 河川 排水路の機能向上	目	02 河川維持費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

パトロール及び地区要望等により河川、水路等の破損箇所を把握し、適切な補修を実施します。

令和3年度の事業については、次のとおり実施しました。

- ・令和2年度繰越分 4件
- ・令和3年度分 20件

区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 修繕ヶ所、修繕件数 (件)	36	23	24	
	活動 危険箇所のパトロールの実施 (回)	100	100	100	
	成果 河川維持整備完了割合 (%)	100	100	100	
	成果 河川、水路の不具合、トラブル件数 (件)	36	24	24	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	40,836	37,580	25,644
		カ 事業費 (ア~オ合計)	40,836	37,580	25,644

成果実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) 河川及び水路等の破損箇所を修繕することで、機能回復を図っています。 (原因) 老朽化に伴う機能不全によるものと考えます。 (余地) 今後も町内パトロール及び地区要望により、修繕箇所を把握し計画的に 工事を実施していく必要があると考えます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

砂防事業 (県補助)

町長部局 建設課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	08 土木費	決算書 ページ	221
施策	02 防災・減災対策の推進	項	03 河川費		
基本事業	06 防災・減災ハート対策の推進	目	04 砂防費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)
<p>がけ崩れにより人家等に重大な被害を及ぼす恐れがある急傾斜地を把握し、補修を行います。</p> <p>令和3年度の事業については、次のとおり実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度繰越分 対策工2件 ・令和3年度分 対策工3件

活動・成果状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	活動	工事件数 (件)	8	6
活動	活動	工事延長 (m)	156	163.2	121
成果	成果	砂防対策完了割合 (%)	100	100	100
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	44,034	46,728	35,413
		ウ 地方債	14,300	22,500	17,400
		エ その他	6,613	8,238	5,952
		オ 一般	6,365	416	257
		カ 事業費 (ア～オ合計)	71,312	77,882	59,022

成果実績評価	成果状況	<p>(状況) 前年度から成果は横ばいですが、事業は順調に実施できています。</p> <p>(原因) 個人分担金が事業費の約1/10となっておりますが、対象者からの申請事業であり、計画的に実施できている要因と考えます。</p> <p>(余地) 県補助金の交付があることから、今後も引き続き継続したいと考えます。</p>
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

砂防事業(単独)

町長部局 建設課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	08 土木費	決算書 ページ	221
施策	02 防災・減災対策の推進	項	03 河川費		
基本 事業	06 防災・減災ハート対策の推進	目	04 砂防費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)
<p>がけ崩れにより宅地内に流入した土砂を取除く事業を実施します。 実施事業費の1/4が個人負担となります。</p> <p>令和3年度の事業については、崩土取除19件、測量設計2件を実施しました。</p>

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	活動	工事件数(件)	8	5
活動	活動	工事延長(m)	70	50	190
成果	成果	砂防対策が終了した箇所数(件)	8	5	19
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	573	144	1,063
		オ 一般	2,371	3,200	4,537
		カ 事業費(ア~オ合計)	2,944	3,344	5,600

成果実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況)土砂が流出した世帯からの問い合わせに対し、早急な対応ができています。 (原因)個人負担は事業費の1/4となっていますが、対象者からの申請事業であり、円滑な実施を図ることができている要因と考えます。 (余地)がけ崩れの二次災害防止のため、今後も事業の継続が必要と考えます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

南予レクリエーション都市公園維持管理事業

町長部局 商工観光課

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	08 土木費	決算書 ページ	223
施策	04 観光 物産の振興	項	05 都市計画費		
基本 事業	03 観光資源の充実	目	02 都市公園費	計画 年度	開始：平成21年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

愛南町が有する施設「第5号南レク御荘公園」を安定的に管理・運営するため、指定管理者に業務を委託しました。

施設概要：テニスコート、多目的広場、ちびっこ広場、児童園

指定管理者：南レク株式会社

【指定管理者による主な業務】

- ・施設管理（電気工作物、低木剪定、除草等）
- ・点検委託業務（遊具点検・高木剪定・トイレ浄化槽）

令和3年度指定管理委託料 2,649千円

活動・ 成果状 況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動		維持修繕件数 (件)	4	4
活動		保守点検回数 (回)	12	12	12
成果		南レク御荘5号公園の維持管理上の事故・不具合件数 (件)	0	0	0
成果					
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	16	16	16
		オ 一般	2,608	2,633	2,633
		カ 事業費 (ア～オ合計)	2,624	2,649	2,649

成果実績 評価	成果状況	（状況）施設の維持管理や利用者の快適な利用を目的として指定管理者における営業を行いました。事故・不具合は発生していません。 （原因）適切な維持管理が出来ていると思われます。 （余地）イベントの積極的な活用を促すことにより利用増加が見込めますので、成果向上余地はあると考えます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	
	成果向上余地	
	大	
	中	
	小	
	なし	

502]

住宅改修事業(国庫)

町長部局 建設課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	08 土木費	決算書 ページ	223
施策	06 公共施設マネジメントの推進	項	06 住宅費		
基本 事業	02 公共施設の維持管理	目	01 住宅管理費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)
<p>対象となる住宅に対して地域住宅計画に基づく改修工事(国庫補助事業)を実施します。</p> <p>令和3年度の事業については、設備改修1件を実施しました。</p>

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	設計数(件)		1	1
活動	工事数(件)		1	1	1
成果	事業進捗率(%)		100	100	100
成果	整備率(給水設備等)(%)		100	100	100
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	4,004	1,089	1,182
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	4,189	1,287	1,458
		オ 一般	0	0	0
		カ 事業費(ア~オ合計)	8,193	2,376	2,640

成果実績 評価	成果状況	(状況) 昨年度と同様に、1件の国庫補助事業を実施したので、指標値は横ばいで す。 (原因) 地域住宅計画に基づき計画的に実施しました。 (余地) 生活環境保全及び安全安心な町づくりを推進するため、財政的負担も考慮 し、今後も当該事業を推進していく必要があると考えます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

住宅改修事業(単独)

町長部局 建設課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	08 土木費	決算書 ページ	225
施策	06 公共施設マネジメントの推進	項	06 住宅費		
基本事業	02 公共施設の維持管理	目	01 住宅管理費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

愛南町公営住宅等長寿命化計画に基づき、対象となる住宅に対して町単独の改修工事を実施します。

令和3年度については、外壁塗装等改修1件、室内改修5件、屋外改修1件を実施しました。

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	活動	設計数(件)	8	2
活動	活動	工事数(件)	13	12	6
成果	成果	事業進捗率(%)	100	100	100
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	40,234	14,400	49,496
		オ 一般	0	10,562	0
		カ 事業費(ア~オ合計)	40,234	24,962	49,496

成果実績 評価	成果状況	(状況)計画した改修工事は、全て早期発注ができています。 (原因)良質な住宅ストック形成を図っています。 (余地)今後も計画的に改修工事を実施し、住宅に困窮する低額所得者に対して低廉な家賃で賃貸することで、生活の安定と社会福祉の増進に寄与できると考えます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	
	成果向上余地	
	大	
	中	
	小	
	なし	

506]

公営住宅維持管理事業

町長部局 建設課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	08 土木費	決算書 ページ	225
施策	06 公共施設マネジメントの推進	項	06 住宅費		
基本 事業	02 公共施設の維持管理	目	01 住宅管理費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)
<p>対象となる公営住宅の維持管理のため、浄化槽と消防用設備の保守点検を実施します。</p> <p>令和3年度については、浄化槽法定検査、浄化槽清掃、浄化槽保守及び消防用設備保守を実施しました。</p>

区分	指標名称		R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動・ 成果 状況	活動	保守点検、検査実施回数(回)	295	295
	活動	修繕件数(件)	9	5	10
	成果	修繕が必要な個所が原因で施設利用に支障が発生した件数(件)	0	0	0
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	5,187	5,231	5,231
		オ 一般	0	0	0
		カ 事業費(ア~オ合計)	5,187	5,231	5,231

成果実績 評価	成果状況	(状況) 建物を適切に管理するための義務的事業です。 (原因) 事業実施においては、建物管理上、法的な規制があります。 (余地) 事業継続は必要であり、経費の削減は困難と考えます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

特定公共賃貸住宅維持管理事業

町長部局 建設課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	08 土木費	決算書 ページ	225
施策	06 公共施設マネジメントの推進	項	06 住宅費		
基本 事業	02 公共施設の維持管理	目	01 住宅管理費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)	
<p>対象となる特定公共住宅の維持管理のため、浄化槽と消防用設備の保守点検を実施します。</p> <p>令和3年度については、浄化槽法定検査、浄化槽保守及び消防用設備点検を実施しました。</p>	

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動		保守点検、検査実施回数 (回)	71	71
活動		修繕件数 (件)	5	3	3
成果		修繕が必要な個所が原因で施設利用に支障が発生した件数 (件)	0	0	0
成果					
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	1,947	1,965	1,965
		オ 一般	0	0	0
		カ 事業費 (ア～オ合計)	1,947	1,965	1,965

成果 実績 評価	成果状況	(状況) 建物を適切に管理するための義務的事業です。 (原因) 事業実施においては、建物管理上、法的な規制があります。 (余地) 事業継続は必要であり、経費の削減は困難と考えます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

消防職員教育研修事業

消防部局 消防本部

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	09 消防費	決算書 ページ	227
施策	03 消防・救急体制の充実	項	01 消防費		
基本事業	01 消防力の強化	目	01 常備消防費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

消防職員が基礎教育、専科教育を継続して受講することにより、専門的技術及び高度な知識が身に付き消防力の向上を図ることができました。
 令和3年度の教育実績は愛媛県消防学校の初任科に2名、救急科に1名、救助科に1名、予防査察科に1名、火災調査科に1名、初級幹部科に1名、実火災体験型訓練施設研修に1名、通信指令員業務研修に2名、大規模災害対策研修に1名が入校しました。
 研修、講習としましては、第一種衛生管理者免許試験準備講習に1名、フルハーネス型墜落制止用器具特別訓練に3名、酸欠・硫化水素危険作業主任講習に2名、大型免許教習（半額補助）に2名、安全運転管理者講習に1名が受講し資格を取得しました。

活動・成果状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動		教育研修件数 (件)	10	11
活動		研修受講者人数 (人)	13	18	20
成果		研修による資格習得者数 (人)	13	18	20
成果					
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	1,702	2,193	2,252
		カ 事業費 (ア～オ合計)	1,702	2,193	2,252

成果実績評価	成果状況	(状況) 今年度は20名が研修等を受講しました。高い技術や専門の知識を身に付けることにより、消防力の向上につながっており順調です。 (原因) 毎年研修計画を立てることにより、充実した研修を行えます。 (余地) 職員数の充足が図れば、さらに数名各研修等に派遣することができ、さらなる職員の資質の向上が見込めます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

通信指令システム運用管理事業

消防部局 消防本部

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	09 消防費	決算書 ページ	227
施策	03 消防・救急体制の充実	項	01 消防費		
基本事業	01 消防力の強化	目	01 常備消防費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)	
<p>通信指令設備等の保守管理を専門業者に委託し、通信機器に異常が発生した場合は、24時間365日保守対応可能な状態を構築することにより、1件の不通電話もなく119番通報の受信を行いました。</p> <p>緊急通信指令設備定期保守点検 年2回（前期・後期） 消防無線機器設備定期保守点検 年2回（前期・後期）</p>	

活動・成果状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動		119番着信件数 (件)	1,126	1,067
活動		通信指令システム定期点検回数 (回)	4	4	4
成果		緊急通信指令システムの不具合により 運用に支障をきたした件数 (件)	0	0	0
成果					
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	41	41	33
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	11,040	13,374	13,235
		カ 事業費 (ア～オ合計)	11,081	13,415	13,268

成果実績評価	成果状況	<p>(状況) 通信指令システムの不具合もなく、運用に支障きたした件数もなく、町民の安心安全を確保出来ており順調ですが、導入から7年経過したデジタル機器の交換が必要になっています。</p> <p>(原因) 通信指令設備等の保守管理を専門業者に委託することにより、万全な態勢を維持しています。</p> <p>(余地) 計画的に機器の更新を行い、現在の通信指令システム及び消防デジタル無線を保守管理していくことが最適であると考えます。</p>
	<p>向上 維持・横ばい 低下・悪化</p> <p>成果向上余地 大 中 小 なし</p>	

救急救命士等教育訓練事業

消防部局 消防本部

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	09 消防費	決算書 ページ	229
施策	03 消防・救急体制の充実	項	01 消防費		
基本事業	02 救急救命体制の充実	目	01 常備消防費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

救急救命処置に必要とされる知識及び技術を習得させるために、継続して各種講習会等へ救急救命士を派遣し、各個人のスキルアップを行い救命率の向上を図りました。また、計画的に救急救命士の育成を行いました。

令和3年度は救急救命九州研修所新規救急救命士養成課程に1名入所しました。病院実習では、就業前実習に1名、気管挿管実習に1名、ビデオ喉頭鏡による気管挿管実習に3名、また、救急関係のオンラインセミナー4科目に8名の救命士が参加しました。

区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 教育訓練件数 (件)	6	7	8	
	活動 訓練受講者人数 (人)	9	19	21	
	成果 救急救命士割合 (%)	26.6	30	36.6	
	成果 救急救命士の活動による救命率 (%)	0	0	0	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	3,157	2,947	3,085
	カ 事業費 (ア～オ合計)	3,157	2,947	3,085	

成果実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) 救急救命士資格保有者は、12名在籍していますが、異動等により現場対応の救急救命士は9名しかいないのが現状です。 (原因) 救命研修所に派遣し、新規救急救命士の養成を行っていますが、確保人員の都合上、毎年1名の養成しかできていないからです。 (余地) 災害出場等により救急救命士が不在になった場合には、近隣の非番救急救命士を招集し救急対応していますが、救急体制の強化を図るためには新規救急救命士の養成が必須であると考えます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

救急業務運用事業

消防部局 消防本部

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	09 消防費	決算書 ページ	229
施策	03 消防・救急体制の充実	項	01 消防費		
基本事業	02 救急救命体制の充実	目	01 常備消防費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

救急車に積載してある、感染防止用品、災害外傷処置資材、呼吸管理資材、循環管理資材等の消耗品の購入をして、1,044件の救急事案に対応しました。救命講習（救命基礎講習28回、普通救命講習10回）を開催し町民に応急処置の重要性を理解していただき、救命率の向上を目指しました。

	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
活動・ 成果状況	活動	救命講習会開催数(回)	16	12	10
	活動				
	成果	救命技能認定証が有効期間である町民割合または数(新規3年間+再受講者)(人)	370	343	243
	成果	町民による救命率(心拍再開率)(%)	0	0	0
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	1,892	1,977	2,513
	カ 事業費(ア~オ合計)	1,892	1,977	2,513	

成果実績評価	成果状況	<p>(状況)消防署、または事業所において救急救命士等が出向し年間10回の普通救命講習を実施して57名の町民の方が講習を受講しました。受講者には、救命の連鎖の重要性を認識してもらいました。</p> <p>(原因)救急車を要請するだけでなく、その場にいた人の手当てが重要であることを認識してもらう必要があると考えます。</p> <p>(余地)1分1秒でも早く応急処置を実施することが、救命に対し最重要であることを、町ホームページまたは広報・ケーブルテレビ等を活用し積極的に周知することにより、講習受講者の増員を図ります。</p>
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

消防団運営事業

消防部局 消防本部

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	09 消防費	決算書 ページ	231
施策	03 消防・救急体制の充実	項	01 消防費		
基本事業	04 消防団の充実強化	目	02 非常備消防費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)	
<p>1. 火災や自然災害等に対応する消防団員を確保しました。 新入団員：33名（基本団員28名（うち女性1名）・機能別団員5名）</p> <p>2. 消防団員の安全装備品や、災害対応力向上資機材等配備しました。 活動服(32着)、編上靴(50足)、ヘルメット(162個)、ベスト(20着)ほか</p> <p>3. 各種会議や訓練等を実施し消防団組織を強化しました。 会議：団本部（3回）、団方面隊（15回）ほか 訓練：新入団員訓練（7回）、分団等訓練（27回）ほか</p> <p>4. 地域防災力の向上のため、防火・防災活動を実施しました。 防火啓発(4回)、地区消火設備点検等(11地区)、地区訓練等(8地区)ほか</p> <p>5. 消防団員の処遇改善を図るため条例等の改正を行いました。</p>	

活動・成果状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	活動	団員数(人)	947	939
活動	活動	災害訓練出動手当額(円)	28,995,320	24,047,000	22,366,800
成果	成果	消防団充足率(団員数/条例定数)(%)	91.9	91.2	91.7
成果	成果	火災時消防団員出勤率(出勤人数/要請出動分団内団員数)(%)	37.2	33.3	42.3
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	49	48	48
		オ 一般	80,019	74,643	71,695
		カ 事業費(ア~オ合計)	80,068	74,691	71,743

成果実績評価	成果状況	<p>(状況) 令和3年度の充足率が91.7%と昨年度より0.5ポイント増加しましたが目標には届きませんでした。また、火災時の消防団出勤率が42.3%と昨年度より9.0ポイント増加しました。</p> <p>(原因) 少子高齢化によって、消防団員の確保が困難になっていることが原因です。また、団員の多くがサラリーマン化し、地区外での勤務者等が増加したことにより出勤率の減少につながっています。</p> <p>(余地) 消防団活動の重要性を広く周知するとともに、現団員の勧誘等により新入団員を確保します。また、現団員が継続して活動を行えるようにするほか、新規入団を促進するため処遇等の改善を推進します。</p>
	<p>向上</p> <p>維持・横ばい</p> <p>低下・悪化</p> <p>成果向上余地</p> <p>大</p> <p>中</p> <p>小</p> <p>なし</p>	

消防団設備維持管理事業

消防部局 消防本部

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	09 消防費	決算書 ページ	231
施策	03 消防・救急体制の充実	項	01 消防費		
基本 事業	04 消防団の充実強化	目	02 非常備消防費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)	
<p>1. 施設の維持管理・修繕を行いました。 浄化槽保守点検（4施設）、詰所修繕（9施設）</p> <p>2. 車両の維持管理・修繕を行いました。 車両整備業者による定期点検（24ヶ月点検：27台・12ヶ月点検：27台） バッテリー交換（12台）、タイヤ交換（3台：6本）</p> <p>3. ポンプや資機材の維持管理・修繕を行いました。 バッテリー交換（7台）、ポンプ等修繕（14台）</p> <p>4. 車両事故に対応するため自動車損害保険に加入しました。 消防団車両54台、バイク隊員バイク8台</p> <p>5. 消防団員により車両やポンプ等の動作点検を各月に行いました。 40支部444月（実回数596回）</p>	

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動		消防団詰所修繕件数 (件)	10	17
活動		車両・可搬ポンプ点検回数 (各支部月1回)(%)	97.9	93.3	92.5
成果		消防団車両・機器の不具合により活動に支障をきたした件数 (件)	0	0	0
成果					
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	9,415	11,219	11,096
	カ 事業費 (ア～オ合計)	9,415	11,219	11,096	

成果 実績 評価	成果状況	<p>(状況) 消防団設備が適切に維持管理できており、火災や災害等に迅速な対応ができています。消防団に配備している車両やポンプ機器等の点検は92.5%で前年より0.8ポイント低下しました。</p> <p>(原因) 消防詰所の修繕が9件あったものの、早急に対応することで消防団活動に支障をきたすことはありませんでした。車両やポンプ等の点検回数はコロナの影響により一時的に活動を制限したため低下しましたが、消防団員により適切に点検管理が行われています。</p> <p>(余地) 今後も適切に維持管理し、各種災害時等に備えます。</p>
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

521]

消防施設整備事業

消防部局 消防本部

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	09 消防費	決算書 ページ	231
施策	03 消防・救急体制の充実	項	01 消防費		
基本 事業	01 消防力の強化	目	03 消防施設費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

消防水利の点検時に、消火栓標識板の不良、腐食等による取替え必要箇所を調査し、修繕または交換をしました。
また、地区要望により、老朽化した消火栓付帯設備等の更新を23箇所実施しました。(消火栓ホース格納箱19基、消火栓用65mmホース21本、50mmホース5本、管鎗7本、消火栓開閉金具13本)救命率の向上を目指しAEDを1箇所に設置しました。老朽化した救急自動車を1台更新しました。

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動		消火栓付帯設備更新要望件数 (件)	14	19
活動		老朽化車両更新台数 (台)	1	0	1
成果		消防施設更新率 (消火栓付帯機器更新数/更新要望数) (%)	85.7	94.7	100
成果		老朽化車両更新実施率 (%)	100	0	100
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	13,951
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	8,000
		エ その他	42	168	114
		オ 一般	5,045	2,205	15,876
		カ 事業費 (ア～オ合計)	5,087	2,373	37,941

成果実績 評価	成果状況	(状況) 毎年度地区から要望のある事案に対して、順調に行っています。 (原因) 工期を分けて行っているため柔軟に対応することができました。 (余地) 年度により要望件数の多寡があり、老朽化の激しい物件を優先して更新を行っていきます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	
	成果向上余地	
	大	
	中	
	小	
	なし	

524]

消防団設備整備事業

消防部局 消防本部

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	09 消防費	決算書 ページ	233
施策	03 消防・救急体制の充実	項	01 消防費		
基本事業	04 消防団の充実強化	目	03 消防施設費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)	
<p>1.消防団の消防力を維持・強化するため、活動拠点である消防詰所を新築しました。 一本松方面隊増田消防詰所新築 18,770千円</p> <p>2.多種多様な災害に対応できるよう、新規資機材を購入配備しました。 ジェットシューター 10台 324千円 バイク隊通信用インカム 12台 407千円</p>	

活動・成果状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動		詰所新築件数 (件)	1	0
活動		車両及び可搬ポンプ購入台数 (台)	3	3	0
成果		築35年経過した詰所数 (棟)	21	21	23
成果		購入後20年経過した車両台数及び購入後20年経過した可搬ポンプ台数 (台)	3	3	5
事業費 (千円)	財源内訳				
		ア 国	877	1,566	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	36,600	6,100	18,500
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	4,308	3,118	2,246
	カ 事業費 (ア～オ合計)		41,785	10,784	20,746

成果実績評価	成果状況	<p>(状況) 築35年を超えた施設は23棟で、昨年より2棟増加しました。また、20年を経過した車両は5台で、昨年より2台増加しています。</p> <p>(原因) 令和3年度は詰所を1棟新築しましたが、旧詰所を解体しなかったことによりです。また、車両は適切に管理しており、不具合等が発生していないため継続して使用をしていることによりです。</p> <p>(余地) 数値は悪化しているものの、適切な管理により不具合なく使用できています。このため、町の財政状況を見据え、効率的及び計画的に更新を行うことで成果の向上を図ります。</p>
	<p>向上 維持・横ばい 低下・悪化</p> <p>成果向上余地 大 中 小 なし</p>	

教育委員会運営事務

教育委員会部局 学校教育課

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	233
施策	01 学校教育の充実	項	01 教育総務費		
基本 事業	99 施策の総合推進	目	01 教育委員会費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)	
<p>教育委員会の開催を告示により周知しました。 会議、議事録の公開を必要に応じ行いました。</p> <p>回数 愛南町教育委員会 13回 愛南町総合教育会議 1回</p>	

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	委員会	委員会の開催回数(年間)(回)	14	14
成果	議案	議案件数(年間)(件)	25	22	24
成果	改善	改善を指示された割合(年間)(%)	0	0	0
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	1,362	1,275	1,272
		カ 事業費(ア～オ合計)	1,362	1,275	1,272

成果 実績 評価	成果状況	(状況) 予定どおり定例教育委員会を開催し、必要な協議がされています。 (原因) 教育委員の意識が高く、積極的に出席をしています。 (余地) 仕事のある委員が出席しやすい日程や時間の設定を確認します。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

学校ICT管理事業

教育委員会部局 学校教育課

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	233
施策	01 学校教育の充実	項	01 教育総務費		
基本事業	01 確かな学力の向上	目	02 事務局費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

- ・学校へのパソコン・タブレット等の情報機器及びネットワーク整備を行い、ICT環境の向上を図りました。
- ・適正なネットワーク環境等を維持するために、保守管理を委託しました。
- ・OA機器に係る消耗品の購入を行いました。
- ・ICT支援員を増員し研修会等の開催、PC機器等の不具合対応を行いました。
- ・中学校に指導者用デジタル教科書を導入しました。
- ・文部科学省の認証事業に参加し、学習者用デジタルを検証しました。
- ・ネットワーク機器の老朽化に伴う不具合に対し、修繕を行いました。
- ・PC機器等のリース期間終了に伴い、ソフトウェアライセンス等の更新を行いました。
- ・国庫補助金を利用し、遠隔学習機能強化のための消耗品を購入しました。
- ・教室机の天板を拡張する器具を購入しました。

活動・成果状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動		ICT機器の設置台数(台)	685	2,007
活動		ICT機器の効果的な活用 操作研修会の開催回数(回)	11	21	23
成果		ICT機器整備率(%)	100	100	100
成果		ICT機器の活用状況(%)	93.0	94.1	99.0
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	68,838	262
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	28,300	0
		エ その他	3,754	4,123	4,167
		オ 一般	67,445	154,809	62,813
		カ 事業費(ア~オ合計)	71,199	256,070	67,242

成果実績評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況)教員のICT機器の活用については当初計画を9.0%上回り、引き続き高い割合で活用できているとの回答結果がでています。 (原因)GIGAスクール構想に伴い学習用タブレットが一新されました。GIGAスクールサポーターの配置及びICT支援員の活用により、教員のICTに関する知識及び技術を高められたと考えられます。 (余地)校務用機器の老朽化による不具合が生じており、機器の更新をすることで、校務を快適に行うことができると考えられます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

外国人英語指導助手設置事業

教育委員会部局 学校教育課

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	235
施策	01 学校教育の充実	項	01 教育総務費		
基本事業	01 確かな学力の向上	目	02 事務局費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)
5人のALTを中学校(ベース校)に配置し、授業だけでなく、普段から英語に触れる機会を作りました。 ALTが月に数回小学校を訪問し、英語に慣れ親しませる内容の授業を実施しました。 【ふるさとづくり基金充当 11,235千円】

活動・成果状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	小学校の外国語指導助手年間勤務時間(時間)		985	2,157
活動	中学校の外国語指導助手年間勤務時間(時間)		2,841	2,673	2,940
成果	各校長によるALTの優良評価の割合(%)		97.8	97.7	97.0
成果					
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	11,235
		オ 一般	22,018	11,247	590
		カ 事業費(ア~オ合計)	22,018	11,247	11,825

成果実績評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況)小学校の英語の授業にはALTが参加しており、児童が英語に触れる機会が確保されています。中学校においても、ALTの授業参加により学習指導が効果的に実施されています。 (原因)ALTが積極的に児童生徒と関わりを持ち、交流することができています。 (余地)JETプログラムではALTの派遣年数は最長5年となっています。ALTの入れ替えが途切れなく行われることで、同様の成果が期待できます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

学校施設防災機能強化事業

教育委員会部局 学校教育課

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	235
施策	01 学校教育の充実	項	01 教育総務費		
基本事業	04 安心安全な学校づくり	目	02 事務局費	計画 年度	開始：平成28年度 終了：令和06年度

手段 (R03年度の取り組み)

災害時の避難所となっている学校施設（体育館）の防災強化を図るため、計画的にトイレの洋式化を進めていきました。
年間2校分のトイレの洋式化（男子2基、女子2基）を実施しました。

区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 防災施設整備の件数 (件)	28	2	4	
	活動 運用計画書の活用回数 (回)	1	1	0	
	成果 防災施設整備率 (%)	84.8	20.0	40.0	
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	0	946	1,452
		カ 事業費 (ア~オ合計)	0	946	1,452

成果実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) 計画通り年間2校の体育館トイレ洋式化を実施しました。 (原因) 和式便器設置台数が多いためと考えられます。 (余地) 体育館トイレの洋式化を進めることにより、更なる防災機能の向上を図ります。引き続き整備を行っていきます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

奨学金返済支援事業

教育委員会部局 学校教育課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	237
施策	01 協働によるまちづくりの推進	項	01 教育総務費		
基本 事業	01 地域コミュニティ活動の支援	目	03 諸費	計画 年度	開始：平成28年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

新規就業者等の奨学金返済金の返済の補助を行いました。

補助率 2 / 3 (上限20万円)

【補助対象者の主な要件】

奨学金の返済を遅滞なく行い、町税等の滞納がなく、町の他の移住定住促進、就業促進に係る補助事業等の給付を受けていない者であって、次のいずれかに該当するもの。

平成27年3月以降に町内に就職し、1年以上継続して雇用されている者(公務員を除く。)

平成27年3月以降に町内で起業し、1年以上継続して事業を行っている者

平成27年3月以降に町内で第1次産業に従事し、1年以上継続して従事している者

令和3年度は7名の申請者に対し、981,000円を補助しました。

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	補助金額(円)		772,000	999,000
活動					
成果	延交付人数(人)		9	9	7
成果					
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	772	999	981
		カ 事業費(ア~オ合計)	772	999	981

成果実績 評価	成果状況	(状況)要件に合う申請が7名となっています。 (原因)要件に合う申請者がいたと考えます。 (余地)この事業の周知等について、検討が必要と考えます。また、現状では申請者に所得制限が設けられていませんが、周知が浸透すると予算額以上の申請が予想されるため、所得制限などの見直しも必要です。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	
	成果向上余地	
	大	
	中	
	小	
	なし	

閉校施設等管理事業

教育委員会部局 学校教育課

政策	04 自立と協働による安心安全なまちづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	237
施策	06 公共施設マネジメントの推進	項	01 教育総務費		
基本 事業	02 公共施設の維持管理	目	03 諸費	計画 年度	開始：平成20年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)
<p>閉校した学校施設等の維持管理を行いました。 水道料金、光熱費等の経常的経費の支出管理、体育館の清掃、施設設備の維持管理として給水設備、浄化槽設備及び消化設備等の保守点検及び修繕を行いました。</p>

	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
活動・ 成果 状況	活動	管理している閉校数 (校)	10	10	9
	活動	修繕件数 (件)	8	8	5
	成果	閉校施設の維持管理不具合・トラブル件数 (件)	8	1	3
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	967	75,263	613
		オ 一般	8,244	8,367	7,016
		カ 事業費 (ア～オ合計)	9,211	83,630	7,629

成果 実績 評価	成果状況	(状況) 修繕件数は前年度に対しトラブル件数が2件増加しました。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	(原因) 老朽化に伴う経年劣化が原因と考えられます。
	成果向上余地	(余地) 修繕件数及び維持管理費を減らす方策として、適切な維持管理と施設設備の計画的な更新及び解体が考えられます。
	大 中 小 なし	

学校活動支援事業

教育委員会部局 学校教育課

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	237
施策	01 学校教育の充実	項	01 教育総務費		
基本事業	01 確かな学力の向上	目	03 諸費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

コミュニティスクールを実施する学校の研修等に要する経費を負担しました。
 スクール・サポート・スタッフ配置事業（国県補助）を活用します。
 中学生の英語検定受験料を助成しました。
 臨時的に町内での発表会や体育大会に出場する児童生徒の移送経費を負担しました。

活動・成果状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動		配置校数 (件)	15	15
活動		児童生徒の移送件数 (件)	7	3	3
成果		配置効果割合 (%)	100	100	100
成果					
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	204	0
		イ 県	1,901	2,123	1,984
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	4,590	3,339	3,286
		カ 事業費 (ア～オ合計)	6,491	5,666	5,270

成果実績評価	成果状況	(状況) 教員の負担軽減により教員が児童生徒への指導や教材研究等に注力できる体制を整備しています。また、授業等における児童生徒の移送が円滑に行われています。 (原因) スクール・サポート・スタッフの配置及び学校共同事務室での調整によるものと考えます。 (余地) 愛媛県の補助事業対象となる人材だけでなく、町単独でのスクール・サポート・スタッフの配置を行うなど教員の負担軽減を実施しています。また、移送事業においては町のマイクロバスを利用するなど経費の削減を行っています。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

南宇和高等学校教育振興協議会補助事業

教育委員会部局 学校教育課

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	237
施策	01 学校教育の充実	項	01 教育総務費		
基本 事業	01 確かな学力の向上	目	03 諸費	計画 年度	開始：平成27年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

愛南町、愛南町教育委員会及び県立南宇和高等学校等で構成する南宇和高等学校教育振興協議会が実施する事業に対して補助金を交付しました。

【南宇和高等学校教育振興協議会事業】

- ・地域を支える人材や産業技術者の育成を行いました。
- ・グローバルな視野を持って行動できる人材を育成するための海外研修は実施できませんでした。

- ・地域に根ざした新しい産業教育に関する研究や情報交換・提言を行いました。

- ・学校教育活動の充実に対する支援をしました。

- ・遠距離通学費及び英語4技能外部検定(GTEC)の受験料の助成をしました。

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により海外研修等の中止など事業が縮小される中、日本の次世代リーダー養成塾への参加など新たな活動を実施しました。

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	補助金額(千円)		3,611	966
活動					
成果	補助を受けた各種活動に参加した生徒の人数(人)		700	585	456
成果					
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	3,611	966	2,021
		カ 事業費(ア~オ合計)	3,611	966	2,021

成果実績 評価	成果状況	(状況)活動に参加した生徒の人数は、前年度と比べ減少しています。 (原因)生徒数の減少のほか、新型コロナウイルス感染症の影響により事業が縮小されたためです。 (余地)新型コロナウイルス感染症の影響がなくなれば例年どおりの事業実施が考えられます。しかしながら、近年の状況を踏まえると既存事業の活性化や新たな活動の検討が必要と考えます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	
	成果向上余地	
	大	
	中	
	小	
	なし	

心の教育推進事業

教育委員会部局 学校教育課

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	237
施策	01 学校教育の充実	項	01 教育総務費		
基本事業	02 心の教育の充実	目	03 諸費	計画 年度	開始：平成19年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)	
<ul style="list-style-type: none"> ・いじめ・不登校等相談員による電話相談や通所相談を行いました。 ・スクールソーシャルワーカー等による相談・活動を行いました。 ・子ども支援センターでの相談及び利用を個別のニーズに添い行いました。 ・学校を通じ家庭へチラシを配布し、一人で悩まず、先ず相談をするよう啓発しました。 ・通級指導教室の利用を可能とし、学習面のサポートの選択肢を増やしました。 ・不登校児童生徒支援事業は、平成30年度から宇和島圏域共生ビジョンに位置付け運営に係る必要経費を負担し、取り組みました。 	
実績(延べ人数)	
スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー	219件
子ども支援センター	319件

活動・成果状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	利用者数(人)		623	214
活動	相談員・ソーシャルワーカー等の設置人数(人)		7	7	7
成果	改善された割合(対相談件数)(%)		100	100	50
成果					
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	545	584	1,040
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	3,181	2,861	3,880
		カ 事業費(ア~オ合計)	3,726	3,445	4,920

成果実績評価	成果状況	(状況)不登校傾向にある児童生徒数名が利用しており、心の居場所としての機能を発揮しました。 (原因)家庭環境など子供のおかれている状況が複雑化・多様化傾向にあります。 (余地)保護者との意思疎通と理解、学校、専門機関間との連携による対応がこれまで以上に重要となっています。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	
	成果向上余地	
	大	
	中	
	小	
	なし	

教員住宅管理運営事業

教育委員会部局 学校教育課

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	239
施策	01 学校教育の充実	項	01 教育総務費		
基本事業	99 施策の総合推進	目	04 教員住宅管理費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)
<ul style="list-style-type: none"> ・退去届を受理後、部屋（畳、襖張り替え等）、駐車場の検査を行いました。 ・入居申請書を受理し許可後に賃貸借契約、入居説明を行いました。 ・修繕が必要な場合は業者発注により早期対応に努めました。

活動・成果状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	活動	修繕件数 (件)	8	6
成果	成果	教員住宅の維持管理不具合・トラブル件数 (件)	8	6	2
成果	成果	教員住宅入居率 (%)	34.3	34.3	31.4
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	528	1,756	1,298
		オ 一般	0	0	0
		カ 事業費 (ア～オ合計)	528	1,756	1,298

成果実績評価	成果状況	(状況) 維持管理上の不具合・トラブル件数は昨年度に対して減少しました。 (原因) 老朽化した箇所の修繕を行ったことにより減少したと考えられます。 (余地) 施設の老朽化が進んでおり、突発的な修繕等の発生が予測されます。入居者からの要望や連絡に耳を傾け、現状把握及び迅速な対応を心がけ、安全で良好な住宅環境を維持します。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

小学校維持管理事業

教育委員会部局 学校教育課

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	239
施策	01 学校教育の充実	項	02 小学校費		
基本事業	04 安心安全な学校づくり	目	01 学校管理費	計画 年度	開始：令和02年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

- ・学校施設における不具合箇所の改修・修繕について、教職員及び共同事務室との情報共有により、状況の把握・対策の検討を行い、迅速な対応を行いました。
- ・学校施設における保守点検の実施について、各種保守業務を委託しました。
- ・学校運営に必要な各種備品について、学校の要望をもとに整備及び更新を行いました。
- ・特別教室等の空調機設置等に取り組みました。(小学校26基)
- ・突発的な不具合の発生に伴い、修繕費を補正しました。
- ・消防設備点検に伴う不良箇所の改修及び消火器具の更新を行いました。

活動・成果状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	活動	修繕・工事件数(件)	131	119
活動	活動	保守管理委託件数(件)	16	16	16
成果	成果	授業に支障をきたした施設維持管理上の不具合件数(件)	0	0	0
成果	成果	小学校施設維持管理上の不具合による児童事故件数(件)	0	0	0
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	16,299
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	29,000
		エ その他	0	2,017	2,092
		オ 一般	0	70,501	67,112
		カ 事業費(ア~オ合計)	0	72,518	114,503

成果実績評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況)修繕件数は前年度に対し4件減少しました。 (原因)小学校の現地調査や情報交換を行うことにより計画的な修繕ができたためであると考えられます。 (余地)施設の老朽化が進行しており、突発的な修繕及び工事が予測されます。引き続き学校と密に連携し、現状把握と迅速な対応に努め、安全で良好な教育環境を維持します。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

f1083}

小学校振興事業

教育委員会部局 学校教育課

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	243
施策	01 学校教育の充実	項	02 小学校費		
基本 事業	01 確かな学力の向上	目	02 教育振興費	計画 年度	開始：令和02年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)
<p>児童の教育活動について確かな学力向上を図りました。 校外学習等における運転手の雇用及び車の借上げを行いました。 講師を招き講座などを開講しました。 学校図書を購入しました。</p>

活動・ 成果状 況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	図書購入数 (冊)		1,632	1,566
活動	講座、校外活動等の実施回数 (回)		138	90	80
成果	学習意欲が向上している児童の割合 (%)		94.4	93.8	94.0
成果					
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	0	27,676	12,591
		カ 事業費 (ア～オ合計)	0	27,676	12,591

成果実績 評価	成果状況	<p>(状況) 今年度は、新型コロナウイルス感染症予防対策のため、全国学力・学習状況調査は実施しませんでした。各校からの学校評価における学習習慣等の肯定割合をみると、学習意欲の高水準を保っています。 (原因) コロナ禍にあっても学びを止めないという各校の姿勢と学校再開後の丁寧な学習指導等によるところが大きいと言えます。 (余地) 家庭学習の習慣化とその内容の改善を検討する余地があります。</p>
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

f081j

要保護及び準要保護児童就学援助事業

教育委員会部局 学校教育課

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	243
施策	01 学校教育の充実	項	02 小学校費		
基本事業	99 施策の総合推進	目	02 教育振興費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

経済的理由により就学困難な児童に対して就学奨励のために必要な援助を与え、全ての児童に義務教育の円滑な実施を図りました。
 援助を希望する者は、学校を通じて申請を行い、教育委員会の審査を受け認否を決定しました。
 審査結果を申請者へ通知しました。
 令和3年度は、要保護児童1名、準要保護児童107名を認定し、就学援助費を支給しました。

活動・成果状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	支給件数(件)		113	110
活動					
成果	適格者で就学援助を受けて義務教育を受けている割合(%)		100	100	100
成果					
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	21	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	2,860	3,116	2,843
		カ 事業費(ア~オ合計)	2,881	3,116	2,843

成果実績評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況)前年度よりも認定者数は減少していますがここ数年は増加傾向です。 (原因)認定基準の見直し及び保護者の所得減少等によるものと考えます。 (余地)法令に基づくものであるため、法律に変更がない限り余地はないと考えます。ただし、現状を維持していくため事業の継続は必要です。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

中学校維持管理事業

教育委員会部局 学校教育課

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	243
施策	01 学校教育の充実	項	03 中学校費		
基本事業	04 安心安全な学校づくり	目	01 学校管理費	計画 年度	開始：令和02年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)
<ul style="list-style-type: none"> ・学校施設における不具合箇所の改修・修繕について、教職員及び共同事務室との情報共有により、状況の把握・対策の検討を行い、迅速な対応を行いました。 ・学校施設における保守点検の実施について、各種保守業務を委託しました。 ・学校運営に必要な各種備品について、学校の要望をもとに整備・更新を行いました。 ・特別教室等の空調機設置等に取り組みました。(中学校9基) ・一本松中学校支障木の伐採を行いました。 ・消防設備点検に伴う不良箇所の改修及び消火器具の更新を行いました。

	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
活動・ 成果 状況	活動	修繕・工事件数 (件)	70	88	54
	活動	保守管理委託件数 (件)	16	16	16
	成果	授業に支障をきたした施設維持管理上の不具合件数 (件)	0	0	0
	成果	中学校施設維持管理上の不具合による生徒事故件数 (件)	0	0	0
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	6,297
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	11,600
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	0	38,988	40,186
	カ 事業費 (ア~オ合計)	0	38,988	58,083	

成果実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) 修繕件数は前年度に対して34件減少しました。 (原因) 前年度に修繕箇所の洗い出しを行い、修繕を行ったため今年度減少したと考えられます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	(余地) 施設の老朽化が進行しており、突発的な修繕及び工事が予測されます。引き続き学校と密の連携し、現状把握と迅速な対応に努め、安全で良好な教育環境を維持します。

要保護及び準要保護生徒就学援助事業

教育委員会部局 学校教育課

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	247
施策	01 学校教育の充実	項	03 中学校費		
基本事業	01 確かな学力の向上	目	02 教育振興費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

経済的理由により就学困難な生徒に対して就学奨励のために必要な援助を与え、全ての生徒に義務教育の円滑な実施を図りました。
 援助を希望する者は、学校を通じて申請を行い、教育委員会の審査を受け認否を決定しました。
 審査結果を申請者へ通知しました。
 令和3年度は、要保護生徒1名、準要保護生徒67名を認定し、就学援助費を支給しました。

活動・成果状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	活動	援助費支給人数(人)	58	65
成果	成果	適格者で就学援助を受けて義務教育を受けている割合(%)	100	100	100
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	3,231	2,940	4,352
		カ 事業費(ア~オ合計)	3,231	2,940	4,352

成果実績評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況)前年度よりも認定者数が増加しています。 (原因)対象者が微増したためと考えます。 (余地)法令に基づくものであるため、法律に変更がない限り余地はないと考えます。ただし、現状を維持していくため事業の継続は必要です。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

中学校振興事業

教育委員会部局 学校教育課

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	247
施策	01 学校教育の充実	項	03 中学校費		
基本 事業	01 確かな学力の向上	目	02 教育振興費	計画 年度	開始：令和02年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)
<p>生徒の教育活動について確かな学力向上を図りました。 教科書改訂により指導書を購入しました。 校外学習等における運転手の雇用及び車の借上げを行いました。 講師を招き講座などを開講しました。 学校図書を購入しました。</p>

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	図書購入数 (冊)		775	735
活動	講座、校外活動等の実施回数 (回)		12	1	7
成果	学習意欲が向上している生徒の割合 (%)		89.0	93.6	93.0
成果					
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	0	8,957	14,027
		カ 事業費 (ア～オ合計)	0	8,957	14,027

成果実績 評価	成果状況	<p>(状況)今年度は、新型コロナウイルス感染症予防対策のため、全国学力・学習状況調査は実施しませんでした。各校からの学校評価における学習習慣等の肯定割合をみると、学習意欲の高水準は保っています。 (原因)コロナ禍にあっても学びを止めないという各校の姿勢と学校再開後の丁寧な学習指導等によるところが大きいと言えます。 (余地)家庭学習の習慣化とその内容の改善を検討する余地があります。</p>
	<p>向上 維持・横ばい 低下・悪化</p> <p>成果向上余地 大 中 小 なし</p>	

あいなん幼稚園管理運営事業

教育委員会部局 あいなん幼稚園

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	249
施策	01 学校教育の充実	項	04 幼稚園費		
基本事業	01 確かな学力の向上	目	01 幼稚園管理費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

- ・子ども・子育て支援新制度に基づき、質の高い幼児教育、保育の提供、地域の子ども子育て支援の充実を目的に保育サービスを行いました。
 - ・保育では、遊びを中心とした生活を通して幼児が様々な体験を重ね、健やかな成長を促す教育の基礎を培いました。また、一人一人に応じた教育を進め総合的指導を行いました。
 - ・施設の維持管理や幼児の安全の為、園舎設備の保守点検・小破修理や警備監視を実施しました。また、コロナ感染防止対策として、基本的な感染防止策の実施や園内の衛生管理を行いました。
- <保育サービス事業>
- ・通常保育 平日8時30分～14時30分(月曜日～金曜日)学校給食有

活動・成果状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	活動	開園日数(日)	194	210
活動	活動	利用述べ幼児数(人)	5,112	4,663	3,528
成果	成果	あいなん幼稚園の保護者アンケートによる保育サービス満足度(%)	90	90	90
成果	成果	あいなん幼稚園 施設管理上の不具合で保育に支障をきたした件数(件)	0	0	0
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	216	465	168
		イ 県	168	182	214
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	251	276	0
		オ 一般	5,995	1,426	1,642
		カ 事業費(ア～オ合計)	6,630	2,349	2,024

成果実績評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) コロナ禍により行事等規模を縮小しましたが、事業の成果としては順調です。 (原因) コロナ感染予防対策を保護者と連携し、保護者のニーズに合わせて柔軟に対応することで、信頼関係が深まり園児の成長に安心・安全な場を提供できたと思われまます。 (余地) 更にきめ細かい保育サービスを提供することが考えられます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

花づくり推進事業

教育委員会部局 生涯学習課

政策	02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	251
施策	01 環境の保全	項	06 社会教育費	計画 年度	
基本 事業	03 景観の保全	目	01 社会教育総務費		開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)	
<p>オレンジロード加盟団体が実施する国道傍花壇整備事業に対して活動支援を行いました。 【R03年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年2回(6月・11月)、花苗植替え作業を行うオレンジロード加盟団体に花苗を支給し、環境美化活動の活性化を図りました。 ・関連団体同士の連絡調整を行いました。 	

	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
活動・ 成果 状況	活動	作業実施回数(回)	2	2	2
	活動				
	成果	町民により管理されている花壇数(ヶ所)	24	19	19
	成果	花が植わっている期間(ヶ月)	8	8	8
事業費 (千円)	財源内訳				
		ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	1,984	1,722	1,677
	カ 事業費(ア~オ合計)	1,984	1,722	1,677	

成果 実績 評価	成果状況	(状況)町民により管理されている花壇数に増減はありませんでした。 (原因)町民のボランティア活動により、引き続き良好な管理がなされています。 (余地)引き続き、団体を支援していくことで、成果の向上を図ります。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

女性教育推進事業

教育委員会部局 生涯学習課

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	251
施策	02 生涯学習の充実	項	06 社会教育費		
基本 事業	01 生涯学習機会の充実	目	01 社会教育総務費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)	
愛南町連合婦人会が実施する女性教育推進事業に対して補助金を交付し、社会参加を促すための支援を行いました。	
【R03年度実績】 <補助金額> 740千円(新型コロナウイルス感染拡大に伴う活動自粛のため、560千円減額)	
<婦人会の活動内容>	
<ul style="list-style-type: none"> ・あたたかい家庭を作り、青少年の健全育成に努めました。 ・資質向上を図るため、研修会を開催しました。 ・地域防災力の向上に貢献しました。 ・ボランティアを通じて、社会貢献に努めました。 	

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動・ 成果 状況	活動	研修会の実施回数(回)	1	0
活動		ボランティアの実施回数(回)	12	8	10
成果		研修会参加者数(人)	102	0	5
成果		ボランティアへの参加会員数(人)	224	69	100
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	1,300	740	740
		カ 事業費(ア~オ合計)	1,300	740	740

成果実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) 婦人会員の令和3年度のボランティアへの参加者数は100名と、前年度より31名増加しています。 (原因) 新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じた上で、活動を再開している事業もあるため、参加者数の増加につながったと考えられます。 (余地) 新型コロナウイルス感染症が収束し、通常どおり事業が実施できる状況になれば、成果の向上が期待できます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

放課後子ども教室事業

教育委員会部局 生涯学習課

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	251
施策	02 生涯学習の充実	項	06 社会教育費		
基本事業	02 青少年の健全育成	目	01 社会教育総務費	計画 年度	開始：平成23年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

放課後や夏休み中の児童の安全安心な居場所作りのため、子ども教室事業を実施しました。

【R03年度実績】

- ・子ども塾は、公民館(内海・緑・長月・久良)を利用して平日の放課後の時間帯に開設しました。
- ・夏休み子ども教室は、夏休み期間中に御荘夢創造館で8時00分から18時30分まで開設しました。

活動・成果状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	活動	開所日数(日)	431	588
成果	成果	放課後子ども教室待機児童数(人)	7	2	0
	成果	放課後子ども教室利用児童数(人)	77	84	93
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	908	1,237	1,410
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	150	75	160
		オ 一般	768	985	1,446
		カ 事業費(ア~オ合計)	1,826	2,297	3,016

成果実績評価	成果状況	(状況) 令和3年度の放課後子ども教室の利用児童数は93名と、前年度より9名増加しています。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	(原因) 夏休み子ども教室、子ども塾(4か所)ともに継続して開設できていることが要因です。
成果向上余地	大 中 小 なし	(余地) 柏子ども塾・緑子ども塾・長月子ども塾・久良子ども塾に加え令和4年度から家串子ども塾を新設しており、随時入会を受け付けるとともに新規の子ども塾を開設することで成果の向上が見込めます。

子どもセンター運営事業

教育委員会部局 生涯学習課

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	251
施策	02 生涯学習の充実	項	06 社会教育費		
基本事業	02 青少年の健全育成	目	01 社会教育総務費	計画 年度	開始：平成18年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)
<p>子どもに安全な遊び場を提供することを目的とし、愛南子どもセンターの維持管理を行います。</p> <p>【R03年度実績】 <開所日> 毎週土曜日・日曜日（祝祭日・年末年始は除く） <開所時間> 9：00～17：00（12：00～13：00は閉所） <場所> 城の辺学習館2階 愛南子どもセンター</p>

	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
活動・ 成果 状況	活動	開所日(日)	88	80	70
	活動				
	成果	子どもセンター年間利用者数(人)	926	336	206
	成果	子どもセンター運営 維持管理上の事故・トラブル件数(件)	0	0	0
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	233
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	569	522	417
		カ 事業費(ア～オ合計)	569	522	650

成果実績 評価	成果状況	(状況) 年間利用者数は206名と前年度に比べ130名(38.7%)減少しました。 (原因) 新型コロナウイルス感染拡大防止による休館、外出自粛による訪問者の減少が原因だと考えられます。 (余地) 子どもの数は今後も減少することが予想されますが、新型コロナが収束すれば、向上すると思われます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

成人式開催事業

教育委員会部局 生涯学習課

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	251
施策	02 生涯学習の充実	項	06 社会教育費		
基本事業	02 青少年の健全育成	目	01 社会教育総務費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)	
当該年度に二十歳の誕生日を迎える町民に、成人としての義務と責任を自覚させるため、成人式を行いました。	
【R03年度実績】 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、式典を2回に分け、式典内容の簡素化により時間を短縮して開催しました。	
<日 時>令和4年1月3日 (第1部)13:00~13:40 (第2部)14:30~15:10	
<開催場所>御荘文化センター	

活動・成果状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動		式典への参加者数(人)	190	0
活動					
成果		式典の参加率(該当者に対する参加者の割合)(%)	86	0	73
成果					
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	1,636	1,667	1,524
		カ 事業費(ア~オ合計)	1,636	1,667	1,524

成果実績評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況)式典の参加者は150名、参加率は73%でした。 (原因)新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じた上で式典を開催したためです。
	成果向上余地 大 中 小 なし	(余地)新型コロナウイルス感染症が収束し、通常どおり式典等が実施できる状況になれば、成果の向上が見込めます。

PTA連合会活動支援事業

教育委員会部局 生涯学習課

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	251
施策	02 生涯学習の充実	項	06 社会教育費		
基本事業	02 青少年の健全育成	目	01 社会教育総務費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

愛南町PTA連合会が実施する児童生徒の健全育成のための活動に対して補助を交付しました。

【R03年度実績】

<補助金額>

・560千円(新型コロナウイルス感染拡大に伴う事業自粛のため、240千円減額)

<活動内容>

家庭の教育力向上、会員相互の連帯感を深めるため、各種事業や研究大会の企画・運営を支援しました。

・研究大会の開催 ・会員向けの学習会の開催 ・各研修会への参加

活動・成果状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	補助金額(円)		800,000	150,000
活動	研修会の実施回数(回)		3	1	2
成果	PTA連合会理事会の参加率(%)		85	86	74
成果	PTA連合会主催研修の研修参加率(%)		88	97	89
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	800	150	560
		カ 事業費(ア～オ合計)	800	150	560

成果実績評価	成果状況	(状況)理事会の参加率は74%で前年に比べ減少しました。研修は2回行い、参加率は89%と高い数値となりました。 (原因)理事会は平日の夜に実施していますが、欠席される方も多く、参加率は低下しました。研修については、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じた上で研修を行ったことにより、参加率は高い数値となりました。 (余地)年度当初に理事会の開催日をお知らせし、早めの日程調整を行っていただくことで参加率が上がると思われませんが、夜間勤務の理事への参加強制は難しいと考えます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

人権啓発作品集作成事業

教育委員会部局 人権啓発室

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	253
施策	04 人権尊重・男女共同参画の実現	項	06 社会教育費		
基本事業	01 人権・同和教育の推進	目	01 社会教育総務費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)	
<p>町内の小・中学校及び南宇和高校の児童・生徒から人権作品（人権作文、みじかい手紙、人権書道、人権ポスター、人権標語）を募集し、人権作品集「えがお」（第18号）を作成しました。</p> <p>令和3年度も前年度と同様に2,200部発行し、保護者・学校・公民館等へ配布し、「心が温まる…」などの多くの感想が寄せられました。</p>	

活動・成果状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	活動	作品配布数(枚)	2,200	2,200
成果	成果	作品集を読んで感想が寄せられた割合(%)	63.8	64.1	64.8
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	356	356	356
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	285	309	350
		カ 事業費(ア～オ合計)	641	665	706

成果実績評価	成果状況	<p>(状況)小・中学校、高校の児童・生徒や保護者から、この作品集の作成継続を望む感想が多く寄せられています。また、公民館における各種団体の人権教育に作品集を朗読するなどの活用が広がり始めています。</p> <p>(原因)小中学校においても活用機会が増え学習機会の増加が考えられます。また普段、孫や地域の子供達の人権作品を見聞きすることのない高齢者や地域の方が、公民館事業を通して見聞きすることができ、感動を与えるようになっています。</p> <p>(余地)友達や家族等、より多くの人々に対する人権感覚の向上が期待できます。</p>
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

平城公民館生涯学習事業

教育委員会部局 平城公民館

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	255
施策	02 生涯学習の充実	項	06 社会教育費		
基本事業	01 生涯学習機会の充実	目	02 公民館費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)	
<p>1 公民館事業 こども茶道教室(11回)、こども生花(16回)、英会話教室(15回)、ハート教室(5回)、親子料理教室、花植え(12回)、消火・避難訓練、人権・同和学習(3回)、健康ウォーク、清掃活動、健康づくり(ヨガ・体操・お灸・ピラティス)(16回)、スタンプ講座(5回)、地域づくり出前講座、ハートメイド教室(絵手紙・ハートリウム)(3回)、アチエリ体験、平城貝塚再発見講座(4回)、デジタルミュージック講座(6回)、御荘中・中・小・高・お接待 合計18事業(61回)実施し、1,202人参加者しました。感染対策により中止した6事業(口説き、とろりや講習、GG大会、ミカレ大会、成果発表会、ハート研修)</p> <p>2 公民館支援事業 文化祭協力(2回)、成果発表打合せ会、小学生の人権スタ等掲示 合計3事業(4回)支援し、329人参加しました。感染対策により中止した1事業(大会の打合せ・抽選会)</p> <p>3 地域活動支援事業 地区総会など 感染対策により中止した2事業(五常会盆踊り大会、五常会敬老会)</p>	

活動・成果状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績	
	活動		平城公民館が実施・支援した事業数(件)	17	21	21
成果		平城公民館関連事業のべ参加者数(人)	1,299	1,593	1,531	
成果		平城公民館関連事業に対する満足度(%)	92.9	95.2	97.5	
事業費 (千円)	財源内訳		ア 国	0	0	0
			イ 県	0	0	0
			ウ 地方債	0	0	0
			エ その他	107	102	58
			オ 一般	1,374	1,188	1,212
			カ 事業費(ア～オ合計)	1,481	1,290	1,270

成果実績評価	成果状況	<p>(状況)参加者数は令和2年度と比べて62人減少しましたが、満足度は目標値を達成しており順調です。</p> <p>(原因)新型コロナウイルスの影響により中止した主催事業の代替事業を積極的に実施したことや、公衆Wi-Fiを設置してオンライン講座を実施したことも要因と考えられます。また、令和2年度から公民館主事が専任となったことも大きな要因と思われます。</p> <p>(余地)参加者や運営審議会委員等の意見を参考にして、事業内容等の見直しや他課や他公民館との合同事業の実施、DX(デジタルトランスフォーメーション)による新しい事業展開などを実施していきます。</p>
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

城辺公民館生涯学習事業

教育委員会部局 城辺公民館

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	255
施策	02 生涯学習の充実	項	06 社会教育費		
基本事業	01 生涯学習機会の充実	目	02 公民館費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)	
1 公民館事業	城辺婦人会(26人(3回))、花いっぱい運動(123人(7回))、街並美化運動(168人(2回))、陶芸教室(215人(36回))、国際交流講座(81人(36回))、やきもの体験教室(68人(2回))、ペタンク教室(34人(1回))、世代間交流しめ縄づくり体験(82人(1回))、高齢者学級(8人(1回))の9事業を実施しました。新型コロナウイルス感染症拡大防止策として、城の辺笹まつり、防災減災教室、学習成果発表会、パソコン教室、健康づくり教室、城辺地域体協レクパレーボール大会、愛南町文化祭の催しの8事業を中止しました。
2 公民館支援事業	新型コロナウイルス感染症拡大防止策として、愛南町文化祭の催し、城辺小学校の餅つきを中止しました。
3 地域活動支援事業	城辺公民館区の地域活動を支援しました。

活動・成果状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	活動	城辺公民館が実施・支援した事業数(件)	22	7
成果	成果	城辺公民館関連事業のべ参加者数(人)	2,099	846	797
成果	成果	城辺公民館関連事業に対する満足度(%)	97.1	89.8	84.5
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	1,582	1,011	1,018
		カ 事業費(ア~オ合計)	1,582	1,011	1,018

成果実績評価	成果状況	(状況)事業のべ参加者数が、前年度比で49人減少しました。また、事業に対する満足度が、前年度比で5.3ポイント低下しました。 (原因)新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、多くの計画事業を中止したためです。 (余地)貸館及び事業が制限されず、また、事業効率性の改善が進めば、計画どおりの事業実施により、成果向上が見込まれます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	
	成果向上余地	
	大	
	中	
	小	
	なし	

一本松公民館生涯学習事業

一本松支所 一本松支所

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	255
施策	02 生涯学習の充実	項	06 社会教育費		
基本事業	01 生涯学習機会の充実	目	02 公民館費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)	
<p>1 公民館事業 スタジオ講座(3回)、生涯学習講座(6回)、押し花教室(1回)、手づくり教室(1回)、館区内花壇管理(2季)、壮年グループボランティア清掃(1回)、林-ツ大会(2事業)、絵手紙展示(1回)、子ども体験講座(1回)親子ふれあい教室(2回)合計11事業・745名の参加者で実施しました。 新型コロナウイルス感染症拡大防止策として、地域交流事業、実用書道教室、高齢者健康づくり教室、健康づくり教室、フットサル教室、民謡民舞講習会、少年サッカー大会、救命基礎講習会、壮年グループソフトボール大会、文化発表会の10事業を中止しました。</p> <p>2 公民館支援事業 婦人会、各地区壮年グループを支援しました。剣道大会、バレーボール大会は中止しました。</p> <p>3 地域活動支援事業 一本松公民館区の地域活動を支援しました。</p>	

活動・成果状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動		一本松公民館が実施・支援した事業数(件)	29	22
成果		一本松公民館関連事業のべ参加者数(人)	1,741	962	745
成果		一本松公民館関連事業に対する満足度(%)	96.2	96.7	100
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	2,734	2,378	2,160
		カ 事業費(ア~オ合計)	2,734	2,378	2,160

成果実績評価	成果状況	(状況) 事案件数9件減、参加者数217人減です。 (原因) 新型コロナウイルス感染症拡大予防のため事業の中止をしたことによるものです。 (余地) 新型コロナウイルス感染症に対応した少人数制の事業や万全な感染予防策が可能な事業を見極め、慎重に事業を実施することが必要となってくると思われます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

西海公民館生涯学習事業

西海支所 西海支所

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	257
施策	02 生涯学習の充実	項	06 社会教育費		
基本 事業	01 生涯学習機会の充実	目	02 公民館費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

- 1 公民館事業 健康教室(1回)、スマホ教室(2回)、健康相談(1回)、料理教室(2回)、パソコン教室(6回)、七夕笹飾り(1回)お正月体験教室(1回)、船越小学校区運動会(1回)、なつかしの成人式等写真展(1回)、人権同和教育学習会(1回)、健康体操教室(週1回)及び卓球教室(週1回)、計12事業1,117名が参加のうえ実施しました。新型コロナウイルス感染症拡大防止策として、カラオケ集会、自然観賞会、月見会、子どもクリスマス会、フラワーアレンジメント教室及び西海地域文化祭の6事業を中止しました。
- 2 公民館支援事業 ひなたぼっこ及び船越サロンを支援しました。
- 3 地域活動支援事業 地区総会及び地区役員会などを支援しました。

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動		西海公民館が実施した事業数(件)	20	14
活動					
成果		西海公民館関連事業のべ参加者数(人)	1,622	1,330	1,117
成果		西海公民館関連事業に対する満足度(%)	80.6	94.9	92.6
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	913	770	671
		カ 事業費(ア~オ合計)	913	770	671

成果実績 評価	成果状況	(状況)参加者数は前年度比で213人減少し、さらに公民館アンケートによる事業に対する満足度は2.3ポイント低下しました。 (原因)新型コロナウイルス拡大防止対策により、計画した多くの事業の中止が要因と考えます。 (余地)新型コロナウイルス感染症防止対策を徹底し、地域住民のニーズにあった事業を実施し参加者増加を図る必要があると考えます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	
	成果向上余地	
	大	
	中	
	小	
	なし	

677]

中央公民館生涯学習事業

教育委員会部局 生涯学習課

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	257
施策	02 生涯学習の充実	項	06 社会教育費		
基本事業	01 生涯学習機会の充実	目	02 公民館費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)	
<p>各公民館の事業計画及び予算の取りまとめ、生涯学習事業の実施、公民館職員の研修調整等を行っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県公民館連合会が主催する各種研修会への参加調整 ・公民館長、運営審議会委員等の委嘱、総合補償制度への加入手続き ・各公民館事業等の支援 ・館長・主事合同会や主事部会、主事研修会等の開催 <p>【R03年度実績】 新型コロナウイルスの影響による研修会の内容変更により、謝礼、旅費及び実費弁償等を減額しました。</p>	

活動・成果状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動		公民館主事を対象とした研修の回数(回)	9	3
成果		研修に参加した公民館主事の延べ人数(人)	57	25	63
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	2,313	2,124	2,316
		カ 事業費(ア~オ合計)	2,313	2,124	2,316

成果実績評価	成果状況	(状況) 県公連、町主催の研修への参加者数は63名で前年から38名増加しました。 (原因) 令和2年度に新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となっていた研修が3年度は開催されるなど、参加できる研修数が増加したためです。 (余地) 各種研修が通常どおりの方法で開催が可能になれば、成果の向上が見込めると考えます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

内海公民館管理運営事業

内海支所 内海支所

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	257
施策	02 生涯学習の充実	項	06 社会教育費		
基本 事業	03 生涯学習を行う活動拠点の整備・充実	目	02 公民館費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)	
1 管理	(1) 経常経費の適正化を図りました。 (2) 保守点検等の業務(防火対象物点検、消防設備保守点検、浄化槽保守点検)委託しました。
2 運営	(1) 営審議委員を7名委嘱しました。 (2) 運営審議会を2回/年開催しました。
3 共通	(1) 年未年始を除く日を閉館しました。 (2) 新型コロナウイルス感染拡大防止策として、計104日間、貸館及び事業を中止しました。

区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 内海公民館管理運営関係者数(人)	7	7	7	
	活動 内海公民館運営審議会開催回数(回)	2	2	2	
	成果 内海公民館管理上の不具合・トラブル件数(件)	0	0	0	
	成果 内海公民館運営上の満足度(%)	94.1	95.7	95.7	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	317	222	198
		オ 一般	2,856	1,584	1,420
	カ 事業費(ア~オ合計)	3,173	1,806	1,618	

成果 実績 評価	成果状況	(状況) 施設管理上の不具合・トラブルはありませんでした。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	(原因) 保守点検や利用時に発見された破損や不具合箇所は、その都度修繕などの対応を実施しています。
	成果向上余地	(余地) 良好な状態を維持するため、同じ建物内の内海支所と連携して修繕を行いました。
	大	
	中	
	小	
	なし	

家串公民館管理運営事業

内海支所 内海支所

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	259
施策	02 生涯学習の充実	項	06 社会教育費		
基本事業	03 生涯学習を行う活動拠点の整備・充実	目	02 公民館費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)	
1 管理	(1)保守点検委託等により、適正な施設管理に努めました。 (2)非常勤管理人を1名置きました。
2 運営	(1)運営審議委員を7名委嘱しました。 (2)運営審議会を2回/年開催しました。
3 共通	(1)年末年始を除く日を閉館しました。 (2)非常勤館主を1名置きました。 (3)新型コロナウイルス感染症拡大防止策として、計104日間、貸館及び事業を中止しました。

活動・成果状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動		家串公民館管理運営関係者数(人)	7	7
活動		家串公民館運営審議会開催回数(回)	2	2	2
成果		家串公民館管理上の不具合・トラブル件数(件)	0	0	0
成果		家串公民館運営上の満足度(%)	82.9	95.7	95.1
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	10	2	1
		オ 一般	2,321	2,346	1,820
		カ 事業費(ア~オ合計)	2,331	2,348	1,821

成果実績評価	成果状況	(状況)施設管理上の不具合、トラブルもなく運営できています。 (原因)施設は17年を経過しており、保守点検や利用時に発見された破損や不具合箇所は、その都度修繕等の対応を実施しています。 (余地)良好な状態を維持するため、修繕を行いました。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

魚神山公民館管理運営事業

内海支所 内海支所

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	259
施策	02 生涯学習の充実	項	06 社会教育費		
基本 事業	03 生涯学習を行う活動拠点の整備・充実	目	02 公民館費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)	
1 管理	(1)保守点検委託等により、適正な施設管理に努めました。 (2)非常勤管理人を1名置きました。
2 運営	(1)運営審議委員を7名委嘱しました。 (2)運営審議会を2回/年開催しました。
3 共通	(1)年末年始を除く日を閉館しました。 (2)非常勤館主を1名置きました。 (3)新型コロナウイルス感染症拡大防止策として、計104日間、貸館及び事業を中止しました。

活動・ 成果状 況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動		魚神山公民館管理運営関係者数(人)	7	7
活動		魚神山公民館運営審議会開催回数(回)	2	2	2
成果		魚神山公民館管理上の不具合・トラブル件数(件)	0	0	0
成果		魚神山公民館運営上の満足度(%)	66.1	96.4	96.4
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	1	1
		オ 一般	1,117	1,480	1,093
		カ 事業費(ア~オ合計)	1,117	1,481	1,094

成果実績 評価	成果状況	(状況)施設管理上の不具合、トラブルもなく運営できています。 (原因)施設は老朽化しており、保守点検や利用時に発見された破損や不具合箇所は、その都度修繕等の対応を実施しています。 (余地)地域住民が安心して利用できる施設整備の検討が必要と思われます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

菊川公民館管理運営事業

教育委員会部局 平城公民館

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	261
施策	02 生涯学習の充実	項	06 社会教育費		
基本事業	03 生涯学習を行う活動拠点の整備・充実	目	02 公民館費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)	
1 管理	(1)保守点検等により適正な管理に努めました。 (2)非常勤管理人を置きました。
2 運営	(1)運営審議会(委員6名)を設置しました。 (2)運営審議会を2回開催しました。
3 共通	(1)年末年始、祝祭日及び毎週木曜日を除く日を閉館しました。 新型コロナウイルス感染症拡大防止策として、計104日間、貸館及び事業を中止しました。

活動・成果状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動		菊川公民館管理運営関係者数(人)	9	9
活動		菊川公民館運営審議会開催回数(回)	1	2	2
成果		菊川公民館管理上の不具合・トラブル件数(件)	0	0	0
成果		菊川公民館運営上の満足度(%)	94.5	100	97.1
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	2
		オ 一般	841	937	765
		カ 事業費(ア~オ合計)	841	937	767

成果実績評価	成果状況	(状況)施設管理上の不具合・トラブルもなく順調でした。満足度は97.1%で2.9ポイント低下しましたが、高い数値を維持しています。 (原因)施設内外の環境美化に努めたことが要因と思われます。 (余地)高齢者が安全で快適に利用できる施設整備と経費削減に配慮した設備を行うことで、成果向上の余地があります。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

平城公民館管理運営事業

教育委員会部局 平城公民館

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	261
施策	02 生涯学習の充実	項	06 社会教育費		
基本事業	03 生涯学習を行う活動拠点の整備・充実	目	02 公民館費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

1 管理	(1)保守点検等により適正な管理に努めました。 (2)非常勤管理人を置きました。
2 運営	(1)運営審議会(委員8人)を設置しました。 (2)運営審議会を2回開催しました。
3 共通	(1)年末年始及び祝日並びに毎週金曜日を除く日を閉館しました。

新型コロナウイルス感染拡大防止策として計104日間、貸館及び事業を中止しました。
(工事)非常出口である天然木のテラスデッキが老朽化による腐食で強度が低下したため、撤去後にコンクリートで埋めて安全な通路となりました。公民館利用者の利便性の向上と生涯学習事業等での活用に役立てるため、公衆Wi-Fi設置に伴うLANケーブル配線工事を実施しました。

区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 平城公民館管理運営関係者数(人)	11	11	11	
	活動 平城公民館運営審議会開催回数(回)	1	2	2	
	成果 平城公民館管理上の不具合・トラブル件数(件)	0	0	0	
	成果 平城公民館運営上の満足度(%)	94.4	92.6	98.8	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	113	63	58
		オ 一般	2,049	1,616	2,358
	カ 事業費(ア~オ合計)	2,162	1,679	2,416	

成果実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況)管理上の修繕等は早急に対応して、トラブルなく順調です。アンケート調査による満足度は、目標値を達成しており順調です。 (原因)施設維持管理は定期的に修繕等はその都度早急に実施していることが要因と思われます。令和2年度から公民館主事が専任で1人配置されたことも大きな要因と思われます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	(余地)計画的な施設整備を実施します。利用者の要望に可能な限り応えることによって成果向上に努めます。

長月公民館管理運営事業

教育委員会部局 平城公民館

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	261
施策	02 生涯学習の充実	項	06 社会教育費		
基本事業	03 生涯学習を行う活動拠点の整備・充実	目	02 公民館費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)	
1 管理	(1)保守点検等により適正な管理に努めました。 (2)非常勤管理人を置きました。
2 運営	(1)運営審議会(委員9名)を設置しました。 (2)運営審議会を2回開催しました。
3 共通	(1)年末年始、祝祭日及び毎週月曜日を除く日を閉館しました。 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、計104日間、貸館及び事業を中止しました。 (施設備品購入)長月公民館調理室の既存のエアコンが故障したため、エアコン2台を購入しました。

活動・成果状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動		長月公民館管理運営関係者数(人)	13	13
活動		長月公民館運営審議会開催回数(回)	1	2	2
成果		長月公民館管理上の不具合・トラブル件数(件)	0	0	0
成果		長月公民館運営上の満足度(%)	91.2	91.1	98.1
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	899	889	1,344
	カ 事業費(ア~オ合計)		899	889	1,344

成果実績評価	成果状況	(状況)施設管理上のトラブルはなく運営できた。一部不具合が発生したが、すぐに対応したため、満足度は向上した。 (原因)調理室のエアコンが故障したが、すぐに対応し交換することができた。 (余地)公民館に対する利用者からの意見を十分精査して運営に反映させることで、満足度が向上すると思います。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

赤水公民館管理運営事業

教育委員会部局 平城公民館

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	263
施策	02 生涯学習の充実	項	06 社会教育費		
基本事業	03 生涯学習を行う活動拠点の整備・充実	目	02 公民館費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)	
1 管理	(1)保守点検等により適正な管理に努めました。 (2)非常勤管理人を置きました。
2 運営	(1)運営審議会(委員7名)を設置しました。 (2)運営審議会を2回開催しました。
3 共通	(1)年未年始、祝祭日及び毎週水曜日を除く日を閉館しました。 新型コロナウイルス感染症拡大防止策として、計104日間、貸館及び事業を中止しました。

活動・成果状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動		赤水公民館管理運営関係者数(人)	10	10
活動		赤水公民館運営審議会開催回数(回)	1	2	2
成果		赤水公民館管理上の不具合・トラブル件数(件)	0	0	0
成果		赤水公民館運営上の満足度(%)	90	90.7	90.7
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	2	0
		オ 一般	1,376	1,387	1,393
	カ 事業費(ア~オ合計)	1,376	1,389	1,393	

成果実績評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況)施設管理上のトラブルもなく運営できています。 (原因)保守点検時や利用時に発見された不具合は、速やかに修繕などの対応をしています。
	成果向上余地 大 中 小 なし	(余地)住民が安全で快適に利用できるよう、長期的な視野に立った維持管理を行うことで、成果向上に努めます。

中浦公民館管理運営事業

教育委員会部局 平城公民館

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	263
施策	02 生涯学習の充実	項	06 社会教育費		
基本事業	03 生涯学習を行う活動拠点の整備・充実	目	02 公民館費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)	
1 管理	(1)保守点検等により適正な管理に努めました。 (2)非常勤管理人を置きました。
2 運営	(1)運営審議会(委員8名)を設置しました。 (2)運営審議会を2回開催しました。
3 共通	(1)年未年始、祝祭日及び毎週火曜日を除く日を開館しました。 新型コロナウイルス感染症拡大防止策として、計104日間、貸館及び事業を中止しました。

活動・成果状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動		中浦公民館管理運営関係者数(人)	11	11
活動		中浦公民館運営審議会開催回数(回)	1	2	2
成果		中浦公民館管理上の不具合・トラブル件数(件)	0	0	0
成果		中浦公民館運営上の満足度(%)	90	91.5	91.7
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	3	0
		オ 一般	3,889	3,628	3,934
	カ 事業費(ア~オ合計)	3,889	3,631	3,934	

成果実績評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況)管理上の不具合もトラブルもなく運営できています。 (原因)保守点検時や利用時に発見された破損や不具合は、速やかに修繕などの対応をしています。
	成果向上余地 大 中 小 なし	(余地)住民が安全で快適に利用できるよう、長期的な視野に立った維持管理を行うことで、成果向上に努めます。

城辺公民館管理運営事業

教育委員会部局 城辺公民館

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	265
施策	02 生涯学習の充実	項	06 社会教育費		
基本 事業	03 生涯学習を行う活動拠点の整備・充実	目	02 公民館費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)	
1 管理	(1)保守点検委託等により適正な施設管理に努めました。 (2)常勤管理人を置きました。
2 運営	(1)運営審議会(委員8人)を設置しました。 (2)運営審議会を2回開催しました。
3 共通	(1)毎週火曜日並びに祝日及び年末年始を除く日を閉館しました。 (2)新型コロナウイルス感染症拡大防止策として、計104日間、貸館及び事業を中止しました。
城辺公民館外壁塗装等改修工事を実施しました。	

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動		城辺公民館管理運営関係者数(人)	11	11
活動		城辺公民館運営審議会開催回数(回)	1	1	2
成果		城辺公民館管理上の不具合・トラブル件数(件)	0	0	0
成果		城辺公民館運営上の満足度(%)	93.9	97.1	96.9
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	35,600
		エ その他	88	91	110
		オ 一般	6,066	7,153	7,350
	カ 事業費(ア~オ合計)		6,154	7,244	43,060

成果実績 評価	成果状況	(状況)管理上の不都合・トラブルはありませんでした。また、運営上の満足度は、前年度比で0.2ポイント低下しましたが、最高状態を維持しています。 (原因)前年度実施した外壁塗装等改修工事による環境改善に加え、管理人の環境美化及び衛生管理に関する貢献が評価されています。 (余地)両成果指標とも最高状態にあるため成果向上余地は小ですが、公民館アンケート等から意見や要望を汲みながら、地域に愛され人が集う公民館づくりを行います。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	
	成果向上余地	
	大	
	中	
	小	
	なし	

僧都公民館管理運営事業

教育委員会部局 城辺公民館

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	265
施策	02 生涯学習の充実	項	06 社会教育費		
基本 事業	03 生涯学習を行う活動拠点の整備・充実	目	02 公民館費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)	
1 管理	(1)保守点検委託等により適正な施設管理に努めました。 (2)常勤管理人を置きました。
2 運営	(1)運営審議会(委員8人)を設置しました。 (2)運営審議会を2回開催しました。
3 共通	(1)館主を置きました。 (2)火曜日並びに祝日及び年末年始を除く日を開館しました。 (3)新型コロナウイルス感染症拡大防止策として、計104日間、貸館及び事業を中止しました。

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動		僧都公民館管理運営関係者数(人)	11	12
活動		僧都公民館運営審議会開催回数(回)	1	1	2
成果		僧都公民館管理上の不具合・トラブル件数(件)	0	0	0
成果		僧都公民館運営上の満足度(%)	95.3	100	100
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	2	0
		オ 一般	2,551	2,597	2,409
		カ 事業費(ア~オ合計)	2,551	2,599	2,409

成果実績 評価	成果状況	(状況)管理上の不具合・トラブルはありませんでした。また、運営上の満足度は、前年度に引き続き、最高状態でした。 (原因)館主が地域要望・問題を的確に捉えるとともに、管理人が施設の環境美化及び不具合箇所の早期発見に努めています。 (余地)両成果指標とも最高状態にあるため成果向上余地は小ですが、公民館アンケート等から意見や要望を汲みながら、地域に愛され人が集う公民館づくりを行います。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	
	成果向上余地	
	大	
	中	
	小	
	なし	

東海公民館管理運営事業

教育委員会部局 城辺公民館

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	267
施策	02 生涯学習の充実	項	06 社会教育費		
基本事業	03 生涯学習を行う活動拠点の整備・充実	目	02 公民館費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)	
1 管理	(1) 保守点検委託等により適正な施設管理に努めました。 (2) 常勤管理人を2人(東海公民館・中玉分館)置きました。
2 運営	(1) 運営審議会(委員8人)を設置しました。 (2) 運営審議会を3回開催(第3回は書面開催)しました。
3 共通	(1) 館主(東海公民館)兼分館長(中玉分館)を置きました。 (2) 第1、第3、第5日曜日及び第2、第4月曜日並びに祝日及び年末年始を除く日を閉館しました。 (3) 新型コロナウイルス感染症拡大防止策として、計104日間、貸館及び事業を中止しました。

東海公民館施設改修工事に係る概算設計(当初)及び実施設計(9月補正)を実施しました。
中玉分館調査設計(12月補正)を実施しました。

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動		東海公民館管理運営関係者数(人)	12	13
活動		東海公民館運営審議会開催回数(回)	1	1	3
成果		東海公民館管理上の不具合・トラブル件数(件)	0	0	0
成果		東海公民館運営上の満足度(%)	83.6	97.0	88.3
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	7	10	1
		オ 一般	3,954	6,596	5,447
		カ 事業費(ア~オ合計)	3,961	6,606	5,448

成果実績 評価	成果状況	(状況) 管理上の不具合・トラブルはありませんでした。しかし、運営上の満足度は、前年度比で8.7ポイント低下しました。 (原因) トイレ洋式化及びロビー空調機設置要望に伴い、施設等に関する満足度が低下したためです。 (余地) 令和4年度実施の施設改修工事により、両要望に応えることとしており、後年度の成果向上が見込まれます。また、引き続き、館区住民の意見や要望を汲みながら、地域に愛され人が集う公民館づくりを行います。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

久良公民館管理運営事業

教育委員会部局 城辺公民館

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	267
施策	02 生涯学習の充実	項	06 社会教育費		
基本 事業	03 生涯学習を行う活動拠点の整備・充実	目	02 公民館費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

- 1 管理 (1)保守点検委託等により適正な施設管理に努めました。
(2)常勤管理人を置きました。
- 2 運営 (1)運営審議会(委員8人)を設置しました。
(2)運営審議会を2回開催しました。
- 3 共通 (1)館主を置きました。
(2)年末年始及び祝日並びに毎週月曜日を除く日を閉館しました。
(3)新型コロナウイルス感染症拡大防止策として、計104日間、貸館及び事業を中止しました。

	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
活動・ 成果 状況	活動	久良公民館管理運営関係者数(人)	11	12	12
	活動	久良公民館運営審議会開催回数(回)	1	1	2
	成果	久良公民館管理上の不具合・トラブル件数(件)	0	0	0
	成果	久良公民館運営上の満足度(%)	96.8	97.0	98.2
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	2	0
		オ 一般	3,477	5,006	3,424
	カ 事業費(ア~オ合計)	3,477	5,008	3,424	

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況)管理上の不具合・トラブルはありませんでした。また、運営上の満足度は最高状態でした。 (原因)館主が地域要望・問題を的確に捉えるとともに、管理人が施設的环境美化及び不具合箇所の早期発見に努めています。 (余地)両成果指標とも最高状態にあるため成果向上余地は小ですが、公民館アンケート等から意見や要望を汲みながら、地域に愛され人が集う公民館づくりを行います。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

緑公民館管理運営事業

教育委員会部局 城辺公民館

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	269
施策	02 生涯学習の充実	項	06 社会教育費		
基本 事業	03 生涯学習を行う活動拠点の整備・充実	目	02 公民館費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

- 1 管理 (1)保守点検委託等により適正な施設管理に努めました。
(2)常勤管理人を置きました。
- 2 運営 (1)運営審議会(委員8人)を設置しました。
(2)運営審議会を2回開催しました。
- 3 共通 (1)館主を置きました。
(2)月曜日並びに祝日及び年末年始を除く日を開館しました。
(3)新型コロナウイルス感染症拡大防止策として、計104日間、貸館及び事業を中止しました。

	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
活動・ 成果 状況	活動	緑公民館管理運営関係者数(人)	11	12	12
	活動	緑公民館運営審議会開催回数(回)	2	2	2
	成果	緑公民館管理上の不具合・トラブル件数(件)	0	0	0
	成果	緑公民館運営上の満足度(%)	98.3	97.9	92.0
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	10	8	2
		オ 一般	4,141	4,024	3,886
	カ 事業費(ア~オ合計)	4,151	4,032	3,888	

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況)管理上の不具合・トラブルはありませんでした。しかし、運営上の満足度は、前年度比で5.9ポイント低下しました。 (原因)施設の老朽化に伴い、施設等に関する満足度が低下したためです。 (余地)令和5年度実施の施設改修工事により、施設に関する要望に応えることとしており、後年度の成果向上が見込まれます。また、引き続き、館区住民の意見や要望を汲みながら、地域に愛され人が集う公民館づくりを行います。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

深浦公民館管理運営事業

教育委員会部局 城辺公民館

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	271
施策	02 生涯学習の充実	項	06 社会教育費		
基本事業	03 生涯学習を行う活動拠点の整備・充実	目	02 公民館費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)	
1 管理	(1)保守点検委託等により適正な施設管理に努めました。 (2)常勤管理人を置きました。
2 運営	(1)運営審議会(委員10名)を設置しました。 (2)運営審議会を2回開催しました。
3 共通	(1)館主を置きました。 (2)年末年始及び祝日並びに火曜日を除く日を閉館しました。 (3)新型コロナウイルス感染症拡大防止策として、計104日間、貸館及び事業を中止しました。

活動・成果状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動		深浦公民館管理運営関係者数(人)	13	14
活動		深浦公民館運営審議会開催回数(回)	1	1	2
成果		深浦公民館管理上の不具合・トラブル件数(件)	0	0	0
成果		深浦公民館運営上の満足度(%)	96.2	98.3	97.1
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	7	12	8
		オ 一般	3,138	2,709	3,844
	カ 事業費(ア~オ合計)		3,145	2,721	3,852

成果実績評価	成果状況	(状況)施設管理上のトラブルもなく運営できました。また、運営上の満足度は、前年度比で1.2ポイント減少しましたが、最高状態を維持しています。 (原因)必要に応じた施設の維持管理や修繕等を実施していることに加え、管理人の環境美化及び衛生管理に関する貢献度の高さが評価されています。 (余地)両成果指標とも最高状態にあるため成果向上余地は小ですが、公民館アンケート等から意見や要望を汲みながら、地域に愛され人が集う公民館づくりを行います。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

一本松公民館管理運営事業

一本松支所 一本松支所

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	271
施策	02 生涯学習の充実	項	06 社会教育費		
基本事業	03 生涯学習を行う活動拠点の整備・充実	目	02 公民館費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)	
1 管理	(1)保守点検等の業務を委託しました。
2 運営	(1)運営審議会委員を10名委嘱しました。 (2)運営審議会を年2回開催しました。
3 共通	(1)分館長・分館主事に公民館支援業務を委託しました。 (2)一本松・正木・上大道公民館と一本松支所の兼任職員館長を1名置きました。 (3)一本松公民館に専任職員主事と兼任職員主事を1名置きます。 (4)年末年始及び祝祭日並びに毎週月曜日を除く日を閉館しました。
新型コロナウイルス感染症拡大防止策として、計104日間、貸館及び事業を中止しました。	

活動・成果状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動		一本松公民館管理運営関係者数(人)	25	13
活動		一本松公民館運営審議会開催回数(回)	2	2	2
成果		一本松公民館管理上の不具合・トラブル件数(件)	0	0	0
成果		一本松公民館運営上の満足度(%)	85.4	98.3	100
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	10	10	4
		オ 一般	6,012	8,841	5,011
		カ 事業費(ア~オ合計)	6,022	8,851	5,015

成果実績評価	成果状況	(状況)一本松公民館増田分館上がり框修繕及びガス給湯器修繕を行いました。 一本松公民館の図書室漏水も修繕しました。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	(原因)すべての分館施設において築年数が経過していますが、早期に不良個所の チェックができ対応できていることが要因です。
	成果向上余地	(余地)利用者や地区住民の生涯学習の場としてふさわしい機能を備えた施設が老 朽化しています。改修範囲が拡大、突発的な損傷が想定されます。そのた め施設点検が必要になっていると思われます。
	大 中 小 なし	

上大道公民館管理運営事業

一本松支所 一本松支所

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	273
施策	02 生涯学習の充実	項	06 社会教育費		
基本事業	03 生涯学習を行う活動拠点の整備・充実	目	02 公民館費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

- 1 運営 (1)運営審議会委員（一本松・正木公民館合同）を10名委嘱しました。
(2)運営審議会を2回/年開催しました。
- 2 共通 (1)兼任職員館長を1名置きました。
(2)非常勤館主を1名置きました。
(3)兼任職員主事を1名置きました。
(4)毎週木曜日午後を開館しました。
感染拡大防止のため、104日間貸館及び各種事業を中止しました。

	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
活動・ 成果 状況	活動	上大道公民館管理運営関係者数(人)	12	13	13
	活動	上大道公民館運営審議会開催回数(回)	2	2	2
	成果	上大道公民館管理上の不具合・トラブル件数(件)	0	0	0
	成果	上大道公民館運営上の満足度(%)	82.9	90.9	80.0
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	624	787	688
	カ 事業費(ア~オ合計)	624	787	688	

成果実績 評価	成果状況	(状況)利用者とのトラブルはなく、事業の成果としては順調です。 令和3年度に実施したアンケート調査による満足度は80.0%で低下しました。 (原因)施設維持管理等を実施しており、修繕件数等が少なかったことが要因とな っています。しかし、施設の老朽化のため利用者からの満足度は低下した ものと思われます。 (余地)利用者の利便性を向上できるような、計画的な施設整備の検討が必要と思 われます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

674]

西海公民館管理運営事業

西海支所 西海支所

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	273
施策	02 生涯学習の充実	項	06 社会教育費		
基本 事業	03 生涯学習を行う活動拠点の整備・充実	目	02 公民館費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)	
1 管理	(1)各種点検及び早期修繕を実施しました。 (2)常勤管理人を1名置きました。
2 運営	(1)運営審議会委員を4名に委嘱しました。 (2)運営審議会を2回開催しました。
3 共通	(1)土曜日、日曜日、祝祭日及び年末年始を除き開館しました。 (2)新型コロナウイルス感染症拡大防止策として、計104日間、貸館及び事業を中止しました。

区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 西海公民館管理運営関係者数(人)	7	7	7	
	活動 西海公民館運営審議会開催回数(回)	1	2	2	
	成果 西海公民館管理上の不具合・トラブル件数(件)	0	0	0	
	成果 西海公民館運営上の満足度(%)	83.7	98.1	98.2	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	43	19	24
		オ 一般	5,611	4,596	4,623
		カ 事業費(ア～オ合計)	5,654	4,615	4,647

成果実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況)施設管理上の不具合もなく、公民館アンケートによる運営上の満足度は前年度比0.1ポイント増加しました。 (原因)各種点検及び早期修繕を実施したことが要因と考えます。 (余地)今後も住民アンケート等による住民の意見を汲みそれを反映した公民館づくりが必要と考えます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

福浦公民館管理運営事業

西海支所 西海支所

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	275
施策	02 生涯学習の充実	項	06 社会教育費		
基本 事業	03 生涯学習を行う活動拠点の整備・充実	目	02 公民館費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)	
1 管理	(1)各種点検及び早期修繕を実施しました。 (2)常勤管理人を福浦公民館に1名置きました。
2 運営	(1)運営審議会委員を5名に委嘱しました。 (2)運営審議会を2回開催しました。
3 共通	(1)福浦公民館主1名、武者泊分館長1名及び武者泊分館主事1名を置きました。 (2)福浦公民館は土曜日、日曜日、祝祭日及び年末年始を除く日を閉館し、武者泊分館は事業実施時閉館しました。 (3)新型コロナウイルス感染症拡大防止策として、計104日間、貸館及び事業を中止しました。

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動		福浦公民館管理運営関係者人数(人)	10	10
活動		福浦公民館運営審議会開催回数(回)	1	2	2
成果		福浦公民館管理上の不具合・トラブル件数(件)	0	0	0
成果		福浦公民館運営上の満足度(%)	92.5	96.6	98.3
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	41	8	4
		オ 一般	4,366	6,196	3,590
		カ 事業費(ア～オ合計)	4,407	6,204	3,594

成果実績 評価	成果状況	(状況)施設管理上の不具合もなく、公民館アンケートによる運営上の満足度は前年比1.7ポイント増加しました。 (原因)各種点検及び早期修繕を実施したことが要因と考えます。 (余地)今後も公民館アンケート等による住民の意見を汲みそれを反映した公民館づくりが必要と考えます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

西浦公民館管理運営事業

西海支所 西海支所

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	275
施策	02 生涯学習の充実	項	06 社会教育費		
基本 事業	03 生涯学習を行う活動拠点の整備・充実	目	02 公民館費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

1 管理	(1)各種点検及び早期修繕を実施しました。
2 運営	(1)運営審議会委員を4名に委嘱しました。 (2)運営審議会を2回開催しました。
3 共通	(1)館主を1名置きました。 (2)土曜日、日曜日、祝祭日及び年末年始を除く、月曜日及び金曜日の午前中開館しました。 (3)新型コロナウイルス感染症拡大防止策として、計104日間、貸館及び事業を中止しました。

区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 西浦公民館管理運営関係者数(人)	6	6	7	
	活動 西浦公民館運営審議会開催回数(回)	1	2	2	
	成果 西浦公民館管理上の不具合・トラブル件数(件)	0	0	0	
	成果 西浦公民館運営上の満足度(%)	73.7	87.5	94.3	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	711	753	659
	カ 事業費(ア～オ合計)	711	753	659	

成果実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況)管理上の不具合もなく、公民館アンケートによる運営上の満足度は前年度比6.8ポイント増加しました。 (原因)各種点検及び早期修繕を実施したことが要因と考えます。 (余地)今後も公民館アンケート等による住民の意見を汲みそれを反映した公民館づくりが必要と考えます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

文化財等調査事業

教育委員会部局 生涯学習課

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	277
施策	02 生涯学習の充実	項	06 社会教育費		
基本事業	04 文化活動の活性化及び地域文化の保護・継承	目	04 文化財保護費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

- ・文化財等について確認調査等を実施し、その内容を周知することで文化財の保護に取り組みます。
 - ・埋蔵文化財包蔵地やその可能性のある土地について、確認調査や試掘調査を行うことで、開発行為や史跡指定に備えます。
- 【R03年度実績】
- ・平城貝塚の航空地形測量委託業務を実施し、平城貝塚が所在する地形を把握しました。
 - ・平城貝塚第8次発掘調査を実施し、平城貝塚の範囲と内容の確認に努めました。
 - ・町内遺跡の試掘確認調査を実施しました。

活動・成果状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動		新規の文化財指定及び指定替えにかかる調査 研究日数 (日)	9	4
活動		埋蔵文化財包蔵地の調査面積 (㎡)	66	10	1,000,000
成果		新規の文化財指定及び指定替え件数(累計) (件)	1	0	0
成果					
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	1,870	1,760	2,530
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	2,598	2,036	2,590
		カ 事業費 (ア～オ合計)	4,468	3,796	5,120

成果実績評価	成果状況	<p>(状況) 新規の文化財指定及び指定替えはありません。しかし、令和3年度に平城貝塚の地形測量並びに第8次発掘調査を実施できたことで、平城貝塚の国史跡指定に向けて前進したと言えます。</p> <p>(原因) 文化庁国庫補助金を活用できたこと、大学教員等の学識経験者から協力が得られたことによります。</p> <p>(余地) 平城貝塚の国史跡指定については、令和6年10月の指定を目標に、調査研究並びに地元への説明と国史跡指定への理解促進に努めます。</p>
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

御荘文化センター図書室運営事業

教育委員会部局 生涯学習課

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	277
施策	02 生涯学習の充実	項	06 社会教育費		
基本 事業	01 生涯学習機会の充実	目	07 御荘文化センター費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)
多くの町民に図書室を利用してもらうため、図書の貸出・購入を行いました。
【R03年度実績】 ・利用者数 2,009人 ・貸出冊数 4,239冊

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	活動	図書購入数 (冊)	186	188
成果	成果	御荘文化センター図書室貸出冊数 (冊)	3,626	4,304	4,239
	成果	御荘文化センター図書室貸出人数 (人)	1,588	1,879	2,009
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	268	272	842
		カ 事業費 (ア～オ合計)	268	272	842

成果 実績 評価	成果状況	(状況) 延べ貸出冊数は1.5%減、延べ貸出人数は6.9%増でした。 (原因) テーマに沿った図書の展示を行い、読書に関心を持ってもらう環境づくりに努めたことが、貸出人数の増加につながったものと考えられます。 (余地) 新刊図書の紹介や図書に関する展示を工夫するなど、さらに読書に関心を持ってもらうことによって、読書人口を増やす余地があるものと思われる。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

御荘文化センター夜間等開放事業

教育委員会部局 生涯学習課

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	277
施策	02 生涯学習の充実	項	06 社会教育費		
基本 事業	01 生涯学習機会の充実	目	07 御荘文化センター費	計画 年度	開始：令和03年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)
<p>学生の下校後の安全な居場所や学習スペースの確保を目的に御荘文化センターの一部施設の夜間開放を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開放施設 1階展示室・町民ギャラリー・ホワイエ、2階ホワイエ ・開放時間 平日20:00まで(年末年始・冬季休業中等を除く) <p>【R03年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用人数 延1,193人(9月から3月) ・ブラインド取付工事 198(千円) ・防犯カメラ設置工事 457(千円) ・備品購入費(机、椅子、スチール書架購入) 719(千円)

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	活動	開放時間(時間)		
成果	活動				0
	成果	利用者数(人)			1,193
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	0	0	1,469
		カ 事業費(ア~オ合計)	0	0	1,469

成果実績 評価	成果状況	(状況) 令和3年度9月から実施した夜間開放事業ですが3月までの間で延1,193人の利用がありました。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	(原因) 高校生の下校後の安全な居場所や学習スペースとしての需要が高かったことが要因であると考えます。 (余地) 年間を通して実施することで更なる利用者の増加が見込めます。
	成果向上余地	
	大	
	中	
	小	
	なし	

御荘文化センター管理運営事業

御荘支所 御荘支所

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	279
施策	02 生涯学習の充実	項	06 社会教育費		
基本事業	03 生涯学習を行う活動拠点の整備・充実	目	07 御荘文化センター費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)	
<p>施設維持管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種保守点検を実施しました。 ・老朽化・経年劣化等で修繕が必要な個所については修繕を実施しました。 <p>運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎週火曜日及び年末年始を除く日を休館しました。 ・新型コロナ対策として104日休館（火曜日含む）しました。 <p>空調設備改修工事を総事業費83,050,000円で実施している。 令和3年度の事業費は16,000,000円です。</p> <p>【ふるさとづくり基金充当 5,338千円】</p>	

活動・成果状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動		維持修繕件数 (件)	13	12
活動		貸館件数 (件)	1,146	598	551
成果		御荘文化センター施設維持管理上のトラブル・不具合件数 (件)	2	0	0
成果		御荘文化センターの利用者数 (人)	56,015	15,712	23,680
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	30,000	18,800	19,200
		エ その他	1,284	850	6,202
		オ 一般	24,966	38,603	11,015
		カ 事業費 (ア～オ合計)	56,250	58,253	36,417

成果実績評価	成果状況	<p>(状況) 施設管理上の不具合は発生しましたが、利用者とのトラブルはなく、事業の成果としてはほぼ順調でした。ただ新型コロナウイルスの影響があり利用者数は激減しました。</p> <p>(原因) 施設維持管理や修繕等を実施していることもあり、トラブルの発生は抑えられています。</p> <p>(余地) 上記原因から、環境の回復に伴い成果向上(回復)は十分見込まれると考えます。</p>
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

児童生徒教職員健康管理事業

教育委員会部局 学校教育課

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	281
施策	01 学校教育の充実	項	07 保健体育費		
基本 事業	03 健やかな体の育成	目	01 保健体育総務費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)
<p>定期健康診断や学校環境衛生検査等を実施し、安心安全で健康的な環境づくりを行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校医、学校歯科医、学校薬剤師の委嘱 ・児童生徒定期健康診断 ・学校環境衛生検査 ・アレルギーのある児童生徒の給食対応 ・フッ素洗口事業 ・教職員の定期検診及びストレスチェック

活動・ 成果状 況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動		児童生徒定期健康診断及び学校環境検査受診人数(人)	1,182	1,132
活動		学校給食におけるアレルギー対応数(人)	22	28	29
成果		学校給食アレルギー対応児童生徒の事故等発生数(人)	0	0	0
成果					
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	189	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	6,424	6,496	6,397
		カ 事業費(ア～オ合計)	6,424	6,685	6,397

成果実績 評価	成果状況	(状況)アレルギー対応児童生徒の事故はなく、事業成果は順調です。 (原因)保護者、学校及び給食センターとの連携が図られ、アレルギー対応給食の 管理が適切に行われています。 (余地)今後も継続して、適切な指導・管理を実施していきます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

学校保健 体育会支援事業

教育委員会部局 学校教育課

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	281
施策	01 学校教育の充実	項	07 保健体育費		
基本 事業	99 施策の総合推進	目	01 保健体育総務費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)	
<ul style="list-style-type: none"> ・学校保健研究会の開催に要する経費を負担しました。 ・学校体育会の開催に要する経費を負担しました。 ・学校体育会の要望する備品等について、予算の範囲内において購入し運営の促進を図りました。 ・中学校部活動外部指導員謝礼を支払いしました。 <p>【ふるさとづくり基金充当 1,273千円】</p>	

活動・ 成果状 況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	活動	学校体育会等開催回数 (回)	6	4
活動	活動	大会等の回数 (回)	7	5	5
成果	成果	参加人数 (人)	1,300	1,042	1,040
成果	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	1,273
		オ 一般	2,772	1,649	952
		カ 事業費 (ア～オ合計)	2,772	1,649	2,225

成果実績 評価	成果状況	(状況) 団体競技では上位大会の活躍が難しくなっています。 (原因) 児童生徒の減少で、団体競技の定数確保ができない場合などの事例がでてきています。 (余地) 中学校における合同チームへの指導や外部指導者等の取り組みをする必要があります。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	
	成果向上余地	
	大	
	中	
	小	
	なし	

スポーツ少年団事業

教育委員会部局 生涯学習課

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	281
施策	03 スポーツの充実	項	07 保健体育費		
基本 事業	01 各種スポーツ団体及び指導者の育成	目	02 保健体育振興費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)
<p>団員の競技力、体力向上を推進するため町スポーツ少年大会を開催しました。 また、団員の競技力、体力向上並びに健全育成を推進するため各スポーツ少年団単位団に対して補助金を交付しました。</p> <p>【R03年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催種目 2種目(ソフトボール、サッカー) ・中止種目 4種目(相撲、ミニバスケットボール、バレー、剣道) <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、安全な大会運営が困難であったため。</p> <p>【ふるさとづくり基金充当 1,400千円】</p>

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	活動	スポーツ少年大会の開催回数(回)	5	4
成果	活動	スポーツ少年団への加入数(人)	319	273	245
	成果	スポーツ少年団への加入率(%)	44.5	39.3	35.5
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	1,400
		オ 一般	2,215	2,076	182
		カ 事業費(ア～オ合計)	2,215	2,076	1,582

成果 実績 評価	成果状況	(状況) 補助金を交付するなどの活動支援を行っていますが、スポーツ少年団の加入率は前年度に比べ3.8%低下しました。 (原因) 少子化やスポーツ少年団の解散等に伴い、スポーツ習慣がない児童の増加が考えられます。 (余地) 未加入の児童向けに、活動中のスポーツ少年団を紹介することにより、加入率の向上を図ります。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

スポーツ協会補助事業

教育委員会部局 生涯学習課

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	281
施策	03 スポーツの充実	項	07 保健体育費		
基本 事業	01 各種スポーツ団体及び指導者の育成	目	02 保健体育振興費	計画 年度	開始：平成17年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

愛南町スポーツ協会が主催する事業及び加盟種目団体と共催する事業を支援するために、補助金を交付しました。

【R03年度実績】

・補助金額 1,680千円（コロナ禍による事業自粛のため、720千円減額）

<活動内容>

・会議 総会 1回（書面開催）、理事会 3回（書面開催3回）、常任理事会 1回
 ・事業 スポーツフェスタin愛南（10～12月）延べ8日間 8種目12競技 603名
 ふれあい健康マラソン大会（2月） コロナ禍による中止

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	補助団体数 (件)		14	14
活動	補助金額 (円)		2,400,000	1,200,000	1,680,000
成果	スポーツ協会主催大会数 (回)		2	1	1
成果	スポーツ協会主催大会参加者数 (人)		933	388	603
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	2,400	1,200	1,680
		カ 事業費 (ア～オ合計)	2,400	1,200	1,680

成果実績 評価	成果状況	<p>(状況) 前年比で大会数は100%、参加者数は155% (215人の増) でした。 (原因) コロナ禍ではありましたが、スポーツフェスタin愛南では、総合開会式を未実施とし密を避け、その他徹底した感染予防対策を講じた上での分散開催とすることが、広く周知できたことによります。なお、ふれあい健康マラソンは、オミクロン株の猛威により中止となりました。 (余地) コロナ禍が続く中、感染予防対策を講じた上で活動を再開していき、予定通り事業が実施できれば、成果指標値は向上するものと見込まれます。引き続き加盟種目団体と連携し事業の充実を図ります。</p>
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

[708]

中学校社会体育等活動事業

教育委員会部局 生涯学習課

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	281
施策	03 スポーツの充実	項	07 保健体育費		
基本事業	02 各種スポーツ活動への参加機会の充実	目	02 保健体育振興費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)	
各中学校生徒の積極的な社会体育活動等への取組を促進するため、補助金を交付しました。	
【R03年度実績】	
・対象校	町内中学校 5校
・部活数	33
・対象部員数	390名(年間延べ活動人数1,041名)
・補助金額	2,194,000円

活動・成果状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	補助件数(件)		5	5
活動	補助金額(円)		2,704,000	2,724,000	2,194,000
成果	中学生の社会体育活動参加者数(人)		2,570	732	1,041
成果					
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	2,704	2,724	2,194
		カ 事業費(ア～オ合計)	2,704	2,724	2,194

成果実績評価	成果状況	(状況) 中学生の社会体育活動(文化部含む)参加者数が前年に比べ42.2%向上しました。 (原因) 前年度と比較して、より多くの大会が開催されたことによります。 (余地) 変化する感染状況の中、各種大会が開催されるようになれば中学生の社会体育活動参加者数は増加すると考えられます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	
	成果向上余地	
	大	
	中	
	小	
	なし	

愛南町いやしの郷トライアスロン大会実行委員会補助事業

教育委員会部局 生涯学習課

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	281
施策	03 スポーツの充実	項	07 保健体育費		
基本 事業	04 スポーツツーリズムの推進	目	02 保健体育振興費	計画 年度	開始：平成24年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

- ・第10回トライアスロン大会の開催に向けて準備を行いました。
 - ・実行委員会（書面表決）を開催しました。
- 【R03年度実績】
- ・令和4年度開催予定としていた第10回大会は新型コロナウイルス感染拡大の影響により実行委員会（書面表決）において再延期を決定しました。
 - ・新型コロナウイルスの影響により開催に向けた準備業務が計画通り出来なかったため補助金を減額しました。
トライアスロン大会実行委員会補助金 360（千円）

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	大会参加者数（人）		1,282	0
活動	補助金額（円）		8,650,000	1,760,000	690,000
成果	愛南町いやしの郷トライアスロン大会エントリー人数（人）		396	346	0
成果	協賛金額（円）		2,246,000	0	0
事業費 （千円）	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	4,000	0	0
		オ 一般	4,660	1,760	690
		カ 事業費（ア～オ合計）	8,660	1,760	690

成果実績 評価	成果状況	(状況)大会の延期によりエントリーも協賛もありませんでした。 (原因)新型コロナウイルスの感染拡大により大会が延期となったためです。 (余地)会を重ねるたびに大会運営も洗練されており、コロナの収束により大会が開催できれば参加者は通常通り確保出来ると思われま。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	
	成果向上余地	
	大	
	中	
	小	
	なし	

内海運動公園管理運営事業

教育委員会部局 生涯学習課

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	283
施策	03 スポーツの充実	項	07 保健体育費		
基本事業	03 スポーツ施設の利用促進	目	03 体育施設費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)	
<p>施設利用者の利便性向上や安全性確保のため適切な維持管理を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開館時間 7時から22時まで ・休業日 なし ・予約 内海公民館 <p>【R03利用実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間利用人数 377人 	

	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
活動・ 成果 状況	活動	修繕件数 (件)	0	1	0
	活動				0
	成果	内海運動公園の施設維持管理上の不具合・トラブル件数 (件)	0	0	0
	成果	内海運動公園年間利用者数 (人)	707	465	377
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	34	3	1
		オ 一般	764	682	666
	カ 事業費 (ア～オ合計)	798	685	667	

成果実績 評価	成果状況	(状況) 前年度から年間利用者数が18.9%減少しています。 (原因) 新型コロナウイルス感染拡大防止のために施設を利用休止したことが要因 であると考えます。 (余地) コロナ収束後も成果向上の余地は少ないと考えます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

[14]

一本松体育館管理運営事業

教育委員会部局 生涯学習課

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	283
施策	03 スポーツの充実	項	07 保健体育費		
基本事業	03 スポーツ施設の利用促進	目	03 体育施設費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

施設利用者の利便性向上や安全性確保のため適切な維持管理を行いました。

- ・開館時間 8時30分から22時まで
- ・休館日 年末年始
- ・予約 一本松公民館

【R03年度実績】

- ・年間利用人数 2,322人
- ・修繕3件(消防設備、誘導灯、ガラス)
- ・外壁軒天部改修工事を実施しました。(4,210千円)

活動・成果状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	活動	修繕件数(件)	0	4
成果	成果	一本松体育館年間利用者数(人)	4,712	2,690	2,322
	成果	一本松体育館の運営 維持管理上の事故・トラブル件数(件)	0	0	0
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	9	100	1,269
		オ 一般	1,234	1,149	4,202
		カ 事業費(ア~オ合計)	1,243	1,249	5,471

成果実績評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況)前年度から施設年間利用者数が13.7%低下しています。 (原因)新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う施設の利用中止と利用団体による活動自粛が要因であると考えます。 (余地)今後の利用については、コロナ収束によって施設が通常通り使用できれば利用者の増加が見込めます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

西海体育館管理運営事業

教育委員会部局 生涯学習課

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	283
施策	03 スポーツの充実	項	07 保健体育費		
基本 事業	03 スポーツ施設の利用促進	目	03 体育施設費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

利用者の利便性向上や安全性確保ため適切な維持管理を行いました。

- ・開館時間 8時30分から22時まで
- ・休館日 年末年始
- ・予約 西海公民館

【R03利用実績】

- ・年間利用人数 1,916人
- ・修繕3件(誘導灯、消火栓ホース、ポンプ室ドアノブ)

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	活動	修繕件数(件)	0	2
成果	活動				0
	成果	西海体育館年間利用者数(人)	3,245	2,151	1,916
成果	成果	西海体育館の運営・維持管理上の事故・トラブル件数(件)	0	0	0
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	95	81
		オ 一般	1,170	675	649
		カ 事業費(ア~オ合計)	1,170	770	730

成果実績 評価	成果状況	(状況)前年度から施設年間利用者数が10.9%減少しています。 (原因)新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う施設の使用休止と利用団体による活動自粛が要因であると考えます。 (余地)今後の利用については、コロナ収束によって施設が通常通り使用できれば利用者の増加が見込めます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	
	成果向上余地	
	大	
	中	
	小	
	なし	

学校開放施設管理運営事業

教育委員会部局 生涯学習課

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	283
施策	03 スポーツの充実	項	07 保健体育費		
基本事業	03 スポーツ施設の利用促進	目	03 体育施設費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

利用者の利便性向上や安全性の確保のため適切な維持管理を行いました。

- ・対 象 体育館及び校庭
- ・開 放 日 日曜日・祝日・長期休業・時間外・平日
- ・開館時間 4月～10月 / 午前9時から午後5時まで、午後7時から午後10時まで
11月～3月 / 午前9時から午後5時まで、午後6時から午後10時まで
- ・予 約 各校区公民館

【R03年度実績】

- ・年間利用人数 21,941人
- ・修繕3件 (城辺小学校照明配電盤キーハンドル、西浦体育館シロアリ駆除、東海小学校体育館照明スイッチ)

活動・成果状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	活動	修繕件数 (件)	12	5
成果	活動			0	0
	成果	学校開放施設年間利用者数 (人)	25,288	20,282	21,941
事業費 (千円)	成果	学校開放施設の運営 維持管理上の事故・トラブル件数 (件)	0	0	0
	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	812	505	397
		オ 一般	3,081	1,529	1,522
	カ 事業費 (ア～オ合計)	3,893	2,034	1,919	

成果実績評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) 前年度から年間利用者数が8.2%向上しました。 (原因) 新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い施設を利用中止としたため昨年同様の利用人数になったと考えます。 (余地) 今後の利用については、コロナ収束により施設が通常通り使用できれば利用者の増加が見込めます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

水泳・エアロビクス教室運営事業

教育委員会部局 御荘B&G海洋センター

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	285
施策	03 スポーツの充実	項	07 保健体育費		
基本事業	02 各種スポーツ活動への参加機会の充実	目	04 御荘海洋センター費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)
年間732回の教室を開催しました。 水泳教室：640回、受講者数：5,491名 エアロビクス教室：60回、496名 キッズダンス教室：32回、94名（特別教室：2回、6名）

区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 水泳・エアロビクス教室の開催回数 (回)	1,116	903	732	
	活動				
	成果 水泳・エアロビクス教室の受講者数 (人)	10,448	8,256	6,081	
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	10,002	446	622
		オ 一般	0	355	0
	カ 事業費 (ア～オ合計)	10,002	801	622	

成果実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) 受講者数は、昨年度より2,175人減少しており、成果は低下しています。 (原因) 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、5・6・9・2月の教室を中止したことや、教室在籍人数の減少が、原因だと考えられます。 (昨年度：約250名、令和3年度：約230名) (余地) 新型コロナウイルス感染症の状況を把握しながら、感染予防対策を行い、事業実施に努めます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

御荘海洋センター管理運営事業

教育委員会部局 御荘B&G海洋センター

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	285
施策	03 スポーツの充実	項	07 保健体育費		
基本 事業	03 スポーツ施設の利用促進	目	04 御荘海洋センター費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

地域住民のスポーツ推進と健康づくりの拠点として安全かつ快適に利用できるよう設備の点検・整備等、適切な施設の維持管理を行いました。
新型コロナウイルス感染症対策による臨時休館がありました。開館時には感染症予防の対策を行い安全管理に努めました。
海洋性スポーツ普及のため、舟艇等の整備、配備を行いました。

可搬式階段昇降車1台を購入(943千円)

	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
活動・ 成果 状況	活動	施設維持管理上の修繕件数(件)	10	11	20
	活動				
	成果	御荘海洋センター施設維持管理上の不具合により業務に支障をきたした件数(件)	1	1	0
	成果	御荘海洋センター施設利用者数(人)	69,646	52,899	41,321
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	144	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	8,327	4,793	9,578
		オ 一般	12,665	13,074	13,087
	カ 事業費(ア~オ合計)	20,992	18,011	22,665	

成果実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況)施設の利用状況は昨年度より11,578名減の41,321名で成果としては低下しました。 (原因)新型コロナウイルス感染拡大防止のため、延べ89日を休館したことが原因だと考えます。 (余地)新型コロナウイルス感染症が終息すれば、例年並みの水準に戻ると考えます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

学校給食センター- 管理運営事業

教育委員会部局 学校給食センター

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	287
施策	01 学校教育の充実	項	07 保健体育費		
基本事業	03 健やかな体の育成	目	05 学校給食費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

・平成25年稼働の統合学校給食センターで、「学校給食衛生管理基準」に基づくドライ方式を導入し、徹底した衛生管理により給食を提供しています。
 ・安心・安全な給食提供を最優先課題として、栄養教諭を中心に、地域に密着した食育に取り組んでいます。
 ・令和3年度は、園児約20名、児童生徒約1090名、教職員約230名の1340名に提供しました。
 ・給食費は、幼稚園及び小学校が250円、中学校が300円（いずれも教職員同額）

区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績	
活動・ 成果 状況	活動 給食提供日数(日)	181	188	200	
	活動 給食提供人数(人)	242,812	252,663	254,106	
	成果 残食割合(食べ残しの割合)(%)	1.38	0.79	0.66	
	成果 給食調理上の衛生事故件数(件)	10	11	8	
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	130	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	68,402	70,580	70,541
		オ 一般	60,507	27,572	34,857
		カ 事業費(ア~オ合計)	128,909	98,282	105,398

成果実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況)異物混入は、年間10~15件で推移していましたが、令和3年度は8件に抑えられています。 (原因)主な混入物である髪の毛やビニール片など、調理場での目視による発見に努めています。 (余地)下処理や調理中のチェックでも混入物の取り除きを行っていますが、ことあるごとに注意喚起を行い、調理中の混入もしないように注意していきます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

[27]

要保護及び準要保護児童生徒給食援助事業

教育委員会部局 学校教育課

政策	05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり	款	10 教育費	決算書 ページ	289
施策	01 学校教育の充実	項	07 保健体育費		
基本事業	99 施策の総合推進	目	05 学校給食費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)	
<p>経済的理由により就学困難な生徒に対して就学奨励のために必要な援助を与え、全ての生徒に義務教育の円滑な実施を図りました。 援助を希望する者は、学校を通じて申請を行い、教育委員会の審査を受け認否を決定しました。 審査結果を申請者へ通知しました。 令和3年度は、児童生徒176名に対し給食援助を行いました。</p>	

活動・成果状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	活動	援助した生徒数(人)	168	175
成果	成果	就学援助受給者で給食費助成を受けている割合(%)	100	100	100
	成果	就学援助受給者での給食費滞納額(円)	0	0	0
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	482	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	7,932	8,526	8,109
		カ 事業費(ア~オ合計)	7,932	9,008	8,109

成果実績評価	成果状況	(状況) 援助した人数は昨年度と同程度です。 (原因) 対象者に大幅な変化がなかったものと考えます。 (余地) 法令に基づくものであるため、法律に変更がない限り余地はないと考えます。ただし、現状を維持していくため事業の継続は必要です。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

特 別 会 計

2 特別会計に関する報告

【国民健康保険特別会計】

(1) 総括

愛媛県が市町とともに財政運営の責任主体として、安定的な財政運営や効率的な事業確保など、中心的な役割を担うことにより国民健康保険の安定化に努めています。市町は、資格管理、保険給付、保健事業等、地域におけるきめ細かい事業を引き続き担います。

令和3年度国民健康保険特別会計の予算額は、当初予算で3,061,000千円を計上していましたが、医療費の動向等により予算補正の結果、6,095千円を増額し、3,067,095千円の予算総額となりました。

決算額は歳入が、3,024,028,007円、歳出が3,009,192,815円で収支差引14,835,192円の剰余金を生じました。前年度対比で歳入が3.24%の減、歳出が2.25%の減となりました。

また、保険税現年度分の収納率は、医療分が98.04%、後期分が98.02%、介護分が96.70%、合算した合計では97.93%で昨年度より7.3%の増となりました。

歳入については保険税が予算額に対して12,445,893円の増収、県支出金においては予算額に対し42,771,035円の減収となり、歳出については保険給付費と予備費において不用額55,596,218円を生じました。

(2) 歳入

(ア) 国民健康保険税

令和3年度の国民健康保険税は平成26年度の税率を変更せずに据え置くこととしました。当初予算においては462,533千円を計上していましたが、最終調定額は492,521,652円、収入済額は464,562,893円となりました。

区 分	調 定 額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収納率	未還付分
	円	円	円	円	%	円
現年度分	459,134,800	449,627,607	0	9,512,893	97.93	5,700
医療分	325,933,000	319,533,794	0	6,403,705	98.04	4,499
後期分	97,713,300	95,777,336	0	1,937,165	98.02	1,201
介護分	35,488,500	34,316,477	0	1,172,023	96.70	0
滞納繰越分	33,386,852	14,935,286	1,530,320	16,921,246	44.73	0
医療分	22,468,316	10,119,590	1,024,057	11,324,669	45.04	0
後期分	6,782,165	3,074,287	272,135	3,435,743	45.33	0
介護分	4,136,371	1,741,409	234,128	2,160,834	42.10	0
合 計	492,521,652	464,562,893	1,530,320	26,434,139	94.32	5,700

※収入済額には、未還付分が含まれています。

(現 年 度 分 保 険 税 の 説 明)

区 分	金 額	備 考
1 世帯当たり調定額	111,090 円	世帯数 4,133 世帯 (年度平均)
1 人当たり調定額	71,427 円	被保険者数 6,428 人(年度平均)

(イ) 国庫支出金

新型コロナウイルス感染症対応の保険税減免額に対する災害臨時特例補助金は 190,000 円でした。

(ウ) 県支出金

予算額 2,277,337 千円に対して決算額 2,234,565,965 円で 42,771,035 円の減収となりました。主な要因として、保険給付費等交付金（普通交付金）が 45,860,900 円の減収、特別調整交付金分が 3,122,000 円の増収が上げられます。

科 目		予 算 額	決 算 額	差 額
保 険 給 付 費 等 交 付 金	保 険 給 付 費 等 交 付 金 (普 通 交 付 金)	円 2,245,862,000	円 2,200,001,100	円 △ 45,860,900
	保 険 給 付 費 等 交 付 金 (特 別 交 付 金)	31,053,000	34,234,865	3,181,865
	保 険 者 努 力 支 援 分	14,368,000	14,368,000	0
	特 別 調 整 交 付 金 分 (市 町 村 向 け)	3,205,000	6,327,000	3,122,000
	都道府県繰入金(2号分)	5,150,000	5,209,865	59,865
	特定健康診査等負担金	8,330,000	8,330,000	0
健康増進事業費県補助金		421,000	330,000	△ 91,000
財政安定化基金交付金		1,000	0	△ 1,000
合 計		2,277,337,000	2,234,565,965	△ 42,771,035

(3) 歳 出

予算額 3,067,095 千円に対して決算額は 3,009,192,815 円となりました。歳出の内 73.34% を占める保険給付費の決算額は 2,207,008,782 円となり、47,284,218 円の不用額を生じました。

令和 3 年度の療養諸費の保険者負担分は年間ベースで対前年比 1.3% の減となりました。

(ア) 療養諸費の保険者負担分（一般、退職者分療養給付費及び療養費）の状況

区 分	本 年 度	前 年 度	増減率	備 考
(保険者負担) 町 負 担 金	円 1,900,400,555	円 1,925,896,100	% △1.3	

(イ) 納付金

医 療 給 付 費 分	524,650,551 円
後期高齢者支援金等分	168,148,598 円
介 護 納 付 金	58,042,781 円

(ウ) その他の給付費

高 額 療 養 費	11,924 件	293,985,710 円		
出産育児一時金	11 件	4,620,000 円	(1 件	420,000 円)
葬 祭 費	60 件	1,200,000 円	(1 件	20,000 円)

(エ) 特定健康診査・特定保健指導（補助対象分）

区 分	対象者数	受診人数	受診率	補助対象事業費
特定健康診査	人 5,491	人 2,056	% 37.44	円 19,232,764
特定保健指導	211	171	81.04	93,885

(オ) 国保加入率の状況（3月末日現在）

区 分	本年度		前年度		比較増減	
	人員等	加入率	人員等	加入率	人員等	加入率
加入世帯	世帯 4,081	% 40.60	世帯 4,158	% 40.95	世帯 △77	ポイント △0.35
被保険者数	6,267	31.54	6,536	32.20	△269	△0.66

(カ) 決算収支 1人当たり 額（3月末日現在加入者）

収 入	482,532 円	(対前年度比	0.92 %)
支 出	480,165 円	(対前年度比	1.94 %)
収 支 差 引	2,367 円	(対前年度比	△66.84 %)

主要な施策の成果については、次のとおりです。

特定健康診査事業

町長部局 町民課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	06 保健事業費	決算書 ページ	325
施策	04 健康・医療体制の充実	項	01 特定健康診査等事業費	計画 年度	
基本 事業	02 医療保険制度の健全運営	目	01 特定健康診査等事業費		開始：平成20年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

疾病疑いのある者などの早期発見と早期治療のため、特定健診を実施しました。

〔会場〕
・集団健診...各地区の公民館・集会所等で実施（4月～11月）
・個別健診...委託医療機関で実施（町内では11医療機関）（5月～3月）

〔回数〕
・集団は年50回実施、個別は5月以降随時実施

〔内容〕
・全ての受診者が受診する項目（基本項目）と健診結果において基準に該当した者に対して実施する項目（詳細項目）からなります。自己負担：無料

	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
活動・ 成果 状況	活動	健診実施回数(回)	53	46	50
	活動				
	成果	特定健診受診率(%)	38.6	34.6	37.4
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	19,179	12,362	12,850
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	5,471	11,371	12,599
		オ 一般	0	0	0
	カ 事業費(ア～オ合計)		24,650	23,733	25,449

成果 実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	<p>（状況）前年度と比べ、受診率は、2.8ポイント増加となっておりますが、令和元年度と比較すると減少しています。</p> <p>（原因）新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、感染対策から事業の実施変更や受診者が健診を控える動きがあったことが原因と考えられます。</p> <p>（余地）今後も継続して新型コロナウイルス感染症対策を実施しながら、受診率の向上を目指していきます。</p>
	成果向上余地 大 中 小 なし	

[74]

【後期高齢者医療特別会計】

(1) 総括

後期高齢者医療制度は、75歳以上及び65歳から74歳の一定の障がいがある方が被保険者となっており、制度の運営は愛媛県内全ての市町が加入する「愛媛県後期高齢者医療広域連合」と、市町とで役割分担をしています。

令和3年度後期高齢者医療特別会計の予算額は、当初予算で322,400千円を計上していましたが、後期高齢者医療広域連合に対する負担金の増等により予算補正の結果、6,360千円の増額となり、328,760千円の予算総額となりました。

決算額は歳入が、334,130,505円、歳出が321,303,371円で収支差引12,827,134円の剰余金を生じました。

また、保険料現年度分の収納率は、特別徴収分が100.00%、普通徴収分が99.61%、現年度分と滞納繰越分の合計では99.74%となりました。

歳入については保険料が予算額に対して5,535,750円の増となりました。

歳出については広域連合納付金において不用額6,174,695円を生じました。

(2) 歳入

(ア) 後期高齢者医療保険料

令和3年度の後期高齢者医療保険料は、当初予算においては203,262千円を計上していましたが、最終調定額は209,247,440円、収入済額は208,720,750円となりました。

区 分	調 定 額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収納率	未還付分
現年度分	円 208,826,970	円 208,497,080	円 0	円 341,190	% 99.84	円 11,300
特別徴収分	120,387,390	120,398,690	0	0	100.00	11,300
普通徴収分	88,439,580	88,098,390	0	341,190	99.61	0
滞納繰越	420,470	223,670	71,550	125,250	53.20	0
普通徴収分	420,470	223,670	71,550	125,250	53.20	0
合 計	209,247,440	208,720,750	71,550	466,440	99.74	11,300

※収入済額には、未還付分が含まれています。

(現年度保険料の説明)

区 分	金 額	備 考
1人当たり調定額	45,948円	被保険者数4,554人(年度平均)

(イ) 繰入金

予算額 115,149 千円に対して決算額 115,065,705 円となりました。

科 目	予算額	決 算 額	差 額
	円	円	円
保険基盤安定繰入金	105,056,000	105,055,899	△101
広域連合事務費繰入金	8,910,000	8,909,806	△194
その他繰入金	1,183,000	1,100,000	△83,000
合 計	115,149,000	115,065,705	△83,295

(3) 歳 出

予算額 328,760 千円に対して決算額は 321,303,371 円となりました。歳出の内 99.66% を占める広域連合納付金の決算額は 320,220,305 円となり、6,174,695 円の不用額を生じました。

〈広域連合納付金内訳〉

科 目	予算額	決 算 額	差 額
	円	円	円
保 険 料	212,379,000	206,253,500	△6,125,500
保険基盤安定	105,056,000	105,055,899	△101
事 務 費	8,910,000	8,909,806	△194
延 滞 金	50,000	1,100	△48,900
合 計	326,395,000	320,220,305	△6,174,695

【介護保険特別会計】

(1) 総括

予算総額は、3,249,626千円、決算額では歳入が3,225,014,303円、歳出が3,198,135,523円、収支差引26,878,780円の剰余金を生じました。剰余金のうち、介護給付費の精算により国庫負担金2,044,270円、支払基金交付金3,213,445円が、地域支援事業費の精算により国庫交付金2,651,669円、支払基金交付金1,866,058円及び県費交付金1,498,667円、総計で11,274,109円が次年度返還となっています。

介護給付費に係る財源の負担割合は、国庫負担金20.0%（施設分は15.0%）、調整交付金8.94%、支払基金交付金27.0%、県負担金12.5%（施設分は17.5%）、町負担金12.5%となっています。

地域支援事業費に係る財源の負担割合は、「介護予防・日常生活支援総合事業」と「包括的支援事業及び任意事業」で負担割合が異なっています。介護予防・日常生活支援総合事業の負担割合は国庫補助金25.0%、支払基金交付金27.0%、県補助金12.5%、町負担金12.5%となっています。

介護給付費及び地域支援事業費に係る第1号被保険者保険料の割合は17.2%となっています。収納率は、現年度分99.6%で、滞納繰越分を含めると98.97%となっています。

介護認定審査会は、3合議体21人の委員で設置・運営をしており、認定に係る訪問調査は、在宅1,627件、施設296件の調査を行いました。

(2) 第1号被保険者数

令和4年3月末現在

区 分	人 数	備 考
65歳以上75歳未満	4,365人	
75歳以上	4,700人	
合 計	9,065人	

(3) 第1号被保険者所得段階別数

令和4年3月末現在

所得段階	保険料算出	被保険者数	構成率	保険料(年額)
第1段階	基準額×0.30	2,224人	24.53%	22,000円
第2段階	基準額×0.50	1,368人	15.09%	36,600円
第3段階	基準額×0.70	875人	9.65%	51,200円
第4段階	基準額×0.90	926人	10.22%	65,900円
第5段階	基準額×1.00	1,074人	11.85%	73,200円
第6段階	基準額×1.20	1,260人	13.90%	87,800円
第7段階	基準額×1.30	805人	8.88%	95,200円
第8段階	基準額×1.50	271人	2.99%	109,800円
第9段階	基準額×1.70	262人	2.89%	124,400円
合計	—	9,065人	100%	—

(4) 第1号被保険者介護保険料収納状況

(単位:円)

区分	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収納率	未還付分
特別徴収	495,146,600	495,192,380	0	0	100%	45,780
普通徴収	36,326,600	34,200,744	0	2,125,856	94.15%	0
現年合計	531,473,200	529,393,124	0	2,125,856	99.60%	45,780
滞納繰越分	4,435,838	1,044,962	872,100	2,518,776	23.56%	0
合計	535,909,038	530,438,086	872,100	4,644,632	98.97%	45,780

※収入済額には、未還付分が含まれています。

(5) 要介護(要支援)認定者数(第2号被保険者含む)

令和4年3月末現在

認定区分	要介護(要支援)認定者数	構成率	備考
要支援1	228人	12.17%	
要支援2	260人	13.88%	
要介護1	353人	18.85%	
要介護2	289人	15.43%	
要介護3	271人	14.47%	
要介護4	280人	14.95%	
要介護5	192人	10.25%	
合計	1,873人	100%	(うち2号被保険者認定者数23人)

認定率: 20.61% (認定者数合計 / (第1号被保険者数+第2号被保険者認定者数))

(6) 居宅介護(介護予防)サービス受給者数(第2号被保険者含む)

令和4年3月利用分

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
80人	141人	255人	217人	141人	91人	43人	968人

(7) 地域密着型（介護予防）サービス受給者数（第2号被保険者含む） 令和4年3月利用分

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
0人	0人	110人	125人	86人	51人	27人	399人

(8) 施設介護サービス受給者数（第2号被保険者含む） 令和4年3月利用分

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
0人	0人	11人	12人	78人	149人	120人	370人

(9) 介護給付費の状況（介護給付・予防給付）

科目	累計件数	給付費（円）	備考
居宅（介護予防）サービス	30,955	920,912,408	
訪問介護	4,057	251,458,780	
訪問入浴介護	289	14,828,162	
訪問看護	2,135	72,386,173	
訪問リハビリテーション	0	0	
通所介護	1,053	55,769,131	
通所リハビリテーション	1,284	78,629,163	
福祉用具貸与	7,860	73,480,599	
短期入所	1,989	193,433,101	
居宅療養管理指導	395	2,335,300	
特定施設入居者生活介護	79	12,816,732	
介護予防支援・居宅介護支援計画	11,470	151,913,238	
福祉用具購入	179	4,204,093	
住宅改修	165	9,657,936	
地域密着型（介護予防）サービス	5,097	630,010,178	
認知症対応型共同生活（短期利用含）	1,282	328,159,601	
認知症対応型通所介護	402	28,323,810	
小規模多機能型居宅介護	138	25,863,300	
定期巡回・随時対応型訪問看護介護	114	20,141,327	
複合型サービス	254	51,515,388	
地域密着型通所介護	2,907	176,006,752	
施設サービス	4,431	1,202,986,218	
介護老人福祉施設	3,254	849,479,792	
介護老人保健施設	1,155	345,287,296	
介護医療院	22	8,219,130	
介護療養型医療施設	0	0	
高額介護サービス	6,316	72,418,493	
高額医療合算介護サービス	385	8,516,793	
特定入所者介護（介護予防）サービス	4,365	141,463,187	
審査支払手数料	40,136	3,106,917	
合計	91,685	2,979,414,194	

(10) 地域支援事業費の状況

科目	事業費(円)	備考
1 介護予防・日常生活支援総合事業費	74,285,499	
(1) 訪問型サービス事業 (第1号訪問事業)	27,389,949	
ア訪問介護相当サービス	6,723,819	
イ訪問型サービスA (緩和した基準によるサービス)	20,666,130	
(2) 通所型サービス事業 (第1号通所事業)	36,095,500	
ア通所介護相当サービス	36,095,500	
(3) その他生活支援サービス (第1号生活支援事業)	350,642	
ア栄養改善を目的とした配食	350,642	
(4) 介護予防ケアマネジメント (第1号介護予防支援事業)	9,615,296	
(5) 審査支払手数料	406,397	
(6) 高額介護予防サービス費相当事業等	82,526	
(7) 一般介護予防事業	345,189	
ア介護予防普及啓発事業	209,189	
イ地域介護予防活動支援事業	136,000	
2 包括的支援事業 (地域包括支援センターの運営) 及び任意事業	25,964,341	
(1) 包括的支援事業 (地域包括支援センターの運営)	18,629,554	
(2) 任意事業	7,334,787	
ア介護給付等費用適正化事業	394,899	
イ家族介護支援事業	2,765,636	
ウその他事業	4,174,252	
(ア) 成年後見制度利用支援事業	870,278	
(イ) 福祉用具・住宅改修支援事業	33,260	
(ウ) 認知症サポーター等養成事業	19,000	
(エ) 地域自立生活支援事業	3,251,714	
3 小計 (1 + 2)	100,249,840	
4 包括的支援事業 (社会保障充実分事業計)	5,164,981	
(1) 在宅医療・介護連携推進事業	537,396	
(2) 生活支援体制整備事業	3,546,369	
(3) 認知症初期集中支援推進事業	149,550	
(4) 認知症地域支援・ケア向上事業	869,219	
(5) 地域ケア会議推進事業	62,447	
5 合計 (3 + 4)	105,414,821	

主要な施策の成果については、次のとおりです。

介護認定審査会事務

町長部局 高齢者支援課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	01 総務費	決算書 ページ	379
施策	02 高齢者福祉の充実	項	03 介護認定審査会費		
基本事業	06 介護保険サービスの充実	目	01 介護認定審査会費	計画 年度	開始：平成12年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

・要介護（要支援）認定申請を行った被保険者の要介護認定状態区分を国が定めた要介護認定審査会基準に基づき、合議により要介護認定の審査・判定を行いました。

(認定審査会)
 ・介護認定審査会委員7名ずつ、3合議体で適正に審査し要介護度を判定しました。

(認定実績)
 ・令和3年度は、介護認定審査会を年60回開催しました。
 ・認定調査員が作成した「認定調査票」及び主治医が作成した「主治医意見書」を基に、各合議体で審査し二次判定を行いました。

(認定件数)
 ・令和3年度は、1,929件の要介護認定を行いました。

活動・成果状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動		審査会実施件数 (件)	60	60
活動		審査し判定を行った件数 (件)	1,895	1,956	1,929
成果		不服申立件数 (件)	0	0	0
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	3,797	3,819	3,871
		オ 一般	0	0	0
		カ 事業費 (ア～オ合計)	3,797	3,819	3,871

成果実績評価	成果状況	(状況)令和3年度の介護認定審査会による認定者件数は1,929件で、令和2年度と比べ27件の減となりました。県への不服申し立て件数は、0件でした。 (原因)新型コロナウイルス感染症に係る臨時的な取り扱いとして有効期間の合算(6か月延長)を実施したこともあり、昨年度より27件少ない認定者件数となっています。また不服申し立ては0件を維持しており、介護認定審査会の委員により、適正に審査されていると思われます。 (余地)介護認定審査会委員の研修会等への参加や全体会の開催により、適正に運営されていると思われます。今後もさらに公平・公正かつ迅速な対応を行います。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

介護サービス給付費

町長部局 高齢者支援課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	02 保険給付費	決算書 ページ	379
施策	02 高齢者福祉の充実	項	01 介護サービス等諸費	計画 年度	
基本 事業	06 介護保険サービスの充実	目	01 介護サービス給付費		開始：平成12年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

【現物給付】

以下のとおり処理しました。

- ・要介護の認定を受けた利用者が、それぞれの状況に応じて自立に向けて作成されるケアプランに沿った介護サービス等を利用
- ・利用者は費用に対する自己負担割合分（利用者等の所得に応じて決定される1割から3割）を介護サービス事業所に支払
- ・残りの9割から7割の支払は保険給付により支払われ、事業所からの請求に基づき、審査支払機関である国民健康保険団体連合会を經由して支払

【償還払い】

- ・住宅改修や福祉用具の購入は、利用者が費用の全額を一旦支払い、後日、本人の申請に基づき、自己負担割合分（利用者等の所得に応じて決定される1割から3割）を除いた金額を保険給付により支払いました。

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	活動	サービス利用件数 (件)	34,712	33,819
成果	成果	介護保険計画に基づく利用実績率 (%)	96	97	99
成果	成果	介護保険サービス上の事故・トラブル件数 (件)	69	63	51
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	709,313	703,226	722,665
		イ 県	382,831	388,893	398,257
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	1,026,303	1,045,323	1,069,379
		オ 一般	477,324	500,781	509,713
		カ 事業費 (ア～オ合計)	2,595,771	2,638,223	2,700,014

成果実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	<p>(状況) 介護保険計画に基づく利用実績率は横ばい状態であり、事故・トラブル件数は減少しています。</p> <p>(原因) 給付費実績は新型コロナウイルス感染症による利用控えもあり横ばい状態です。事故・トラブル件数は減少傾向にあると推察されます。</p> <p>(余地) 適正化事業との連携により、適切な給付に努めます。</p>
	成果向上余地 大 中 小 なし	

[795]

介護予防サービス給付費

町長部局 高齢者支援課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	02 保険給付費	決算書 ページ	379
施策	02 高齢者福祉の充実	項	02 介護予防サービス等諸費		
基本事業	06 介護保険サービスの充実	目	01 介護予防サービス給付費	計画 年度	開始：平成12年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)	
<p>【現物給付】 以下のとおり処理しました。 ・要支援の認定を受けた利用者が、それぞれの状況に応じて自立に向けて作成されるケアプランに沿った介護サービス等を利用 ・利用者は費用に対する自己負担割合分（利用者等の所得に応じて決定される1割から3割）を介護サービス事業所に支払 ・残りの9割から7割の支払は保険給付により支払われ、事業所からの請求に基づき、審査支払機関である国民健康保険団体連合会を經由して支払</p> <p>【償還払い】 ・住宅改修や福祉用具の購入は、利用者が費用の全額を一旦支払い、後日、本人の申請に基づき、自己負担割合分（利用者等の所得に応じて決定される1割から3割）を除いた金額を保険給付により支払いました。</p>	

活動・成果状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	活動	サービス利用件数 (件)	4,858	5,338
成果	成果	介護保険計画に基づく利用実績率 (%)	94	94	105
	成果	介護保険サービス上の事故・トラブル件数 (件)	69	63	51
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	11,983	12,927	14,425
		イ 県	6,468	7,149	7,950
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	17,338	19,215	21,346
		オ 一般	8,064	9,205	10,174
		カ 事業費 (ア～オ合計)	43,853	48,496	53,895

成果実績評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	<p>(状況) 介護保険計画に基づく利用実績率は増加していますが、事故・トラブル件数は減少しています。 (原因) 給付実績率は介護予防訪問看護の給付費増により増加しています。苦情件数は減少傾向にあると推察されます。 (余地) 適正化事業との連携により、適切な給付に努めます。</p>
	成果向上余地 大 中 小 なし	

高齢者総合相談事業

町長部局 高齢者支援課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	05 地域支援事業費	決算書 ページ	383
施策	02 高齢者福祉の充実	項	02 包括的支援事業 任意事業費		
基本事業	01 日常生活の支援	目	02 総合相談事業費	計画 年度	開始：令和元年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)	
<p>高齢者の心身の状況や生活の実態、必要な支援等を幅広く把握し、相談を受け、介護保険サービスにとどまらず、地域における適切な保健・医療・福祉サービス、機関又は制度の利用につなげる等の支援を行いました。</p> <p>【随時相談】 本人・家族・地域等を通じた様々な相談を地域包括支援センター職員が受けました 令和3年度相談件数：実人数1,038件 延人数 1,612件 対応方法：来所476件 電話603件 訪問412件 その他121件</p> <p>【こころの健康相談】 認知症やうつ、精神障害などが疑われる人、及びその家族や支援者からの申出により、精神科医による個別相談を行いました。 令和3年度実施：24回 於：城辺保健福祉センター 相談件数：実人数41件・延人数141件</p>	

活動・成果状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動		総合相談件数 (件)	1,297	1,298
活動		こころの健康相談件数 (件)	113	125	141
成果		必要な医療機関やサービス機関へつながった割合 (%)	56.1	86.3	75.0
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	208	232	335
		イ 県	104	116	167
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	104	116	201
		オ 一般	125	140	167
		カ 事業費 (ア～オ合計)	541	604	870

成果実績評価	成果状況	<p>(状況) 随時相談受付件数が、昨年度と比較して124%伸びており事業の成果としては順調です。対応方法の点から見ると来所及び電話対応がそれぞれ約100件増加し、訪問対応は、130件余りの増加となっています。</p> <p>(原因) 町民のワクチン接種が進み、町内の感染状況を確認しながら実施できたことが要因となっています。また、県立南宇和病院との連携により、早い段階で窓口相談につながるケースが多いことも要因となっています。</p> <p>(余地) 上記要因に加え、団塊の世代が全員高齢者となった状況からも、成果向上余地は十分あると考えます。</p>
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

高齢者共同住宅生活支援事業

町長部局 高齢者支援課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	05 地域支援事業費	決算書 ページ	383
施策	02 高齢者福祉の充実	項	02 包括的支援事業 任意事業費		
基本 事業	01 日常生活の支援	目	05 任意事業費	計画 年度	開始：平成27年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

H27年度より城辺高齢者共同住宅の生活支援業務を社会福祉協議会に委託していましたが、継続委託を行わないとの申し出によりR2年度から町で支援員を直接雇用し業務を行っています。
 業務内容は食材等の買い物、調理、共有部分の清掃、入居者の健康及び悩み事等の対応、その他共同住宅に関する業務です。
 契約期間のうち1月1日を除く1年度、午前7時30分から午後6時30分のうち8時間を業務とし、報告書に基づいて予算の範囲内で支払います。
 【令和3年度】
 令和3年度も引き続き、有償ボランティアとして支援員を3名雇用し、入所者の生活支援を行いました。

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	活動	支援日数(日)	365	364
成果	成果	入居者からの苦情件数(件)	1	0	0
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	1,084	1,061	1,060
		イ 県	542	531	530
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	1,191	531	632
		オ 一般	0	634	530
		カ 事業費(ア~オ合計)	2,817	2,757	2,752

成果実績 評価	成果状況	(状況)現在のところ、苦情等もなくスムーズに支援できています。入居者の高齢化や日常生活に支援が必要な人が増えています。 (原因)支援に対する要望の相談打ち合わせ時間をとり、支援内容の充実を図りました。入居期間が長い入居者は、ADL低下してくることが考えられます。 (余地)支援員の相談に対応しながら事業を継続する必要があります。入居者の体調によっては、他の施設への転居も考えていく必要が出てきています。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

介護用品支給事業

町長部局 高齢者支援課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	05 地域支援事業費	決算書 ページ	383
施策	02 高齢者福祉の充実	項	02 包括的支援事業 任意事業費		
基本 事業	02 居宅サービスの充実	目	05 任意事業費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

申請書を提出してもらい、審査して決定（却下）通知を送付します。
新規対象者を業者に連絡して、業者から直接対象者宅へ訪問し、1か月7,000円相当の
介護用品（紙おむつ、尿とりパッド等）を現物支給しました。
【令和3年度】
月の平均配布件数35件を計画していましたが、月の平均配布件数は34件でした。

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動		介護用品申請者数（人）	42	51
成果		介護用品支給者数（人）	31	29	34
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	933	887	1,056
		イ 県	467	444	528
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	1,024	444	630
		オ 一般	0	529	528
		カ 事業費 (ア～オ合計)	2,424	2,304	2,742

成果 実績 評価	成果状況	（状況）更新、新規申請を合わせると申請件数は例年に比べると多くなっています。 （原因）新規申請者もいますが、施設入所者や死亡者もあり、申請者の増加に比べると月の平均支給数は、ほぼ一定です。 （余地）在宅で要介護4及び要介護5と認定された高齢者への支給で、ケアマネジャーからの申請が多く、制度は周知されています。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化	
	成果向上余地	
	大	
	中	
	小	
	なし	

認知症地域支援 ケア向上事業

町長部局 高齢者支援課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	05 地域支援事業費	決算書 ページ	385
施策	02 高齢者福祉の充実	項	02 包括的支援事業 任意事業費		
基本事業	04 地域包括ケアの充実	目	06 認知症総合支援事業費	計画 年度	開始：令和元年度 終了：令和 年度

<p>手段 (R03年度の取り組み)</p> <p>認知症地域支援推進員を配置し、医療機関や介護サービス及び地域の支援機関の間の連携を図るための支援や認知症の人やその家族を支援する相談・支援業務を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> 認知症の人やその家族等から相談があった際の相談・支援を行いました。 医師会、認知症疾患医療センター、認知症サポート医等とのネットワークを形成しました。 認知症の人やその家族の支援として、認知症カフェの運営を行いました。 (毎週火曜日：21回) 医療・介護関係者を対象に、認知症地域支援・ケア向上研修会を開催しました。 (2回開催・参加者数 計226人)
--

活動・成果状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動		認知症カフェの開催回数 (回)	39	29
活動		認知症ケア向上研修会の開催回数 (回)	1	0	2
成果		認知症カフェを利用する認知症の人やその家族の割合 (%)	26	16	15
成果		認知症ケアへの理解が深まった人の割合 (%)	92	-	95
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	335	332	326
		イ 県	167	166	163
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	167	166	217
		オ 一般	201	221	163
		カ 事業費 (ア～オ合計)	870	885	869

<p>成果実績評価</p> <p>成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化</p> <p>成果向上余地 大 中 小 なし</p>	<p>(状況) 認知症カフェは感染症の影響で、実施回数と利用者数は減少しています。利用者のうち認知症の人やその家族の割合も15%と減少しています。認知症地域支援・ケア向上研修会は 2回開催し参加者のアンケート結果で認知症の理解が深まった人の割合は95%以上でした。</p> <p>(原因) 認知症カフェは、感染症の影響から、休止を余儀なくされた期間がありました。研修会は参加者も多く、関心の高い内容だったと考えられます。</p> <p>(余地) 現状の手段が適切で成果向上の余地は小さいですが、認知症カフェについては、認知症への理解とその取り組みについて周知を図ることで新規利用者の増加が見込まれます。</p>
--	---

生活支援体制整備事業

町長部局 高齢者支援課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	05 地域支援事業費	決算書 ページ	385
施策	02 高齢者福祉の充実	項	02 包括的支援事業 任意事業費		
基本事業	04 地域包括ケアの充実	目	07 生活支援体制整備事業費	計画 年度	開始：平成28年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

高齢者への多様な日常生活上の支援体制の充実・強化に向けて、町が主体となって、「協議体」及び「生活支援コーディネーター」を設置し、生活支援サービスを担う事業主体とのネットワーク等、高齢者が住み慣れた地域で、自分らしく尊厳をもって継続して生活することができる支援体制を構築しました。

【第1層協議体会議】4回開催（内1回書面開催）、延べ参加人数43人

【第1層生活支援コーディネーター設置】2名（愛南町社会福祉協議会へ委託）

活動・成果状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	活動	地区での会議開催回数(回)	10	10
成果	成果	地区での担い手数(町内全体)(人数)	4	4	4
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	1,321	1,365	1,365
		イ 県	660	682	683
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	660	682	815
		オ 一般	789	815	683
	カ 事業費(ア~オ合計)	3,430	3,544	3,546	

成果実績評価	成果状況	<p>(状況) 高齢者に関する生活の困り事や地域の課題を掘り下げ、課題解決に向けた取組について第1層協議体会議にて検討することができました。生活支援コーディネーターが行う地域活動支援は、地域の支え合い活動を促進する為に、地区懇話会等にて地域住民と共に考えながら集いの場の再開やサロン交流会の開催等の自主活動に繋がる支援を行いました。</p> <p>(原因) コロナ感染症に配慮し、タイミングを見ながら支援活動を継続したことにより地域の住民参加が得られたものと考えられます。</p> <p>(余地) 生活圏域を対象とした第2層の協議体やコーディネーター設置により、地域に合わせたきめ細やかな活動が継続できるようになると思われます。</p>
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

在宅医療 介護連携支援事業

町長部局 高齢者支援課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	05 地域支援事業費	決算書 ページ	385
施策	02 高齢者福祉の充実	項	02 包括的支援事業 任意事業費		
基本事業	04 地域包括ケアの充実	目	08 在宅医療 介護連携支援事業費	計画 年度	開始：平成29年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)
<p>医療・介護連携の課題の抽出ができ、対応策の検討ができるよう、会議を開催しました。また、医療・介護関係者が互いの役割りや機能を理解し、連携が促進されるよう研修会を開催しました。</p> <p>【愛南町在宅医療・介護連携会議】：5回開催・延べ参加人数108名 【在宅療養・看取りに関する意識調査の実施】：1回実施 【在宅医療・介護関係者研修会】（オンライン開催）：1回開催 参加人数100名 【在宅医療・介護連携支援相談窓口】：相談件数121件 【県立南宇和病院 摂食・嚥下啓発事業の支援】：11回実施・延べ参加人数163名 【宇和島圏域における保健・医療・介護連携会議】：書面開催参加1回 【宇和島圏域定住自立圏における在宅医療介護連携に係る意見交換会】：1名参加</p>

活動・成果状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動		研修会開催回数 (回)	0	1
活動		医療機関等からの相談件数 (件)	12	51	121
成果		必要な医療機関やサービス機関へつながった割合 (%)	100	88.2	66.9
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	8	165	207
		イ 県	4	83	103
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	4	83	124
		オ 一般	6	98	103
	カ 事業費 (ア～オ合計)	22	429	537	

成果実績評価	成果状況	(状況) 必要な医療機関やサービス機関へつながった割合は66.9%と昨年度に比べ、約20%減少しています。(R2：88.2%) (原因) 相談内容によっては、センター内で対応が完結し、関係機関へつなく必要がなかったり、慎重な関りが必要で、関係機関へつなくまでに時間がかかる場合があり、割合が減少したと考えます。しかし、医療機関等から相談のあったケースは適切に対応できており、連携が必要な場合には、適宜、関係機関へのつなぎも行っています。 (余地) 現在、適切な対応が出来ており、成果向上余地は小さいと考えます。今後とも連携が必要な場合には、関係機関へつなげていきます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

訪問介護相当サービス事業

町長部局 高齢者支援課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	05 地域支援事業費	決算書 ページ	387
施策	02 高齢者福祉の充実	項	03 介護予防・日常生活支援総合事業費	計画 年度	
基本 事業	05 介護予防サービスの充実	目	01 訪問型サービス事業費		開始：平成29年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

要介護状態等となることの予防又は要介護状態等の軽減若しくは悪化の防止及び地域における自立した日常生活の支援を実施します。旧介護予防訪問介護に相当するサービス「訪問介護員等によるサービス」の実施に係る負担金を、愛媛県国民健康保険団体連合会を通じて支払いしました。

・サービス実施件数 299件

	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
活動・ 成果 状況	活動	訪問介護相当サービス実施件数 (件)	346	357	299
	活動				
	成果	訪問介護相当 サービス利用割合 (%)	100	100	100
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	1,876	1,966	1,681
		イ 県	938	983	840
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	2,964	3,105	3,363
		オ 一般	1,725	1,808	840
		カ 事業費 (ア～オ合計)	7,503	7,862	6,724

成果実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) 利用割合は100%で、訪問介護相当サービスを希望する利用者に適切に提供できています。 (原因) 担当する介護支援専門員によるマネジメントが適正に実施できているためと思われます。 (余地) 必要なサービスが必要な利用者に提供されるよう現状手段継続が必要です。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

042]

訪問介護基準緩和サービス事業

町長部局 高齢者支援課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	05 地域支援事業費	決算書 ページ	387
施策	02 高齢者福祉の充実	項	03 介護予防・日常生活支援総合事業費		
基本 事業	05 介護予防サービスの充実	目	01 訪問型サービス事業費	計画 年度	開始：平成29年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)	
<p>要介護状態等となることの予防又は要介護状態等の軽減若しくは悪化の防止及び地域における自立した日常生活の支援を実施します。旧介護予防訪問介護に相当するサービス「訪問介護員等によるサービス」の実施に係る負担金を、愛媛県国民健康保険団体連合会を通じて支払いました。</p> <p>サービス実施件数 1,581件</p>	

活動・ 成果状 況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	活動	訪問介護基準緩和型サービス実施件数 (件)	1,522	1,693
成果	成果	訪問介護基準緩和型サービス利用割合 (%)	100	100	100
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	5,178	5,630	5,167
		イ 県	2,589	2,815	2,583
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	8,181	8,895	10,333
		オ 一般	4,763	5,180	2,583
		カ 事業費 (ア~オ合計)	20,711	22,520	20,666

成果実績 評価	成果状況	(状況) 利用割合は100%で、訪問介護基準緩和サービスを希望する利用者に適切に提供できています。 (原因) 担当する介護支援専門員によるマネジメントが適正に実施できているためと思われます。 (余地) 必要なサービスが必要な利用者に提供されるよう現状手段継続が必要です。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

通所介護相当サービス事業

町長部局 高齢者支援課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	05 地域支援事業費	決算書 ページ	387
施策	02 高齢者福祉の充実	項	03 介護予防・日常生活支援総合事業費	計画 年度	
基本 事業	05 介護予防サービスの充実	目	02 通所型サービス事業費		開始：平成29年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)	
<p>要介護状態等となることの予防又は要介護状態等の軽減若しくは悪化の防止及び地域における自立した日常生活の支援を実施します。旧介護予防通所介護に相当するサービスの実施に係る負担金を、愛媛県国民健康保険団体連合会を通じて支払いました。</p> <p>サービス実施件数 1,737件</p>	

	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
活動・ 成果 状況	活動	通所介護相当サービス利用件数 (件)	1,751	1,730	1,737
	活動				
	成果	通所介護相当サービス利用割合 (%)	100	100	100
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	8,788	8,715	9,024
		イ 県	4,394	4,358	4,512
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	13,884	13,770	18,048
		オ 一般	8,084	8,017	4,512
		カ 事業費 (ア~オ合計)	35,150	34,860	36,096

成果実績 評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) 利用割合は100%で、訪問介護担当サービスを希望する利用者に適切に提供できています。 (原因) 担当する介護支援専門員によるマネジメントが適正に実施できていると思われ ます。 (余地) 必要なサービスが必要な利用者に提供されるよう現状手段継続が必要で す。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

総合事業介護予防ケアマネジメント事業

町長部局 高齢者支援課

政策	01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり	款	05 地域支援事業費	決算書 ページ	387
施策	02 高齢者福祉の充実	項	03 介護予防・日常生活支援総合事業費		
基本事業	05 介護予防サービスの充実	目	04 介護予防ケアマネジメント事業費	計画 年度	開始：平成29年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

- ・要支援1・2認定者及び事業対象者のうち、総合事業のみの利用者に対し、専門的な視点でのケアマネジメントを行いました。
- ・利用者の居宅を訪問し、アセスメント ケアプランの作成 サービス等の利用調整 モニタリング 評価等一連のケアマネジメントを行うことにより、自立支援を行いました。
- ・サービス実施に係る負担金を愛媛県国民健康保険団体連合会を通じて支払いました。
- ・町内4事業所に介護予防ケアマネジメント業務を委託し、委託料を支払いました。
- ・サービス実施件数 1,649件 初回加算35件 委託連携加算5件
(うち委託分 実施件数390件、初回加算7件、委託連携加算5件)

	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
活動・成果状況	活動	利用者の状態等に応じて行ったケアマネジメントA、B、Cの件数(件)	1,951	1,886	1,649
	活動				
	成果	目標達成割合(%)	81	76	83
	成果				
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	791	686	566
		イ 県	396	343	283
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	1,250	1,084	1,415
		オ 一般	9,325	8,918	7,351
		カ 事業費(ア～オ合計)	11,762	11,031	9,615

成果実績評価	成果状況	(状況) 目標達成割合は令和3年度は約83%であり、昨年度の約76%から約7%増えており、目標値は達成されました。委託率は約28%から約24%と約4%減っています。地域包括支援センターの担当件数割合は増えています。ケアマネジメントAの担当件数は減っていますが、予防給付の担当件数は増えており、総件数として同等数でした。 (原因) 高齢者の自立支援に向けて、丁寧なアセスメントやサービス事業所等関係機関との連携等が行えたと思われれます。 (余地) アセスメント等ケアマネジメントの質の向上のため、担当者の指導や教育を行うことにより、若干の成果向上余地は見込まれると思います。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

【小規模下水道特別会計】

(1) 総括

令和3年度小規模下水道特別会計の予算総額は196,600千円、決算額は歳入が196,351,540円、歳出が194,299,347円、歳入歳出差引額2,052,193円となりました。

収支の内訳は、歳入が使用料及び手数料24,118,160円、県補助金31,500,000円、一般会計繰入金107,620,000円、繰越明許費21,000,000円を含む前年度繰越金22,313,380円、町債10,800,000円、歳出が総務費12,556,382円、小規模下水道費108,887,992円、公債費72,854,973円であり、事業収支の不足分を一般会計からの繰入により補填をしています。

(2) 処理施設稼動状況(令和4年3月末日現在)

	処理施設名	対象 戸数	接続 戸数	接続率 (%)	供用開始年月日
農集	広見クリーンセンター	543	476	87.7	平成13年4月1日
	御在所クリーンセンター	31	26	83.9	平成7年4月1日
	和口クリーンセンター	45	35	77.8	平成16年7月1日
漁集	油袋クリーンセンター	49	29	59.2	平成14年4月1日
	家串クリーンセンター	77	59	76.6	平成14年8月1日
	平簗クリーンセンター	85	69	81.2	平成11年4月1日
	網代クリーンセンター	91	68	74.7	平成17年8月1日
合計		921	762	82.7	

(3) 令和3年度下水道使用料徴収実績

下水道使用料	調定額(円)	徴収額(円)	徴収率(%)	令和2年度 徴収率(%)	増減率(%)
現年度分	24,112,240	24,026,120	99.64	99.63	0.01
過年度分	112,200	74,880	66.74	86.39	△19.65
合計	24,224,440	24,101,000	99.49	99.55	△0.06

(4) 維持管理経費
 (ア) 歳出額内訳

(単位：円)

科 目		歳出額	備 考
総 務 費	需 用 費	87,120	
	役 務 費	250,792	
	委 託 料	10,890,000	
	負担金補助及び交付金	20,000	
	償還金利子及び割引料	1,308,470	
	合 計	12,556,382	
小 規 模 下 水 道 費	需 用 費	16,603,310	
	役 務 費	8,384,362	
	委 託 料	68,938,820	
	使用料及び賃借料	2,600	
	工事請負費	14,958,900	
	合 計	108,887,992	

(イ) 料金表

区分	用途	基本料金(1 か月につき)		超過料金 1 立方メートル につき	超過水量の上限
		排水量	金額		
専用	一般	10 立方メートル	1,430 円	96 円	50 立方メートル
	事業所等				—

備考 使用料の額は、基本料金及び超過料金との合計額に消費税及び地方消費税の税率を乗じて得た額を加えた額とする。この場合において、当該額に 10 円未満の端数を生じたときは、これを切り捨てる。

主要な施策の成果については、次のとおりです。

小規模下水道維持管理事業

町長部局 環境衛生課

政策	02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり	款	02 小規模下水道費	決算書ページ	411
施策	01 環境の保全	項	01 小規模下水道費	計画年度	
基本事業	04 生活排水の適正処理	目	01 小規模下水道管理費		開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)											
<p>農業集落排水処理施設3施設及び漁業集落排水処理施設4施設の計7施設について、適切な運営を行うため、専門業者へ管理を委託し、健全な機能を維持しながら、効率的な運営を行いました。処理施設やマンホールポンプ施設等で不具合が発生した場合は、速やかに修繕を実施し、適正な維持管理に努めました。</p> <p>使用料は、上水道の使用量を基準としているため、水道課及び宇和島市水道局より毎月、使用水量の報告を受け、算定及び徴収を行いました。</p> <p>【令和3年度実績】</p> <table border="0"> <tr> <td>電気料</td> <td>11,886千円</td> </tr> <tr> <td>修繕料</td> <td>4,445千円 (23件)</td> </tr> <tr> <td>保守点検委託料</td> <td>13,537千円</td> </tr> <tr> <td>機能保全計画策定業務委託料</td> <td>54,368千円</td> </tr> <tr> <td>工事請負費</td> <td>14,959千円 他</td> </tr> </table>		電気料	11,886千円	修繕料	4,445千円 (23件)	保守点検委託料	13,537千円	機能保全計画策定業務委託料	54,368千円	工事請負費	14,959千円 他
電気料	11,886千円										
修繕料	4,445千円 (23件)										
保守点検委託料	13,537千円										
機能保全計画策定業務委託料	54,368千円										
工事請負費	14,959千円 他										

活動・成果状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動		維持修繕件数 (件)	24	32
活動		保守点検委託件数 (件)	10	10	10
成果		集落排水施設の維持管理上の不具合件数 (件)	24	32	23
成果					
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	28,800	5,700	31,500
		ウ 地方債	19,200	0	0
		エ その他	23,529	24,549	24,118
		オ 一般	33,137	28,214	53,270
		カ 事業費 (ア～オ合計)	104,666	58,463	108,888

成果実績評価	成果状況	<p>(状況) 令和3年度の施設不具合件数は23件で、令和2年度と比較して9件減少しました。</p> <p>(原因) 管理委託業者における機器類の日常的なメンテナンスにより、突発的な故障が防げたためと考えられます。</p> <p>(余地) 漁業集落排水施設において、令和4年度から4か年計画で機能保全工事を実施し、不具合件数の削減及び施設の長寿命化を図ります。</p>
	<p>向上 維持・横ばい 低下・悪化</p> <p>成果向上余地</p> <p>大 中 小 なし</p>	

【浄化槽整備事業特別会計】

(1) 総括

令和3年度浄化槽整備事業特別会計の予算総額は160,300,000円、決算額は歳入が157,878,618円、歳出が156,722,483円、歳入歳出差引額1,156,135円となりました。

収支の内訳は、歳入が分担金及び負担金5,548,300円、使用料及び手数料47,169,825円、国庫補助金29,432,000円、県補助金5,233,000円、一般会計繰入金51,900,000円、前年度繰越金1,136,278円、諸収入459,215円、町債17,000,000円、歳出が一般管理費5,545,971円、施設整備費62,921,000円、維持管理費62,101,247円、公債費26,154,265円であり、事業収支の不足分を一般会計からの繰入により補填をしています。

(2) 令和3年度人槽別浄化槽設置実績

(単位：基)

区分	設置数	設置前の内訳			
		単独処理浄化槽	汲取り	新築	その他
5人槽	48	5	21	19	3
7人槽	9	3	3	2	1
10人槽	5	1	3		1
12人槽					
14人槽	1			1	
合計	63	9	27	22	5

(3) 令和3年度浄化槽使用料徴収実績

浄化槽使用料	調定額 (円)	徴収額 (円)	令和3年度 徴収率 (%)	令和2年度 徴収率 (%)	増減率 (%)
現年度分	47,169,825	47,169,825	100.00	100.00	0

(4) 施設整備費 62,921,000円

(ア) 浄化槽施設購入費

(単位：円)

区分	設置数	単価	金額
5人槽	48	794,000	38,112,000
7人槽	9	990,000	8,910,000
10人槽	5	1,305,000	6,525,000
12人槽		1,936,000	
14人槽	1	1,936,000	1,936,000
合計	63		55,483,000

(イ) 排水設備工事費補助金 (単位：円)

件数	金額
62	6,673,000

(ウ) 単独浄化槽撤去費補助金 (単位：円)

件数	金額
8	765,000

(5) 維持管理費 62,101,247円

(ア) 浄化槽維持管理業務委託料 (単位：円)

期間	件数	金額
第1四半期(4月～6月)	946	7,481,833
第2四半期(7月～9月)	958	7,596,078
第3四半期(10月～12月)	973	7,712,257
第4四半期(1月～3月)	993	7,759,829
合計	3,870	30,549,997

(イ) 浄化槽使用料徴収業務委託料 (単位：円)

期間	件数	金額
第1四半期(4月～6月)	2,822	423,300
第2四半期(7月～9月)	2,863	429,450
第3四半期(10月～12月)	2,900	435,000
第4四半期(1月～3月)	2,950	442,500
合計	11,535	1,730,250

(ウ) 浄化槽清掃手数料 (単位：円)

人槽区分	単価	件数	合計金額
～5人槽	26,400	700	18,480,000
6～7人槽	37,400	164	6,133,600
8～10人槽	46,200	55	2,541,000
11～15人槽	75,900	8	607,200
16～20人槽	101,200	5	506,000
21～25人槽	119,900	2	239,800
26～30人槽	151,800	2	303,600
31～40人槽	176,000	3	528,000
41～50人槽	240,900	2	481,800
合計		941	29,821,000

主要な施策の成果については、次のとおりです。

浄化槽整備事業

町長部局 環境衛生課

政策	02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり	款	02 施設整備費	決算書 ページ	435
施策	01 環境の保全	項	01 施設整備費		
基本事業	04 生活排水の適正処理	目	01 施設整備費	計画 年度	開始：平成22年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

町営浄化槽整備推進事業による浄化槽買取
 ・事業者が設置した合併処理浄化槽について、年度末に一括買取を行いました。
 排水設備設置及び単独処理浄化槽撤去に対する補助金を交付
 ・「愛南町合併処理浄化槽排水設備工事費補助金交付要綱」及び「愛南町単独処理浄化槽撤去費補助金交付要綱」に沿って事務処理を行いました。
 交付申請 交付決定通知 実績報告書 補助金交付

【令和3年度実績】
 浄化槽施設購入費 55,483千円
 排水設備設置費補助金 6,673千円
 単独槽転換補助金 765千円

活動・成果状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動		浄化槽買取件数 (件)	50	51
活動		補助件数 (件)	50	51	62
成果		単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換数 (件)	8	11	9
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	23,387	27,633	29,417
		イ 県	3,918	3,731	5,233
		ウ 地方債	14,400	19,000	17,000
		エ その他	4,403	5,577	5,548
		オ 一般	5,010	7,024	5,723
		カ 事業費 (ア～オ合計)	51,118	62,965	62,921

成果実績評価	成果状況	(状況)令和3年度の単独処理浄化槽からの転換件数は、令和2年度の11件から2件減少して9件でした。 (原因)合併処理浄化槽への転換が伸び悩んでいるのは、既にトイレを水洗化(単独処理浄化槽、汲み取り式簡易水洗)しており、合併処理浄化槽への転換の必要性を感じていないことが考えられます。 (余地)単独処理浄化槽では合併処理浄化槽と比べて処理能力が落ち、水環境に影響を与えるため、合併処理浄化槽への転換を実施してもらえよう、補助金制度と併せて周知していく必要があると考えます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

浄化槽維持管理事業

町長部局 環境衛生課

政策	02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり	款	03 施設管理費	決算書ページ	435
施策	01 環境の保全	項	01 施設管理費	計画年度	
基本事業	04 生活排水の適正処理	目	01 施設管理費		

手段 (R03年度の取り組み)	
<p><町営浄化槽清掃業務> 町営浄化槽の汚泥引抜及び清掃を行いました。 委託料は年度末に清掃件数の報告を受け、人槽別単価を適用し算定(年1回)。 <町営浄化槽維持管理業務> 町営浄化槽の保守点検及び軽微な修繕等を行いました。 委託料は法定検査の結果に基づき、人槽別単価を適用し算定(四半期毎)。 <町営浄化槽使用料徴収業務> 月に徴収金額の調定伝票を作成しました。 委託料は収納率別単価を適用し算定(四半期毎)。 <プロフ交換等(修繕)> 令和3年度は該当する故障等はありませんでした。 【令和3年度実績】 役務費(浄化槽清掃手数料) 29,821千円 浄化槽維持管理業務委託料 30,550千円 浄化槽使用料徴収業務委託料 1,730千円</p>	

活動・成果状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	活動	清掃基数(基)	837	887
成果	成果	町営浄化槽の施設のトラブル・不具合件数(件)	0	0	0
事業費(千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	40,662	43,938	47,170
		オ 一般	13,727	13,892	14,931
		カ 事業費(ア~オ合計)	54,389	57,830	62,101

成果実績評価	成果状況	(状況) 町営浄化槽の清掃は適切に行われており、昨年度同様、施設のトラブル・不具合件数はありませんでした。 (原因) 担当課と委託業者との情報共有、連絡体制の構築により、迅速かつ丁寧な対応ができていないのではないかと考えます。 (余地) 町営浄化槽の適切な維持管理が行われており、トラブル・不具合はなく順調です。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

【温泉事業等特別会計】

(1) 総括

温泉事業等特別会計の令和3年度決算収支は、歳入総額 93,084,893 円で、歳出総額 86,470,470 円、歳入歳出差引額 6,614,423 円となりました。

収支の内訳は、歳入が営業収入 30,176,942 円、一般会計繰入金 41,767,000 円、繰越金は温泉水運搬車の外装整備事業の繰越明許が 198,000 円、温泉水運搬車購入事業の事故繰越が 13,979,100 円、前年度繰越金が 6,685,751 円、消費税確定申告還付金の諸収入 278,100 円で、歳出は一般管理費 8,899,841 円、事業費 77,570,629 円となっており、6,614,423 円の剰余金が生じました。

(2) 入浴者・施設利用者の状況

(営業日数/233日)

入浴者(人)		施設利用者(人)	
大人	8,514	大ホール	229
高齢者・中学生	8,036	老人室	10
身体障害者	1,489	その他室	18
小学生	411	宿泊	1,959
大人回数券	3,513	テニス	2,425
高齢者回数券	12,010	食堂	5,569
家族風呂	25	整体	104
		その他	56
合計	33,998	合計	10,370
1日平均入浴者数	145.9	1日平均利用者数	44.5

(3) 収入の状況

(ア) 営業収入

区分	金額(円)	備考
1) 使用料		
入浴料	12,760,790	
各施設	8,348,839	
2) 事業収入		
レストラン収入	8,812,333	
物販収入	254,980	
営業収入合計	30,176,942	

(イ) 一般会計繰入金

区 分	金 額 (円)	備 考
一般会計繰入金	41,767,000	

(ウ) 繰越金

区 分	金 額 (円)	備 考
繰越明許	198,000	公用車外装整備委託料
事故繰越	13,979,100	備品購入費 (公用車)
前年度繰越金	6,685,751	

(エ) 諸 収 入

区 分	金 額 (円)	備 考
雑 入	278,100	

主要な施策の成果については、次のとおりです。

あけぼの荘管理運営事業

一本松支所 一本松支所

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	02 事業費	決算書 ページ	457
施策	04 観光 物産の振興	項	03 一本松温泉あけぼの荘事業費	計画 年度	
基本 事業	03 観光資源の充実	目	01 一本松温泉あけぼの荘事業費		開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)	
あけぼの荘運営維持管理に伴う人件費、維持管理修繕、点検整備委託ほか 利用料金 入浴大人510円、中学生・高齢者360円、小人・障害者300円 家族風呂2,050円(1時間) テニス 2時間720円(昼)、930円(夜) 宿泊 大人3,080円～、小人2,570円～ 利用時間11:00～21:00 年中無休 【R3年度】 ○サウナ等改修工事を行いました。改修工事費：7,418,000円 ○公用車(タンクローリー)を購入しました。備品購入費：13,979,100円	

活動・ 成果状 況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	活動	修繕件数(件)	24	48
成果	活動				0
	成果	施設の不具合、災害等による臨時休業日数(件)	30	109	129
事業費 (千円)	成果	あけぼの荘年間利用者数(人)	77,256	45,822	44,368
	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	25,336	12,869	14,663
		オ 一般	39,322	83,761	62,908
	カ 事業費(ア～オ合計)	64,658	96,630	77,571	

成果実績 評価	成果状況	(状況) 新型コロナウイルス感染症による休業日数が増加し、利用者数が減少しましたが、営業収益については、浴場使用料が12,760,790円(昨年度比4.4%の増)で、年間入浴利用者が33,998人でした。施設使用料他の収入は17,416,152円(昨年度比4.1%の増)で、年間施設利用者が10,730人となりました。 (原因) 昨年に比べ、繁忙期となる3月に休業がなく、弁当やオードブルのテイクアウト等、新たな取組によって、収益が増加したものと考えます。 (余地) サウナ等改修工事によって、利用者の快適性が向上しましたが、施設自体の経年劣化による修繕等、適切な施設管理が求められます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

【旅客船特別会計】

(1) 総括

令和3年度 旅客船特別会計の予算総額は 30,938,000 円で、決算額は歳入 30,938,926 円、歳出 30,916,284 円、歳入歳出差引額は 22,642 円となりました。

収支の内訳は、歳入については一般会計からの繰入金 30,697,000 円と繰越金 55,194 円及び船客傷害賠償保険料の諸収入 186,732 円となっています。

歳出については総務費 280,522 円、指定管理料含む施設経営費 30,635,762 円で、事業収入の不足分を一般会計からの繰入金により補填しています。

(2) 観光船利用客数の状況

船種		利用客数(人)	
水中展望船	ユメカイナ	920	2,220
	ガイヤナ2	1,300	
定期船		708	708
合計			2,928

水中展望船	期間営業日数(4月～3月)	156日
	欠航日数	209日
	1日平均観光船利用者数	18.8人

(3) 収支の状況

(ア) 歳入

区分		金額[円]	備考
繰入金	一般会計繰入金	30,697,000	
繰越金	前年度繰越金	55,194	
諸収入	雑入	186,732	
歳入合計		30,938,926	

(イ) 歳出

区分		金額[円]	備考
総務費		280,522	
総務管理費	一般管理費	280,522	負担金・保険料
施設経営費		30,635,762	
施設経営費	需用費	9,013,950	
	役務費	0	
	委託料	21,125,000	指定管理料
	使用料及び賃借料	325,212	
	工事請負費	171,600	
予備費	予備費	0	
歳出合計		30,916,284	

主要な施策の成果については、次のとおりです。

旅客船維持管理事業

西海支所 西海支所

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	02 施設経営費	決算書 ページ	479
施策	04 観光 物産の振興	項	01 施設経営費		
基本事業	03 観光資源の充実	目	01 施設経営費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)	
<p>旅客船事業の指定管理費用を管理受託者へ支出します。 令和3年度においては、21,125千円を支出しました。</p>	

活動・成果状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	活動	修繕件数 (件)	0	0
成果	成果	旅客船の維持管理上のトラブル・不具合件数 (件)	0	0	0
成果	成果	旅客船年間利用者数 (人)	5,370	2,604	2,928
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	16,350	19,009	21,125
		カ 事業費 (ア～オ合計)	16,350	19,009	21,125

成果実績評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	<p>(状況) 観光船利用数は前年度から324人増加しています。 (原因) 新型コロナウイルス感染拡大防止規制が徐々に緩和されたことが要因と考えます。 (余地) 指定管理受託者は安全管理規定等を遵守し日々の安定した運航に努めており、今後も指定管理を行わせることが妥当と考えます。</p>
	成果向上余地 大 中 小 なし	

瀬ノ浜施設維持管理事業

西海支所 西海支所

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	02 施設経営費	決算書 ページ	479
施策	04 観光 物産の振興	項	01 施設経営費	計画 年度	
基本 事業	03 観光資源の充実	目	01 施設経営費		開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)

瀬ノ浜観光案内所の適切な維持管理を行います。

令和3年度においては、AEDレンタル料及び土地借上料及び修繕工事、合計1,591千円を支出しました。

活動・ 成果 状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	活動	修繕件数 (件)	2	6
成果	成果	瀬ノ浜施設の維持管理上のトラブル・不具合件数 (件)	0	0	0
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	1,227	2,466	1,591
		カ 事業費 (ア~オ合計)	1,227	2,466	1,591

成果 実績 評価	成果状況	(状況) 修繕は前年度から2件減少し費用も875千円減少しています。 (原因) 指定管理受託者による適切な維持管理によるものが要因と考えます。 (余地) 指定管理受託者は施設の適切な維持管理に努めており、今後も指定管理を行わさせることが妥当と考えます。
	向上 維持・横ばい 低下・悪化 成果向上余地 大 中 小 なし	

旅客船修繕事業

西海支所 西海支所

政策	03 活力ある産業を育てるまちづくり	款	02 施設経営費	決算書 ページ	479
施策	04 観光 物産の振興	項	01 施設経営費		
基本事業	03 観光資源の充実	目	01 施設経営費	計画 年度	開始：平成16年度 終了：令和 年度

手段 (R03年度の取り組み)
<p>愛南町旅客船等指定管理者基本協定書により修繕が当該年度100万円を超え 1 件につき10万円を超える場合、愛南町が修繕を行います。</p> <p>令和3年度においては、ガイヤナ 2 船内放送用機器修繕及びユメカイナ主機修繕、合計7,919千円を支出しました。</p>

活動・成果状況	区分	指標名称	R元年度実績	R02年度実績	R03年度実績
	活動	活動	旅客船修繕件数 (件)	0	1
成果	成果	旅客船の故障による欠航回数 (回)	0	0	0
事業費 (千円)	財源内訳	ア 国	0	0	0
		イ 県	0	0	0
		ウ 地方債	0	0	0
		エ その他	0	0	0
		オ 一般	389	6,600	7,919
		カ 事業費 (ア~オ合計)	389	6,600	7,919

成果実績評価	成果状況 向上 維持・横ばい 低下・悪化	(状況) 修繕件数は前年度から1件増加し修繕費も1,319千円増加しています。 (原因) 2隻の旅客船が進水後25年以上経過し経年劣化によるものが要因と考えます。 (余地) 指定管理受託者から船艇状態を定期的に聴取のうえ随時修繕することで安全運航に繋がると考えます。
	成果向上余地 大 中 小 なし	

【公共用地先行取得事業特別会計】

(1) 総括

令和3年度 公共用地先行取得事業特別会計の予算総額は86,202千円で、決算額は歳入歳出とも同額の86,201,708円です。

本会計における収支の内訳は、歳入の受託事業収入が86,201,708円で、歳出の内訳は、一般会計繰出金86,201,708円で同額となっております。

(2) 公共用地先行取得事業の目的及び手段

国土交通省が施行する一般国道56号津島道路工事に必要な事業用地を国庫債務負担行為に基づく用地先行取得制度(以下「用地国債」という。)により、町があらかじめ取得することにより事業の早期完成を目指します。なお、国土交通事務次官の「国庫債務負担行為により直轄事業又は補助事業の用に供する土地を先行取得する場合の取扱いについて」の通知による地方公共団体が先行取得を行う場合においては、その経費を明確にするため特別会計を設ける旨の通知を受けて特別会計により実施しています。この制度によりH27年度からH29年9月までの一般国道56号津島道路(柏地区)工事用地事務委託契約と異なり、町が代行して用地の取得を行いました。

(3) 事業実施期間とその進捗

事業区分	一般国道 56 号津島道路（柏地区）工事用地事務委託契約		
年度	H27 年度 (H27. 8. 6~H28. 3. 31)	H28 年度 (H28. 4. 13~H29. 3. 31)	H29 年度 (H29. 6. 1~H29. 9. 29)
年度用地買収面積（㎡）	20,912.22	77,070.32	18,779.79
年度用地買収進捗率（%）	14.68	54.11	13.18
総事業面積取得率（%）	14.68	68.79	81.97

事業区分	用 地 国 債		
年度	H29 年度 (H29. 10. 2~H31. 3. 31)	H30 年度 (H30. 4. 9~H31. 3. 31)	R 元年度 (H31. 4. 1~R2. 3. 31)
年度用地買収面積（㎡）	5,956.93	8,795.70	—
年度用地買収進捗率（%）	4.19	6.17	—
総事業面積取得率（%）	86.16	92.33	92.33

事業区分	用 地 国 債		
年度	R2 年度 (R2. 4. 1~R3. 3. 31)	R3 年度 (R3. 4. 1~R4. 3. 31)	
年度用地買収面積（㎡）	—	—	
年度用地買収進捗率（%）	—	—	
総事業面積取得率（%）	92.6	92.6	

